

を具へ、その脈に當る處の中央は白色、その外方は黒色、楕圓紋の外側は少しく黄色を帯ぶ。後翅の翅底に近く二暗色帯ありて、初めの四脈の中央は白色、その外方は黒色、外縁に近く暗色の一紋列あり。開張一寸五分内外。これは何れの地方にも少なからず。



體翅は白色、少しく紅色を帯ぶ。前翅の紋條は暗色、中央の大紋は黒色、其周圍に黄褐鱗を散在し、其内側に近き波狀線は青白、中央に當り各脈上に青白點

の處に暗褐小點を列ぬ、翅端及び外縁の上半は暗色、前横線と後横線の間室に於ける脈上並に前縁及び副前縁脈に沿ひ銀色鱗を密布す。後翅は前翅よりも少しく淡色、中央の二帯は褐色、外縁の第一乃至三室に黒紋を裝ふ。開張一寸一分内外。これは秩父地方に稀ならず。

分布 本州、臺灣、印度。
♀ F. formosana Mats.
♀ フォルモサーナ形

マンレイカギバ

Petalura manleyi Leech

前翅は灰色、前後の兩横線は褐色、前者は内側にて、後者は外側にて黄色線を具へ、その間室の前縁には一暗色紋を裝ひ、前横線の前縁に終る所に暗褐紋あり、横脈點は褐色、前縁及び外縁線は黄色、縁毛は暗褐、其



末端は灰白。後翅には横脈點を缺き、横帯は前翅に同じ。開張一寸内外。これは何れの地方にも餘り多からず。

分布 北海道、四國、九州。

マダラカギバ

Callitrypa atraxata Thall.



體翅は灰黄、前翅の前横線は黄褐、横脈紋は暗褐、其中に銀色鱗を縱列す、後横線は黄色、兩側は黄褐線にて縁取られ、更に其外側に銀色線を併走し、亞外縁線

キンモンカギバ

Callitrypa argenteola Moor.

體翅は灰黄、前翅の前横線は黄褐、横脈紋は暗褐、其中に銀色鱗を縱列す、後横線は黄色、兩側は黄褐線にて縁取られ、更に其外側に銀色線を併走し、亞外縁線



原種と異なる所は前翅一層濃色にして、前横線は判然し、銀色鱗は少なきにあり。これは埔里地方に普通なり。

分布 臺灣。

タカムクカギバ

Callitrypa takumuki Mats.

雄、前翅は淡褐、少しく紫灰色を帯び、前横線は不明、横脈紋は暗色、中室の後角に暗色點を具へ、第六室の末端に近く黒點を裝ひ、その下方の暗色斜線は裏面紋の透視せらるるものなり。後翅に不明なる暗色帯あれ



り、前横線及び中横線は波狀、暗色、中室の外方に灰色の大紋ありて、その中に暗色の小紋を有す。後翅は灰色、綠色を帯び、翅底に近く黒帯あり、外縁に近く暗色の波狀帯ありて、その内側に暗色點を列ね、更にその内側に暗色の波狀帯あり。開張二寸一分。これは埔里に産するも少なし。

ども、内縁にてのみ判然す、横脈點は暗色。開張一寸一分、これは埔里にて發見せられたるも稀なり。

分布 臺灣。

ハスオヒカギバ

Campiochilus aurea Bndt.

體翅は橙黄色。翅の紋條は褐色、中横線一雙にして、中室外方にて内方に屈折し、其間室は兩端を除き黄褐、前縁三分の一の處に褐色の長楕圓紋あり。後胸背、腹部の中央及び尾端は桃色を帯ぶ。雄にては後翅の前縁及び基部少しく桃色を帯ぶ。開張九分内外。これは札幌地方に普通なり。



分布 北海道、本州。

キイロカギバ

Campiochilus sinuosus Warr.

兩翅は黄色。前翅の翅底に四横線ありて、波狀をなす、中室以下の後縁は灰黄褐、之れに約七個の短線を横走し、前縁三分の二の處にある三角形紋の兩側は淡色。後翅の基部は灰黄褐、



あり、褐色鱗紋を散在す、第四室の基部に灰白の大紋あり、前縁の翅端に近き所にも灰白の大紋あり。

ウスグロオホカギバ

Gauechilus nigrivitta Warr.

♀ フォルモシコラ形
♀ F. formosicola Mats. 前翅は暗灰色、翅端より後縁の中央に斜走せる一帯は黒色、これより内側は黒褐、これより外側は少しく赤味を帯び、褐色鱗紋を散在す、第四室の基部に灰白の大紋あり、前縁の翅端に近き所にも灰白の大紋あり。



其中に褐色の翅底線、前横線及び中横線を横走し、其外側は暗褐線にて堺せられ、其外方に淡色の一帯あり。體淡黄褐。前頭及び尾端は黄色。腹面は紅色。開張九分内外。これは臺灣埔里には稀ならず。

分布 臺灣。

ウスホシベツカフカギバ

Lerema inconclusus Wlk.

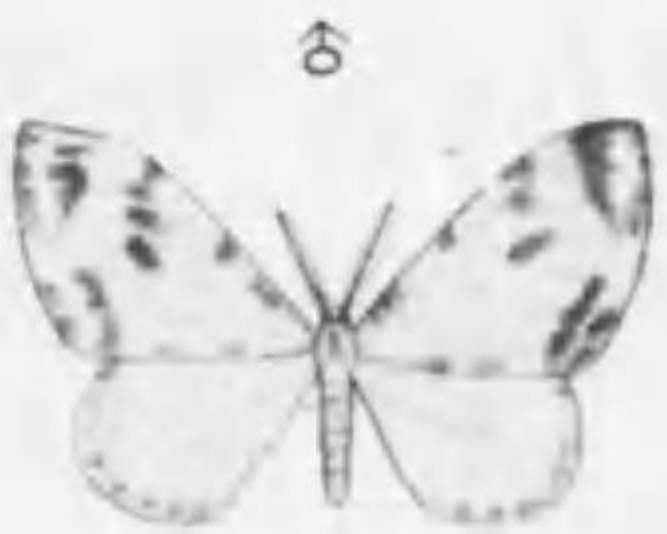
ホシベツカフカギバに酷似すれども、形大、翅は一層透明。前翅前縁の紋は認め得るも、翅端及び後角に存するものは判然せず、中脈の下方に一紋を裝ふ。後翅は虹色を帯び、斑紋は判然せず、内縁には唯だ一紋を認め得。觸角暗灰色、羽狀短かし。胸背白色、黒毛を有せず。開張一寸三分内外。これは中國に産するもその數少なし。晝飛行なり。



分布 本州、九州。

ホシベツカフカギバ.....(五八四)

Derona phasma Hirtl.



翅は白色、半透明、斑紋は暗色。頭及び體の背面暗色。體下及び脚は灰白。開張一寸内外。これは晝間飛翔性にして、遅鈍なり。その數少なし。

分布—本州。

ウスオビカギバ.....(五八六)

Drepana harpenta Esq.



體翅は綠黃褐、前翅の横線は濃色、中横線は中脈の處にて外方に曲り、其處に黄色の四點を裝ふ、外縁は廣く鉛色、各室の弦月紋は黒色、第三、四室の内側に黒紋を具へ、外縁線の上半は黒色。後翅の横脈上に濃色の圓紋ありて、其中に三黄紋を藏す、亞外縁線

の處に判然せざる弦月形の暗色紋を列ぬ。觸角暗色。尾端黄色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。幼蟲はシナ、カバ、カシハ等の葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

線を斜走す、翅底の褐色線は餘り判然せず。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州。

ヒメハヒイロカギバ.....(五八八)

Drepana parvula Loeb.



體翅は暗灰色。前翅の三條は暗色、翅端の眼狀紋は藍色、其周縁は黄色、前縁は黄色。體下及び脚は淡褐。開張八分内外。これは九州に稀ならず。燈火に飛來す。

分布—本州、九州、支那、アムール。

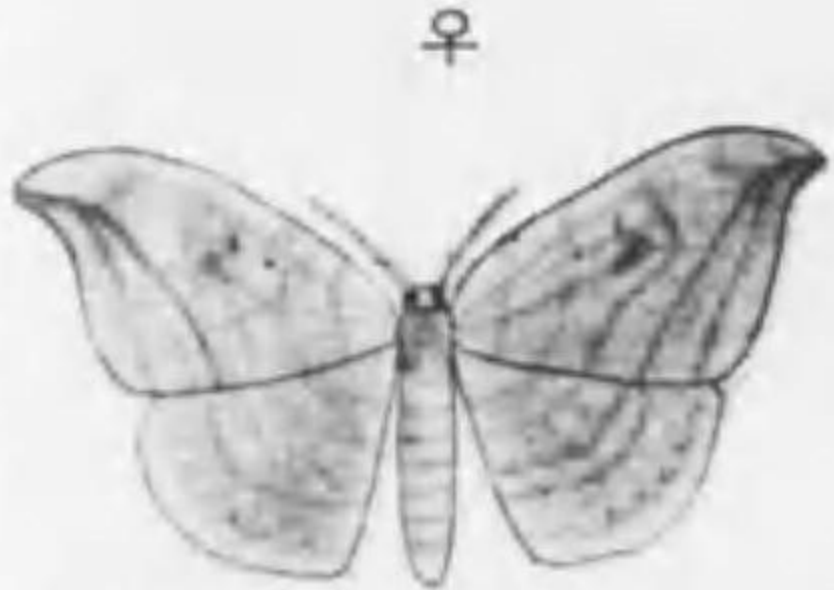
オホカギバ.....(五八九)

Euchaeta capitata Wlk.

翅は白色、前翅底中央のく字形の廣帯、その外方の一帯及び外縁は暗色、中央の廣帯中に三角形の白紋あり、外縁に近き波狀線は黒色。後翅底、その外方の二帯及び外縁は暗色、波狀線は黒色。頭黒色。胸部白色。腹背淡灰色。開張二

オビカギバ.....(五八五)

Drepana curvata Hkbl.



體翅は暗黄。前翅中央の三紋は黒褐、波狀線は暗色、翅端よりの一條は黒褐、其外方の一帯は暗色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する最も普通の種類なり。幼蟲は赤楊の葉を食す。

分布—北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。

ウスイロカギバ.....(五八七)

Drepana pallida Motsch.

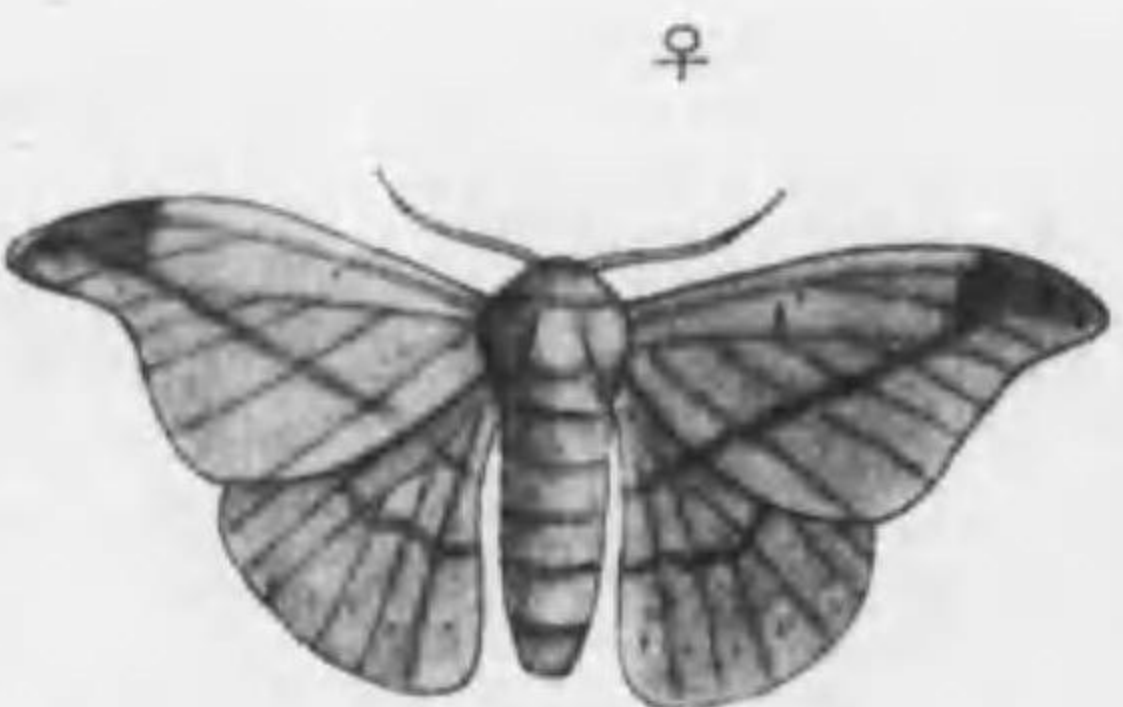


體翅は淡黄、前翅前縁角の附近は淡褐、これより淡褐

淡灰色、其間に灰色の圓紋を具ひ、翅端の内方は暗灰色、これより不明の灰色線を出だす。後

ムナベニカギバ.....(五九二)

Hysonanthus insignis Hirtl.



體翅は灰色、少しく赤味を帯ぶ。前翅の前縁角より朱色の一條を斜走す。後翅の横線は淡き朱色、外縁に近く黒褐の小點あり。體下及び脚の一部は紅色。開張一寸六分内外。これは北海道に産せず。本州にても餘り多からず。

オホキイロカギバ.....(五九三)

Irithrepana flava Moor.

體翅淡き橙黄色。紋線は暗色。前翅の前横線は二紋より成り、横脈紋は黒色、中室後角の下方に一紋あり、後横線は波狀、斷續す、亞外縁線は三本ありて、波狀をなせども、大部のものは點紋より成り、外方のもの最も顯著にして、翅

翅中央の圓形紋及び脚は暗色。開張一寸四分内外。これは臺灣に産するもその數少なきが如し。

分布—臺灣、印度。

タイワンオホカギバ.....(五九〇)

Euchaeta sulstignaria Hb.



寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。イタドリの多き地方に産する所より見れば、それは或はその食草なるやも知れず。

分布—北海道、本州。

體翅は白色。條線は灰色、前翅中央の二線間は



♂
中室の後角紋及び中室紋は黒色、その下方の第一室にも一紋を装ふ。開張一寸七分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。
分布—臺灣、印度。

アリカンカキバ

Konjikia arhana Mats.



♂
鱗を混す、外縁の上半に褐色の縁毛を装ふ。後翅の各線は小形の黒點より成り、横脈の兩部に

端に近きものは紋狀に切斷せず、翅端に近く前縁にV字形の一紋を具へ、其外方に一點あり。後翅に四條の點紋列ありて、

ウコンカキバ

Konjikia crocea Leech



♂
體翅は橙黄色。前翅の横線は紫褐色、中室の中間、第六脈基部の一點及び中室末端の下方にある一紋は紫褐色、少の銀色鱗を混す、横脈點は銀色、亞外縁線は黒點より成り、第四及び五室にあるものは大、白色鱗を混す、外縁の上半に褐色の縁毛を装ふ。後翅の各線は小形の黒點より成り、横脈の兩部に

フタテンシロカキバ

Leucothrepeta sacra Butler



♀
これは大阪箕面地方に稀ならず。
分布—北海道、本州、朝鮮、支那。

ツマエグリカキバ

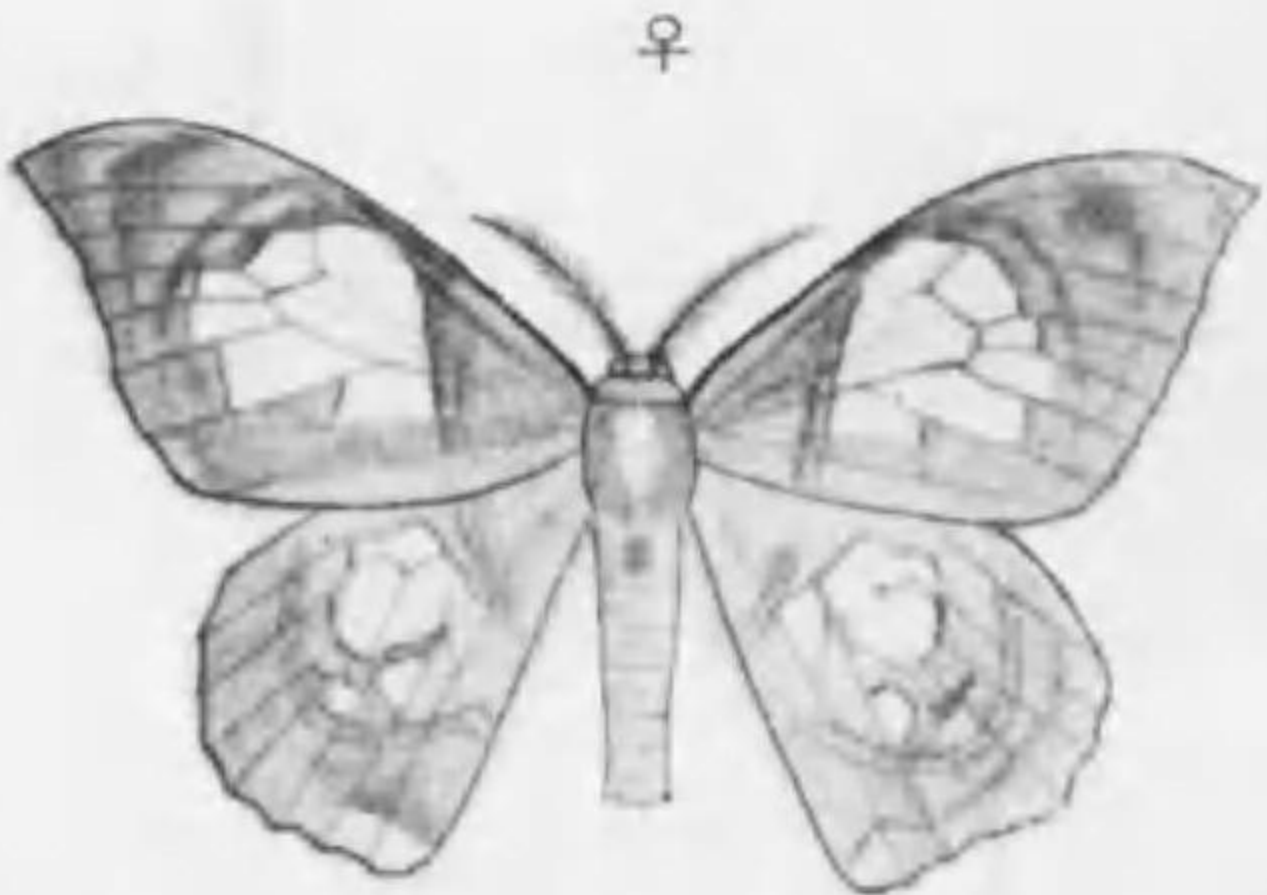
Leucothrepeta excisa Hampson



♂
雄、前翅灰黄、外縁の三分の一は暗灰色、外縁の上方は半楕圓形に列られ、その外縁に白紋を列ぬ、外縁の中央に一齒狀突起あり、前横線は暗色、太く、餘り列然せず、中横線及び後横線は斜走し、稍々前縁にて合す、中央に圓錐形の透明紋あり、亞外縁線は白色、波狀を呈す。後翅は灰白、半透明、三帯は暗色、外縁帯は最も廣し。開張一寸一分。これは埔里に産するも少なし。
分布—臺灣。

スカシカキバ

Macrauzata fenestrata Moore



♀
分内外。これは甚間飛翔性にして、燈火に飛來するもの少なし。
分布—本州、九州、印度。

モンウスキヌカキバ

Macrocelix maini Loew

雌雄、ウスキヌカキバに酷似すれども、前翅の

暗色紋は大、中室に近くM字形の青白紋を具へ、其周圍に銀色環を有し、第二脈以下の兩側は黒色、其第一室に當る處に黒紋ありて、其周圍は銀色、外縁に當り縦線の下



♀
縁の中央及び第五、六室の處に黄褐色を装ふ。後翅の中帯は太く、兩側に銀色線を併走し、第三脈の基部に銀色の一斜線あり。開張一寸四分内外。これは何れの地方にても多からず。
分布—本州、四國、九州、朝鮮、臺灣。

ウスキヌカキバ

Macrocelix mysticata Wlk



♀
體翅は黄白。前翅の横脈紋は暗色、其中央に青白の弦月紋を具へ、其後端より三暗色線を後縁に送り、其間室は銀色、其後縁に終る處は黄

ホリシヤカキバ

Mimozethes horishana Mats.



♂
具へ、後縁角に近く一暗色紋を装ふ。後翅の横脈上に二鉛色紋あり。開張一寸。これは埔里にて捕獲せられたるも稀なり。
分布—臺灣。

ギンスチカキバ

Mimozethes argentifasciata Loew

體翅は暗褐、少しく緑色を帯ぶ。前翅の波狀線



は青白、後角の一枚及び其直上の一枚は黒色、外縁の前角に近き處に二黒點ありて、其中點は白色、外縁は地色よりも黄色を帯ぶ。後翅の波状線は青白。頭黒色。頭頂及び頸板の横線並に腹部各節、後縁の細帯は青白。開張一寸一分内外。これは餘り多からず。燈火に飛來す。
分布—北海道、本州、四國、九州。

アカカギバ

Oreta auripes Burtl.

(六〇三)



翅は赤褐、暗色點を散在す。前翅底は黄色、之れに四波状線を裝ひ、横脈點は青白、後横線は紫褐色、其外側は黄線にて堺せらる、前縁角に近き前縁及び後角の一枚は暗色、外縁に後横線に平行せる暗色短線あり。後翅の中帯は黄色、前縁は淡色。頭は朱色、後頭少しく淡色。下唇

外。これは本州には少なからず。
分布—本州、滿洲、臺灣、支那、ウズリ。
附言—これには變形多し。

一、カルシオラリア形 女
f. calceolaria Burtl.

前翅端よりの廣帯及び後翅の外半は黄色。これは本州に稀ならず。
二、フォルモシコラ形 女
f. formosicola Mats.



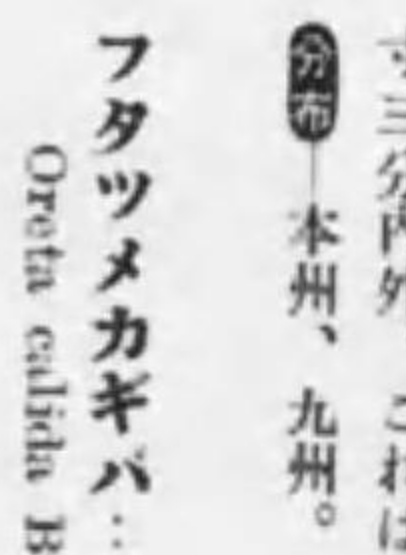
原種と異なる所は、前翅の斜帯は廣く、端直、翅端を二分する一線は第五室に達す。これは埔里にて捕獲せられたり。
分布—臺灣。

エグリカギバ

Tomocera purpureofasciata Wilem.

(六〇六)

翅は紫褐色、前翅の横線は暗褐、後横線の外側



體及び觸角灰黄。胸は灰黄白。腹部は後翅と同じ色。尾端灰黄色。體下及び脚は紅褐色。開張一寸三分内外。これは本州にては餘り多からず。
分布—本州、九州。

フタツメカギバ

Oreta calba Burtl.

(六〇四)



體翅は暗褐、翅には多數の黒點を散在し、中央の暗色帯上に褐色の圓紋を裝ふ、翅端の内方のく字形條は黒色。後翅の二條は黒色、縁毛は黒褐。開張一寸四分内外。これは中國地方に普通なる種類なり。幼蟲はガマズミ、ゴマキ、サンゴジュの葉を食す。
分布—北海道、本州。

タイワンキオヒカギバ

Psiloptera extensa Wl.

(六〇四)

雌、翅は橙黄色、中央部褐色、翅端より後縁の



は黄色線にて縁取られ、其外側に更に一暗色線あり、外縁に近き波状線は餘り判然せず、横脈の下方に一淡色紋を具へ、前横線と後横線の間に三線を横走す。後翅の中央に濃褐の一帯ありて、其外方に淡色の一枚を裝ふ。頭、胸及び腹は灰黄。腹基部に紫褐色多し、尾端は橙黄色。體下及び脚は灰黄。開張一寸内外。これは臺灣埔里に稀ならず。暗んで燈火に飛來す。
分布—臺灣。



フスコブルレア形 合
f. fuscojuncurea Mats.
中央に達する一斜條は黄白、後縁角の一枚は黒色、翅端に近き外縁は深く刻らる。後翅端、翅底及び中央に暗褐紋を裝ふ。開張一寸二分。これは埔里にて捕獲せられたるも稀なり。
分布—臺灣、印度。

アシベニカギバ

Psiloptera pulchripes Burtl.

(六〇五)



體翅は褐色、翅には小黒點を散在す。前翅の中央は濃色、其中にく字形の白紋あり、翅端は淡黄、これより黄色線を出だす、縁毛は黄色。兩翅の外縁は少しく濃色。頭、口吻及び脚は鮮黄色。尾端及び胸下は黄色。腹面は少しく紅色を帯ぶ。開張一寸二分内

三 鉗紋蛾科

Callituidae

觸角は絲狀。下唇最長、第三節は發達せり。翅は廣く、兩翅とも中室を缺く。後翅第六、七の兩脈は殆んど翅底より出で、抱刺は退化す。中脛節端に、一雙の長距を具へ、後脛節には二雙あり。幼蟲は螟蛉に酷似し、短毛を粗生す。本邦に産するもの五種あり。何れも少きが如し。

イカリモン(ガ)

Pterocteta fulveri Jrem.

(六〇七)



體翅は黒褐。前翅の端縁並に兩翅の縁毛は美麗なる黄赤。體下及び脚は綠黄。開張一寸三分内外。これは晝間飛翔し、其靜止する時は翅を垂直になすを以て、恰も小灰蝶に似たり。高山に稀なら

ず。幼蟲はキノコ、シダの葉を食す。
分布 北海道、四國、九州、滿洲、支那。

タイワンイカリモン……………(六〇八)

Cleostria eulamia (Geyer)



翅は茶褐色、前翅外縁の内方に橙黄色の一斜紋を装ひ、縁毛は黄褐。體は暗色、體下は黄色。開張一寸四分内外。これは晝間飛行性にして、燈火には飛來せず。小灰蝶の如き飛行振りをなし、静止の時は翅を直立す。
分布 臺灣、支那、印度。

ベニイカリモン……………(六〇九)

Callistula atle-nanta Moor.



體翅は黒褐色、前翅の

斑紋は紅色帯状をなす。イカリモンに酷似すれども、赤色の部分多く、前翅白紋の附近は黒色を呈せず。後縁の白紋は不正形をなす。開張一寸二分内外。これは臺灣に稀ならず。幼蟲は不明。
分布 臺灣、支那、印度。

フジキオビ……………(六一〇)

Schistoclitra funerals Butler



體翅は黒色、前翅の紋條は黄色。後翅は横脈上に黒色の細き切目を有す。頸板黄色。第三腹節以下各節の後縁は黄色。開張一寸八分内外。これは六月上旬富士及び日光に捕獲し得べしと雖も、地方的なれば捕へ損ふものなり。
分布 本州。

一三 窓蛾科 Thyrididae

觸角鞭狀。前翅第五脈は横脈後角より出で、後翅の第八脈は第七脈と近接し、第八脈弓狀に彎曲し、第一内縁脈は肛角に達す。中肢の脛節に一対の距あり。この蛾は普通後翅に透明紋を具へ、體は小なれども、太く、天蛾に似たる所あり。本邦學名を有するもの十數種あり。

ベニマドガ……………(六一一)

Glanys insulatus Wk.



體翅は紅色。前翅中央の三紋及び外縁は廣く黒色、前縁の二小紋は黒色、横脈上に透明紋ありて、その内側に十字形の一黒紋を裝ふ。後翅の中央の透明紋はその内側を除き周圍は黒色、其内側の一紋、外縁に近き五紋及び縁毛は黒色。頭、前胸及び各腹節の廣帯は黒色。開張一寸二分内外。これは臺灣にては少なし。
分布 臺灣、印度。

ヒトツメマドガ……………(六一二)

Glanys tricolor Moor.



體翅黒色、少しく青色を帯ぶ。頭及び第一腹節は紅色、腹部の兩側條は紅色。末端にて相合す。前翅の横脈紋及び後翅の大紋は透明、後者の紋は殆んど外縁に達し、外縁は少しく列らる。開張九分一寸一分。これは埔里にて捕獲せられたれども少なし。
分布 臺灣、印度。

コモンマドガ……………(六一三)

Herimba atkinsoni Moor.



體翅は黒褐、光澤の工合に依り金光を放つ、前翅の中央に二白紋を装ひ、中室の二點、第一及び第七室の各一點は白色。後翅に金色紋を散らし、中室及び第五室に一白點を裝ふ。兩翅の縁毛は暗色。附節に白斑あり。開張一寸内外。これは臺灣に産すれども稀なり。一見捩蝶の如く、晝飛行なり。
分布 臺灣、支那、印度。

マダラマドガ……………(六一四)

Rhodoneura exusta Butler



體翅は黄褐。前翅には褐色の横線多く、稍々同アルデンス形。色の縦脈と網目状紋を現はし、中央に暗褐色の太き斜線を具へ、翅端に近き一弧線及び後縁の基半部は灰白。後翅の基半部は灰白。後翅の中帯は中央にて縮れ、其内方の二線と外方の一線とは判然すれども、他は細くして餘り判然せず。雌、翅は大、紋條は淡色、前翅の中帯は兩側のみ暗褐、後翅に淡色帯を缺く。頭暗褐。肩板灰色。開張八分内外。これは中國に稀ならざるも、小形なる爲め捕獲し損ふことあり。
分布 本州、四國、九州、支那、印度。

ヒメマダラマドガ……………(六一五)

Rhodoneura fulva Mats.



體翅は黄褐。前翅の紋條は暗褐、中帯は副前縁脈の下方の處にて其兩側は濃色の線にて縁取られ、前縁には多數の小黒點を列ね、縁毛は褐

ウスマダラマドガ……………(六一六)

Rhodoneura pallida Butler



體翅は黄白。前翅の紋條は褐色、前縁の縁條には多數の小黒點を列ね、翅端の紡錘形紋は白色、其内側は黒線にて縁取られ、第五室に暗色の三點を縦列す。後翅にも前翅同様の三線ありて、第五室には黒點を裝ふ。頭及び頸板は少しく暗色を帯ぶ。尾端の毛塊灰黄白。開張七分内外。これは奈良にて捕獲せるも稀なるが如し。
分布 本州、支那、印度。

スギタニマドガ……………(六一七)

Rhodoneura suginani Mats.

體翅は白色。翅は光澤の工合により絹様の光澤を帯び、多數の暗灰色條は稍々網目状の斑紋を現はす。前翅の前縁約三分の二迄灰色を呈し、



極前縁は暗色にして、白点を列ね、第五乃至第七室の末端に各一黒紋を装ひ、縁毛は白色、縦脈の終點に暗色毛を混す。觸角及び下唇鬚は黄色、頭及び前胸灰色。脚白色、跗節は黒、白の斑をなす。開張八分内外。これは京都にて捕獲せられたるが少なきが如し。
分布 本州。

アカジママダガ

Strigina setaria Wk.

雌の體翅は橙黄色、雄は黄褐。兩翅の網目紋は褐色。前翅の暗褐色斜帯は後翅に延長す。雄の頭暗褐色。觸角、下唇鬚及び前胸背淡褐。胸腹黄褐。雌の頭、胸及び腹は橙黄色。開張八分五厘内外。これは中國には稀ならず。



分布 日本全土、臺灣、支那、印度。

アミメマダガ

Thyris fenestrella Scop.

體翅は黒色。前翅中央の二紋は白色、半透明、後翅には一対をなせる四紋、外縁の二紋列、後縁の三紋は黄色。後翅の白紋は大、黄紋を散在し、縁毛白色、中央に黒毛を混じ、基部は黒色。下唇鬚、頭及び頸板に黄毛を装ふ。第三及び第七腹節に白帯あり。脚黒色、跗節及び距は黄色、跗節に黒斑紋あり。開張四分五厘内外。これは樺太に稀ならず、北海道に産せず。



分布 本州、四國。

ナミマダガ(マダガ)

Thyris fenestrella Scop.

體翅は黒色。前翅中央の二紋は白色、半透明、後翅には一対をなせる四紋、外縁の二紋列、後縁の三紋は黄色。後翅の白紋は大、黄紋を散在し、縁毛白色、中央に黒毛を混じ、基部は黒色。下唇鬚、頭及び頸板に黄毛を装ふ。第三及び第七腹節に白帯あり。脚黒色、跗節及び距は黄色、跗節に黒斑紋あり。開張四分五厘内外。これは樺太に稀ならず、北海道に産せず。



幼蟲はボタンヅル、クサボタンの葉を食す。
分布 樺太、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、歐洲。

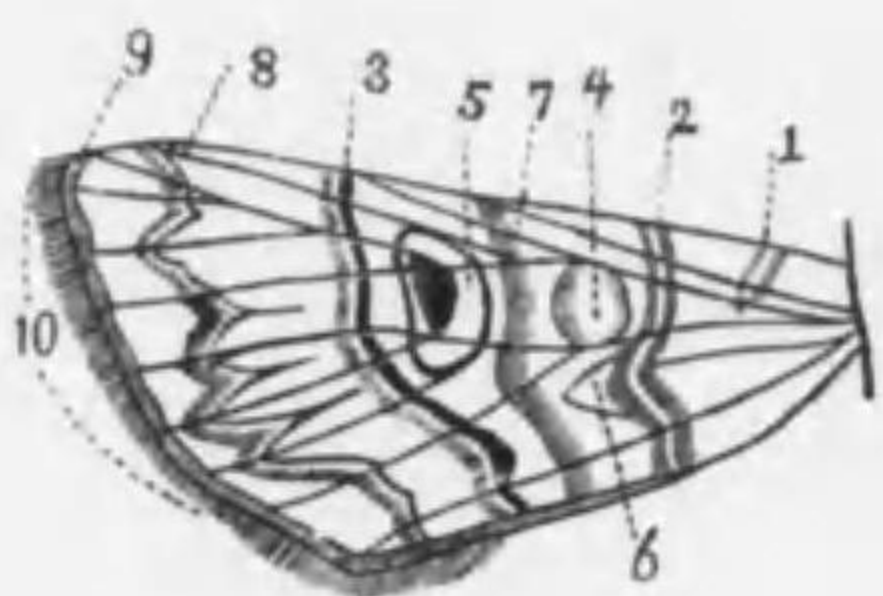
ウシタリタ形 雌 *T. ustata* Hntl.

原種と異なる所は、黄紋少なく、後翅白紋の外方にあるものは内方紋の上端に達せざるにあり。
分布 本州、四國、九州。

一四 夜蛾科 Noctuidae

前翅に二個の内縁脈を具へ、外方にあるものは短かく、第二脈は中脈の程より出で、第二脈は長、第五脈は第四脈に近接す。後翅は二個の内縁脈を具へ、第五脈は第四脈に近接す。幼蟲は普通裸なれども、劍紋蛾の如く長毛を有するものあり。蛾は暗んで燈火に飛來し、又糖液に集まる。本邦學名を有するもの約千五百種あり。大部のものは農林業に有害なり。

夜蛾の前翅斑紋(模倣圖)



第六鱗翅目(蛾亞目)

- (1) 亞底線(半横線)
- (2) 前横線
- (3) 後横線
- (4) 環狀紋
- (5) 腎狀紋
- (6) 栓狀紋
- (7) 中横線
- (8) 亞外縁線(波狀線)
- (9) 外縁線
- (10) 縁毛

ユミガタウハバ

Aprostola aprostolina Hntl.

前翅は暗褐、翅底は灰黄褐、半横線の外側に淡褐線あり。前横線は黒色、其内方の一線は黄褐、中央に高まれる黒鱗を装ひ、後横線の外側は黄褐、更に其外側の二線は暗黄、前縁角に近き二縱紋は黒色。後翅は黒褐、翅底の大半は灰黄。前翅の縁毛は暗灰色、後翅のものは灰黄。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來すれども少なし。



分布 本州、四國、九州。

分布 北海道、本州。

ヒトトガリ

Acontia graellsii Feisth.

フタトガリに酷似すれども、その異なる所は、前翅に横線を缺き、翅端より後方に向ひ不明の二短線を斜走し、前翅端下の外縁より中室の下方まで暗褐の一線を縦走す。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。幼蟲はハナアフヒの葉を食す。
分布 沖縄、臺灣、支那、印度、歐洲。



フタトガリ

Acontia trans-versa Guen.

體翅は鮮黄色。前翅に内折せる赤褐の三線を具へ、その中外の三線は下方にて相接し、



外縁には内方に向つて三角形をなせる赤褐の大紋を装ふ。後翅は少しく橙黄色を帯び、外縁は暗色。開張一寸二分—一寸四分。これは燈火に飛来すれども餘り多からず。幼蟲はムケゲの葉を食す。

分布—北海道、本州、四国、九州、沖縄、支那、印度。

ハンノケンモン

Aeronicta alni L.

前翅は灰色、少しく赤味を帯ぶ、後縁半及び中央帯は黒色、腎状紋及び環状紋は餘り判然せず、横線は何れも暗色、後横線は二線よりなり、其間は淡色、外縁及び縁毛に暗色点を横列す。後翅は白色、



外縁は暗色、縁毛は白色。開張一寸四分内外。これは燈火に飛来する普通種なり。

分布—北海道、アムール、歐洲。

イタヤケンモン

Aeronicta asiatica Fouti.



横列す、縁毛は灰色。後翅は暗褐、後横線の外側は淡色、縁毛は白色。開張一寸二分内外。これは少なし。

分布—本州。

オホソバケンモン

Aeronicta cuspidis Hb.



前翅は暗灰色、少しく淡紫色を帯ぶ、劔状紋は黒色、環状紋及び腎状紋は淡灰色、後横線の外方は濃色、第四、第五兩室の縦線は黒色。後翅は灰白、外縁少しく暗色を帯ぶ。開張一寸六分内

外。これは燈火に飛来するも餘り多からず。幼蟲はハンノキの葉を食す。

分布—北海道、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

シマケンモン

Aeronicta fasciata Moor.

第六 鱗翅目(蛾亞目)



前翅は灰白色、横線は暗色、翅底の劔状紋は判然せざる二三枝を出す、環状紋は白色、兩側に黒色の弧線あり。後翅は暗色、紋は判然せず、縁毛は白色。開張一寸五分内外。これは稀ならず。幼蟲はイタヤ、トチノキ等に寄生す。

分布—北海道、本州、アムール。

ウスグロケンモン

Aeronicta carbonaria Graes.



體翅は灰色、黒鱗を密布す。前翅の前後兩横線は黒色、その外方は稍廣く暗色を帯ぶ、環状紋及び腎状紋の周縁及び劔状紋は黒色、波状線は暗色、内側は白色、前縁は内半に暗色紋、外半に白点を装ふ、外縁の點列は黒色。後翅は白色、少しく暗色を帯ぶ、中室紋及び後横線は暗色、外縁線は暗色。開張一寸五分内外。これは本州には少なし。

分布—本州、アムール。

キシタケンモン

Aeronicta catalpaoida Graes.



前翅は暗色、灰白鱗を密布し、横線は黒色、環状紋は白色、中央に一黒点を藏す、腎状紋及び劔状紋は判然せず、前縁の中央に近く一灰白紋あり、後横線の外側は灰白線にて縁取られ、外縁に灰白の二波状線あり、縁毛は灰白、基部は暗褐。後翅は黄色、

中室紋及び外縁に近き廣帯は暗色、外縁には暗色点を横列す、縁毛は黄白。開張一寸五分内外。これは燈火に飛来するも少なし。

分布—北海道、アムール、ウスリ。

アサケンモン

Aeronicta consanguis Butl.

前翅は暗灰色、横線は何れも黒色、劔状紋は黒色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、後縁角に存する劔状紋も亦黒色、外縁に黒点を

へ、その外縁の縦線列は暗褐。後翅灰白、脈は暗黒、外縁に近き廣帯は暗黒。開張二寸内外。これは燈火に飛来するも少なし。

分布—北海道、本州、滿洲。

リンゴケンモン

Aeronicta inretata Hampy.



前翅は灰白、少しく赤味を帯び、斑紋は黒色。後翅は白色、少しく暗褐を帯ぶるものあり、外縁は暗褐。胸背の長毛は灰白。開張一寸五分内外。これは燈火に飛来する普通種なり。幼蟲は

苹樹、梨、櫻、梅、李、柳等の葉を食す、一見ケンケムシに似たり。

分布—北海道、本州。

タイワンケンモン

Aeronicta formosana Mats.

前翅は灰色、横線及び斑紋は總て黒色。後翅白色、少しく暗色を帯び、紋線を缺き、外縁に黒点を横列す。縁毛は兩翅共に白色と黒色の斑を



なす。開張一寸四分内外。これは臺灣埔里地方に少なからざるが如し。
分布—臺灣。

ナカグロケンモン.....(六三四)

Aeronicta jankowskii Oberth.



前翅は白色、少しく暗色鱗を散在す、中央部及び後半は暗色を帯ぶ、前縁は翅底に近く黒色の半球紋を装ひ、其内部は暗色、翅底中央に黒色の縦線ありて、其末端に白紋を装ふ、前横線は黒色、後半にて其兩側は白色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取られ、中横線は黒色、其外方に数條の斷續せる黒線を横走す、後横線は黒色、波状線は暗色、外縁の點列は黒色、縁毛は白色と黒褐の斑をなす。後翅は暗褐、縁毛の外半は白色。開張一寸内外。これは餘り多からず。
分布—北海道、アムール。

チャウザンケンモン.....(六三五)

Aeronicta jozana Mats.



前翅灰白、紋線は黒色、前縁に約十枚ありて、一列をなす、環状紋は圓形、小、中紋は灰色、腎状紋は大、中紋は暗灰色、中脈の下に細線ありて、その中央より一枚を出し、これは末端にて二分す、前後の兩横線は一、波状、中間は白色、外縁に紋列あり、縁毛は白色、黒線を買通す。後翅は淡灰褐、中帯は不明、外縁の方は少しく暗色、縁毛は白色。開張一寸内外。これはアサケンモンに似る。その数少なし。
分布—北海道。

シロケンモン.....(六三六)

Aeronicta leporina L.

翅は白色、脈は暗褐。前翅の基部は少しく黒色を帯び、紋線は黒色。後翅は稍々半透明、外縁の點列は黒色。體は黒色、長毛は白色。觸角は白色、半面は黒褐。脚白色。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はヤナギ、ドロノキの葉を食す。



leucopis Hantl.

レポトラ形 *A. leporina* Stgr.
分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。
キハダケンモン.....(六三七)



前翅は灰白、斑紋は暗色、劍状紋は黒色。後翅は白色、翅脈は灰色、外縁は濃色、其内方の細帯は暗色。胸背及び腹基部は暗灰色。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。幼蟲は梅、桃等の葉を食す。
分布—北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞。

ウスジロケンモン.....(六三八)

Aeronicta leucopis Hantl.

前翅は灰白色、半横線は黒色、劍状紋及び前横線は黒色、腎状紋の内方及び環状紋の外方は黒



短にて縁取られ、兩紋は短黒線にて相連る、前縁の中央にある短線、後横線及び外縁の點列は黒色、縁毛は灰色。後翅は暗色、翅底の半は淡色、後横線は濃色、外縁線は黒點列より成る、縁毛は淡色。開張一寸五分内外。これは多からず。
分布—北海道、本州、朝鮮。

イボタケンモン.....(六三九)

Aeronicta lignetris S. et D.



前翅は暗褐、暗色鱗を散在し、外縁の三分の一は灰白色、横線は濃色、翅底の劍状紋は黒色、環状紋は暗色、白線にて縁取らる、栓状紋は暗色、外縁の中央及び後縁角は暗色、外縁に黒點を列ね、縁毛は白色と黒褐の斑をなす。後翅は淡褐、縁毛の外半は白色と淡褐の斑をなす。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はイボ

オホケンモン.....(六四〇)

Aeronicta major Bremer.



前翅暗灰色、環状紋及び腎状紋は判然し、翅底に近く大なる劍状紋を具へ、波状線は黒色、これに二劍状紋ありて、上方のものの小。後翅は灰褐。開張二寸一分内外。これは餘り多からず。幼蟲は桑の葉を食す。

シロフクロケンモン.....(六四二)

Aeronicta niveosjwarsa Mats.



雌、前翅は暗褐、白紋と黒紋の斑をなす、横線は判然せず、處々にて點紋に切斷す、環状紋は白色、兩側は黒色、中點は灰褐、環状紋と腎状紋との中間は暗色、後者は暗灰色、白線と黒線にて堺せらる、外縁は廣く白色、黒紋を散在す、前縁には白紋列あり、縁毛は暗色、白紋を列ぬ。後翅は灰色、脈は暗色。開張七分五厘。これは京都地方に産するも少なし。
分布—本州。

オホモリケンモン.....(六四三)

Aeronicta onorii Mats.

雌、前翅は灰色、少しく青色を帯び、紋線は黒色、亞底線は短かく、一、二の前横線と連絡し、後者は中脈下にて内折し、環状紋は灰白、卵形、兩側は黒色、後横線は前縁より中脈迄判然す、腎状紋は大、灰色、亞外縁線は少しく外方に曲



り、第三、四脈の處にて角
度をなし、縫線の處にて側
狀紋を出す、縁毛は白色、
暗色線を貫く。後翅は白
色、外縁線は黒色。開張一
寸一寸一分。これは少な
し。

分布 北海道、本州。

ドロケンモン

Aeronicta jui L.

(六四三)



前翅は灰色、各横線及び斑紋は暗黒、波状線は
黒色、其外方は稍々
濃色、外縁の點列は
黒色。後翅は灰色乃
至灰白色、外縁の一
帯は濃色。體は灰
色、黒毛を交へ、斑
をなす。開張一寸三
分内外。これは燈火に飛來すれども多からず。
幼蟲は白楊の葉を食害す。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

ニツクワウケンモン

(六四四)



前翅は暗灰色、後縁の翅底半は基部を除き暗
褐、尙、翅の中央に暗褐廣帯を具へ、翅端に近
き前縁、外縁の二紋及
び後縁角も暗褐、劍狀
紋は黒色、横線は何れ
も黒色と暗色の二線よ
り成り、環狀紋の中央
は暗褐、周圍は同色線
にて縁取らる、腎狀紋

は餘り判然せず、翅端に近き前縁に三、四個の
小淡色點を具へ、外縁及び縁毛の紋列は暗褐。
後翅は暗色、中室紋及び後横線は少しく濃色な
れども餘り判然せず。開張一寸三分内外。これ
は燈火に飛來すれども多からず。

分布 北海道、本州。

シモフリケンモン

Aeronicta pulverosa Hamppe.

(六四五)



前翅は暗色、灰色鱗を混
ず、横線、環狀紋及び腎狀
紋は灰色、劍狀紋及び栓狀
紋は黒色。後翅は暗色、紋
列は判然せず。開張一寸一
分内外。これは燈火に飛來すれども多からず。

分布 北海道。

分内外。これは京都地方に産するも少なし。
分布 本州。

サツボロケンモン

Aeronicta saiponensis Mats.

(六四六)



前翅は淡灰色、紋線は黒色、底線は中央下にて
一枚を出し、前横線と相連
絡す、外縁は白線にて縁取
らる、環狀紋は白色、黒環を
有す、腎狀紋大、白色、外側
は黒線に縁取られ、この兩
者は相連絡す、後横線は前
縁にて二點にて代表せら
る、亞外縁線は細く、波状、内側は白線にて縁
取られ、縫線の處にて劍狀紋を具へ、外縁に黒
紋を連ね、縁毛は白色、黒紋あり。後翅は白
色、外縁は暗灰色。開張一寸一分一寸二分。
これは札幌地方に産するも少なし。

分布 北海道。

サクラケンモン

Aeronicta strigosa F.

(六四七)

前翅灰白、翅底に黒色の劍狀紋を具へ、其下方は
黒色、その外側に暗黄線あり、環狀紋及び腎狀



紋は灰黄、その中點は暗色、外縁に近く犬牙狀
の黄白紋ありて、其外側黒
色、外縁及び後縁に近くこ
れに平行して各一個の劍狀
紋を出す。後翅は灰白、外
縁少しく暗色。開張一寸二
分内外。この幼蟲はサクラ、リンゴ、ナン等の
葉を食す。何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

ウスムラサケンモン

Aeronicta subpurpurea Mats.

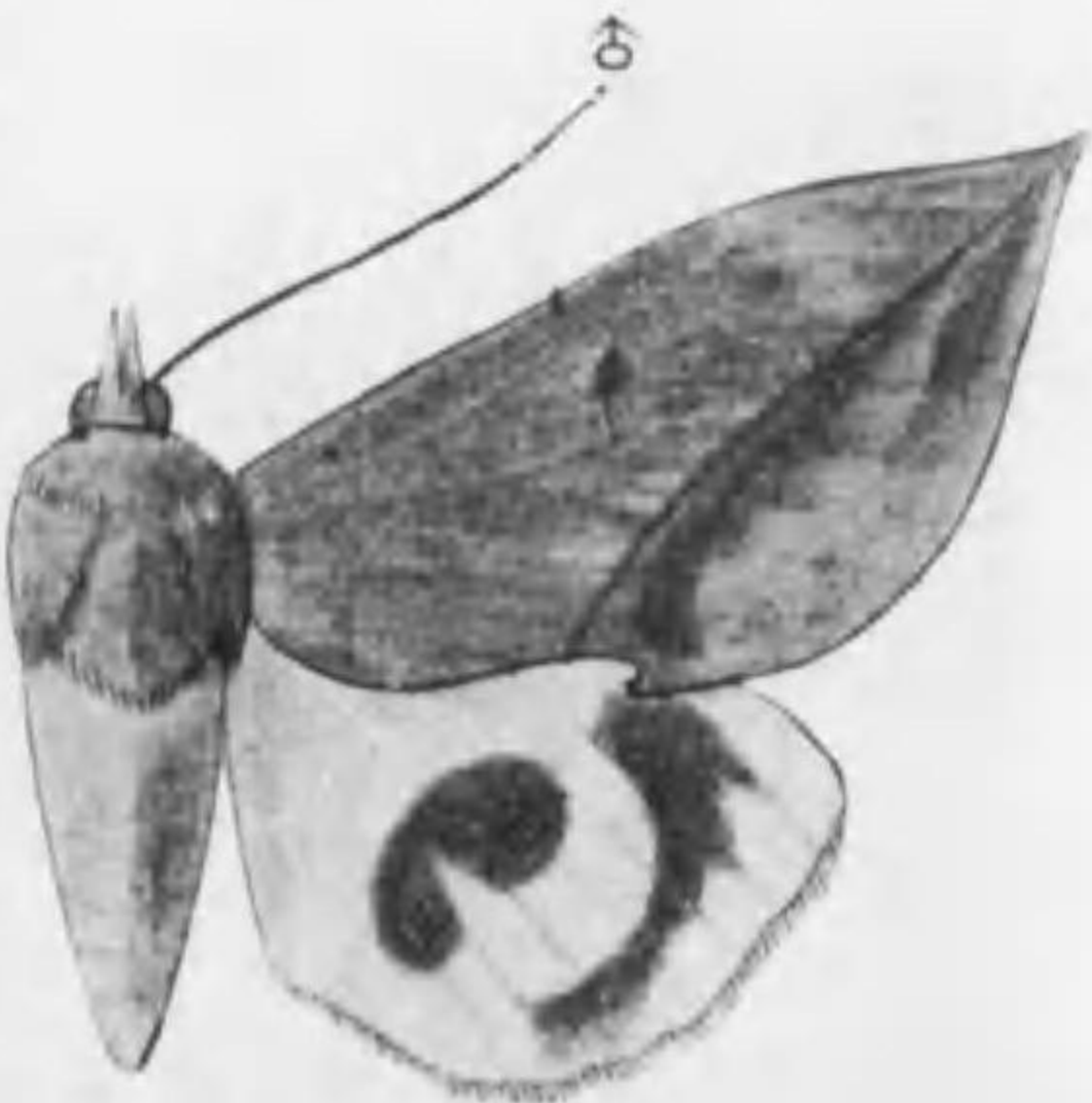
(六四八)



雄、前翅灰褐、紋線は黒色、少しく紫色を帯
ぶ、中脈下に太き劍狀紋ありて、末端に近き上
下に短枝を出す、前、
中兩横線は不明、唯だ
中脈上にて判然す、亞
外縁線は淡灰色、外縁
は黒線にて縁取られ、
波状を呈す、第五室及
び縫線上に劍狀紋を具

へ、後者は太し、外縁には黒點を列ぬ。後翅
は灰色、横脈紋及び外帯は暗色なれども、判
然せず。開張一寸二分一寸三分。これは燈火

第六 鱗翅目(蛾亞目)



アケビ、トリトマラズ等の葉を食す。糖液に集
まるも燈火に來らず。

分布 北海道、本州、九州、支那、印度。

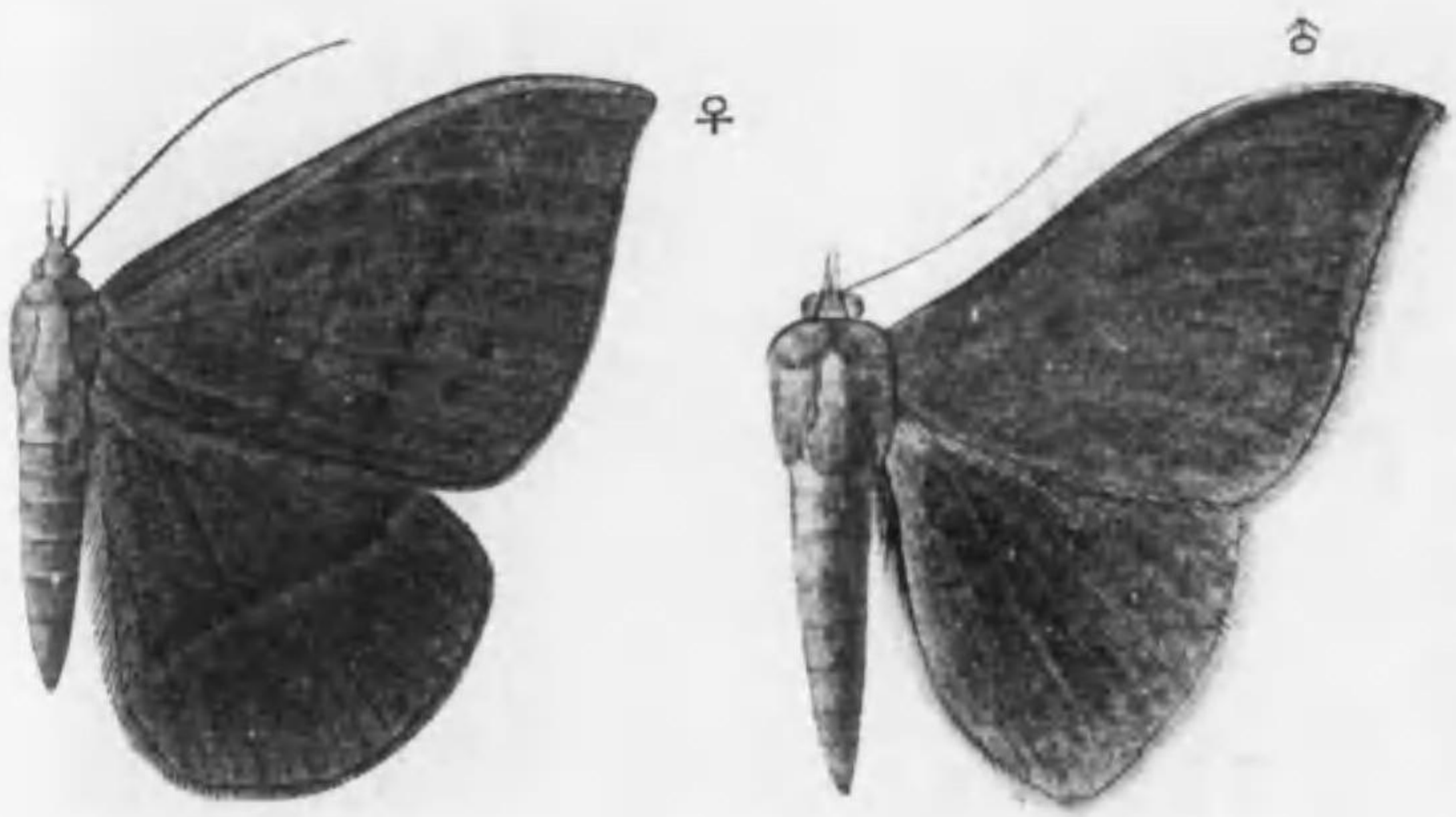
シロヘリクロクチバ

Agonista hylolenta Guér.

(六五〇)

雄、體翅は天竺絨様の黒色、少しく赤味を帯
ぶ。翅には紋線を缺き、縁毛は白色。雌にあり
ては表翅は暗褐、横線及び紋は稍々判然し、濃
色なり。裏面は何れも白色。開張三寸内外。こ
れは臺灣に普通なり。燈火に飛來するの性あれ

七五七



は、捕獲容易なり。
分布—臺灣、支那、印度。

エゾマダラヨタウ……………(六五二)

Agrotis jezeensis Mats.

前翅は灰白色、前横線の内側中央及び前縁に暗色を帯びたる部分あり、前縁は翅底に大なる白斑を具へ、劍状紋横線及び翅脈は黒色、斑紋は黒線にて縁取られ、腎状紋及び翅底の後半は褐色を帯ぶ、波状線は白色、後翅は白色、少しく暗色を帯ぶ。開張一寸四分内外。これは札幌地方に産するも少なし。
分布—北海道。



分布—北海道。

アコウツマジロガラス……………(六五三)

Akonus formosanus Mats.

體翅は黒色。前翅は少しく褐色を帯ぶ、翅端



に黄白の圓紋を具ふ、横線は淡色。後翅は暗色、紋條を缺く、翅底の半部は灰白。開張一寸四分内外。これは臺灣埔里地方には稀ならざるが如し。
分布—臺灣。

カラスヨタウ……………(六五五)

Amphipyra livida F.

前翅は紫色の光澤ある黒色。後翅は赤褐、前縁及び外縁の半部は暗色。體は黒色。頭頂は稍々黒褐を帯ぶ。口吻赤褐。開張二寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はタンポポの如き雜草を食す。
分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、印度、歐洲。



オホシマガラス……………(六五四)

Amphipyra monochlita Guen.

シマガラスに類似するも、その異なる所は、翅

シキリアアムシと稱し、櫻、掌樹、梨等の雑果を食ひ大害を加ふることあり。
分布—北海道、本州、九州、朝鮮、滿洲。

ツマジロガラス……………(六五七)

Amphipyra schrenkii Men.

前翅は黒褐、少しく紫色を帯ぶ、各横線は黒色、環状紋は白色、外縁は翅底よりも濃色、翅端の二紋は白色。後翅は暗褐、胸背は黒褐、口吻は赤褐。開張一寸七分内外。これは糖液に集まること多きも、燈火には餘り來らず。
分布—北海道、本州、九州、滿洲。



シロスチガラス……………(六五八)

Amphipyra tripartita Burt.

前翅は黒褐、横條は白色、波状線も亦白色。後

♀



は形大にして、一層濃き暗褐を呈し、前翅後半の横線は判然し、外方は白線にて縁取らるるにあり。開張二寸一

分内外。これは中國地方に稀ならず。
分布—本州、九州、支那、アムール、印度。

コシマガラス……………(六五五)

Amphipyra perflua F.

前翅は黒褐、環状紋は暗褐、半横線及び前横線は濃色、其中間は淡色、後横線は黒色、其外側は灰白、波状線白色、其内側の前縁は暗褐。後翅は暗灰色。開張一寸五分内外。



♂



前翅は暗褐。環状紋は灰白、中點は暗色、各横線は黒色、灰白縁を有す。後翅は赤褐、前縁は暗褐。開張一寸九分内外。これは燈火及び糖液に飛來する普通種なり。幼蟲は俗にシ

シマガラス……………(六五六)

Amphipyra pyramidea L.





翅は暗褐。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來するも少なし。北海道に産せざるが如し。
分布 本州、九州、支那。

ウスベリヤガ *Anacronicta nichia* Burt. (六六〇)

ホリシヤーナ形 ♂

前翅は黒色、翅底の後半、中央及び外縁は廣く淡色にして、少しく褐色を帯ぶ、中室に黒斑を具へ、横線は淡色、外縁に近く暗色横線あれども餘り判然せず。後翅は白色、暗色を帯ぶ。開張一寸四分内外。これは何れの地方にも少なし。幼蟲はヤナギランの葉を食す。
分布 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、滿洲、



翅は暗褐。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來するも少なし。北海道に産せざるが如し。
分布 本州、九州、支那。

ウスベリヤガ *Anacronicta nichia* Burt. (六六〇)

前翅は灰白、暗色鱗を混じ、殊に翅の中央、波状線の内側にて多し、横線及び波状線は暗色、環状線の周縁及び腎状紋の内側は黒色、翅底前縁の下方に短黒縦線を具へ、尙、中室後角の外方に稍々長き黒縦線を裝ひ、外縁に近く判然せざる暗色條を具へ、外縁に暗色條を横列す。後翅は暗褐。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。
分布 北海道、本州、四國、九州、支那。



オホムラサキクチバ *Anisoneura hypocyanea* Guen. (六六一)

前翅は褐色、紫色を帯ぶ、横線は黒色にして、波状線を呈し、前縁には三黒紋ありて、稍々三角形を呈す、環状紋及び腎状紋は稍々判然し、後横線の外方の一箇は淡色。後翅に多数の横帯あり



て、灰白と暗色と交互に排列す、但し強外縁は黒色、波状。開張二寸七分 三寸。これは埔里地方に産するも少なし。
分布 臺灣、印度。

チヤモンムラサキクチバ *Anisoneura saldreosa* Guen. (六六二)

體翅は黒褐。前翅は少しく紫色を帯び、横線は太く褐色、前縁線は内方に曲り、後半にて判然し、波状線は黒色、これと後横線との中間に赤褐圓紋ありて、その上方に黒色の短斜條を裝ふ。後翅の三帯は黒色、鋸齒状をなす。開張二寸二分。これは臺灣に産すれども餘り多からず。
分布 臺灣、印度。



トビモンカラフトヨタウ *Anomogyna brunneocincta* Mats. (六六三)



前翅は灰褐、中室の下方には判然せる一黒縦線を具へ、中室紋は灰白、中

室後角の外方には一黒點を裝ふ、横線は何れも暗色、強外縁線は黒點列より成る。後翅は暗灰色、翅底は淡色。開張一寸三分内外。これは北樺太に産するも餘り多からず。
分布 樺太。

ヤツガタケヨタウ *Anomogyna yatsugatakeana* Mats. (六六四)

雄、前翅灰褐、白紋及び暗色條を裝ふ、強外縁線は一雙、その中間は白色、中脈下の翅底に楔状の黒紋を具へ、前横線は一雙、暗褐、中間は白色、波状、栓状紋は長く、暗色、環状紋は大、點を列ね、白紋にて堺せらる、腎状紋は褐色、兩側は黒色、後横線は白色、波状、内側は暗色線にて縁取らる。後翅は灰黄、横脈紋及び外縁線は暗色。開張一寸二分。これは信州八ヶ岳にて發見せられたる珍種なり。
分布 本州。



ナカジロシタバ *Anopla leucosticta* Wlk. (六六五)

體翅は灰褐、前翅前縁線、前縁及び後縁は淡褐、腎状



體翅は灰褐、前翅前縁線、前縁及び後縁は淡褐、腎状

體翅暗色。前翅の横線は黒色、波状線は灰白なれども判然せず、後横線の外側に暗色の一線ありて、相平行す、環状紋、栓状紋及び腎状紋は判然せず、但し後者の中點は灰白、その下方に白色の大紋を具へ、前縁に白紋を列ぬ。後翅白色、外半は黒色、翅端線は白色。開張一寸一分内外。この幼蟲は甘藷の害虫にして、九州に普通なり。
分布 九州、沖縄、臺灣、支那、印度。



ヘリグロシタバ *Anopla leucosticta* Wlk. (六六六)

體翅は灰褐、前翅前縁線、前縁及び後縁は淡褐、腎状

紋は黒色、後横線は餘り判然せず、波状線は暗色、犬牙状をなし、その前縁に近き所に漆黒の二紋を装ふ。後翅の外縁に近き廣帯は黒色。開張二寸内外。これは臺南地方に稀ならず。

分布—臺灣(臺南)、支那、印度。

クロモンシタバ.....(六六九)

Anna tithnea Grun.

體翅は黄白。前翅少しく緑色を帯び、横線は暗緑、前横線及び後横線は後縁に於いて相連続し、



V字形の線紋を現はし、環状紋は黒色、腎状紋は褐色、その外方の前縁に暗色紋を具へ、波状線は暗褐、犬牙状をなし、その外方は淡褐、その前縁に漆黒の三小紋あり。後翅の外縁に近き

暗黒の一帯を装ふ。開張二寸三分内外。この幼蟲は漆科の植物を食す。臺南地方に少なからず。

分布—臺灣、支那、印度、歐洲、亞米利加。

カバマダラヨタウ.....(六六八)

Apamea cuneata Leech

前翅は暗褐、前縁及び外縁は他より少しく濃色、前者は少しく白鱗を混



ぜ、横線は淡色、中横線は暗色、環状紋及び腎状紋の周縁は淡色。後翅は暗色、少しく褐色を帯び、翅脈は濃色、縁毛は淡色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するもその數少なし。

分布—北海道、本州。

ヒメカバマダラヨタウ.....(六六九)

Apamea repetita F.

前翅は暗灰色、前縁は翅端を除き廣く暗色、後縁の中央は褐色を帯ぶ、外縁は暗色、横線及び波状線は何れも淡色、環状紋は褐色、周



オホシモフリヨタウ.....(六七三)

Aplecta gobiata Oberth.

體翅は白色、少しく青色を帯ぶ。體及び前翅の紋條は黒色。前翅は白色、複雑せる斑紋を有し、環状紋及び腎状紋は大にして、判然と、波状線は顯著なり。後翅は白色、外縁は廣く



暗色、中室紋及び後横線は暗色、内縁角に近く白色の一短線あり、外縁線は黒色、縁毛は白色開張二寸二分内外。これも北國に普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、アムール。

オホシラホシヨタウ.....(六七四)

Aplecta nebulosa Hufn.

前翅は暗褐、横線は灰白、黒縁を有し、前者の中央より黒縁ある灰色の粒状紋を出す、環状紋は白色。後翅は灰褐、内縁の長毛は灰白。體は

縁黒色、腎状紋は灰色にして、中央は大部分褐色。後翅は暗色、翅底は淡色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するもその數少なし。

分布—本州、歐洲。

シャウブヨタウ.....(六七〇)

Apamea nictans Bkh.

前翅は赤褐、環状紋及び腎状紋は黄褐にして、判然し、横線及び波状線を具



ふ。後翅は暗黄、縁毛は黄色。頭及び胸部は赤褐。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は菖蒲の體部に蠢入して、大害を加ふ。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲、亞米利加。

ホソウスバヨタウ.....(六七二)

Aplecta advena Schiff.

體翅は暗色。前翅は少しく褐色を帯び、半横線、前横線及び後横線は一雙より成り、黒色、中横線は暗色、波状線は灰色、環状紋及び腎状紋は淡色、周縁は黒色。後翅に紋條を缺き、縁



灰色。開張二寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は種々の雜草を食す。

分布—樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

クルマヤガ.....(六七五)

Arsarusa radians Westw.



前翅は黒色にして、少しく藍色を帯び、前縁及び後縁に黄白の三角紋若くは四角紋ありて、恰も車輪の如き觀あり。後翅は黒色、外縁の半部は白色、但し第七、八脈及び肛角は黒色。雌にては尾端の毛束は黒色、後翅の白色部は少な

し。開張一寸五分内外。これは埔里地方に稀なり。

す。

分布—樺太、本州、歐洲。

オホチヤイロヨタウ.....(六七三)

Aplecta adjuncta Stgr.

前翅は茶褐色、斑紋及び横線は淡色、尙、後横線と波状線との間及び後縁は廣く淡色、翅端に近く前縁に三小白點を装ふ。後翅は暗色、内半淡色。開張一寸五分内外。これも前種同様に北



國に多き種類なり。分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞。



マヘモンオホアツバ
Arceognathia subcostalis Wk.
分布 臺灣、印度。



オホテンオビヨ
Archamia aerea Btl.
分布 本州、朝鮮、支那。



オホテンオビヨ
Archamia aerea Btl.
分布 本州、朝鮮、支那。

翅は淡黄色、縁毛は白色。體は暗黄色。頭及び頭部は褐色。開張一寸五分内外。これは朝鮮には稀ならず。

分布 本州、朝鮮。

キスチウスキヨタウ
Archamia polita Wk.
分布 本州、朝鮮。

前翅は暗色、黄色を帯ぶ、中央の二縦線は黄褐色、外縁に淡褐色乃至暗黄色の短線を横列し、外縁には黒点を裝ふ、縁毛は淡色。後翅は淡黄色、少しく暗色を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來するも少なし。



ハガタウスキヨタウ
Archamia resoluta Hamp.
分布 北海道、本州、支那。

ハガタウスキヨタウ
Archamia resoluta Hamp.
分布 北海道、本州、支那。

前翅は灰黄色、紋條は暗色、前横線及び後横線は波状、前縁は淡色、環狀紋及び腎狀紋は稍々判然し、外縁に黒点を横列す。後翅は前翅より少しく淡色、紋條を缺く。開張一寸一分内外。

に突起す、亞外縁線は灰黄、波状、外縁線は黒色、波状。後翅は灰色、後横線は暗色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布 北海道、本州。

ナカジマヤガ
Athetis furva Hb.
分布 北海道、本州。

前翅は暗黄色、横線は暗色、後横線及び波状線の外側は淡色、中央に暗色帯を具へ、中室の中央に小黒點あり、横脈線は黒色。後翅は暗色、縁毛の基部は淡色。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はマカススキの如き禾本科植物の葉を食す。



ナカジマヤガ
Athetis furva Hb.
分布 北海道、本州。

ギンキシヨタウ
Atrachea niens Btl.
分布 北海道、本州。

前翅は暗褐色、翅底、環狀紋及び腎狀紋は淡色、横線は何れも黒色、半横線、後横線及び波状線の外側並に前横線の内側は淡色、外縁の點列は黒色。後翅は淡き暗褐色、外縁の點列は少しく濃色、縁毛は淡色。開張一寸三分内外。これは何れも餘り判然せず、前横



ススキキヨタウ
Arenostola suzuki Mats.
分布 北海道、本州。

ススキキヨタウ
Arenostola suzuki Mats.
分布 北海道、本州。



雄、前翅灰黄褐色、暗色鱗を散在す、翅底及び中室の中央に一暗色紋を裝ふ、前後兩横線は判然せず、波状、第一脈の處にて折れ、外縁には暗色點を列ぬ。後翅は前翅より淡色、横脈線は暗色。開張七分五厘。これは京都地方にて發見せらるるも少なし。

分布 本州。

ツキワクチバ
Artona dolata E.
分布 北海道、九州。

體翅褐色、腹部及び裏面は暗灰色。前横線及び後横線は灰白、環狀紋は黒點となり、腎狀紋は二個の環狀紋より成る、後横線の外側は暗褐色、外縁は灰白、これに三本の細き暗色の波状線あり。後翅は暗色、弓狀帯は青白、外縁及び縁毛



ツキワクチバ
Artona dolata E.
分布 北海道、九州。

ササヤマナ形
原種と異なる所は前翅灰白、環狀紋と腎狀紋の間は暗色、前翅兩端は黒線にて縁取らる。後翅の縁毛は白色。これは土佐笹山にて捕獲せられたり。



ササヤマナ形
原種と異なる所は前翅灰白、環狀紋と腎狀紋の間は暗色、前翅兩端は黒線にて縁取らる。後翅の縁毛は白色。これは土佐笹山にて捕獲せられたり。

スチアカガネヨタウ
Atrachea sorbida Btl.
分布 四國。



スチアカガネヨタウ
Atrachea sorbida Btl.
分布 四國。



サツボロチヤイロケンモン
Athamastis sapporensis Mats.
分布 臺灣、支那、印度。



サツボロチヤイロケンモン
Athamastis sapporensis Mats.
分布 臺灣、支那、印度。

前翅は灰褐色、銅色を帯び、紋條は暗色、底線は暗色、前横線は一雙、中間は淡灰色、環狀紋は大、圓形、黒線にて縁取られ、前縁にて開口す、腎狀紋は大、環狀紋に似る、輪狀紋は圓錐形、黒線にて堺せられ、後横線は一雙、波状、第五、六室にて犬牙狀

は灰白。開張二寸三分内外。これは埔里にて捕獲せられたるも少なし。

分布 臺灣、支那、印度。

サツボロチヤイロケンモン
Athamastis sapporensis Mats.
分布 臺灣、支那、印度。

線は中脈下にて一及となる、中央及び翅底の後半には銅色の鱗毛多し。後翅は暗褐。開張一寸二分。これは燈火に飛來する普通種なり。
分布 北海道、本州、朝鮮、アムール。

ハジマクチバ……………(六八六)

Arachna vulgaris Butl.

前後兩翅は白色にして、暗色を帯ぶ。前翅に黒色部ありて、前縁は中央まで細く黒色、腎狀紋は黒色、其上方の前縁に大黒斑ありて、その中に三、四個の淡色點を裝ふ、横線及び波狀紋は黒色なれども、大部分は餘り判然せず、外縁部は翅端を除き少しく黒色を帯び、外縁に黒點を横列す。後翅の翅脈は地色よりも少しく濃色。開張一寸一分内外。この幼蟲は筍の害虫なり。



ゴマダラシタキボシヨタウ……………(六八七)

Acotia flavoventralis Oberth.

色、外縁及び前縁は灰白。開張九分五厘。これは札幌地方にて燈火に飛來するも少なし。
分布 北海道、本州、アムール、ウズリ。

フジロアツバ……………(六九一)

Bathza simplex Butl.

體翅赤褐。前翅中室の二點、前縁に於ける一紋及び翅端に近き三紋は白色、縁毛には白紋を交ゆ。後翅に二白帯を具へ、中室は白色、縁毛は前翅と同様。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。
分布 本州、九州、支那。



ヨタウガ……………(六九二)

Harutara brusa-sivae I.

前翅灰褐、少しく赤味を帯び、横線、環狀紋及び栓狀紋は黒色、波狀紋及び腎狀紋は白色。
第六 鱗翅目(蛾亞目)



線は淡色、前縁に數個の黄白紋ありて、翅端にあるものは判然す、第一室(中室後角の下)の中央に圓形の白紋を具へ、亞外縁線は太く、暗色を呈す。後翅は黒色、黄色の二紋あり。雌にては横線、前縁紋及び後縁は白色。開張八分九分。これは札幌地方にて燈火に飛來する普通種なり。
分布 樺太、北海道、アムール。

ミミモンクチバ……………(六八九)

體翅は淡黄褐、翅には小黒點を密布す。前翅の中室に白紋を具へ、腎狀紋の周圍は黒色、その内部に二黒點を具へ、波狀紋は赤褐、翅端に近くく字形に屈折す、外縁に沿へる一線は黒色、縁毛は褐色。後翅紋は前翅紋の延長なり。開張一寸四分内外。これは沖縄地方に稀ならず。
分布 沖縄(八重山)、馬來、印度、亞弗利加。



トガリキリガ……………(六九〇)

Rachyranthia zelotyga Lecl.

體翅は暗黄褐。前翅の横線は黒色、白色の側縁を具へ、中横線は少しく屈曲し、其外方は暗色、横脈紋は新月形にして、黒色、その周圍は白色、前縁に黒色及び白色の小點を散在し、外縁に近く黒紋を列ぬ。後翅帯は前翅の延長なり。開張六分。これは燈火に飛來するも餘り多からず。
分布 本州、滿洲。



色。後翅は暗色、翅底淡色。頭及び胸部は灰褐。開張一寸三分内外。これは燈火よりも寧ろ糖液に多く集まる普通種なり。幼蟲は俗に夜盜蟲と稱し、甘藷、亞麻、大麻、蘿蔔、蕎麥、蕪麥等の葉を食し大害を加ふ、時に大發生す。
分布 日本全土、滿洲、支那、歐洲。

アラケンモン……………(六九三)

Ichthana virens Butl.

前翅の大半は白色、横線は暗褐、斑紋は黒色、縁毛は白色と黒色の斑をなす。後翅は暗褐、縁毛は白色。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なるが、その食草は判然せず。
分布 北海道、本州、朝鮮。



ソトウスアツバ……………(六九四)

Bertula listobialis Wlk.

體翅暗褐。前翅の横脈點は白色、その周



圍は暗色、亞外縁線は暗色、その外側は黄色線にて縁取られ、更にその外側は灰黄、外縁に白點を列ね、その周圍は暗色。後翅は前翅と稍々同様なれども、横脈點を缺く。開張一寸四分。これは本州に産するも少なし。
分布 本州、印度。

ハナマガリアツバ……………(六九五)

Bertula juralis Wlk.

前翅は暗褐、翅底に近き波狀の一帯、その外方の一點、腎狀紋及びその外方の横線は白色、外縁は灰白、その内側の一線は黒色。後翅の帯は白色、外縁及び内側の一線は前翅の延長なり。開張九分内外。これは餘り多からず。
分布 本州、朝鮮。



コウンモンクチバ……………(六九六)

Blattiorhinus ussuriensis Brem.

體翅は暗灰色。前翅の前横線は一及にして、黒色、相平行し、環狀紋は小、黒色、中横線太く、線上に二黄白點を具へ、波狀線は淡黄、翅端を二分せる一線とその内方にて合す、外縁の大部



は少しく紫藍色を帯び、その中に黒點を列ね、後翅に二黒帯と一灰色帯とあり。開張一寸四分。これは札幌地方に普通なり。竹藪に多し。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、ウスリ。

キノカハガ

Blenhina senex Butl.

前翅の大部は白色若くは灰色、青緑の斑紋を散在す、各横線及び波



状線は黒色、前横線外方の一横線は黒褐、翅底及び後縁角の各一紋は黒色。後翅は黄褐、外縁の廣帯は暗黒。開張一寸二分内外。これは北海道に産せず。幼蟲は柿の葉を食す。その樹幹に静止する時は保護色にして判然せず。

分布 本州



前翅は暗黒色、少しく褐色を帯ぶ、横線及び波状線は黒色にして、其内側乃至外側は少しく淡色、翅脈は黒色、前縁は廣く黄白、少しく褐色を帯ぶ、中央には三角形の黄白紋ありて、内部に暗褐紋及び同色の二斜線を具へ、波状線の外側に黄白の部分あり、縁毛の基部は淡色。後翅は暗色、横脈紋及び翅脈は濃色、縁毛は暗黄。開張一寸一分内外。これは糖液に來たるも少なし。

分布 本州。

オホハガタヨタウ

Biepharitia amica Treit.



前翅は暗褐、灰色を帯ぶ、翅底、後横線の外方及び腎状紋の周圍は淡色、横線は濃色、半横線及び後横線の外側並に前横線

シロスチアツバ

Boecma spaeoidis Wk.



體翅は黒褐。前翅に二條の白帯を具へ、翅端に近き一紋及び縁毛内の小點は白色。後翅の中央より内縁迄白色の二帯を横走し、縁毛

には白點を交ゆ。開張八分五厘。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

ハンダロアツバ

Bomolocha zilla Butl.

前翅は黒褐、中央より少しく外方に「」字形の白線を帯び、翅底の下半及び後縁は暗色。外縁部の條紋は濃色、翅端の一條は暗褐色によりて

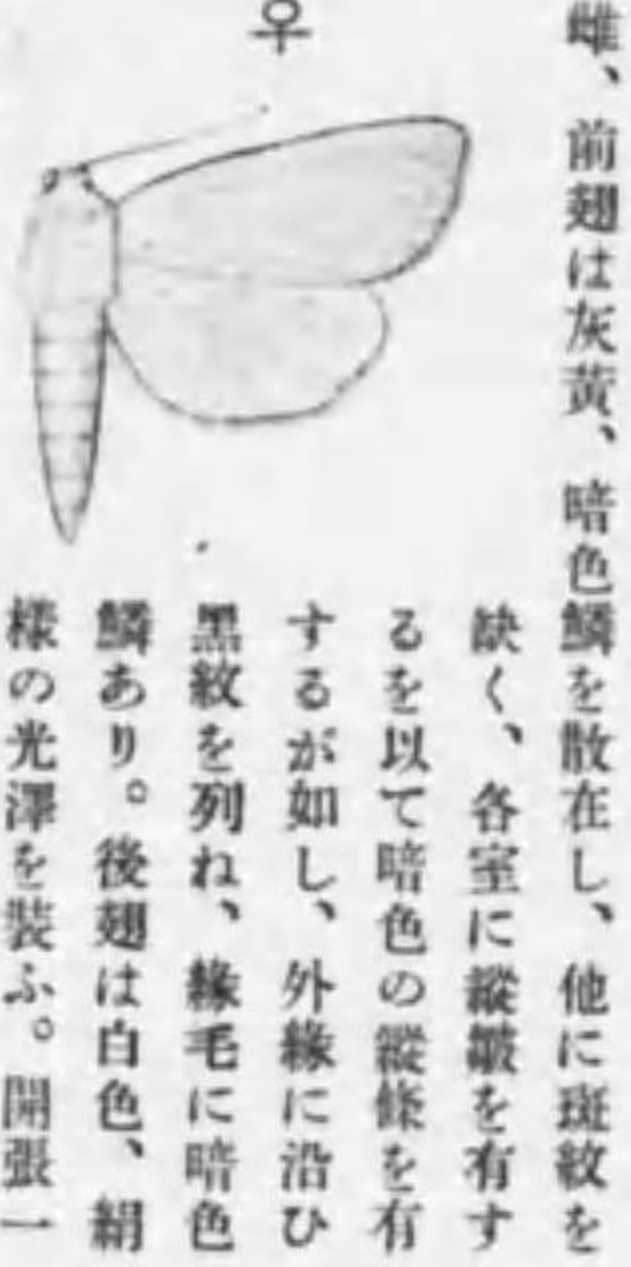


断せられ、外縁は灰褐。後翅は暗褐。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來するも多からず。

分布 北海道、本州、滿洲。

ムチウスイロヨタウ

Borelia griseola Mats.



雌、前翅は灰黄、暗色鱗を散在し、他に斑紋を缺く、各室に縦線を有するを以て暗色の縦線を有するが如し、外縁に沿ひ黒紋を列ね、縁毛に暗色鱗あり。後翅は白色、絹様の光澤を裝ふ。開張一寸半。これは札幌地方に産するも少なし。

分布 北海道(札幌)。

ベニウスイロヨタウ

Borelia subrosea Mats.

雌、前翅は灰色、少しく紫紅色を帯び、中室の後角に暗色點を具へ、全面に暗色鱗を散在す、前縁及び縁毛は紫紅色を帯ぶ。後翅暗褐、底部

第六 鱗翅目(蛾亞目)



淡色、縁毛は紫紅色を帯ぶ。開張一寸二分三分。これは札幌及び信州地方に産するも少なし。

分布 北海道、本州。

エゾモクメヤガ

Brachionyea nebeolosa Esp.



雌、前翅は灰色、斑紋は黒色、前横線は鋸状、内側は灰白線にて縁取らる、栓状紋の外側に白點あり、後縁の中央は廣く暗色、環状紋は小、腎状紋は大、何れも灰白、後者の下方に黒紋あり、第二、四、六室に長き黒紋を縦走す。後翅は灰白、横脈紋は暗色。開張一寸五六分。これは札幌地方に五月上旬捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布 北海道、歐洲。



體翅灰褐、紋條は褐色。前翅の前横線及び翅底線は灰白、その中間は濃色、中央に暗褐紋ありて、その外側は白線にて縁取られ、その内側に細き中横線ありて、後縁に達す、後横線は第六室の處にて外方に彎曲す、翅端に近き前縁に三角形の黒褐紋ありて、その兩側は灰白。後翅は暗褐。開張九分内外。これは本州に産するも餘り多からず。

分布 本州、臺灣、印度。

ナカフタヨタウ

Brittys nipponica Mats.



雌、前翅は暗色、紋條は黒色、亞底線は前縁及び縦線の基部にて判然し、後縁の基部に近く毛塊あり、中横線は二帯ありて、外方のものはスカロツプ紋となり、内方のものは紋狀に切斷せら

る、腎状紋は灰黄、その中の短線は暗色、兩側に暗色紋あり、後横線は灰黄、その外側に褐色紋を列ぬ、亜外線は細く、灰黄、波状、その外側は暗色、灰黄の縦脈にて遮断せらる、外縁線は黒色、スカロップ状となる縁毛は黒色、前後の兩角にあるものは淡色。後翅は灰白、前縁及び外縁は暗色。開張一寸五分。これは札幌にて四月捕獲せられたるが稀なり。

分布 北海道(札幌)。
附言 パンクラーチーに似れども、その異なる所は前翅に粒状紋を缺き、中央に一対の太き黒帯を有するにあり。

キグチヨタウ

Protolomia iris Guen.

前翅は黄褐色、中央部及び外縁は前縁を除き暗色を帯ぶ、横線及び波状線は暗色、内外側は淡色、環状紋及び腎状紋は淡色線にて縁取らる、外縁線は太く、暗色、断続す、縁毛暗色、基部は淡色。後翅は黄色、少しく暗色を帯ぶ、横線は暗色、餘り



ウスムラサキウハバ

Callogonia virgo Truit.

前翅は淡紫色、銀白の光澤あり、環状紋及び腎状紋は黒線を有し、其内外は白色、兩紋の間及び前者の内方は前縁まで褐色、横線は白色、其内側に淡褐色あり、翅端の一紋及び外縁は褐色。後翅は灰白、少しく紫色を帯ぶ。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも少なし。糖液にも集まる。幼蟲はヤマニンヂンの葉を食す。



キンツマキリヨタウ

Callojstria argyrosiela Paul.

前翅は赤褐色、少しく紫色を帯ぶ、翅底、環状紋及び腎状紋の中央は黄褐色、横線は黒色、環状紋の前方に小白紋を具へ、腎状紋及び翅端の波状をなせる弧線は白色。後翅は暗褐、縁毛は淡黄色。開張七分内外。



分布 北海道、朝鮮、ウスリ、アムール。

判然せず、外縁線は暗色。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來するもその數少なし。

ヨシヨタウ

Calamia lutescens Hll.

前翅は灰黄色、後横線は黒點より成り、外縁に黒點を横列す。後翅は白色、外半は暗色を帯ぶ、縁毛は白色。胸部は灰黄色。腹部は暗色にして、各節の末端及び尾端の簇毛は灰黄色。開張一寸六分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はヨシ、その他禾本科植物の雜草を食す。



サンカククチバ

Caliope hypocausta Guen.

體翅は淡黄褐、少しく灰色を帯ぶ。前翅の中央に白線ある三角形の大黒紋を具へ、その中央を貫きて二個の灰白線を斜走し、波状線は淡色、

ムラサキツマキリヨタウ

Callojstria purpurascens Hll.

前翅は黒褐、紫色を帯ぶ、後横線の外側は淡色、横線及び斑紋は黄白色、翅脈にも黄白の部分多し。後翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ、縁毛は黄白。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來するもその數少なし。



キスチツマキリヨタウ

Callojstria rivularis Wk.

前翅は暗褐、環状紋及び腎状紋は灰色、中央は淡褐を帯ぶ、前縁、中室の下方及び外方に黒斑あり、半横線及び前横線は共に二線より成り、暗色、後横線は黒色と褐色の二線より成る、波状線は灰色、前縁は外方に近く三個の小灰色點を装ひ、外縁には黒點を横列す。後翅は暗色、縁毛



その内側は黒色、外方は白色、縁毛の基部は黒色。後翅帯は淡色、その外側は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸四分。これは臺灣には稀ならず。

分布 臺灣、支那、印度、瓜哇、濠洲、亞非利加。

ヒメトモエ

Callesia dasyptera Koll.

體翅灰褐、頭、頸板及び腹部は紅色。前肢の基節、前中肢の脛節は紅色。前翅の中室に近く暗色鱗ありて、稍々渦狀に配列し、雌にては中室の末端に白紋を装ふ。開張一寸五分内外。これは埔里地方に産するも餘り多からず。



分布 臺灣、印度。

ウスエグリバ

Calpe capucina Esp.

前翅は灰黄、少しく紫色を帯び、翅端より後縁の中央に向へる一斜條は黒褐、その兩縁は黄褐、その外方は稍々淡色、その内方の四斜條は茶褐色、其中央の二條は濃色。後翅は淡黄、外縁は暗色。開張一寸四分。これは果實に口吻を挿入して大害を加ふ。何れの地方にも普通なり。



分布 北海道、本州、朝鮮。

ナカクロモンキリガ

Calypsalpala aurariae Oberth.

體翅淡褐、紋條は黒色。前翅の基部に小紋を散在



七七一

し、中室紋は種々四角形、環状紋と腎状紋は判然せず、その下方に大紋ありて、下端に二齒を出し、内端は細く、前縁に連す、腎状紋の外側に十字形紋ありて、その外側の前縁に一紋を装ふ。後翅に濃色の横脈紋及び中帯あれど判然せず。開張一寸二分—一寸四分。これは本州に産するも少なし。

分布—本州、アムール。

ニレキリガ

Calymnia affinis Tr.



前翅は黄褐、横線は白色、中横線は暗色、翅端に黒色の二點あり。後翅は暗褐、外半は黒色を帯び、縁毛は黄色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は楡、榊等に寄生す。

分布—北海道、本州、歐洲。

ハスオビキリガ

Calymnia bifasciata Sigr.

前翅は暗色を帯びたる黄褐色、前横線及び後横線は灰色、翅底は前横線まで少しく淡色。後翅白色、少しく暗色を帯ぶ、外縁(廣く)及び中室紋

フライエリー形 ♂ *C. pyperi* Leach
は暗色、縁毛は大部白色。開張一寸一分内外。これは天鹽地方には少なからず。暗んで燈火に飛來す。

分布—北海道、ウスリ、西比利亞。

シラオビキリガ

Calymnia campostigma Mén.

前翅は暗灰色若くは暗褐、横線は黒線を有する白色、中央部は赤褐乃至暗褐、く字形帯は褐色。前縁の半圓紋は白線を有す、外縁は暗色、



其内方に白條あり。後翅は暗褐、外縁に至るに従ひ濃色となる、縁毛は黄色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は甘藷、蘿蔔、豌豆等の葉を食害す。

分布—本州、支那、滿洲。
キシタキリガ
Calymnia moderata Sigr. (710)

前翅は灰黄、少しく黒鱗を散布す、前横線及び後横線は黒色、中横線及び波状線は暗色、縁毛は少しく褐色を帯ぶ。後翅淡黄色、外縁に暗色の廣帯を装ふ。開張一寸二分内外。こ



れは天鹽地方に普通なり。分布—北海道、アムール。

サンカクキリガ

Calymnia penbertoni Holl. (711)



前翅は暗黄色、紋線は暗色、後横線はく字形を呈し、外方にはこれに平行せる一細線を装ひ、横脈點は黒色、前縁の翅端に近き所に黒紋ありて、その外側は白色、環状紋及び腎状紋は判然せず。後翅は暗色、外縁は廣く濃色、縁毛は黄色。

Calymnia trapezina Tr.

前縁は赤褐、翅底に近く中央に淡色の一圓紋あれども餘り判然せず、前横線は暗色、其内側は淡色線にて縁取らる、栓状紋は不明、環状紋及び腎状紋の周縁は淡色、中横線及び後横線は暗色、其外側は淡色線にて縁取らる、波状線は暗色にして、餘り判然せず、



外縁は暗色、黒點を列ね、縁毛は暗褐。後縁は暗褐、縁毛は赤褐。開張一寸内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は榊、柳等の葉を食す。分布—北海道、本州、歐洲。

ニツクワウアヲモン

Ganna pulchripicta Wlk. (712)

前翅は青綠色、眼状紋は黒褐、其内縁及び外縁に銀白の周縁を繞らす、前縁角及び後縁角は白色、縁毛は中央にて黒褐。後翅は白色、外縁は暗褐を帯ぶ。體は暗褐、胸、腹兩背の中央に黒褐の毛塊を具ふ。開張一寸内外。これは



開張一寸二分内外。これは札幌地方に産するも少なし。分布—北海道。

ナシキリガ

Calymnia pyralis View. (713)



前翅は灰褐、横線は濃色、後横線の上方に弦月形の灰白紋を具へ、外縁に黒點を横列す。後翅は黒色、内半は淡色、少しく紫色を帯ぶ。縁毛は黄色。開張一寸一分内外。幼蟲は梨、榊、楡、楡等の葉を食す。分布—北海道、本州、ウスリ、歐洲。

シラホシキリガ

Calymnia restituta Wlk. (714)

前翅は栗色、少しく暗色を帯び、前縁に四白紋を具へ、第一は翅底にありて小、第二は前横線の處にありて種々四角形、大、第三は後横線の處にありて三角形、第四はその外側にありて小、その下方より灰白の細線を後方に送る。後翅は暗色、縁毛は黄色。開張九分—一寸一分。



これは燈火に飛來する普通種なり。分布—北海道、本州、印度。

ウスキキリガ

Calymnia usuriensis Mats. (715)

雄、前翅は灰黄、少しく紫色を帯び、翅底に二黒紋を具へ、横線は暗色、前横線は斜走し、細く、黒紋にて前縁に終る、中後の兩横線は第一脈の處にて近接し、その間室は褐色。後翅は淡灰色、後横線及び亜外縁の兩線は灰色。開張九分五厘。これは確米峠にて發見せられたるも稀なり。分布—本州。



イタヤキリガ

日光地方に産すれども稀なり。

分布 本州、印度。

スギタニアアヲモン……………(七七七)

Ganna suginani Nag.

前翅は淡き橙黄色。翅底及び翅の中央に暗褐色の横帯を装ひ、後者の兩側の前半は黒線にて縁取られ、外縁に黒點列を具へ



♂

第六脈上の白點は暗褐色にて縁取らる、縁毛暗褐色、外半は淡色、末端に斷續せる暗褐色を横走す。後翅は暗色、少しく黄色を帯び、外縁に黒點を横列す、縁毛は黄色。開張九分内外。これは日光にて捕獲せられたるも少なし。

分布 本州。

マヘジロアツバ……………(七七八)

Chrysothes cinerea Ishii.



♀

體翅は黒色。前翅に灰白の小紋を密布し、前縁基部の三分の一は淡黄褐色、これに黒色の三短線を具へ、翅底より中室端迄少

しく暗色を帯び、中室に二黒點を装ひ、その周縁は黄褐色、翅端に近き外縁は褐色、縁毛は暗色、灰白の小斑を交ゆ。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。

分布 北海道、本州。

シロイチモンジヨタウ……………(七七九)

Caradrina exigua Hb.



♂

前翅は黄褐色、前後兩横線は黄色、前者の外側及び後者の内側暗色、環狀紋及び腎狀紋は黄色線にて縁取られあれども判然せず、但し後者は後端に暗色の一點を藏す、

中央及び後横線と外縁との間に暗色線を横走すれども判然せず、外縁に黒點を横列す。後翅は暗色少しく黄色を帯ぶ、外縁は暗色點より成る、縁毛は黄白。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。

分布 北海道、支那、ウスリ、歐洲。

クマモトシロシタヨタウ……………(七八〇)

Catoplia kumamotoensis Mats.

前翅は暗灰色、紋は暗褐色、中室の中央に四角



♂

形の斑紋を具へ、中横線は細く、波狀を呈し、横脈紋は弦月形、その下方に三角形の白紋を装ひ、後横線は波狀、その兩側は灰白、更にその兩側は暗色帯にて縁取らる。後翅は灰白、外縁に廣き黒帯あり。開張一寸四分。これは熊本地方に産するも少なし。

分布 九州(熊本)。

ペニシタバ……………(七八二)



♀

分布 本州。

ムラサキシタバ……………(七八三)

Catocha fraxini L.

前翅暗灰色、黒點を密布し、横線は黒色、腎狀紋の周圍は黒色、その内部は淡黄、その下方に黄白紋を具へ、その周圍は黒色、後横線は一雙エゾエンシス形

♂, *f. jezoensis* Mats.



より成り、その間室は淡黄、波狀線は太く、黒色、外縁に新月形の黒點を横列す。後翅は黒

褐色、廣帯は藍色、外縁及び縁毛は白色。開張三寸六分内外。この幼蟲はニレ、ドロ、トネリコ等の葉を食す。九月中旬少なからず。

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

オホシロシタバ……………(七八四)

Catocha lara Brem.

前翅灰色、横線は黒色、前横線及び後横線は中室下にて黒線にて連絡し、腎狀紋は白色の周



♂

縁を具へ、内部は暗色、その内外は淡色、後横線の外方は少しく褐色を帯ぶ。後翅は黒色、帯

Catocha alba Hb.

體翅灰白。前翅の横線は何れも角張りて中脈の處にて終る、後横線は著しく外方に突出し、M字形をなす、腎狀紋は淡褐色、その下方に又狀の縦線あり。後翅は紅色、二條の黒帯ありて、内方のはく字形に折る。開張二寸四分内外。幼蟲は草樹、柳、白楊等に寄生す。札幌地方には普通なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。

チャイロシタバ……………(七八五)

Catocha infusa Loewh.



♂

前翅は灰白、褐色鱗を散在し、斑紋及び横線は黒褐色。後翅は灰黄、暗色の一帯を具ふ。體は灰黄。開張二

寸内外。これは本邦稀なる種類なるが、北海道には産せざるが如し。

及び縁毛は白色、開張三寸内外。この幼蟲はサクラの葉を食す。札幌地方には普通なり。

分布—北海道、本州、滿洲、西比利亞。

シロシタバ *Catocha niyea* Bantl. (七三五)

Catocha niyea Bantl.

前翅は灰白、横線は黒色、何れも前縁及び後縁に近く青白の側縁を有す、後横線は第五脈上に



て、第五、六脈の中間を縦走する黒線と相連絡し、腎狀紋及び外縁に沿へる約七小紋は青白。

後翅は白色、少しく黄色を帯び、帯は黒色。開張三寸内外。これは燈火に飛來す。幼蟲はサクラの葉を食す。

分布—北海道、本州、支那、印度。

ノザハシロシタバ *Catocha nozawae* Mats. (七三六)

Catocha nozawae Mats.



前翅は灰色、褐色鱗を密布す。各横線及び外縁の紋列は黒褐、前中兩横線の外側の大紋は灰白、中央は廣く黒褐。後翅は黄白、弓狀紋及び外縁の廣帯は黒褐、前縁角及び外縁白色。胸は灰色。腹部は灰白。開張一寸四分内外。これは札幌にて捕獲せられたるが稀なり。

エゾベニシタバ *Catocha nupta* L. (七三七)

Catocha nupta L.

前翅は灰色、褐色の斑紋を具へ、横線は黒色、波狀線の中央少しく白色縁を裝ひ、腎狀紋の周ヲブストラタ形 *f. obscurata* Oberth.



縁は黒色、内圍は灰色、内部は黒色、その下方に灰白の卵形紋を具へ、外縁に六黒紋を裝ふ。後翅は紅色、帯は黒色、内帯は細く、内縁に達せず、縁毛は白色。開張二寸六分。幼蟲はヤナギ、ドロの葉を食す。
分布—北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。

キンシタバ *Catocha patula* Feld. (七三八)

Catocha patula Feld.

前翅は暗褐、横線は黒色、腎狀紋は灰黄、内部は暗褐、その下方に灰黄紋あり、波狀線は黒褐、外縁に沿ひ灰黄の小點を横列す。後翅は橙

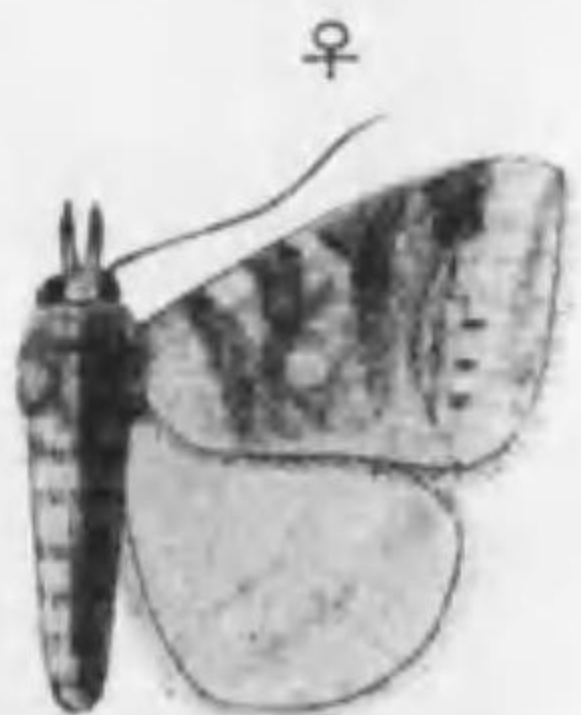


黄色、二帯は黒色、その内方のものはJ字形をなし、外方のものは内縁角に近く二突起を出す。開張二寸四分。燈火に飛來すも少なし。
分布—北海道、本州、支那。

ウンモンクチバ *Caeninda annetta* Bantl. (七三九)

Caeninda annetta Bantl.

前翅は暗褐、翅底及び後横線の外方は灰褐、前横線及び中横線は黒褐、後横線は彎曲して後縁



連にし、その外方の前縁に一黒紋を裝ふ、環狀紋は不明、腎狀紋は暗褐。後翅は暗褐色、淡色の二帯あれども、判然せず。開張一寸三分。中國地方に普通なり。幼蟲はハギの葉を食するもの如し。
分布—北海道、本州、朝鮮、臺灣、支那、滿洲、印度。

オホウンモンクチバ *Caeninda archesia* Gram. (七四〇)

Caeninda archesia Gram.



體翅は褐色。前翅底は少しく灰色を帯び、横線は黒色、後横線は黒色、後横線は黒色、外縁との間は暗褐色。後翅底には灰褐長毛を裝ひ、二帯は黒色。開張一寸

七分。これは中國地方に普通なり。幼蟲は豆科植物の葉を食す。
分布—本州、朝鮮、支那、印度。

カギモンヤガ *Cerastis pallens* Bantl. (七四一)

Cerastis pallens Bantl.

前翅は灰褐、暗色を帯び、基部及び中室の上部は淡色、半横線及び前横線は黒色、後者の内側には一暗色線を并走す、中横線、後横線及び波狀線は暗褐色、後者の外側は淡色線にて縁取らる、中室は前横線を越えて黒色、中央には灰白の大なる半環狀紋あり、腎狀紋は暗褐色にて縁取らる。後翅は暗灰色、少しく褐色を帯び、後横線及び亞外縁線は暗褐色。開張一寸三分内外。札幌地方にては四月下旬燈火に飛來する普通種なり。
分布—北海道、本州、アムール。



クロフケンモン *Chamaepora auricoma* F. (七四二)

Chamaepora auricoma F.

前翅は黒褐と灰白と相半ばす、斑紋は黒褐、外



雌の紋列は黒色。後翅は灰色、外縁は暗灰色。胸背は灰白、黒褐色を混ず。開張一寸二分。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はイヌイチヂの葉を食す。
分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。

ナシケンモン *Chamaepora ruficeps* L. (七四三)



前翅は黒色と灰白と相交はる、各横線及び斑紋は黒色、腎状紋及び下方の一致は白色、其外側の斜状紋は黒色、前後兩横線の間は淡色。後翅は暗褐色、翅底及び中央は暗黄。各跗節は黒色と白色との斑をなす。腹部は暗黄。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は梨、李等の葉を食す。
分布 北海道、本州、支那、歐洲。



これはハンノケンモンに酷似すれども、後翅黄色なるを以て、容易に區別し得べし。雌にては前翅は暗灰色、紋列は黒色、環状紋は大、後横線は暗色、波状、縫線の處には白紋あり、亜外縁線は甚だしく波状をなす。
後翅は黄色、外縁は廣く黒色、第一室に黄白紋あり。開張一寸二分半。これは朝鮮水原にて捕獲せられたるも少なし。
分布 朝鮮。

キンガ *Chasmodon albionis* Brem. (七四五)



體翅白色、前翅は銀色を帯び、外縁に沿ひ黒點を列ね、中室後角に一黒點あり。後翅の縁毛には黒點を缺く。開張九分一寸。これは札幌地方に普通に於て、暗んで燈火に飛來す。



棒太、北海道、本州、アムール。
雌は黒色、翅底の三分の一は白色、絹状の光澤を帯ぶ。後翅の中央に一白紋を装ふ。體は白色。これは燈火に飛來するも、その數少なし。
分布 北海道、ウスリ、アムール。

ウラキンガ *Chasmodon nervosa* Hulst. (七四七)



體翅白色、少しく青色を帯ぶ。前翅の縦脈及び外縁線は黒色。後翅の脈も黒色。開張七分五厘。これはキンガと同様に燈火に飛來するも、その數少なし。
分布 北海道、本州。

ヒメクメヨクウ *Choritha polyodon* Gierck (七四八)

前翅は黄褐色、中脈の上下、腎状紋、波状線の内



側は翅脈を除き何れも白色、中脈の下方に翅底より中央の近くに達する一黒縦線あり、腎状紋の内部は中央部を除き黄褐色、縁毛は中央にて淡色線を横走す。後翅灰白、外半は少しく暗色を帯び、暗色の中室紋を装へども、餘り列然せず、縁毛は白色。開張一寸内外。これは稀なり。
分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

ツメグサガ *Chloridea alpestris* L. (七四九)



前翅は暗褐色、環状紋は黒色、その周圍に四黒點を具へ、腎状紋は黒色、これを貫通する暗色線ありて、この線と外縁との中間に同様の太き横線を装ひ、その前縁に接する部分は黒色、外縁



に七黒點あり。後翅は黄白、中央の一致及び外縁の廣帯は黒色、後者の中央に黄白の楕圓紋あり。開張一寸二分内外。この幼蟲は大小豆、その他豆科の植物に有害なり。
分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

タバコガ *Chloridea alpestris* L. (七五〇)

前翅は暗黄若くは黄、暗色の縦條あり、半横線及び前横線あれども判然せず、環状紋は小、腎状紋は大、耳形を呈し、その中部に暗色紋ありて、これより後縁に中横線を透る、後横線は一

シモンキンウハバ *Chrysophora camporum* Knuth (七五二)

の幼蟲は有名なる煙草の害蟲にして、この他種々の植物を害す。世界共有の害蟲なり。本邦には少なし。
分布 世界共有。



ミカテナ形 雌
E. nivalina Hulst.
前翅は暗褐色、少しく紫色を帯び、翅底、外縁の上方及び後縁の中央より第二脈に亘りて金色の不正紋を装ひ、横線は一雙にして暗黒、少しく金光を放ち、環状紋及び腎状紋は判然せざれども、中室下の鈎状紋は金色。後翅は暗色、少しく紫色を帯び、淡色帯を装ふ。開張一寸内外。これは餘り多からず。
分布 樺太、北海道、本州、ウスリ、アムール、歐洲。

カクモンキンタバ *Chrysothrips amata* Brem. (七五三)

前翅は暗褐色若くは灰褐色、少しく黒色を帯ぶ、翅底に近きく字形の廣帯は黒色、その兩側は灰白其外方の廣帯は暗黒、兩帯間の小紋は黒色、波状線は黒色。後翅は暗色、中央の一帯は橙黄色、前縁及び後縁の兩角に黄紋あり、内縁の長毛は灰黄。開張二寸一分内外。これは本州に稀



ウシモンキシタバ……………(七五三)
Chrysothirum flavomaculata Brem.

セリケウム形 ♀ 前翅は黒褐、横線は暗色、翅底及び前横線と中横線との間並に外縁は淡色、環状紋は黒色、腎状紋は灰色、その内部は黒色。後翅は黒褐、廣帯は黄色。開張一寸七分内外。これは

ならず。
幼蟲はハギの葉を食す。
分布 北海道、本州、朝鮮、満洲、支那。



シロテンネグロヨタウ……………(七五四)
Chytonix nigricaulis Hampé.

體翅灰褐、紋條は黒色。前翅の基半部は黒色。後横線はく字形に折れ、その後縁の黒色部に接する所に一白點あり、亞外縁線は前縁にて判然せず、外縁線は端直、第四脈は黒色、環状紋は白色、腎状紋は判然せざるも耳形を呈す。後翅の横脈紋は弦月形なれども判然せず。これは樺太に稀ならず。
分布 樺太、北海道、支那。



ウシモンキシタバ……………(七五三)
Chrysothirum flavomaculata Brem.

體翅は暗褐、前翅中央の廣帯は濃色、前縁角に近きく字紋は同じく濃色、其兩側は灰白、外縁の細條は灰白。後翅は暗黄褐。開張九分内外。これは燈火に飛來するも、その數多か

チャオビヨタウ……………(七五五)
Chytonix segregata Batt.



シロテウスジロヨタウ……………(七五七)
Orthops irregularis Wlk.

前翅は暗褐。中脈上に黒色の縦條を具へ、翅端下より内方に黒線を縦走す、外縁は翅端を除きて少しく黒味を帯ぶ、中室紋は白色、縁

ならず。
分布 本州、朝鮮、支那、西比利亚。

分布 本州、琉球。
前翅は灰褐色、前縁の外縁に近き部分及び後縁は少しく淡色、多數の細き暗褐條を縦走し、翅の中央を越へて二双の暗色點列を横走す、縁毛は少しく地色よりも淡色。後翅は白色、外半は少しく暗色を帯び、縁毛は白色。開張一寸四分内外。これは本州に産するも少なし。
分布 本州、琉球。

分布 本州、九州、満洲。

毛は黒褐。後翅は白色、外縁は淡褐、外縁線は黒點より成れども、後縁に至るに隨ひ判然せず。開張一寸一分内外。これは本州に産するも稀なり。
分布 本州、臺灣。

ミドリキリバ……………(七五八)
Olethreophora distincta Leech



前翅は緑色、外縁に近く淡色の一線を横走し、その外方は濃色。後翅は赤褐。開張一寸四分。これは燈火に飛來すれども、その數少なし。幼蟲は未だ判然せざるも、モクゲの葉を食するもの如し。
分布 本州、朝鮮、印度。

フクラズズメ(カラムシガ)……………(七五九)
Georyctes coerulea Guen.

前翅は黒褐、各横線、波状線及び他の紋條は黒色、後縁に接する翅の大半は紫黒色、波状線の外側に弓狀の紫黒線あり。後翅は黒色、條帯は



變色。開張二寸六内外。これは糖液に集まるも、燈火に來らざるが如し。幼蟲は苧麻、椿、椿等の葉を食す。



分布 北海道、本州、九州、満洲、印度。

キンスチアツバ……………(七六〇)
Colotoechia sativaeis Schiff.

前翅は灰色、黄褐の側縁ある黒褐色の三帯を裝ひ、その外方のものは彎曲す、外縁の一帯は暗色、その内方に黒點を列ね、縁毛は暗褐。後翅は暗褐、外縁に黒色の小點列あり。開張九分五厘。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は柳の害虫なり。
分布 北海道、本州、九州、歐洲。

スギタニソトジマヤガ……………(七六一)
Colocasia sugitanii Mats.

雄、前翅暗灰色、翅底、前横、中横、後横及び亞外縁の諸線は暗色、前横線は端直、前縁にて内方に曲る、環状紋は小、腎状紋は白色、中横線は波状、腎状紋の内側にて外方に曲る、後横線は中

横線に平行、以上三線は前縁にて横まる、亞外縁線は波状、細し、外縁線の外側は白色、波状、縁毛は暗色、縦脈の末端は白色。後翅は暗灰色。開張八分。これは京都にて発見せられたるが少なし。

分布 本州。

ソトジマヤガ *Colocastis jezoensis* Mats. (七六三)

前翅は暗色、中央部を除き白鱗を密布す、中央部は褐色を帯び、前横線は黒色、後横線及び波状線は暗色、前横線の内側に當り中脈下に一黒線を裝ひ、中室紋は淡色、黒色線にて縁取られ、外方に短黒線、下方に白紋を裝ひ、此紋の下側は黒色。後翅暗色、外縁線は暗色にして、断續す、縁毛は白色。胸背は灰色、少しく淡緑を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは稀なり。



分布 北海道。

シロテンキリガ *Conistra albipuncta* Jaschb. (七六三)

暗色、各節の後縁は淡色、尾端の縁毛は黄色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布 北海道、本州、アムール、歐洲、北米。

モンキキリガ *Cosmia fulvago* L. (七六七)

前翅は黄色、紋條は赤紫色、翅底に近く前縁に大紋を具へ、其内側に一横線あり、横脈紋判然す、翅端に近く前縁に一紋ありて、此中に二個の小黄點を藏す、縁毛は赤紫色。後翅は黄白色。開張一寸内外。これは北國に少ならず。暗んで燈火に飛來す。

分布 樺太、北海道、本州、亞細亞、歐洲。

ウスキリガ *Cosmia siphuncella* Hamp. (七六八)

前翅は黄色、紋條は暗褐、中室後角の圓紋は黒褐、中央は灰色、外縁は暗褐。後翅は淡黄白。頭胸部は黄色。腹部は黄白。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來す。

第六 鱗翅目(蛾亞目)

前翅は暗褐、少しく灰色を帯び、後横線と波状線の間は褐色、横線は黒色、波状線は淡褐、中室の外方に大なる黄白紋ありて、其上下に各一個の小なる同色點を裝ふ。後翅は暗色、紋條は判然せず、外縁線は濃色。開張一寸五分内外。これは少なし。

分布 北海道、本州。

ゴマダラキリガ *Conistra castaneofusca* Motsch. (七六四)

體翅は黄褐。前翅の横線は暗色、中央のものは外方に屈折して太く、後横線及び亞外縁線も亦太し、縁毛に黒點を列ぬ。後翅は灰黄褐、帯は暗色、前縁及び外縁の縁毛は少しく赤褐を帯ぶ。これは本州に産するも少なし。

分布 本州。

來するも少なし。分布 北海道、本州。

オホモンキキリガ *Cosmia tunicata* Graven. (七六九)

キイロキリガに酷似すれども、形邊に大、前翅の腎狀紋は下方に一暗色の紋を藏し、頭胸は黄色、胸背の中央に紫褐の毛塊を有する事に依りて區別せらる。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布 北海道、アムール。

オホアカキリバ *Cosmophila fulvida* Guen. (七七〇)

アカキリバに酷似すれども、その異なる所は、前翅は黄褐、各横線は赤褐、環狀紋の周圍は赤褐、波状線は餘り判然せず。開張一寸四分。燈火に飛來する普通種なり。この幼蟲はモクゲの葉を食す。

七八三

ナワキリガ *Conistra nawae* Mats. (七六五)

雄、前翅は褐色、紋條は赤褐、半横線は暗色、前横線は中脈の處にて廣く外方に曲る、環狀紋は不明、大にして卵形赤褐環ありて、その前縁は開口す、腎狀紋は不明、赤褐線にて界せられ、中後の兩横線は暗色、後者の外側は淡色、亞外縁線は淡色、外縁の各室に赤褐鱗を散在す。後翅は前翅と同色、横脈紋は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸一分。これは岐阜にて発見せられたるが稀なり。

分布 本州。

オビキリガ *Cosmia flavago* F. (七六六)

前翅は黄色、斑紋及び中央の廣帯は紫褐色。後翅は淡黄白、紋條は判然せず。頭及び胸部の前半は紫褐色、後者の後半は黄色。腹部は

張一寸四分五分。燈火に飛來する普通種なり。この幼蟲はモクゲの葉を食す。分布 本州、朝鮮、支那、印度。

アカキリバ *Cosmophila mesogona* Wk. (七七一)

前翅は暗褐若くは黄褐、横線は暗色、その側縁は灰白、前横線は三折して後縁に連し、後横線は中室の下方にて内方に屈曲す、波状線は暗色、灰白縁を具へ、縁毛は白色。後翅暗色。開張一寸四分。前種同様に燈火に飛來す。この幼蟲はモクゲの葉を食す。分布 本州、九州、支那、印度、歐洲。

ヒメアカキリバ *Cosmophila subulifera* Guen. (七七二)

前翅は暗褐、横線は黒褐、中室端に二黒點を具

へ、波状線は暗色、外縁は黒褐。後翅は淡灰色。開張一寸二分。この幼蟲はモクゲの葉を食す。これも燈火に飛來すればその捕獲困難ならず。

分布 本州、朝鮮、支那、印度。

オホナカグロヨタウ……………(七七三)

Urino melanodonta Hampé.

前翅は暗灰色、褐色を帯ぶ、鋸状紋は黒色、前横線は黒色、環状紋及び腎状紋は淡色、黒線にて縁取らる、中室下の長方形紋は淡色、兩側は黒線にて縁取られ、此紋の下方に黒線を縦走す、前横線と環状紋の間及び其下方は黒褐、後横線は淡色、亞外縁線は白色、中央の内側に短黒線を並列す、前縁は翅端に近く數個の白点を裝ふ、外縁線は黒点より成る、縁毛は淡褐、中央に黒線あり。後翅は暗灰色、少しく褐色を帯び、翅脈は濃色。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來するも少なし。



分布 北海道、本州。

キクセダカモクメ……………(七七四)

Quenilia asteris Schiff.

前翅は灰色、紋條は暗色、紫色を帯び、前縁は廣く黒褐、後縁及び翅脈は大部黒色、環状紋及び腎状紋は地色と同色なれども、中央部は褐色、周縁は黒色、前縁は翅端の近く淡色の小点を裝ひ、中央を越えて後縁に十字形の淡色紋ありて、其兩側は黒色、外縁に黒点を横列す。後翅は暗色、内半は灰白、翅脈は濃色、縁毛は白色。開張一寸一寸五分。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は菊科植物の害蟲なり。

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。



分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

Quenilia daizensis Mats.

前翅は暗灰色、翅底中央の短線、翅端近くの二短線及び中央の短線は黒色、中央に存するものは其直下に白線を具へ、尙、此線の上方及び翅端近くに存するものは上方にて少しく暗色を帯び、翅端に近く前縁に三小白点を裝ひ、横線は何れも判然せず、後横線は淡色にして稍々判然す。後翅は暗色、内半は淡色、縁毛は白色。開張一寸三分内外。これは伯耆大山にて捕獲せられたる珍種なり。

分布 本州。



ヨコジマセダカモクメ……………(七七六)

Quenilia formosa Kghfr.

前翅は灰色、多少暗色を帯び、環状紋及び腎状紋は淡色線にて縁取られ、殘部の紋條は黒色、翅端に近く前縁に小白点を裝ふ。後翅は暗色、翅底は淡色、翅脈は稍々濃色、縁毛は



セダカモクメ……………(七八〇)

Quenilia perforata Brem.

前翅は暗灰色、前横線は黒色、鋸齒状をなし、中横線は暗色、腎状紋及び環状紋の内縁は白色、其外縁は黒色、後者の下方及び外縁は白色



♀

ホソバセダカモクメ……………(七八二)

Quenilia fraterna Butl.

前翅は暗色、白色を帯び、横線は黒色、環状紋は白色を帯び、腎状紋の周囲は黒色、内部に同色の弦月形紋を具へ、外縁に近き前縁、第八脈上の短かき縦線並に外縁に沿ふて横走せる小点



♀

列は黒色。後翅は暗褐、其基部及び縁は淡黄、縁毛は白色。開張一寸四分内外。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲は菊科植物の葉を食す。

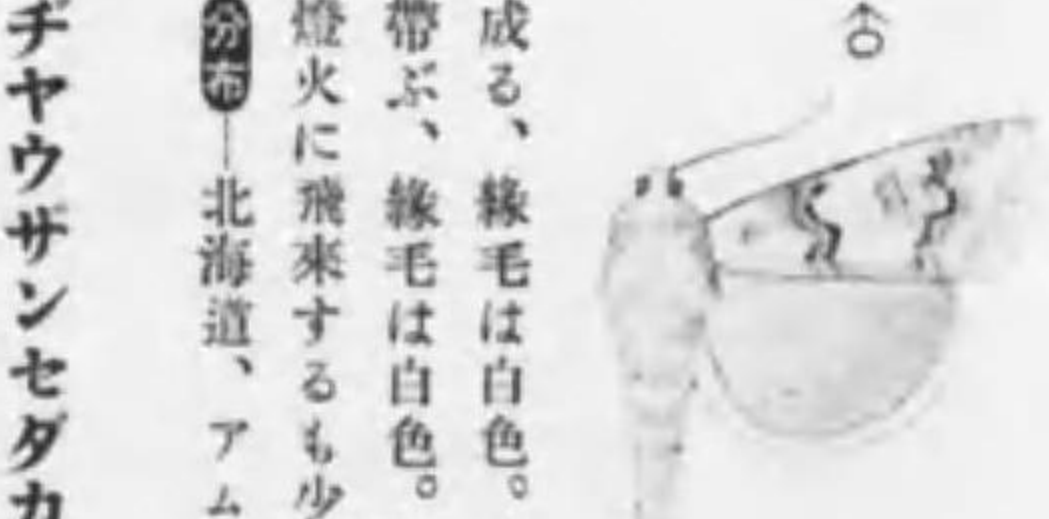
分布 北海道、本州。

ギンモンセダカモクメ……………(七八八)

Quenilia janowskii Oberth.

前翅は淡黄褐、中央部は銀白色、外縁に近く二條の白廣帯あり、翅底は廣く淡色、中央に小黒

第六 鱗翅目(蛾亞目)



♂

チャウサンセダカモクメ……………(七八九)

Quenilia jozankenna Mats.

前翅は暗灰色、暗色紋及び暗色の横線を具へ、後者波状、翅脈の大部は暗色、環状紋及び腎状紋は地色、暗色線にて縁取られあれども餘り判然せず。後翅は白色、外半は少しく暗色を帯び、翅脈は濃色、縁毛は白色。開張一寸三分内外。これは定山溪にて捕獲せるが少なし。



♂

分布 北海道。

シマセダカモクメ……………(七八二)

Quenilia verlaesi J.

前翅は淡褐、前縁及び後縁は黒褐、後縁の中央に半月形の灰白紋ありて、これより外方に向ひ二細線を縦走し、翅端に近き前縁に淡色の三小



これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はウマズキクワ、ゴマノハグサを食す。
分布—本州、西比利亞、歐洲。

シロモンオビヤガ
Dalica lineosa Moat.
體翅は紫褐色、前翅の横線及び波狀線は暗色、横脈上に一白點を裝ふ。後翅は少しく淡色、紋條を缺く。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。



分布—北海道、本州、印度。

ミドリケンモン
Dasythorax strabus Tenebr.
體翅は淡黄色、後翅は黄色、外縁及び縁毛は暗褐色。開張一寸一分内外。これは雑草間に普通なり。晝間飛翔す。幼蟲はヤブマツの葉を食す。燈火に飛來するもその數少なし。

前翅は淡綠色、紋條は黑色、中室稍々淡色、翅底に近く前縁に一短線を裝ひ、翅底の中央に縦線あり、前横線の外方に白線を並走す、環狀紋及び腎狀紋は列然せず、此兩紋間に暗線紋ありて、黒線にて縁取らる、松狀線は白色、周縁は黑色、後横線の内側に白線を并走し、外縁線は黒點列より成る。後翅は暗色、外縁に斷續せる暗色線を裝ふ、縁毛は白色。開張一寸三分内外。これは本州に稀ならず。



分布—北海道、本州、支那。

ヲガサハラヒゲヨタウ
Dasythorax ogatawarae Matk.
體翅は淡き暗褐色、灰色鱗を密布す。前翅の横線及び波狀線は暗色、翅脈も少しく濃色、斑紋は列然せず、外縁線は暗色にして、斷續す。



後翅の中横線及び外縁線は暗色。開張一寸一分五厘内外。これは父鳥にて捕獲せるが、少なか

らず。
分布—小笠原島。
マダラエグリバ
Deva castra Hnttl.
前翅は黄褐色、横線は黒褐色、何れも暗色の一線を伴ふ、(但し後横線は波狀をなし、腎狀紋の下方にて屈折し、其後縁に接する處には白細線を裝ふ)、半横線と前横線との間に銀色紋ありて、黒線を有し、腎狀紋の周圍は少しく銀色を帯び、その下端より暗褐色を後縁に斜走す、外縁に銀色の二紋を裝ひ、その周縁は黒褐色、翅端は白色、外縁に沿ふて白線あり。後翅は暗褐色、開張一寸内外。これは餘り多からず。



分布—本州、朝鮮、支那、アムール。

クロキシタアツバ
Dichromia amica Hnttl.
前翅は黒褐色、中央に灰白の一帯ありて、



その外方及び翅底は稍々灰白を帯ぶ。後翅は黄色、外縁及び縁毛は暗褐色。開張一寸一分内外。これは雑草間に普通なり。晝間飛翔す。幼蟲はヤブマツの葉を食す。燈火に飛來するもその數少なし。
分布—北海道、本州、九州、朝鮮、滿洲、歐洲。

キシタアツバ
Dichromia claripennis Hnttl.
前翅は暗黄褐色、前縁の内半は暗色、翅端より後縁に亘りて灰白の廣帯を斜走し、その内側の境界は列然せず、縁毛は暗色、種類によりこれに白色の二線を裝ふものあり。後翅は橙黄色、外縁は暗褐色、縁毛は暗色。開張九分内外。これは餘り多からず。



分布—本州、四國、九州、朝鮮、支那。

タイワンキシタアツバ
Dichromia trigonalis Guen.
前翅は暗褐色、中央及び外縁に近き二帯は灰色、



分布—本州、朝鮮、臺灣、支那、印度。

ウスツマガラス
Dynamna japonica Wk.
前翅は紫褐色、中央の約三分の一及び翅底は黑色、波狀線は白色、外縁に近く黒白の點線を横列す、翅端に近き小紋は黑色。後翅は暗褐色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するもその數多からず。



分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、印度。

ムラサキアツバ
Diomea crenata Hnttl.
前翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ、翅底及び前翅基部の三分の二は褐色、黒點を散在す、中央部



分布—北海道、本州、朝鮮、支那、アムール、印度。

シロフアラケンモン
Dipthera albissima Moat.
前翅は暗黄褐色、黒點を散在す、中央及び前縁角に稍々大なる灰色紋あり、横線は何れも白色及び黑色の二線より成る、前縁の外半に數個の小白點を裝ひ、外縁線は黒點より成る、縁毛の基半部は暗黄褐色、外半は白色、黒點列を裝ふ。後翅は暗色、縁毛の外半は白色。開張一寸内外。これは高山地帯に産するも少なし。



分布—本州、支那、印度。

ゴマケンモン

Dipthera alpinus Osh.

前翅は淡き青色、斑紋は白色と黒色、外縁には黒白相半せる約七個の小紋を列ぬ。後翅は暗褐色、トリナ形。 *L. murrhina* Graes.



黒色、後横線及び波状線は白色、此兩線の間に黒帯を現はし、外縁の暗色點列は餘り判然せず。後翅は灰白、外半は少しく暗色を帯ぶ、中室紋及び後横線は暗色。開張一寸一分内外。これは臺灣には稀ならず。 分佈 臺灣、支那。

アトジロヨタウ

Dipterygia erichfusca Hamp.

前翅は黒褐色、後縁には灰色の三紋ありて、これに黒褐鱗を混せる部分あり、翅端に近く前縁に判然せざる三、四個の小白點を裝ふ。後翅は暗色、縁毛は淡色、中央に暗色線を横走す。開張一寸三分内外。これは本州に産するも少なし。 分佈 本州。



前翅は淡褐色、全面に小暗褐點を散在す、翅底の中央に存する環状紋は黒色、中室の環状紋及び腎状紋は淡色なれどもその附近は廣く暗褐色、前縁及び外縁にも暗褐色の部分あり。後翅は暗色、翅脈は少しく濃色、縁毛は白色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも少なし。 分佈 本州。

ナカオビキリガ

Dryolota intermissa Butl.

前翅は淡褐色、全面に小暗褐點を散在す、翅底の中央に存する環状紋は黒色、中室の環状紋及び腎状紋は淡色なれどもその附近は廣く暗褐色、前縁及び外縁にも暗褐色の部分あり。後翅は暗色、翅脈は少しく濃色、縁毛は白色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも少なし。 分佈 本州。



ヒメゴマケンモン

Dryobotolis (Dipthera) yonusha Kuroki

前翅は青白、斑紋は黒色、環状紋の附近は暗色、内部に黒點を具へ腎状紋の外方に三角形の一紋あり。後翅は灰褐色、外縁は少しく濃色、縁毛は灰色。頭及び胸背は灰白。前胸背中央に三角形の毛塊ありて、その周囲は黒色。腹部は灰褐色、背上に黒色の三毛塊を裝ふ。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。 分佈 北海道、本州。



前翅は褐色、紋條は灰黄、環状紋は圓形、灰黄環を有す、腎状線は大、楕圓形、後横線は第六脈の處にて内方に曲り、前縁の末端に近く暗褐色を具へ、これは外方にて少しく列られ、灰黄線に

ツマモンヤガ

Dryzala coreana Mats.



前翅は褐色、紋條は灰黄、環状紋は圓形、灰黄環を有す、腎状線は大、楕圓形、後横線は第六脈の處にて内方に曲り、前縁の末端に近く暗褐色を具へ、これは外方にて少しく列られ、灰黄線に

ワタリンガ

Earias eupreoviridis Wk.

體翅黄緑。前翅の外縁は黒褐色、その内側は黄色、翅底より翅の中央迄、前縁に沿ひ楔状の暗黄色紋あり外縁及び縁毛は黒褐色。後翅は白色、光澤を帯び、縁毛の基部少しく暗色を帯ぶ。開張七分内外。この幼蟲は棉の害蟲にして、その實を食す。臺灣地方に普通なり。 分佈 本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。



アカフキリガ

Ecceperoma fulvatum Graes.

前翅は赤褐色、少しく紫色を帯ぶ、各横線は暗色、外縁線は黒點より成る、縁毛は赤紫色。後翅は灰白、外縁の前半に暗色點列を裝



クビグロセタカ

Ecerita nuxima Broun.

體翅は灰褐色、前翅の横線、環状紋は灰白、その内側の前縁は稍々暗色を呈す。後翅は黄白、外縁は暗色。開張一寸八分内外。これは燈火に飛來するも、晝飛行なり。幼蟲は不明。 分佈 本州、朝鮮。



マルシラホシアツバ

Maesena gentianalis Wk.

體翅暗灰色、横線は暗色。前翅の腎状紋は白色、大形、その後縁の外側に突起あり、横線は何れも波状、後横線は弓状をなす。後翅に三帯



あり、中室紋は灰白。開張一寸八分。これは九州に産すれども稀にして、臺灣には普通なり。
分佈 九州、臺灣、支那。

オホシラホシアツバ

Elasena lamada Pict.



體翅は暗褐。前翅中室端のV字紋は白色、外縁は少しく淡色。後翅の中室點は白色、種類によりこの點の判然せざるものあり。開張一寸五分内外。これは信州地方にて燈火に飛來する普通種なれども、北海道に産せず。
分佈 本州、九州、朝鮮。

シロテンウスケクロヨタウ

(八四)



に向へる斜線は後半にて二分す、亜外縁線は三本、何れも波状。後翅の前横線は二本ありて中横線は波状、亜外縁線は二本、灰黄のスカロツプより成る。開張三寸二分内外。これは埔里に産するも少なし。
分佈 臺灣、支那、印度。

キイロカキバ

Ennomia shiva Guen.

體翅灰黄、翅の裏面及び體下は橙黄色。前翅の前横線は判然せざれども、前縁にて一點となり、横脈紋は二點となる、中室後角の外方に三

Elydus albosignata Oberth.

前翅は灰褐、横線及び波状線は暗色、中室は翅底に近く小白點を具へ、横脈上に橙黄色の一紋を裝ひ、其上下に各一小白點を有す、外縁には淡色點を横列す。後翅は白色、褐色を帯ぶれども、翅底に至るに暗い淡色となる。翅脈は多少濃色、縁毛は白色。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。
分佈 北海道、本州、アムール。



ホリシヤカキバ

Ennomia horishana Mats.

體翅灰色。體下及び翅の裏面は紅色。前翅の紋條は暗色、前横線は前縁に於てのみ判然し、中脈及び第一脈の處にて一點となる、横脈紋は二黒點となり、後方のものは大、後横線は一双にして、稍々相平行し、波状、内方のものは第二脈以下にて端直、外方のものは各脈上にて點紋となり、その脈は外方にて白色、翅端より灰白帯を後縁の中央に斜走す、亜外縁線は白色、波状、後縁にて太し。後翅の中帯は前翅の延長、後横線は點紋より成り、各紋の外側は白色、亜外縁



紋ありて、中央のものは楕圓環となる、後横線は第五脈の處にてく字形に屈折すれども、その部分にて判然せず、亜外縁線は一双、内方のものは稍々判然すれども、外方のものは判然せず、翅端より暗色の斜線を出し、これは後横線と相合して長き斜線を有するが如し。後翅の中帯は判然すれども、他の波状線は判然せず。頭板は黒褐。開張二寸五分。これは埔里にて捕獲せるも稀なり。
分佈 臺灣、印度。

カキバ

Ennomia vespertilio F.

翅は灰褐、中央の二條は黒褐、外縁の廣帯は灰

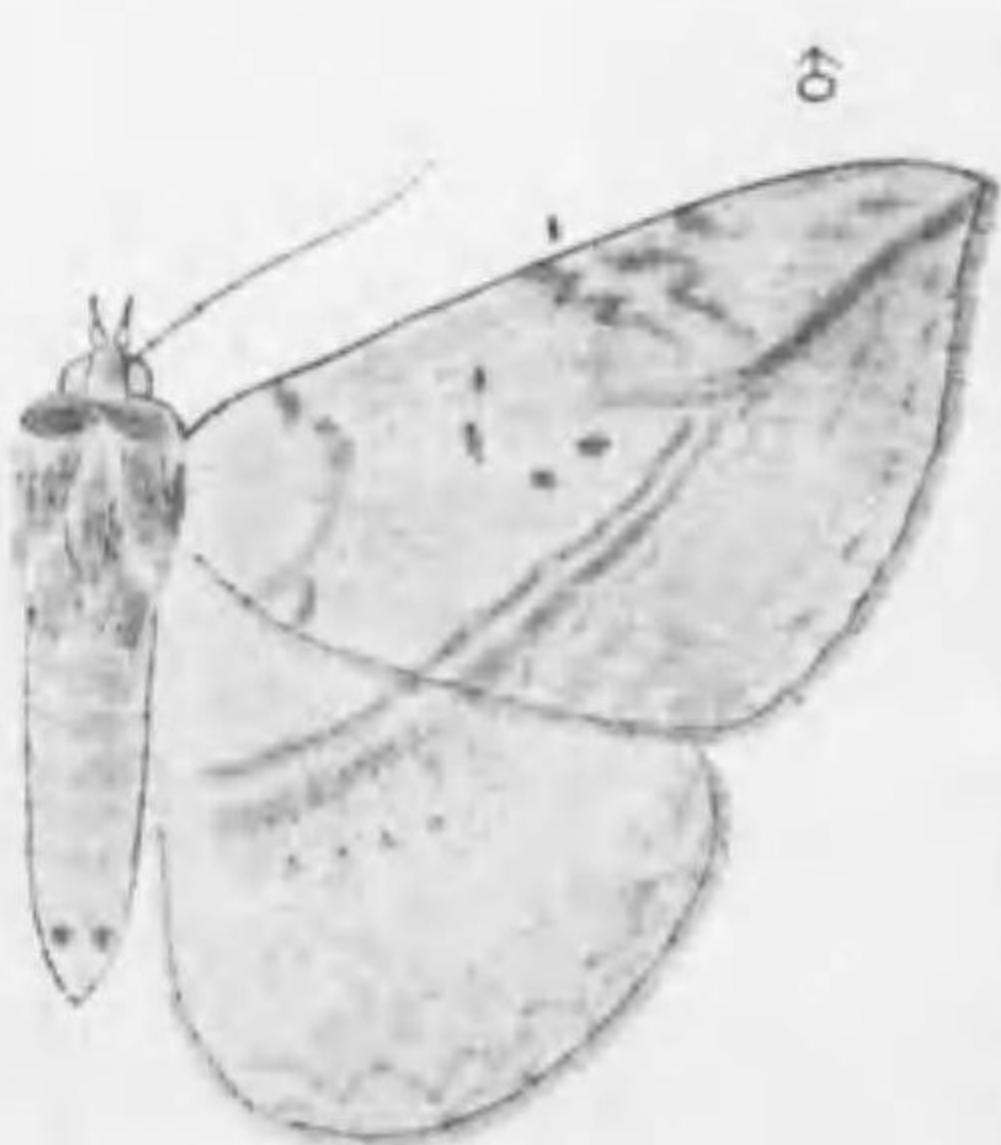


線は波状、白色、縦脈は多少白色。開張二寸六分。これは埔里に捕獲せられるが稀なり。
分佈 臺灣。

オホカキバ

Ennomia pudens Wl.

體翅灰色、少しく緑色を帯び、腹部は黄色。翅の紋條は暗色。前翅の前横線は斷續し、その外側に三紋、横脈上に二紋あり、第二室及び第三室に跨りて黒褐の一大紋を具へ、後横線は三本ありて、前縁の半部にて判然す、何れも波状、内側のものは大牙状をなす、翅端より後縁の中央



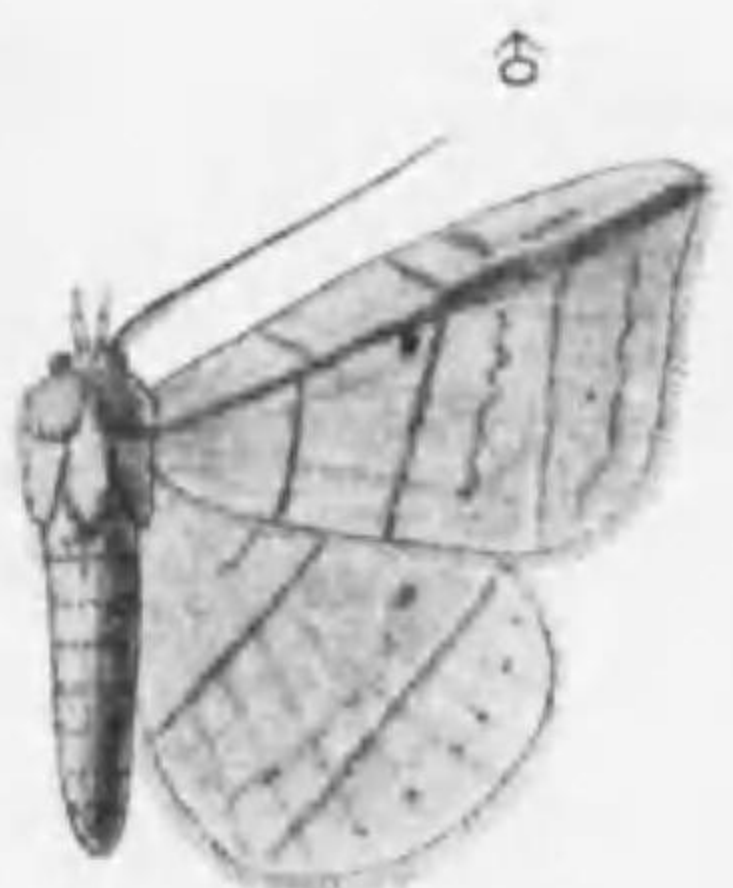
縁、其中の波状線は黒色、前翅底に近き一線は黒褐、中室の四、五紋は黒色、前縁角の斜線は緑褐。後翅の内縁は黄色。頭及び頸毛黒褐。胸

背灰白。尾端黄色、兩側に褐紋を具ふ、腹面稍々赤味を帯ぶ。開張二寸九分内外。これは燈火に飛來するよりも寧ろ糖液に集まる。幼蟲はネムの葉を食す。
分佈 本州、九州、支那、瓜哇、ビルマ。

ハグルマクチバ

Ennomogramma fortunei Guen.

體翅灰褐。前翅前縁の下方に黒褐の一帯を縱走



後翅の横線は前翅の延長なり。開張一寸六分内
外。臺灣に産すれども少なし。幼蟲は不明。
分布—臺灣、印度。

コシロシタバ *Ephesia actaea* Felt. (八二〇)



と前横線との中間は灰白、腎状紋の外方は黒色。
後翅は橙黄色、二個の半環状紋は黒色。開張一
寸九分。これはスモモ、ウメ、カシハ、サンザ
シ等の葉を食す。暗んで燈火に飛來す。
分布—北海道、本州、滿洲。

シヨナスキシタバ *Ephesia japonici* Hult. (八二四)



に向ひ黒色の一線を縦走し、腎状紋は黒色、内
部は灰色、中室の内方及び外方は白色の廣帯を
なし、後横線の外方にも犬牙状の白帯あり。後
翅は黄色、二帯は黒色、何れも内縁に達せず。

線は中央にてM字をなして外方に突出し、栓状
紋は黒色。後翅は少しく藍色を帯び、中央に一
字形の白帯を具へ、外縁は白色。開張一寸九分
内外。これは樹幹に静止すれば発見し難し。幼
蟲は榊科植物の葉を食するもの如し。
分布—本州、九州。

エゾシロシタバ *Ephesia dissimilis* Brem. (八二二)



ツマキオホクチバに酷似すれども、前翅の斑紋
及び栓状紋は不
明。後翅の中央
には白帯を缺き
前縁角の白色紋
は大にして、判
然し、縁毛は暗
褐色。開張一寸
六分。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲は榊科
植物にオホナラの葉を食す。
分布—北海道、支那、滿洲。

ミヤマキシタバ *Ephesia alba* Hult. (八二三)

開張二寸二分内外。これは餘り多からず。
分布—北海道、本州。

カバフキシタバ *Ephesia nigrifera* Hult. (八二五)



前翅は灰白、翅端は暗色、横線は暗褐、腎状紋
の周圍、其外
側の犬牙状及
び後横線は黒
褐。後翅は橙
黄色、黒褐の
二帯を具ふ。
胸は灰白。腹
部は少しく黄
色を帯ぶ。開
張一寸八分。これは糖液に集まるも、燈火に飛
來すること稀なり。幼蟲はカシハの葉を食する
が如し。
分布—本州、支那。

コガタキシタバ *Ephesia obliterata* Men. (八二六)

前翅は暗色、中央は少しく藍色を帯び、横線は
黒色、前横線の後縁に近き内側并に波状線の内



外縁に沿ひ小黒點を横列し、縁毛は暗褐。後翅
は橙黄色、二帯は黒色、何れも前縁にて廣し。
開張二寸内外。これは餘り多からず。
分布—北海道、本州、滿洲、支那。

ワモンキシタバ *Ephesia fukiensis* Hult. (八二三)



側は青白、環状
紋は黒色、その
下方に黒縁ある
灰色の一圓紋を
装ひ、外縁に近
く黒色の鋸状線
あり。後翅は橙
黄色、二帯は黒
色。開張一寸一



分。これは燈火に飛來すれども稀なり。
分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、滿
洲。

ヒメシロシタバ (八二七)

Ephesia sancta Butl.



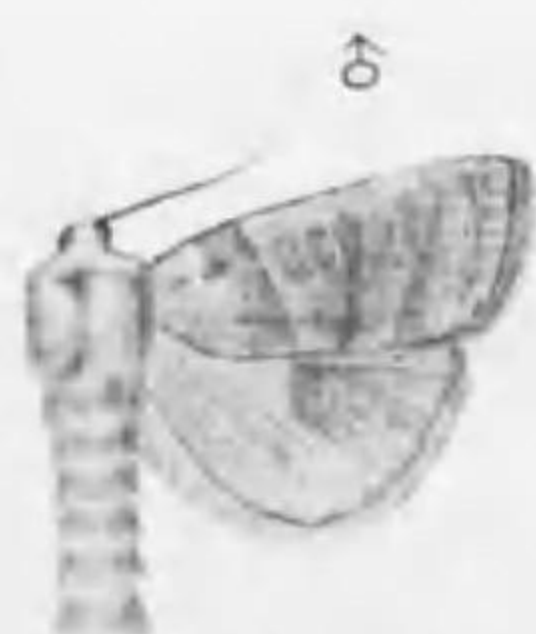
コシロシタバに酷似すれども、その異なる所は、體翅黒褐、前翅の環狀紋の内部は淡褐、栓狀紋はその種より大、後翅の白帯は短大、前縁角は白色。

開張一寸七分。これは札幌地方に普通なれども、燈火に飛來すること稀なり。幼蟲は樹斗科植物を食するもの如し。
分布 北海道、本州。



前翅は灰白、少しく青色を帯び、各横線、外縁の紋列、栓狀紋并に腎狀紋は黒色。後翅は橙黄色、黒色の二

帯を具ふ。胸は灰白。腹部は少しく黄色を帯ぶ。開張一寸五分内外。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなるが稀なるが如し。
分布 本州。



側は何れも廣く暗色、中央に判然せざる暗色帯あり、環狀紋及び腎狀紋は暗色、周縁は淡色。後翅は暗色、横脈紋及び外縁線は濃色。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するも稀なり。
分布 北海道、本州。



前翅は灰褐、紋列は暗褐、翅底淡色、二褐紋あり、前横線は一、環狀紋及び腎狀紋は白色線にて縁取らる、後横線は一、前縁の中央に暗色紋を装ふ、波狀線は白色、此線の内側及び第二、三、四、五室に各一黒點あり、外縁は淡色、翅端に近く前縁に三白點を装ふ。後翅は淡黄白、少しく暗色を帯び、後横線、其外方にある廣帯並に外縁線は濃色。開張一寸一分内外。
分布 北海道、本州、アムール、西比利亞。



前翅は暗黄色、灰色鱗を混ず、横線及び波狀線は淡色、前横線の内側、後横線及び波狀線の外

ウスマミモンキリガ
Ephestia contracta Butl.
前翅は暗黄色、灰色鱗を混ず、横線及び波狀線は淡色、前横線の内側、後横線及び波狀線の外



體翅黄白。前翅の紋列は黄色、前縁の前半に判然せざる四帯を具へ、前横線の處に一致ありて、これは中脈より後縁に達す、腎狀紋及び環狀紋は灰色なるも判然せず、亞外縁線は暗黄にして廣く、外縁の上方に二黒點を具へ、その部分の縁毛は黒色。後翅は白色、外縁帯は暗色。開張七分。これは臺灣に稀ならず。
分布 臺灣、支那、印度。

ムラサキクチャバ
Eriopa mangula Guen.
體翅は灰色、暗色の小點を散在す。前翅の横線は黒色、何れも判然せず、環狀紋及び腎狀紋は暗色、波狀線は白色、その内方にある後横線との中間は暗褐、外縁に黒點を横列す。後翅の紋



條は前翅同様なれども、内縁に灰白の大紋を装ふ。開張一寸五分。これは九州に産すれども餘

り多からず。
分布 九州、支那、印度、澳洲。

ツマナミツマキリヨタウ
Eriopis flavo leucis

前翅は紫褐色、翅底の中央の短縦線は黒色、其上下に黒點を散在す、前横線は黒色、その内側は淡色、腎狀紋は淡色、周縁は黒色、中央に一黒點を藏す、後横線は黒色、外側は淡色、第五脈の中央に黒色の短縦線あり、前縁は外半に四小白點を装ふ、波狀線は前縁にて白色、外縁に黒點列あり、縁



毛の基部は淡色。後翅は紫褐色、中室紋及び後横線は暗色、餘り判然せず、縁毛の基部は淡色。開張九分内外。これは本州に産するも稀なり。
分布 本州、支那。

ヒメツマキリヨタウ
Eriopis duphaneae Wlk.

前翅は紫褐色、基部は極めて濃色、前横線は白色及び黒褐色の二線より成る、前縁の中央に三



角形の黒褐色ありて、白色及び黒褐の二線にて縁取らる、後横線も二線より成り、此線と外縁との中央に廣き黒褐帯あり、前縁角に大なる黄褐斑を装ふ。後翅は赤褐、縁毛は少しく黄色を帯ぶ。開張一寸内外。これは少し。
分布 本州、九州、臺灣、朝鮮、支那、印度、ビルマ。

マダラツマキリヨタウ
Eriopis repeta Wlk.

前翅は橙褐、前縁の中央及び翅端の近くに黒紋ありて、兩紋の間には前縁より中室後角に達する白色の二斜線を装ひ、横線は黒色、兩側は淡色、後横線の外方に一淡色線を并走す、外縁の中央に黒褐斑ありて、第五脈上に白線を具へ、翅端の近



くにも同様の斜線あり、亞外縁線は細く、波狀をなし、白色。後翅は暗色、縁毛は黄色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來すれども少な

キマダラコヤガ
Erastria tralealis Zool.

前翅は黒色、中央の二紋は黄色、上方にあるものは其中に黒紋を散在し、下方のものは黒色の二横線を藏す、兩紋の外方は紫色を放ち、外縁には黒紋ある黄帯を具ふ。後翅は暗色。開張八分内外。これは晝間飛行性に於て少なからず。幼蟲は旋花科の植物を食す。
分布 北海道、本州、歐洲。

ウスキマダラコヤガ
Erastria lepta Guen.

前翅は暗黄色、灰色鱗を混ず、横線及び波狀線は淡色、前横線の内側、後横線及び波狀線の外

シラホシベニコヤガ
Enthemna rosita Guen. (八三七)

前翅の基部は黄白、外半は桃色、その境界線は暗黄にして斜なり、外縁は白色、少しく黄色を帯び、後角に近く二白紋を具へ、その外側に黒鱗を装ふ。後翅は淡色、外縁は少しく暗色を帯ぶ。開張四分—五分。これは臺灣に産するも餘り多からず。
分布—臺灣、印度。



アマメツマキヨタウ
Euplexia aethoza Butl. (八三八)

前翅は黒色、少しく褐色を帯ぶ、横線及び波状線は何れも白色、腎状紋は黒色、中央及び周縁は白色、前縁に中央を越して三個の白點を装ふ。後翅は暗褐、紋線は判然せず、縁毛は白色、中央に暗色線を横走す。開張九分内外。これは燈火



シラオヒアカガネヨタウ
Euplexia illustrata Guen. (八三九)

前翅は灰褐、翅底は暗褐、後縁に近く二黒紋を具へ、外側に稍廣き彎曲せる白帯あり、中央部は廣く黒色、後縁は褐色、此帯の中央に二白帯を具ふ、外半は外縁部を除き白色、中室の外方に短黒帯を具へ、外縁部は暗褐、後半は淡色、縁毛に暗色の波状線を横走す。後翅は暗色、翅底の内縁は大部白色。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來するも少なし。
分布—北海道、本州、朝鮮、印度。



アヲアカガネヨタウ
Euplexia laetevirens Ouerth. (八四〇)

前翅は黒褐、所々に濃色部あり、半横線、前横線、中室紋、横脈紋及び中室下方の二紋は白色、尙、前縁の後半に三四個の白點を装ふ、後横線及び波状線は淡色。後翅は前翅よりも少しの基部は暗黒、外縁の點列は黒色、其内方に向ひ黒褐の短線を縦走す、縁毛は赤褐。後翅底は灰白、脈は暗色、外縁は暗灰色、縁毛は白色。頸板は灰色、黒線を有する灰白帯を横走す。胸部は灰色、黒線を装ふ。開張一寸九分内外。これは燈火に飛來するも少なし。
分布—本州、朝鮮、滿洲。

マヘモンコヤガ
Enstrophia costinuenta Ouerth. (八四四)

前翅は暗黄、斜縁は灰白、其内部は濃色、外部は淡色、中央の菱形紋は白色、前縁中央の三角紋は白色、其外側は白色、外縁の白横線は餘り判然せず。後翅は灰白。開張九分内外。これは燈火に飛來するもその數多からず。
分布—北海道、本州、支那、滿洲。



フサモクメ
Entolia foveata Fald. (八四五)

前翅は暗褐、中央部は淡褐、翅底に灰白の網状紋を装ひ、腎状紋は判然せず、前横線は灰白。



アカガネヨタウ
Euplexia lucijara I. (八三一)

前翅翅底の半部は黒紫色、此部の斑紋は淡色、外半は淡き紫褐色、後横線は一層淡色、兩側は稍濃色、横脈は黄灰色、中央は褐色を帯ぶ、外縁に濃色點を横列し、縁毛は淡色と濃色の斑をなす。後翅は黄灰色、中室紋及び後横線は暗色、後者の外側に判然せざる暗色帯あり、外縁線は暗色、縁毛の中央に暗色線を貫走す。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも普通なり。
分布—北海道、朝鮮、印度。



オホアヲハヤガ
..... (八三二)



後縁に近く太き赤褐の短線を伴ひ、波状線は灰白、その内側に太き赤褐帯を具へ、その外方に黒褐の三線を装ひ、翅端は灰白、その内方に判然せるY字形の白線あり。後翅は灰白、翅脈及び外縁部の帯は暗褐、内縁の下方に黒白の斑紋あり。開張一寸四分。これは餘り多からず。
分布—北海道、本州、朝鮮、支那。

テウセンシロスチヤガ
Euxoa corana Mats. (八三六)



前翅は暗褐、翅脈は黒色、兩側は淡色、前横線は黒色、中央に於てのみ判然す、後横線濃色なれども餘り判然せず、内縁と外縁との間は淡色、此中に濃色紋を横列す、縁毛の基部は淡色。後

Enstrophia virens Butl.

前翅は黄緑、横線は黒色、斑紋は赤褐、周縁は白色、環状及び腎状の兩紋間は黒褐、波状線は内方に黒縦線を造る、後縁の長毛は赤褐。後翅は暗灰色、外縁は濃色、胸背は黄緑。



セプトモクメ
..... (八三三)

前翅は灰褐、褐紋を交ゆ、斜縁は判然す、後縁



翅は暗色、内半は淡色、縁毛は一層淡色。開張一寸六分内外。これは釋王寺にて捕獲せられたるも稀なり。

分布—朝鮮。

センモンヤカ

Euxoa informis Loew

(八三七)



♀

前翅は灰褐、横線は灰白、粒状紋は黒色、前横線より内方は赤褐、斑紋は黒色、後横線と外縁との間は暗褐、波状線は灰色。後翅は白色、外縁は少しく暗色を帯ぶ。前胸背前縁の一角は黒色。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來し、同時に糖液に集まる最も普通の夜蛾なり。幼蟲は蔬菜の害虫なり。

分布—北海道、本州。

インダヤカ

Euxoa schalae Mats.

(八三八)



♀

前翅は暗褐、紋線は黒色、環状紋は稍々圓形、腎状紋は四角形、前後の兩縁にて開口す、中脈は暗色、翅脈、前横線環状紋及び腎状紋は淡色、後横線の内側に黒點を列ね、外縁に黒點を横列す、前縁に淡色點あり。後翅は灰白、少しく褐色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは少なきが如し。

分布—朝鮮、滿洲、西比利亞、アルタイ。

カブラヤカ

Euxoa segetum Schiff.

(八四三)



♂

前翅は灰褐、灰黒若くは灰色、環状紋及び腎状紋の周囲は黒褐、内部は淡色、後横線は餘り判然せず、灰色なる種類にありては前縁角に近き



♀

前縁及び外縁に黒點を列ぬ。頭毛の前縁に波状の黒横線を裝ふ。開張一寸二分。これは燈火及

の基部に近く一紋あり、前横線は一雙、縦線の下大、後横線は中室外にて判然す、亞外縁線は波状。後翅は灰色、横脈紋及び脈は暗色。開張一寸。これは札幌にて捕獲せるも少なし。

分布—北海道。

ナカグロカラフトヤカ

Euxoa obolesca Schiff.

(八三九)



♂

前翅は暗灰色、紋線は黒色と灰色、中脈上の一黒線は環状紋に遮断せられ、腎状紋に達す、粒状紋は黒色、前横線は粒状紋下に判然す、環状紋は圓く黒色、中部は灰色、腎状紋大、黒環を具へ、中に一暗色線あり、後横線は判然せず、亞外縁線は波状、灰黄、その外側に黒波状線あり。雄にては前横線判然せず、外縁は廣く暗褐。後翅は暗灰色、

分布—北海道。

テセンヤカ

Euxoa tosinata Ev.

(八四一)



♂

列ぬ。後翅は白色、少しく紫色を帯ぶ。開張一寸一分。これは小笠原島にて捕獲せらるるが少なからず。

分布—小笠原島。

ナンキンキリガモドキ

Gadirtha exaeta Wlk.

(八四五)



♀

を有す、尚、前縁の基部の一線、後横線の上下の枝は何れも波状を呈す。開張九分内外。これは本州及び九州に分布するも少なし。

分布—本州、九州。

シロヒシモンコヤカ

Gadirtha argentata Butler

(八四四)



♂

は淡黄、外縁角の附近及び縁毛は灰色。後翅は橙黄色、外縁部は黒色、内縁に小黒紋を散在す。開張一寸五分。これは臺灣に稀ならず。

分布—臺灣、支那、印度。

ナンキンキリガモドキ

Gadirtha exaeta Wlk.

(八四五)

に褐色紋あり、外半は灰白、褐色の短線を散在す。後翅は暗褐、中央は淡色。開張一寸六七分。これは本州に少なしと雖も、臺灣には普通なり。幼蟲はナンキンハゼの葉を食す。

分布—本州、九州、支那、臺灣、印度。

クロオビリンガ

Gelastocera exusta Burt.



前翅は赤褐、少しく黄味を帯び、外縁には紫色を帯びたる部分あり、後横線の處に暗色雲状紋を具へ、横線は暗色、何れも波状を呈し、亞外縁線は点紋となる、横脈紋は環状、縁毛は紫褐色。後翅は白色、少しく暗色を帯び、縁毛及び外縁は紫褐を帯ぶ。開張一寸一寸二分。これは燈火に飛來する普通種なり。
分布—北海道、本州。

ハヒイロリンガ

Gerathia granialis Burt.



體翅は灰白。翅底の三分の一及び前縁の末端にある斑紋は黄色、此斑紋には黄褐の網状紋あり、外縁の三分の二は黄褐、外縁に近き波状紋は黄色、外縁は黒褐、縁毛は淡黄褐。後翅は灰白、外縁は赤褐。胸背の網状紋並に腹背の斑紋は黄褐。開張九分内外。これは何れの地方

レウキス形

L. lucivis Burt.



淡色。後翅は灰白、少しく暗色を帯ぶ。開張一寸二分内外。
分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

ルニナ形 *L. lunina* Haw.



原種と異なる所は亞外縁帯は一層淡色にして、狭く、腎状紋の大なるにあり。
分布—北樺太。

ナカグロクチャバ

Grammodes geometrica F.



體翅は暗褐、前翅の中央部は黒色、更にその中央に淡黄の二帯を斜走し、その外方に平行せる一帯は褐色、その側縁は淡黄、

ツメグサキシタバ

Gonosiphia gryphica L.



前翅は灰褐、二廣帯は黒褐、翅端に梯形の黒褐紋を具へ、環状紋は黒褐、腎状紋は第二帶上にありて、淡色、その外側の三角紋は黒褐、外縁は暗褐。後翅は黄色、翅底及び帯は暗色。開張一寸二分内外。幼蟲は莖間飛翔す。この幼蟲は苜蓿の葉を食す。
分布—北海道、本州、滿洲、歐洲。

シヤウブオホヨクウ

Gortyna leucostigma Hb.

前翅は暗褐、少しく紫色を帯ぶ、横線は何れも餘り判然せず、環状紋は灰色線にて縁取らる、腎状紋は黄白、暗色線にて縁取られ、前縁の外方に數個の白點を呈し、縁毛の基部及び外半は

波状線は鋸齒状を呈し、翅端より後縁に達す、後縁の中央に白帯ありて、前縁及び内縁角の縁毛は白色。開張一寸五分。幼蟲はサナヘタダの葉を食す。臺灣に産するもその數多からず。
分布—臺灣、支那、印度、歐洲。

キミヤクヨクウ

Hadena dissecta Wk.



前翅は黒褐色、翅脈、横線、翅端に近き點紋等は赤褐乃至黄色、環状紋及び腎状紋は赤褐乃至黄色線にて縁取らる、外縁の點列は黒色。後翅は暗色、内半は淡色、縁毛は暗黄にして、基部に近き暗色線を横走す。開張一寸六分内外。これは四國にて捕獲せられたるも少なし。
分布—四國、印度。

キイロクチャバ

Hamodes aurantifera Guen.

體翅は橙黄色。前翅に暗色の鱗毛を散在す、前

ソトウスグロクチャバ

Harmatelia kusalis Moor.



横線、中横線及び後横線は暗色なるも判然せず、後二者は前縁にて暗色線にて終る、横脈上の弦月形紋及び中室の一點は暗色、翅端より後縁に向つて赤褐線を斜走し、その内側に黄線を具へ、その外側に暗色の判然せざる太き波状線あり。後翅の中帯、中室の一紋、外側の犬牙状帯は暗色、但し後者は餘り判然せず。開張一寸八分—二寸。これは臺灣及び南洋に廣く分布す。
分布—臺灣、南洋、印度。

ソトウスグロクチャバ

Harmatelia kusalis Moor.



前翅の内方の三分の二は暗褐色、淡色線にて縁取られ、中室點は暗色、外方の三

フサクビヨクウ

Harmodia rivularis F.



分の一は淡褐色、翅端に近き暗色の二紋ありて、下方のものは小、その外方に白點あり。後翅は暗色、外縁は細く黒色、外縁は白線にて細く縁取らる。開張一寸五分。これは臺灣に産するも餘り多からず。
分布—臺灣、印度。

スキタニコマケンモン

Harrisimera marmorata Hamp.

前翅は白色、横線は黒色、前縁の基部に近く一個、前縁角及び後縁角に各一個のチョコレート



色の圓紋を装ふ、翅底及び翅底に近く中央に不正形の一黒色紋あり、中央部は白色と黒色の斑をなす、腎状紋は黒色、縁毛は白色、暗色点を列ぬ。後翅は暗色、紋條は判然せず、縁毛は白色と暗色の斑をなす。開張一寸内外。これは本州の高山地帯に産するも少なし。

分布—本州。

クルマアツバ

Hermia derivalis Hb.

前翅黄褐、微小の暗色点を密布す。兩翅共二條の黒褐帯を装へども、内方の一條は判然せず、何れも中脈上にて内方に彎曲す、外縁は暗褐。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は櫛の害蟲なり。



分布—北海道、本州、朝鮮、歐洲。

ホシホシヤガ

Hermoussa arenosa Butl.

前翅は黄褐、黒鱗を散布す、半横線は黒色、内



側に一暗色線を斜走し、前横線は黒色、此線の外側及び中央に暗色線あり、環状紋及び腎状紋は淡色、中央は稍々黒色にて充たさる、後横線及び波状線は暗色、後者は前縁に於て廣く、二白點を装ふ、外縁の點列は黒色、縁毛は中央に暗色線を横走す。後翅は暗色、翅底半は少しく淡色、縁毛は淡色、中央に暗色線を横走す。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—北海道、本州。

ツマキオホクチバ

Hulodes carnea Grmn.

雄、體翅は黒褐、紫色を帯ぶ。前翅端より後翅の内縁迄彎曲せる波状紋を装ひ、その外方は灰黄、外縁には黒褐の小點列を具へ、横線は波状をなせども、餘り判然せず、中室端に黄色縁を有する褐色の半月紋を有す。後翅には不明の波状線を装ふ。開張二寸八分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。

分布—臺灣、印度、瓜哇。



ヨツホシセセリモドキ

Hyblaea constellata Guen.

頭、胸、前翅は藍黑色若くは褐色、藍黑色の種類にありては、前翅の前縁に二個、中央に一個、淡黄の斜紋を装ひ、翅端下方の縁毛上に白色の小點を装ふ、褐色の種類にありては、翅端暗色、黄紋を有せず。後翅は黒褐、中央には橙黄色の四大紋あり。開張一寸二三分。これは臺灣



ゴハウヨタウ

Hydroecia fortis Butl.

前翅は黄色、橙黄色の鱗毛を散布す、翅底に近き廣帯及び後横線の外方は翅端に存する黄色紋を除き暗紫色、環状紋及び其下方に位する一紋、腎状紋等は暗色線にて縁取らる、各横線は暗色、前縁の中央に二暗色点を装ふ、縁毛は暗色。後翅は暗色。開張一寸三分内外。これは何れの地方にも稀ならず。幼蟲はゴハウの葉を食す。



分布—樺太、北海道、本州、アムール。

スチヨタウ

Hydroecia mixta Klap.

前翅は淡黄褐、外縁は廣く暗黄色、前横線及び後横線は暗色、波状線は淡色、内側は少しく濃色、環状紋及び腎状紋は淡色、周縁は濃色。後翅は淡黄色、内半は少しく暗色を帯ぶ、中横線は暗



の海岸に稀ならず。晝間飛翔す。

分布—臺灣、支那、印度、濠洲。

フタホシセセリモドキ

Hyblaea frontenta Guen.

前翅は暗黄褐、翅底は黒褐、その境界は中室の外端にてく字形をなす(但しその前縁は少しく赤褐又淡色)、前縁の中央より外縁に互りて黒褐の二帯を斜走し、翅端の下方は斜られ、その局部の縁毛は黄色。後翅は黒褐、中央の斑紋は黄色、翅底の長毛及び縁毛は黄色。開張一寸二三分。これは恒春の海岸雜草間に普通なり。



分布—臺灣、支那、印度。

キオビセセリモドキ

Hyblaea paera Grmn.

前翅は暗灰色若くは淡褐、前者にありては前縁の中央及び翅



色。開張一寸七分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はスカンポ、トクサその他雑草の根を食す。

分布 北海道、本州、西伯利亚、歐洲。

アカスチアフリンガ.....(八六五)

Hylophila knaefferi Grues.



前翅は緑色、前縁、後縁及び縁毛等は赤色、後縁は紅褐色、兩側は黄色、亞外縁線は黄白。後翅は灰黄、少しく赤味を帯び、縁毛の末端は白色。腹部は淡褐。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも少なし。幼蟲はカシハの葉を食するが如し。

分布 北海道、本州、支那、西伯利亚。

アラスチアフリンガ.....(八六六)

Hylophila prasinana L.



體翅は淡綠。觸角は淡紅黄。前翅の斜條は淡色、中帯内方に濃綠の一條を斜走す、外縁及び

デルタ形 *Δ. delata* Stgr.



色。開張一寸三分。これは燈火に飛來する普通種にして、その幼蟲は蓼の葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、西伯利亚、歐洲。

ハナダカアツバ.....(八六九)

Hypana postialis L.



前翅は暗褐、中室に黒褐の二毛塊あり、中央にラチアタリス形。近く淡色の斜條を具す。その外側の前縁にある菱状の一致は灰白、波状線は黒褐の點線より成り、前縁角の中央に黒褐の斜條を裝ふ。後翅及び腹部は灰白。開張一寸内外。これは札幌地方に普通なり。燈火に飛來す。幼蟲はイラクサの葉を食す。

分布 北海道、本州、西伯利亚、歐洲。

サツマアツバ.....(八七二)

Hypana satsumalis Loew



體翅は黒褐。前翅約三分の二の外方に灰色の一字形の横線を具へ、その外方は淡色、翅端に近き外縁に濃色の一條を斜走す。後翅は暗褐。開張一寸一分内外。これは本州及び九州地方に産すれども餘り多からず。

分布 本州、九州。

コフタオビキョウウ.....(八七三)

Hyperodes divergens Butl.



前翅は黄褐、小黑點を散在し、横線は黒色、腎狀紋は淡色、其外方の斑紋は濃褐、外縁の點列は黒色、縁毛は少しく濃色。後翅底は白色、外縁に近く暗褐色あり。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は禾本科植

第六 鱗翅目(蛾亞目)

物の葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮。

ウスグロヨウウ.....(八七三)

Hyperodes fuliginosus Warr.



胸部及び前翅は暗色、少しく褐色を帯び、尙暗黄色鱗を混ず。前翅の横脈紋は淡褐、縁毛は暗色、基部に淡色線を横走す。後翅は前翅よりも淡色、縁毛は更に淡色、少しく赤味を帯ぶ。開張一寸七分内外。これは札幌地方には少なし。

分布 北海道、本州。

オホフタオビキョウウ.....(八七三)

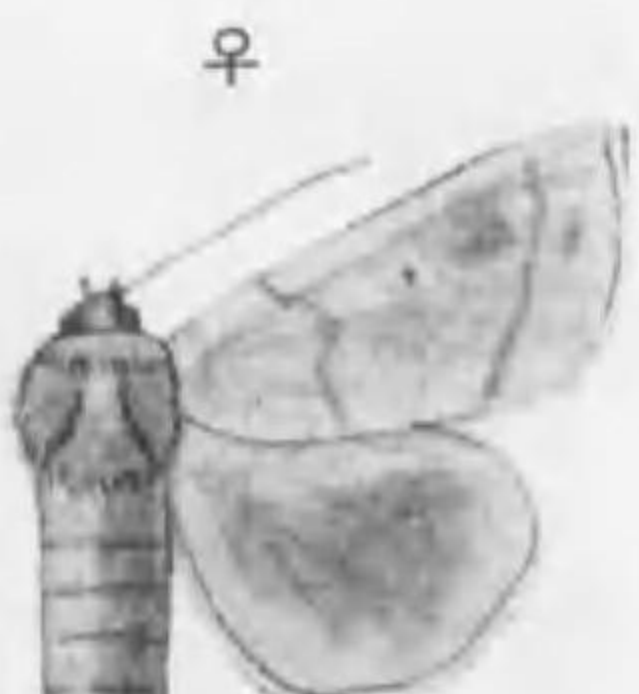
Hyperodes grandis Butl.



體翅は灰色、小

八〇五

フタオビキョウウ.....(八七四)



黒斑を散在す、翅底及び外縁に近き横線は黒色、腎狀紋は淡色、縁毛は褐色。後翅の外半は暗色。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はスズメノヒエ、ムカポシサウの葉を食す。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那。

ヒラヤマメー形 *Δ. hirayamae* Mats.



原種と異なる所は灰色を呈し、前翅の亞外縁線は鋸齒狀を呈し列然するも、他線は不明なるにあり。東京附近にて捕獲せられたり。

分布 本州。

Hyperictes turca L.
前翅は黄褐、暗色鱗を密布す、前後兩横線は暗色、横脈紋は暗色、外縁に淡色點を横列す。後翅は灰黄、暗色を帯ぶ、外縁の點列は暗色。頭胸部は前翅と同色。腹部は少しく淡色。開張一寸五分内外。これは何れの地方にも普通なり。



分布 北海道、本州、歐洲。

マヘジロウスキヨタウ……………(八七五)

Hyphalre albicosta Moir.

前翅は灰色にして、少しく紫色を帯ぶ、前縁中央の縦紋及び翅端より後縁の中央に斜走する一帯は黄白、中室の下方に暗色の縦條あり、脈は白色、中横線は黒點列にて代表せらる。後翅は灰色、縁毛は灰白。



これは臺灣に稀ならず。

分布 臺灣、印度。

テウセンクロスチヨタウ……………(八七六)

Hyphalre coreana Matr.

前翅暗灰色、網狀の光澤あり、中脈下の翅底に一黒條を具へ、第一室の基部に短かき黒條を裝ひ、横脈紋は白色、その外側に黒紋あり、後横線は暗色、縦線處にて廣く内方に曲る、亞外縁線處に黒紋列ありて、第五、六室にあるものは大、縦脈は灰白。後翅は暗灰色、金色の光澤あり。開張一寸四分。これは水原にて捕獲せるが少なし。



分布 朝鮮。

オホスチシロヨタウ……………(八七七)

Hyphalre decissima Wlk.

前翅は暗黄、少しく赤味を帯ぶ、翅底より三分の二の處に達する廣き縦條は暗色、その末端に近く「」字形の白紋を有し、其外側に黒紋



を具へ、翅端より後縁に黒點の斜條を裝ひ、その外側は暗色、外縁に黒點列あり、前縁に黒點を列ぬ。後翅は灰色、前縁は暗黄、縁毛は灰黄。開張一寸二分。これは廣く東洋に分布す。

分布 本州、九州、臺灣、印度、濠洲。

マダラキヨタウ……………(八七八)

Hyphalre flavostigma Brem.

前翅は灰黄、少しく黒鱗を散布し、中央に暗色帯を縱走す、各横線及び環狀紋の周圍は暗色、腎狀紋は地色よりも遙に淡色、中央にく「」字形の黒紋を藏す、後横線の外方にある一線は黒點よりなり、外縁に黒點を横列し、縁毛は暗色。後翅は白色。開張一寸二分内外。これは札幌地方には稀ならず。



分布 北海道、朝鮮、支那、アムール。

クロスチウスイロヨタウ……………(八七九)

Hyphalre hamifera Wlk.

前翅は灰白、少しく紫色を帯び、翅底より翅端に向つて廣き暗色線を縱走す、前縁は淡色、暗



色鱗を散在す、中脈の外半、第三及び第四脈は白色、外縁には黒點列あり。後翅は灰白、外縁は廣く暗色。これは臺灣に産するも少なし。

分布 臺灣、印度。

クサシロヨタウ……………(八八〇)

Hyphalre joreyi Dup.

體翅淡褐。後翅は灰黄白、外縁に小黒點を列ぬ。前翅の基部に黒線を縱走し、横脈點は黒色、その周圍は黒色、後横線は細く、弓狀、



外縁は濃色。開張一寸二分内外。これは餘り多からず。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分布 北海道、本州、歐洲。

ツマグロウスジロヨタウ……………(八八一)

Hyphalre simplex Leach.

前翅は灰黄、淡色鱗を散在す、中室及びその後方は褐色を帯び、翅端の下方に三角形の暗色紋



あれども判然せず、中室の後角に淡色點あり。後翅は黄白、外縁は廣く暗色。開張一寸一分—一寸二分。これは臺灣に産すれども多からず。

分布 臺灣、印度。

ムーアキシタヤガ……………(八八二)

Hypoclea moorei Bail.

前翅は灰褐、後半は少しく青味を帯び、これに斜走せる前横線及び波狀の線、後横線を有す、尚、前半には多數褐色細線を横走し、翅端より



第四脈に斜走する一線は青白、亞外縁線は波狀、黒色、その外側の下方に淡色紋あり。後翅は黒色、「C」字形紋、第一室の一紋及び縁毛は橙黄色。開張一寸五分。これは埔里に少なからざるが如し。

分布 臺灣、印度。

タイワンシタヤガ……………(八八三)

Hypoclea substatura Guen.

前翅は暗灰色、少しく藍色を帯び、暗色の縦線紋を裝ひ、中室紋は黒色、腎狀紋は暗色の弦月形紋となり、亞外縁線は一雙にして、赤褐間室は白色。後翅は橙黄色、周圍は黒色、但し第四室の處及び肛角に近く橙黄紋あり、中室は黒色。開張一寸—一寸五分。これは臺灣に産するもその數少なし。



分布 臺灣、印度。

ウスモンヨタウ……………(八八四)

Hypopleridia albipuncta Warr.

前翅は淡き黄褐、翅底の中央に黒縦線を具へ、環狀紋及び腎狀紋の下方に黒紋あ



り、亞外縁線の處に暗色の斜條を裝ひ、外縁に黒點を横列す。後翅は前翅よりも少しく淡色、紋條を缺く。開張一寸三分内外。これは臺灣に産するも少なし。

分布—臺灣。

ウスチャヤカ

(八八五)

Hypoxestia dilatata Butl.

前翅は淡き茶褐色、少しく灰色を帯び、外縁は稍廣く濃色、横線及び波狀線は何れも濃色、中横線は太し、環狀紋は灰褐、周縁は淡色、腎狀紋は中央の濃色線中にありて、餘り判然せず。

後翅淡色、少しく褐色を帯び、縁毛は暗色。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—本州、九州。

ミツグロヤガ

(八八六)

Hypoxestia fuscostigma Bremer.

前翅は暗褐色、少しく紫色を帯ぶ。前翅の環狀紋及



び腎狀紋は黒褐、後者の中點は灰白、後横線は前半に於いてのみ判然し、亞外縁線は一、二、相平行し、外

方のは前縁にて一點となる。後翅は灰黄、外縁は暗褐、第一、二室の末端に灰黄紋あり。開張一寸二分内外。これは本州に産するも稀なり。

分布—本州、アームル。

シロテンウスジロコタウ

(八八七)

Ipinorpha retusa L.

前縁は暗褐、横線は灰色、環狀紋及び腎狀紋は濃色、灰色線にて縁取らる、外縁線は濃色。後翅は前翅よりも遙に淡色、縁毛の外半は白色。開張九分内外。これは札幌地方に稀ならず。暗んで燈火に飛來す。幼蟲は柳、白楊の葉を食す。

分布—北海道、西比利亞、歐洲。



ドロキリガ

(八八八)

Ipinorpha subtrisa F.

前翅は暗色、灰色を帯ぶ、横線及び波狀線は暗黄色、環狀紋及び腎狀紋は暗黄色線にて縁取らる。後翅は暗色、紋條を缺き、縁毛は淡色。開張一寸一分内外。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲は柳、白楊の葉を食す。

分布—北海道、本州、歐洲。

ルリモンクチャバ

(八八九)



點を具へ、後縁は赤褐、後翅底は黒色、中央に青白の大紋を具へ、外半は紅色、内縁に魁様の黄毛を簇生す。開張三寸内外。これは登熟せる果實に口吻を挿入して其液汁を吸收す。

分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、印度。

テンクアツバ

(八九二)

Laciniotrum bisacutum Hamps.

體翅灰褐、少しく綠味を帯ぶ。前翅の中室點は黒色、前横線、中横線及び後横線は暗色、亞外縁線は灰白、外縁は黒色、前縁にて分支す、外縁の上方は列られ、縁毛は灰黄。



後翅の中室紋は濃色、環狀をなし、後横線は稍々端直、縁毛は灰黄。下唇鬚は甚だしく延長し、末端にて球桿狀を呈す。雄にては腎狀紋灰黄、外縁線は黒色。開張一寸六分内外。これは東京中野地方に稀ならず。

分布—本州、印度。



ルリモンシタバ

(八九〇)

Lacera alope Cram.

體翅は暗褐、灰色の鱗毛を散在す。前翅の前横線及び中横線は黒色、波狀、但し後者は前半にて白線となる、

後横線は灰白、甚だしく波狀を呈し、第五脈及び第二脈の處に黒縱條ありて、その外側は灰白、亞外縁線は灰白、中央の外側に大黒紋あり。後翅後横線の處に白色の細き五波條ありて、何れも兩端にて

シロテンキンヨタウ.....(八九三)

Leucania conigera Z. et D.

前翅は赤褐色、金色を帯ぶ、翅脈、前横線及び後横線は濃色、中室後角に一白点を装ふ。後翅は暗黄、外半は少しく褐色を帯ぶ、中横線は暗色、縁毛は淡色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。



分布 樺太、北海道、九州、印度。

ツマアカキヨタウ.....(八九四)

Leucania inornata Loeb.

前後兩翅は黄灰色。前翅の中室後角に一黒点を具へ、後横線及び外縁線は黒點列より成る。兩翅の縁毛は少しく紅色を帯ぶ。體は黄灰色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少なし。



分布 本州。

タンボシロヨタウ.....(八九五)

Leucania pallens L.

體翅は灰白色。前翅に無數の暗褐細條を縦走し、外半に二、三個の黒點を散在し、外縁に黒點を横列す、中室直下に暗褐の縦條ありて、これは中室を越えて不明瞭となる。後翅は少しく暗色を帯び、縁毛は白色。開張一寸内外。これは樺太に少なからず。幼蟲はタンボ、スカンボ等の葉を食す。



分布 樺太、アムール、西比利亞、歐洲。

アカハヨタウ.....(八九六)

Leucania rufipennis Burt.

前翅は赤褐、前横線及び後横線は黒色、其他の紋條は列然せず、外縁に黒點を横列す。後翅は暗色、少しく褐色を帯び、縁毛は灰色。開張一寸一分内外。これは少なし。



分布 本州、朝鮮、アムール。

カシハキホシキリガ.....(八九七)

Lithophane ornitopus Kott.

前翅は灰色、少しく暗色を帯ぶ、横線及び波狀線は淡色、前縁に黒點を装ひ、劍狀紋及粒狀紋は黒色、環狀紋は黒線にて縁取らる。後翅は白色、少しく暗色を帯び、翅脈は濃色。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來するも少なし。



分布 北海道、ウスリ、歐洲。

ナカグロホソキリガ.....(八九八)

Lithophane socia Kott.

體翅は灰色。前翅は少しく褐色を帯び、中央及び外縁に褐色部あり、横線は何れも波狀をなし、淡色、翅脈上に黒點を散在し、前縁に暗褐紋を装ふ、縁毛は灰色と褐色の斑をなす。後翅は暗灰色、縁毛は淡色。開張一寸四分内外。これは札幌地方に産するも少なし。幼蟲はカシハ、シナ、ニレ、スモモ等の葉を食す。



分布 北海道、アムール、歐洲。

ツマジロキリガ.....(八九九)

Lithophane trititata Burt.

前翅は灰白、褐色鱗を密布す、横線は何れも一雙より成り、黒色乃至黒褐、環狀紋は褐色線にて縁取られ、腎狀紋は大部黒褐、周縁は黒色、後横線の外方は暗褐を帯び、波狀線の中に三黒紋を装ふ。後翅は白色よりも寧ろ灰色を帯ぶ、紋條は暗色。開張一寸二分内外。これは本州の高山地帯に産するもその數少なし。



分布 本州、歐洲。

モイロツマキリアツハ.....(九〇〇)

Lophographa pulcherrima Burt.

前翅は暗色、少しく綠色を帯び、後縁基部より前縁三分の二の處に至る迄桃色、翅端の内方は暗褐、その内側は白色、桃色部の境界は暗褐、その外縁に白色の一小点を具へ、外縁の中央に黒褐紋



第六 鱗翅目(蛾亞目)

あり。後翅は暗色、翅底は桃色、内縁角に近く一赤褐紋を具へ、外縁に細き暗色帯あれども列然せず。開張九分。これは餘り多からず。

分布 本州、九州、朝鮮、支那、印度。

キマダラツマキリアツハ.....(九〇一)

Lophonotia polystepha Burt.

前翅は黄褐、横線は褐色、横脈點は黒色、後横線の外側は灰白線にて縁取られ、翅端に近く灰白紋あり。後翅は暗灰色、中央に暗色の二帯あり。開張九分内外。これは餘り多からず。



分布 本州、九州、朝鮮。

シロスチクロヤガ.....(九〇二)

Lophoptera costata Moor.

前翅は黒色、中央に灰白の一條を縦走し、これは外縁にて擴まる、外縁には暗色の三斜帯ありて、その内方に後横線の痕跡を認め得べし。後翅暗褐



ネジロコヤガ.....(九〇三)

Maliattha viasis Moor.

前翅の内半は黄白、少しく暗色鱗を混じ、外半は暗褐、少しく紫色を帯び、後横線は白色にして細く、波狀を呈す。後翅は暗灰色。開張六分一六分五厘。これは臺灣に少なからず。



分布 九州(?)、臺灣、印度。

アラバセダカ.....(九〇四)

Mantis muniti-virens Burt.

前翅暗黒、環狀紋及び腎狀紋は暗黄の周縁を有す、各線



は暗黄、翅底及び後横線と波状線の間は淡色、これに雲様の暗色紋を具へ、外縁及び後縁は暗黄、外縁の點列は黒色。後翅は黒褐、縁毛は暗黄。開張一寸九分内外。これは燈火に飛來するも多からず。北海道に産せざるが如し。

分布 本州、朝鮮、支那。

シロスチトモエ

Metopla recifasciata Mén.

體翅は黒褐。前翅の前横線は黒色、黄白の周縁ある巴状紋を装ひ、その内半は淡褐、外半は暗



♀

褐、後横線は太く、白色、その中に二暗色線を具へ、波状線は白色、翅底及び外縁は青白。後翅の白帯は前翅帯より廣し。開張二寸一分内

外。この幼蟲はネムノキの葉を食す。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。

ユミモノオホアツバ

Megasthus muculosus Mén.



♂

雄、前翅は暗色、横線、横脈紋の外側及び外縁の四分の一は灰黄、外縁線は暗色、脈は淡色。後翅は暗灰色、脈及び亜外縁線は暗灰色。開張一寸七分。これは最大のアツバにして、本州及び朝鮮に産すれども少なし。

分布 本州、朝鮮、アムール。

ミドリヨタウ

Meganephria extensa Burt.

前翅は暗灰色、少しく緑色を帯ぶ、横線暗色、その内側乃至外側は淡色、剣状紋及び後縁角上方の三短筋線は黒色、前者の下方は稍々廣く暗

分布 樺太、ウズリ、歐洲。

ウスイロアツバ

Mesoplectra lilacina Burt.



♀

前翅は暗褐、少しく紫色を帯び、暗褐の屈曲せる二帯を装ひ、その内側は淡褐、その中に暗褐の尚状線ありて相平行し、横脈上のく字形状は黒色、外縁に近く犬牙状の暗黒線を具へ、その外方に三角形の小紋より成れる黒線を横走す。後翅は暗褐、判然せざる暗色の帯と、外縁線とを装ふ。開張一寸内外。これは餘り多からず。

分布 本州、支那、印度。

カギモンアツバ

Mestigophora signata Burt.



♀

體翅は灰褐。前翅の基部四分の一の處にある一帯は暗色、その前縁に接する部分は暗黒、後横線は暗色、淡色の側縁を具へ、その外方の前縁より黒短線を横走



♀

色、環状紋は餘り判然せず、腎状紋は灰色、周縁暗色、外縁線は黒色、縁毛は淡色。後翅は白色、少しく暗色を帯ぶ、縁毛は白色、中央に暗色線を横走す。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布 北海道、本州。

カラフトシロスチヨタウ

Meganephria oxycanthus I.



♀

前翅は暗灰色、翅底の中央に稍長き黒色縦條ありて、上方は白線にて縁取らる、前横線は黒色、其内側は白色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、後横線黒色にして、其外側は白色。後翅は白色、暗色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは樺太に稀ならず。幼蟲はスモモ、サンザシの葉を食す。



♀

し、外縁には一暗色帯を具へ、横脈紋及び中空點は黒色。後翅の外縁に近く暗色の一帯あり。開張一寸内外。これは燈火に飛來すれども少なし。

分布 本州、朝鮮、支那。

ハヒイロキノコヨタウ

Metachrostis griseola Nag.

前翅は灰色、青色を帯び、翅底は暗色、外側は黒線にて縁取らる、前横線は黒色、内側には白線を伴ひ、此線と翅底線との間に黒紋ありて、周縁は白色、後横線は黒色、外側に白線を并走す、腎状紋は白線にて縁取られ、其の附近は淡色、外縁に稍大なる二黒紋を装ひ、翅端に白鱗を混じ、縁毛は淡色。後翅は暗色。開張七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州。

アサマキノコヨタウ

Metachrostis leprosa Warr.

前翅は暗灰色、外半は前縁及び後縁を除き少しく光澤ある褐色を帯び、尚、前横線の外側は少

キノコヨタウ

Metachrostis punctigera Wk.

前翅は紫褐色、内半に判然せざる褐色の五帯を具へ、外半は褐色、腎状紋の下方は黒點にて圍まれ、後横線は一対にして、黄色、前縁の處にて角度をなして外方に曲折す、翅端に近く前縁に三黄紋を具へ、亜外縁線は淡色。中央にて外方に曲折す。後翅は暗色。開張七分—九分。これは燈火に飛來するも、餘り多からず。

分布 北海道、本州、支那、印度。

Metachrostis stictica Mén.

前翅は暗黄色、翅底に近く前縁に黄色部あり、紋は黒色。後翅は暗色、縁毛の基部及び末端は少しく淡色。胸部は暗黄色、黒鱗を混ず。腹部は後翅と同色。開張七分内外。これも燈火に飛來する普通種なり。



分布—本州、九州、西比利亞、歐洲。

スチキノコヨタウ……………(九一五)

Metachrostis erigula Burt.

前翅は白色、淡緑を帯ぶ、中央は廣く淡褐、環狀紋及び腎狀紋は暗色、他の紋は黒色。後翅は暗色。頭胸部は前翅と、腹部は後翅と同色。開張八分内外。これも燈火に飛來する普通種なり。



分布—北海道、本州。

スズキキノコヨタウ……………(九一六)

Metachrostis suzukella Mats.

前翅は灰青色、前横線より外縁までの間は暗色を帯び、波狀紋の内側は少しく淡色、翅底は前縁に帯着暗色斑ありて、外側は黒線にて縁取ら

れ、横線及び波狀線は黒色、其内側乃至外側は白色、後縁角の上方に黒紋を裝ふ。後翅は暗色、縁毛は淡色。開張七分内外。これは京都地方には稀ならず。



分布—本州(京都)。

キハラケンモン……………(九一七)

Monia olampta Moor.

前翅は淡黄白、少しく淡紅色を帯ぶ、各横線黒色、環狀紋白色、外方は黒色、腎狀紋は黒色の周縁を有し、この紋に沿ひ白色の部分あり、腎狀紋は黒色。後翅は白色、脈は褐色、翅底及び内縁に黄色毛を密生す。腹部の兩側は黄色。開張一寸五分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はヒサカキ、シヤシヤンボ等の葉を食す。



分布—北海道、九州、朝鮮、滿洲、印度。

シロスチキリガ……………(九一八)

Monima albatrossata Mats.

紋及び腎狀紋は淡色、周縁は濃赤褐、1字形の縦紋は漆黒。後翅は白色。胸部及び脚は淡紫紅色。腹背は着白色。開張一寸六分内外。これは早春燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はリンゴ、サクランボ等の害蟲なり。

分布—北海道、本州。

キオヒキリガ……………(九一三)

Monima flavipes Mats.

雌、前翅灰色、少しく鉛色の光澤あり、横線は判然せず、亞翅底線は赤褐、外側は淡色、環狀紋は圓形、外圍は灰黄、腎狀紋は大、外圍は灰黄色、中央に赤褐鱗あり、外縁に黒點を列ね、縁毛は灰色。後翅は暗灰色、横脈紋は暗色。開張一寸。これは札幌地方にて捕獲せられたるが少なし。



分布—北海道。

カシハキリガ……………(九一三)

Monima gothica T.

體翅は淡褐、前翅の中室にく字形の黒紋を具へ、其下方の一紋及び前縁の三紋は黒色、横線

前翅暗褐、前横線は波狀を呈し、環狀紋は小、圓形、灰白、外圍は暗色、腎狀紋は暗色、腎狀紋は黄白、暗色環を有す、後横線は暗色、判然せず、亞外縁線は細く、白色、積々W字形を呈す。後翅は暗灰色、弦月形紋は暗色。開張一寸。これは四月札幌にて捕獲せられたるが少なし。



分布—北海道。

アヲヤマキリガ……………(九一九)

Monima koyamensis Mats.

前翅灰褐、横線は赤褐、黒鱗を散在す、前横線の内側は淡色、環狀紋は卵形、腎狀紋は淡色、大、其下方に暗色紋あり、後横線は一双にして、内方のものは太く、後縁の中央に終る、亞外縁線は波狀、その終る前縁の内側に暗褐紋あり。後翅は暗灰、横脈紋は暗色、判然せず。開張一寸二分五厘。これは後志



外。幼蟲は櫛、シナノキ等に寄生す。分布—北海道、本州、アムール、歐洲。

ヨモギキリガ……………(九二四)

Monima eracelis F.

前翅は暗褐、中央に彎曲せる黒色横帯を具ふ、環狀紋及び腎狀紋は少しく濃色、周縁は淡色、後横線は淡色、内側は濃色、此線の内方に黒點を横列し、縁毛の基部は淡色。後翅は白色、翅端は少しく褐色を帯ぶ、中室紋は暗色、後横線は暗色より成り、中央部に於てのみ判然す。開張一寸二分内外。これは四月頃札幌地方に普通なり。



分布—北海道、本州、ウズリ、歐洲。

青山温泉地方に捕獲せられたるも少なし。分布—北海道。

ホソバキリガ……………(九二〇)

Monima angustipennis Mats.

前翅は暗褐、赤褐鱗を散在す、横線は判然せず、環狀紋は圓形、淡色環を有す、腎狀紋は大、中央は暗色を帯び、淡色環を有す、亞外縁線は廣く灰色、外縁には暗色點を列ぬ。後翅は前翅と同色、縁毛は暗灰色、基部に淡色線あり。開張一寸八分。これは札幌にて捕獲せられたるも少なし。



分布—北海道。

アカバキリガ……………(九二一)

Monima carni

前翅は赤褐、少しく紫紅色を帯ぶ、横線及び波狀線は濃赤褐、環狀



第六鱗翅目(蛾亞目)

カバキリガ.....(九三五)

Monima incerta Hüfn.

前翅は灰白、黒鱗を散布す、半横線及び其外方
スブセタシウス形 〇 の一點は黒色、
前横線は暗色、



環状紋及び腎状紋は白線
にて縁取られ、其外側は
稍々暗色、腎状紋は下半
にて暗色の一圓紋を藏す
後横線は太く暗色、外側
は白線にて縁取られ、外
縁に黒點列を裝ふ。後翅

は暗灰色、外縁は淡色、横脈紋は暗色、外縁線は
黒點より成る、開張一寸四分内外。これは四月
頃札幌には普通なり。

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲、亞米利
加。

アカモンエゾキリガ.....(九三六)

Monima jezoensis Mats.

前翅は灰褐、紋條は黒色と灰白、亞翅底線は二
紋にて代表せられ、その外側は白色線にて縁取
られ、その外方に暗色點あり、前横線は暗色、
中脈上にて黒色となる、内側は白線にて縁取ら

♂



る、中室は赤褐、環状紋
は灰色、外圍は灰白、前
方開口す、腎状紋は環状
紋に似る、後横線は黒
色、波状、前縁にて黒點
に終る、亞外縁線は淡
色、外側は暗色、前縁にて黒點に終り、外縁に
は黒紋を列ぬ。後翅は暗灰色、金色の光澤を帶
び、横脈紋は暗色、開張一寸餘。これは四月頃
札幌地方に産するも少なし。

分布 北海道。

スモモキリガ.....(九三七)

Monima nunda Espr.

體翅は灰黄、前翅の翅底に近き二點、中室後角
に近き一點、第四及び第
五室の中央にある一紋は
黒色、外縁に暗色の波状
線あれども、判然せず。



後翅は前翅よりも少しく
暗色、縁毛は淡色。開張
一寸四分内外。これは四月頃札幌地方に普通な
り。幼蟲は繭、白楊、李等に寄生す。

分布 北海道、本州、歐洲。

クロスヂキリガ.....(九三八)

Monima nigrolinea Mats.

前翅灰色、黒鱗を散在し、横線は暗色、判然せ
ず、但し亞外縁線は黒
色、少しく橙黄鱗を混
じ、前縁にて三角紋に終
る、環状紋及び腎状紋は
判然せず、外圍は灰黄、
外縁に黒點を列ね、縁毛



は灰黄。後翅は灰色、少しく金光を帶び、亞外
縁線は暗色なれども、判然せず。開張一寸餘。
これは四月札幌地方に捕獲せられたるが稀なる
が如し。

分布 北海道。

カギモンキリガ.....(九三九)

Monima nigromaculata Hoen.

體翅は灰白色、少しく暗色を帶ぶ。前翅は中室
の直下に黒縦條を具へ、
中室の外側にはく字形の
黒紋を裝ふ、此紋の上方
前縁には一黒紋ありて、
外縁には小黒點を横列
す、翅端に近く前縁に暗



カラフトトモエヤガ.....(九四〇)

Monobia sachalinensis Mats.

前翅は灰色、紋條は黒
褐、半横線、亞外縁線は
暗色、其外方に淡色の一
線を并走し、縁毛は灰
色。後翅は暗灰色、少し
く褐色を帶ぶ。開張一寸
一分内外。これは樺太に産するも少なし。



分布 樺太。

トモエヤガ.....(九四一)

Monobia xena Stegr.

前翅は黄褐、少しく暗色を帶ぶ、中央は廣く暗
褐、環状紋及び腎状紋は淡
色、波状線は淡色、其内側
は少しく濃色、外縁線は濃
色、縁毛は淡色。後翅は暗
色、翅底に至るに隨ひ淡色
となる、縁毛は黄白。開張
一寸内外。高山地帯に産するも少なし。



分布 本州。

オニベニシタバ.....(九四五)

八一七

チャイロキリガ.....(九三〇)

Monima ochrosa Burtl.

前翅は紫褐色、各横線、環状紋並に腎状紋は餘
り判然せず、波状線の外方は淡色、稍々紫色を
帶び、縁毛は暗紅色。後翅は暗灰色。頭及び前胸



色紋あれども判然せず。開張一寸二分内外。こ
れは四月頃釧路に飛來するも稀なり。

分布 本州、九州。

クロトビキリガ.....(九三一)

Monima ferromoea Hamps.

前翅は淡き茶褐色、前横線及び後横線は黄色、

第六鱗翅目(蛾亞目)

チャイロヨタウ.....(九三二)

Monobia grisea Burtl.

前翅は淡き黄褐色、横線は暗色、環状紋は判然
せず、腎状紋は淡
色、亞外縁線は暗
色、その兩側は淡
色。後翅暗黄色、翅
脈及び外縁線は少し
く暗色を帶ぶ。開張
一寸五分内外。これ
は札幌地方には稀な
らず。暗んで燈火に飛來す。



分布 北海道、本州。

Mormonia dula Irem.



前翅黒褐、横線は黒色、翅端、腎状紋の周縁、後横線の両端及び波状線の内縁は緑白、腎状紋の下方の卵形紋は灰色、外縁の二帯は黒色。後翅は紅色、外縁に近く黒色の二帯を具へ、縁毛は白色。開張二寸三分。これは晝間に飛來すれども亦、燈火にも來る。幼蟲はナラ、カシハの葉を食す。

分布—北海道、本州、九州、滿洲、西比利亞。

ヒメキシタバ *Mormonia hehneri* Mat.

前翅暗灰色、横線は黒色、後横線は犬牙状をなして屈曲し、腎状紋は灰褐縁を有し、その内外は白色。後翅は橙黄色、二帯は黒色、外方のも



のは太く、縁毛は白色。開張二寸一分内外。これは餘り多からず。

フタオビコヤガ *Naranaga aeneusens* Moor. (九三七)

雄の前翅は濃黄色、中央の斜條は赤褐。後翅は灰黒。雌の前翅は黄色、中央の二紋は暗色、少しく紫色を帯び、前縁角にも同色紋を装ふ。開張七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はイネノコアブムシと稱



し、稻葉を食ひ、大害を加ふることあり。

分布—北海道、本州、九州、臺灣、瓜哇、馬來、印度。

トガリウスキヨタウ *Neoleucania curvilinea* Hamps. (九三八)
前翅は暗灰色、中室を貫く縱條及び中脈下の縱條は暗色、但し前室は少しく下方に曲り、翅底にて判然せず、尙、各室に暗色條あれども、雌にては二、三、四室に各一條あるに過ぎず、外縁及び後縁は少しく濃色。後翅は前翅より淡色、翅底にて更に一層淡色。開張一寸内外。これは臺灣に稀ならず。



分布—臺灣、印度、滿洲。

ノヒラキヨタウ *Neoborolia hohirae* Mats. (九三九)



雌、前翅は灰黄、斑紋を缺き、唯だ後横線の處に黒點列あり。後翅の翅端に近く暗色點を列ね、縦脈に沿ひ少しく暗色を帯ぶるを以て、脈は淡色なるが如し。開張一寸餘。これは京都にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

本州(京都)

オホアカマヘアツバ *Nocturia nippona* Butl. (九四〇)



體翅は淡黄褐、前翅の前縁は黄褐、中央に不明なる暗色の二帯を具へ、外縁に近き一帯は黄褐。後翅は暗色、外縁に近く列然せざる淡色帯あり、外縁は黄褐。開張一寸三分。これは何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州。

ヒゲブトロアツバ *Nocturia tristis* Butl. (九四一)



體翅は黒褐。前翅は後翅よりも濃色。前翅の中央にある鋸状の二線及びく字形の横線は黒色、外縁に近き一帯は暗色。後翅の外縁は暗色、中央に暗色帯あれども判然せず。開張一寸一分内外。これは札幌地方に普通なり。

北海道、本州、朝鮮

クロオホトモエ *Nyctopao albivincta* Koll. (九四二)

體翅は藍黒色。前翅中央に巴様の大紋を装ひ、その内半は褐色、外半は黒色、周縁は黒縁、白



點を散在し、この紋と外縁との中間に淡色の波状線を装ふ。後翅には灰白の長毛を密生し、波状線は前翅のものと相連続す。開張三寸五分。これは臺灣に稀ならず。

分布—臺灣、印度。

オホトモエ *Nyctopao crepuscularis* L. (九四三)

前翅は黒褐、中央に巴状紋を具へ、其周縁は黒色、其下方は帯藍白、内部は褐色、黒色の半輪を繞らす、其他の紋條は白色。後翅は黒褐、翅底は灰白、其外方の細線は灰白、中横線及び波



状線は白色。頭部及び前縁の横帯は黒色。開張三寸内外。これは北海道に稀なるも中國地方には普通なり。燈火に飛來するも、寧ろ糖液に多く集まる。

分布—日本全土、琉球、臺灣、滿洲、支那、印度、スマトラ、マダガスカル、亞米利加。

クロトモエ *Nyctopso glaucopsis* Wlk. (九四四)

オホトモエに酷似すれども、その異なる所は、



雌 體翅は天鵝絨様の黒色、前後の兩横線は黒色、巴狀紋は翅底に近く位し、内半は黒褐、外半は黒色、波狀線は判然せず。後翅の二帯は黒色。開張三寸内外。これは臺灣に稀ならず。

分布—臺灣、支那、印度。

シマヨタウ *Oligia arcta* Ledt. (九四五)

前翅は暗灰色、翅底の前半、中央の大部は暗



雌 褐、前横線及び中横線は灰白、中室紋は褐色、周縁灰白、此紋の直下に暗灰色の部分あり、後縁は判然せず、縁毛は暗色と淡色の斑をなす。後翅は暗色、縁毛は淡色。開張一寸内外。

分布—北海道、本州、朝鮮、アムール、ウスリ。

ヨコスチヨタウ *Oligia bicoloria* Hb. (九四六)

前翅の翅底半は褐色、外半は暗色、横線及び波



雌 狀線は多少濃色、腎狀紋及び後横線の外側に白鱗を密布す、尙、外縁部にも少しく白鱗を混ず。後翅は暗色、翅脈及び外縁線は濃色。開張八分内外。これは札幌地方に普通なり。麥を害す。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

ベニモンヨタウ *Oligia vulnerata* Paul. (九四七)

前翅は暗色、灰色を帯ぶ、外半は淡色、褐色を



雌 帯ぶ、横線は何れも黒色、環狀紋及び腎狀紋は灰色、少しく褐色を帯び、翅端に近く前縁に白點を帯ぶ、亞外縁線は波狀、暗色なれども、餘り判然せず、外縁線は黒色、斷續す。後翅は白色、少しく暗色を帯ぶ、外縁線は黒色。開張六分五厘内外。これは札幌地方に普通なり。

分布—北海道、本州、朝鮮。

ヒメアケビコノハ *Ophideres fulonica* L. (九四八)

雌、頭及び胸背は赤褐、少しく紫色を帯び、腹

部は橙黄。前翅は褐綠色を帯び、暗色の斑紋を散在す、前横線は暗色、腎狀紋は不明、後横線は翅端より後方に斜走せる一線と相合す。後翅は橙黄色、中室の下端に大なる黒色の半月紋を帯び、外縁には黒帯あり。開張二寸八分内外。これは果實に口吻を挿入して大害を加ふ。

色、前縁角に近き部分は白色。開張一寸七分内外。幼蟲はキイチゴの葉を食す。
分布—北海道、本州、沖縄、朝鮮、亞弗利加、歐洲。

ホソオビアシフト *Ophideres aretoaenia* Guen. (九五二)

體翅は黒褐。前翅



の中帯は白色、その外方より第六脈上に向つて白色の一短線を斜走し、更にその下方より黒色の一横線を後縁に斜走す。後翅

の中帯は白色。開張一寸四分内外。これは九州及び沖縄に少なからず。
分布—本州、九州、沖縄、朝鮮、支那、印度。

キシタアシフト *Ophideres coronata* F. (九五三)

前翅暗褐、横線は黒褐、前横線と後横線は後縁

にて相連續し、波狀線は淡色、これと後横線との間室は濃色、その中央に判然せざる黒紋を裝

分布—本州、臺灣、印度、滿洲、亞弗利加。

キマヘコノハ *Ophideres salaminia* F. (九四九)

前翅は綠色又黄綠、翅底より翅端迄の前縁に沿



雌 ひ黄白の廣帯を縱走す、但し翅底にて淡黄、前縁は綠色、外縁及び縁毛は白色、第二脈は赤色。後翅は橙黄、内縁に近き一紋及び外縁の廣帯は黒色。開張二寸五分—三寸四分。この幼蟲は防已科の植物を食とす。



♀

ひ、環状紋は黒色、腎状紋は大、黒線を有し、内部は暗色、その下方に不明の黒紋あり。後翅は橙黄、二帯は黒色。開張二寸八分—三寸一分内外。この幼蟲はモモタマナの葉を食とす。
分布—小笠原島、沖縄、臺灣、比島、印度。

オホアシブト

Ophiusa cuprea Moor.

體翅は茶褐色。前翅の廣帯は淡褐、翅端より後縁に向ひり狀帯を斜走し、その外方は淡褐、後



♀

翅の外縁は淡色、廣帯は橙黄色、内縁角紋は黒色。開張二寸三分内外。これは臺灣に産すれども餘り多からず。
分布—臺灣、支那、印度。

キオビオホアシブト

Ophiusa taiwoaena Guen.

體翅暗褐。前翅の中央に灰白帯ありて、その中にある横脈紋は暗色、その外方に半月形の暗褐大紋あり、外縁は灰色、半月紋に接してその下方に暗色の波状線を具へ、下方にて太し、外縁線は波状、第一室の末端に黒點あり。後翅の橙黄帯は内縁にて細し、その外側紋は楔狀、内縁



♂

分布—臺灣、支那、印度。
るが如し。

ムラサキアシブト

Ophiusa matorata Wk.

これはナタモンアシブトに酷似すれども、その稀なる所は、



♀

前翅底の灰白なること、前横線と中横線との中間淡紫色を帯ぶること、後横線と中横線との中間は後縁にて

は黄褐、第一室の末端に黒紋あり。開張二寸一分内外。これは埔里に稀ならざ

隔離し、翅端の黒線の犬牙狀をなさざるにあり。開張一寸八分内外。これは廣く東洋に分布すれども餘り多からず。
分布—本州、朝鮮、臺灣、支那、印度。

ナタモンアシブト

Ophiusa matorata Wk.

體翅は暗褐。前翅の横線は淡黄色、後横線は屈折し、前縁に近く鋭角をなし、その角頂は翅端の黒紋と相連続し、外縁は少しく濃褐を呈し、二黒點を有す。後翅の基部、内縁角の附近并に



前縁角に近き縁毛は少しく灰色を帯ぶ。開張一寸七分内外。これは臺灣に産するも餘り多からず。
分布—臺灣、印度。

ミツテンアシブト

Ophiusa melicerte Drury.

第六 鱗翅目(蛾亞目)



♀

前翅淡褐、横線は黒褐、前横線の外側は青白を帯び、外縁は稍々藍色を帯びたる白色。後翅は黒色、帯は青白色、外縁の三紋は白色。開張一寸八分。これは糖液に集來す。果實の液汁を吸収し大害を加ふることにあり。
分布—小笠原島、沖縄、臺灣、印度。

シロオビオホアシブト

Ophiusa praetermissa Warr.

體翅淡褐。前翅の中帯は白色、前縁端に半楕圓形の暗色紋ありて、その下端は白線にて縁取られ、白帯の外側に楔狀の大暗褐紋あり、亞外縁線は波状、細



♀

くして判然せず。後翅の中帯は細く、外縁は灰白、第一室に黒紋あり、開張一寸九分。これは埔里地方に稀ならず。
分布—臺灣、支那、印度。

オホシラホシアシブト

Ophiusa serva F.

これはオホアシブトに酷似すれども、横線は暗色、何れも細く齒狀を呈し、後横線は暗褐、こ



♀

れと波状線との中間は少しく暗褐を帯び、波状線以外の前縁は翅端に至る迄灰色、縁毛は灰黄後翅の外縁に三白紋を具ふ。開張二寸四分内外。これは小笠原島に普通なり。

〔分布〕小笠原島、沖縄、印度。

ヒメエグリバ.....(九六〇)

Orestia emarginata F.



胸背及び前翅は暗褐、前翅端は少しく切斷せられ、外縁の中央は角をなして後方にて屈折し、後縁の中央割られ、腎状紋の外方に二條のく字形紋ありて、中室の下方に暗褐の一線を、

翅端より後縁に向ひ暗褐線を斜走し、その外方は黄褐、少しく金色を帯ぶ。後翅は暗色。開張一寸一分内外。これは果實に口吻を挿入して大害を加ふ。

〔分布〕本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

アカエグリバ.....(九六一)

Orestia excavata Bault.



前翅褐色、前縁角より縁褐の一線を

ナカクロモンヨタウ.....(九六三)

Oroploxia decorata Moor.



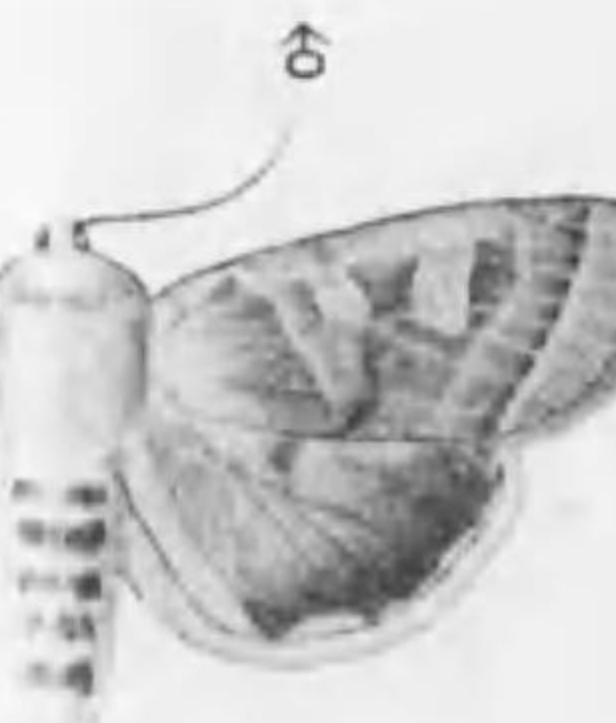
前翅暗紫色、前縁中央部、環状紋及び後縁は淡色、後横線の外方に濃色帯あり、横線は何れも黄白色、其内側乃至外側は黒色、波状線は黄白、濃色帯の中に入りて餘り判然せず、環状紋及び腎状紋は黄白線にて縁取られ、前縁の外半に小黄白點を裝

ひ、縁毛にも同色點を横列す。後翅は暗色、少しく紫色を帯び、後横線及び波状線は濃色、外側は黄白。開張一寸四分内外。これは本州に産するも少なし。

〔分布〕本州、支那、印度。

イチゴキリガ.....(九六四)

Orthodes fragarinae Esp.



前翅は灰褐、横線及び波状線は

色。開張八分。これは燈火に飛來する普通種なり。

〔分布〕北海道、本州、九州、支那、印度。

ミミモンクチバ.....(九六八)

Oxyodes scrobiculata F.



體翅黄褐若くは暗黄。前翅の翅底線、前横線、中横線、一雙の後横線及び亞外縁線は暗色、波状を呈し、腎状紋及び環状紋

は黒色、後者の中央は淡色、前者は心臟形を呈し、その周囲は灰白。後翅の前縁は廣く黄色、横帯は暗色、波状。開張一寸八分内外。これは臺灣に産するもその數少なし。

〔分布〕臺灣、支那、印度。

シロテンツマキリアツバ.....(九六九)

Panorpa amphilecta Bault.

體翅は淡褐、黄褐を呈する部分あり。前翅の外縁は多少犬牙狀を呈し、中室の外方に暗色の小

Orthogonia neva Felt.

前翅は褐色若くは黒褐、翅底及び中央の廣帯は黒藍色、斑紋の周縁は灰黄、この紋及び内縁角の附近は天鵝絨様の黒色、後縁は黄緑、外縁に近き波



狀帯は黄緑、これと外縁との間は暗褐、外縁は赤褐、縁毛は暗褐。後翅は暗黒、縁毛は灰白。開張二寸内外。これは燈火に飛來するも稀なるが如し。

〔分布〕北海道、本州、朝鮮、支那。

ヒメクルマガ.....(九六七)

Orusa divisa Wlk.



體翅は暗褐、前翅の前縁、二帯、その中間の短横線及び波状線は黄色。後翅中央の一線及び波状線は前翅のものに相連続し、縁毛は黄

シロスチノコメセダカ.....(九六五)

Orthogonia obscurata Seitz



前翅は紫褐、後横線と外縁との間は少しく淡色、前横線、後横線、中脈、外半の各翅脈並に外縁線は灰黄色、半横線は黒帯となり、前横線と後横線との間に淡色部あり、後縁は灰黄色、縁毛は褐色。後翅は前翅よりも少しく淡色、縁毛は黄白。開張二寸内外。これは糖液に來るも少なし。

〔分布〕北海道、本州、朝鮮、支那。

ノコメセダカ.....(九六六)



シロツマキリアツバ.....(九七二)
Pantographa porphyrea Butl.
體翅は灰色、少しく紫色を帯ぶ。前翅の前縁部に白點を装ひ、中帯は暗黒、赤褐點を具へ、外縁角に近く赤褐の廣帯を装ひ、中室の卵形紋は黄褐、黒色の周縁を有し、横脈紋は暗色、白縁あり。後翅の外縁に近く暗黒の二帯ありて、白縁を有す。開張一寸内外。これは餘り多からず。
分布 本州。



ムラサキツマキリアツバ.....(九七三)
Pantographa snavooha Stgr.
體翅は褐色。前翅にく字形の三黒褐帯を具へ、その外方にある二帯は平行し、その外方に當り、翅端に近く前縁より後縁に向ひ暗色の一帯を横走す、翅端及びこれに近き前縁の三角紋は灰白、外縁は黒色、その内方に波状をなせる暗黒帯あれども、餘り判然せず。後翅の帯は何れも前翅の延長、横脈點は黒色、前縁は灰



マツキリガ.....(九七四)
Panolis flammea Schiff.
體翅は赤褐。前翅の環狀紋及び腎狀紋は大、灰白、後者の中央に赤褐の紋あり、中室後縁角にある弦月紋は黒色、中脈の分支點及び第一脈の中央に灰白の紋を具へ、外縁の翅脈は黒褐。後翅



リンゴツマキリアツバ.....(九七〇)
Pantographa olsecurata Butl.
體翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ。前翅の横線は黒褐、後横線は前縁にて甚だ太く、後縁にて細まり、その前縁には三角形の灰色紋を具へ、波狀線は灰色、判然せず。後翅には二黒帯あり。開張九分内外。この幼蟲は栗樹の葉を食す。餘り多からず。
分布 北海道、本州、九州、朝鮮。



マヘアカシロヨタウ.....(九七六)
Parastichtis askoldis Oberth.
體翅は灰白色。前翅の紋は暗褐、横線は何れも白色、環狀紋及び腎狀紋は淡色線にて縁取らす。
分布 樺太、北海道、歐洲。



タイワンハスモンヨタウ.....(九七七)
Parastichtis fornosensu Hamp.
前翅は前縁、翅底及び中央部に赤褐、環狀紋は斜にして、楕圓形、灰色、兩側黒線にて縁取る、腎狀紋は白色、中央點は暗色、楕圓形、環狀紋の内側には斜傾せる暗色の廣き短線ありて、その内側及び下方は灰白、後横線の外側及び翅端は灰白。後翅は暗色。開張一寸四分。これは臺灣に産するも少なし。
分布 臺灣。



ゴマダラヨタウ.....(九七五)
Panthea coenolafa Espr.
前翅は白色、黒鱗を散在し、紋線は黒色。後翅も白色にして、少しく暗色を帯ぶ、縁毛は白色と暗色の斑をなす。頭胸部は白色、黒紋を具ふ。腹部も同色なれども褐色を帯べる部分あり。開張一寸八分内外。これは樺太に普通なり。幼蟲はトドマツの葉を食す。
分布 本州(東京)、歐洲。



アカモクメヨタウ.....(九七八)
Parastichtis funerea Hein.
前翅は赤褐、翅底の中央及び其下方に黒縦線あり、中室紋及び腎狀紋は灰色、中央は少しく暗褐、前後兩横線は波狀、餘り判然せず、前縁は後横線の處まで



第六 鱗翅目(蛾亞目)

數個の暗色紋を装ふ、外縁の各室に黒褐の短縦條あり、縁毛は暗褐と赤褐の斑をなす。後翅は暗褐、縁毛は暗黄。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—本州、支那、アムール、歐洲。

エゾチヤイロヨタウ……………(九七九)

Parastichtis jezoensis Mats.

雌、前翅の灰黄褐、紋條は暗褐、翅底に暗色鱗を装ふ、前横線は波狀、中脈の上方にて判然せり、環狀紋は卵形、斜傾し、腎狀紋は大、



兩側は暗褐線にて縁取られ、中室後角の下方に暗色の大紋あり、後横線は中室外にて少しく波狀を呈す、亞外縁線は淡

色、波狀、外側は暗色、翅端は淡色、前縁に約九個の黒點あり。後翅は灰色、外縁は少しく暗色。開張一寸四分—一寸八分。これは札幌地方にて捕獲せるが少なし。

分布—北海道(札幌)。

オホアカヨタウ……………(九八〇)

Parastichtis laetitia Hüb.

前翅は褐色、少しく赤味を帯び、横線及び斑紋は淡色、腎狀紋の外縁は白線にて縁



取らる。後翅は暗色、外縁線は濃色、縁毛は淡色。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來する最も普通の夜蛾にして、又暗んで糖液にも集まる。幼蟲は禾本植物の根を食す。

分布—樺太、北海道、本州、支那、滿洲、西比利亞、歐洲、北米。

クサビヨタウ……………(九八一)

Parastichtis ophiogramma Esp.

前翅は灰色、少しく褐色を帯ぶ、前横線及び後



横線は白色、此兩線間は後半を除き黒褐、此中に判然せざる環狀紋及び腎狀紋を藏す、前縁に數個の暗色點及び白色點を装へども餘り

カドモンヨタウ……………(九八三)

Parastichtis rurea F.

前翅は暗灰色、横線は黒色、翅底の一紋、外縁の中央及び後縁角の上方にある三角形紋は暗



褐、前横線の内側、後横線の外側、環狀紋、腎狀紋等は淡色、翅端に近き前縁に數個の白點を装ふ、外縁線は黒色、斷續す、縁毛は暗色、淡

色の點列を装ひ、基部に一淡色線を横走す。後翅は暗色、縁毛は白色、中央に判然せざる灰褐線を装ふ。開張一寸四分内外。これは本州に産するも、少なし。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分布—本州、支那、アムール、歐洲。

セスチヨタウ……………(九八四)

Parastichtis scotopactina Esp.



體翅は黄白、前翅は前縁に暗色紋を装ひ、外縁は翅端を除き赤褐、淡色を

第六 鱗翅目(蛾亞目)

判然せず、外縁に近く太き暗色線あり、外縁に黒點を横列す、縁毛は暗色。後翅は灰色、少しく褐色を帯ぶ。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲は禾本科植物を食す。

分布—北海道、西比利亞、歐洲。附言—これは前翅に稍々楔狀の黒褐紋を有するを以てこの名あり。

ニペイロヨタウ……………(九八三)

Parastichtis plumbealis Mats.

前翅は暗色を帯びたる灰色、斑紋は黒色、第一



脈に沿ひ翅底に一條線を具へ、環狀紋は灰色、卵形、外側は暗色、腎狀紋は灰色、大、兩紋間の前縁に稍々四角形の黒紋あり、前後の兩横線は判然せず、波狀、亞外縁線は淡灰色、波狀、第五室に褐色の一點あり、前縁の翅端に近き所に暗色紋ありて、外縁線は黒色。後翅は灰褐、横脈紋は暗色。開張一寸三分。これは札幌地方にて捕獲せられたるが稀なり。

分布—北海道(札幌)。

ヤカリネンシス形オホアカヨタウ……………(九八五)

Parastichtis zealis J.

呈する亞外縁線の外側は暗色、横線は暗色乃至



黒色なれども餘り判然せず、腎狀紋は白色、中央に暗色部あり、縁毛は黒色、基部は淡色。後翅は全面に暗色鱗を密布し、縁毛は黄白。開張一寸一分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は禾本科植物を食す。

分布—北海道、本州、歐洲。

ホシミミヨタウ……………(九八五)

Parastichtis zealis J.

前翅は暗褐、横線は少しく濃色、波狀線は淡



色、環狀紋は暗色線にて縁取られ、腎狀紋の大

半は白色、外縁に黒點を横列し、尙前縁は外半に小白點を装ふ。後翅は暗色、縁毛淡色にして、中央に暗色線を横走す。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は禾本科植物を食す。

分布—樺太、北海道、本州、支那、アムール、歐洲。

カラフトオホヨタウ……………(九八六)

Parastichtis scordis Hüb.

前翅は暗褐、外縁に近き部分に黒鱗を混ぜず、横



線は暗色、後横線及び波狀線の外側は淡色線にて縁取らる、環狀紋及び栓狀紋は赤褐、腎狀紋は暗褐、外半に白鱗を混ぜず、後縁は翅底に近く一短黒線を具へ、前縁の外半に數個の白點を

八二九

装ふ、後横線の外方に判然せざる白點列を並走す。縁毛は暗色、基部淡色。後翅は暗色、翅底半は淡色、中室紋は濃色、縁毛は暗黄。開張一寸四分内外。これは札幌地方に産すれども少なし。

分布 北海道、支那。

フレクキリンガ

Parhyalophila calasiata Stgr.

體は灰白。前翅は綠色、後縁の基部及び後横線は白色、後者はく字形を呈し、その外側の下端に黒色の二線あり、外縁は暗色、縁毛は白色、少しく黒毛を混ず。後翅は暗色、翅底は白色、亞外縁線及び脈は暗色。開張八分。これは本州に産すれども稀なり。

分布 本州、アムール。

ヨコヅナトモエ

Patula microps L.

體翅暗褐、紋條は黒色。前翅に約九條の波狀線ありて、中室外に大形の眼狀紋を具へ、其中央に山字形紋を裝ひ、その内側は灰白、外方に更



環狀紋に連り、その下方に暗色の太き縦條あり、腎狀紋の外側に雲狀の暗色紋を具へ、後横線の處に黒紋列ありて、第一、二、五、六室にて判然す、亞外縁線は暗色、外縁に黒點を列ぬ。後翅は暗灰色、横脈紋は暗色。開張一寸四分—一寸七分。これは札幌及び大阪地方に稀ならず。

分布 北海道、本州。

モクメガラス

Perinaenia lignosa Btl.

前翅は赤褐、木目様の灰褐紋を裝ふ、中央の縦條黒色、環狀紋及び腎狀紋白色、外縁線は黒色、其外方の短線及び外縁の點線は黒色、縁毛は灰色、基部の一線は暗色。後翅外縁の廣帯は暗



第六 鱗翅目(蛾亞目)



方に稀ならず。草のある所に多きを以て見れば或はその食草なるやも知れず。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲。

フタテンヒメヨタウ

Hatiba biguttata Motsch.

前翅は赤褐、横線は淡色、中室紋及び横脈紋は白色、翅端に近く前縁に判然せざる若干の淡色紋を裝ふ、縁毛は暗色。後翅は暗色、縁毛は少しく淡色。開張一寸内外。これは本州及び九州に産するも少なし。

分布 本州、九州、朝鮮。

スキタニキリガ

Perigrapha sugitani Mats.

前翅は灰褐、紋條は黒色と灰色、亞底線は黒色、その外側は灰色、中室下に楔狀の黒紋あり、中室は暗色、環狀及び腎狀の兩紋は淡色、中脈に沿ひ太き灰色の縱線ありて、腎狀紋及び



色。後翅は淡色、縁毛は灰黄。頭及び頸板毛は黄褐。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は蕁麻、紫蘇等の葉を食とす。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

オホキンウハバ

Phytometra chryson Esp.

前翅は黒褐、少しく紫色を帯び、前縁及び外縁部は淡色、横線は黒色、腎狀紋は黒色の周縁を具へ、その外方並に後横線に至る間は著しく金色を帯ぶ。後翅は暗黄色、外縁は暗色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はヒョドリバナの葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、臺灣、支那、滿洲、印度、歐洲、亞弗利加。



黒、縁毛は淡白。腹部は淡灰色。開張一寸四分内外。これは本州に産するも稀なり。北海道に産せざるが如し。

分布 本州、支那。

ミツモンキンウハバ

Phytometra (Plusia) agnata Stgr.

前翅は灰褐、外縁の上方及び後縁の中央に金色紋を具へ、中央に銀色の二點ありて、これは灰黄の弓狀帯に連りて後縁の基部に開口し、その外側は黒色、亞底線、前横線、後横線(二本)及び亞外縁線は暗色、波狀、後者は第四室及び第一室の處にて内方に瘤狀に肥大す、二銀色紋の外側紋は黒色。後翅は暗色、基半部は淡色。開張一寸二分内外。これは何れの地方にも普通なり。

分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、アムール。

ヒサゴキンウハバ

Phytometra chrystis L.

體翅は暗褐、前翅の弧形紋は金色、外縁は淡

イチジクキンウハバ.....(九九七)

Phytometra eriosoma Dbl.

前翅は灰褐、金色を放つ、縁毛は灰褐、中室下の一回は暗褐、中央にある金色紋は寧ろ銀色に近く、二個の大紋は斜に並列し、内側にあるものはその内側より一斜條を



後縁に送る。後翅は暗色。開張一寸一一分。この幼蟲は無花果、薄荷、葱等の葉を食す。南國産と見え、北海道には産せず。
分布—本州(？)、九州、臺灣、支那、印度。

イネキンウハバ.....(九九八)

Phytometra festucae L.

前翅は金色を帯へる褐色若くは黄褐、中央の二



来するもその數多からず。幼蟲は菊科植物の葉を食す。
分布—北海道、滿洲。

キンホシウハバ.....(1001)

Phytometra ornaticissima Wk.

前翅は紫褐色、前縁の基部及び後縁の中央より第三脈に至る一紋並に外縁の内側は金色、中央の二紋は銀色、横線は赤褐、少しく金色を帯び、波状線は黒褐。後翅は暗褐、縁毛は淡褐。



開張一寸四分内外。これは燈火に飛來すれども餘り多からず。
分布—北海道、本州、支那、印度。

シロスキキンウハバ.....(1001)

Phytometra zosimi Hb.

前翅の前縁、外縁及び中室は灰白、その他は凡て美麗の金綠色、翅底に近き後縁並に外縁角に近き一回は濃色、横線は總て不明(但し波状線は暗色)、腎状紋、環状紋及び其下方の一小紋は

Phytometra leonina Olerth.

前翅は暗褐、少しく紫色を帯び、横線は濃色、後横線は前縁に近く屈折して内方に向ひ、翅端より後方に濃色の二線を斜走し、その外方にあるものは外縁に沿ひ少しく金色を帯び、環状紋は判然せず。後翅は淡黄、外縁は暗色。開張一寸五分。これは札幌地方に産すれども餘り多からず。
分布—北海道、滿洲。



キクキンウハバ.....(1001)

Phytometra orichaloea F.

前翅は茶褐色、鈎状紋は金色、其中の波状線は暗褐。後翅底は淡褐、外縁は暗色。頭及び胸背は赤褐。開張一寸四分内外。これは燈火に飛



紋は銀色、少しく金色を混じ、前縁角に近き菱形紋は銀色、前縁の基部、後縁の大部及び翅端は金色。後翅は淡黄褐、縁毛少しく赤味を帯ぶ。胸部褐色。腹部灰黄。開張一寸内外。これは燈火に飛來するもその數餘り多からず。幼蟲は稻葉を食す。
分布—北海道、本州、滿洲、歐洲。



分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲、西比利亞、歐洲。

ムラサキクチバ.....(1004)

Pindara shibata F.

暗色。後翅は灰黄色。帯は暗色。開張一寸三分。これは燈火に飛來するも餘り多からず。
分布—北海道、本州、ウスリ、アムール、西比利亞、歐洲。



ドウブトクチバ.....(1005)

Platya numibea Gram.

前翅は茶褐色、紋條は黒褐。前翅の環状紋は一點となり、腎状紋は楕圓形、その下縁より一短線を後方に斜走す、前横線、中横線及び後横線は判然せず。その痕跡を認め得べし、翅端を二分する一斜線は第五脈に達し、翅端に一白紋あり。後翅の中帯は波状、各脈の處にて點紋となる。外縁線は何れも判然せり。開張二寸内外。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。



分布—臺灣、印度、南洋諸島。

エノキコヤガ……………(1006)

Plotheia coltis Moor.

前翅淡褐色、少しく紫色を帯び、前横線は黒色、波状、亜底線は黒色なるも判然せず、後横線は一対、中央にて廣く彎曲し、その内方に暗色の大紋を蔵す、第二脈の兩側に黒縦線ありて、後横線を横斷す、亞外縁線は波状、淡色、



外縁線は黒色、縦脈によりて遮斷せらる。後翅は灰白、外縁に暗色部あり。開張七分。これは臺灣に産するもその數少なし。
分布—臺灣、印度。

らなる、環状紋は白色、卵形、大、外圍は灰黄、腎状紋は白色、大、圓形、後縁は黒線にて縁取られ、後横線は黒色、斜傾し、各室にてスカロツプとなる、亞外縁線は太く、鶯色、中央及び後角に黒紋あり、縁毛は白色、前縁に黒點を列ぬ。後翅は白色、外縁は少しく暗色。開張一寸一分内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布—北海道、本州。

フタスチヨタウ……………(1008)

Polia hilinea Hampes.

前翅は暗紫色、翅底及び中央部に少しく白鱗を混じ、外半少しく褐色を帯び、横線は何れも黒色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取られ、環状紋の下方に存する一紋も亦黒線にて縁取らる。後翅は暗褐色、翅脈は濃色。觸角は兩節齒を呈す。開張一寸二分内外。これは東京及び京都地方に産するも少なきが如し。
分布—本州。



シロオヒヨタウ……………(1009)

淡色なり。
分布—北海道、本州。

ムラサキヨタウ……………(1010)

Polia contigua s. et D.

前翅は暗色、灰白鱗を散在し、少しく紫褐色を帯ぶ、翅底の前半、横線、環状紋及び腎状紋は灰色



分布—北海道、本州。

クロヨタウ……………(1011)

Polia noctua Stgr.

前翅は暗色、少しく紫色を帯び、紋は黒色、横線は何れも波状、一対より成り、その間室は少しく淡色、環状紋及び腎状紋は暗灰色、黒線にて縁取らる、前縁の外半に四、五個の白點を装ふ。後翅は暗色、内半は灰色。翅脈は濃色、縁毛は白色、中帯は暗色。開張一寸四分内外。普通なり。
分布—北海道、本州、支那、アムール、印度。



シラホシヨタウ……………(1014)

Polia persicariae L.

前翅は黒褐色、横線及び波状線は黒色、環状紋の中央に黒點を装ひ、腎状紋は白色。後翅は灰白、外縁は暗色。頭及び胸背は黒褐色、頸板の基部は黄色。開張一寸六分内外。これは燈火及び

分布—臺灣、印度、南洋諸島。

エノキコヤガ……………(1006)

Plotheia coltis Moor.

前翅淡褐色、少しく紫色を帯び、前横線は黒色、波状、亜底線は黒色なるも判然せず、後横線は一対、中央にて廣く彎曲し、その内方に暗色の大紋を蔵す、第二脈の兩側に黒縦線ありて、後横線を横斷す、亞外縁線は波状、淡色、



外縁線は黒色、縦脈によりて遮斷せらる。後翅は灰白、外縁に暗色部あり。開張七分。これは臺灣に産するもその數少なし。
分布—臺灣、印度。

アイノシロモンヨタウ……………(1007)

Polia nino Mats.

前翅は緑灰色、斑紋は白色と黒色、翅底線は一対、前縁にて判然す、前横線は一対、波状、黒線によりて縫線の處にて後横線に相連



分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。

オホカンモンヨタウ……………(1011)

Polia gemistae Bkch.

前翅は灰褐色、紋は黒褐色、横線は白色、劍状紋は黒色、環状紋及び腎状紋は白色にて縁取られ、後横線を越えて前縁に三白點を装ひ、波状線内側に當り第二、三、四室に各一黒點を具へ、外縁に黒點列、縁毛に白點列あり。後翅は暗色、翅底は淡色、外縁に斷續せる黒線を装ひ、縁毛は黄白、暗色鱗を混す。開張一寸四分内外。これは札幌地方に産するも少なし。
分布—北海道、西比利亞、歐洲。



分布—北海道、西比利亞、歐洲。

ウニカラー形 ♀ *f. unicolor* Stgr.



糖液に飛來する普通種なり。幼蟲はサナヘダテその他種々の雜草の葉を食す。
分布 北海道、本州。

Polia splendens Hb.



前翅は暗赤褐、後横線の外側は稍々淡色、半横線、前横線及び中横線は濃色なれども餘り判然せず、環狀紋及び腎狀紋は白線にて縁取られ、後横線及び波狀線は白色。後翅は暗黄、中室紋、翅脈及び外縁は暗色、縁毛は白色、基部は淡黄。開張一寸二分内外。これは札幌地方に少なからず。幼蟲は種々の雜草を食す。
分布 北海道、朝鮮、アムール、歐洲。

シロオビクチャバ……………(1018)

Polysterna erisna Leech



前翅は灰褐、後横線は黄色、その外方は褐色、外縁及びその内方に判然せざる小黒點を横列し、翅底に近き後縁に黒紋あり。後翅は暗灰色、暗色の二帯を横走し、前縁角は暗色、縁毛は灰黄。開張一寸四分。これは臺灣地方に稀ならず。
分布 臺灣、支那、印度。

ハスモンヨタウ……………(1019)

Proletia Jihura F.

體翅灰褐。前翅の中脈、これより出づる三脈の基部、環狀紋及び腎狀紋の中間にある三斜條、中横線、後横線、一対の波狀線並に翅端は灰白、翅

マメヨタウ……………(1015)

Polia psal L.



ニーヴオニス形 ♂
f. nyvoniis Mats
前翅は暗褐、光線の工合に依り少しく紫色を現はす、翅底、中横線、外縁等の横線は濃色、環狀紋、腎狀紋及び波狀線は灰白、後翅は暗色、翅底は淡色、翅脈は濃色。開張一寸二分内外。これは北樺太に産するも、未だ日本領土に發見せられず。
分布 北樺太、歐洲。

ナカシロヨタウ……………(1017)

Polia thalassina Rott.



前翅は灰褐、中央部は淡色、横線は灰白、翅底の縦紋及び後縁の中央紋は黒色、環狀紋及び腎狀紋は灰色、波狀線内側の各室に短黒線あれども餘り判然せず、外縁に黒點、縁毛に灰褐點を列ぬ。後翅は暗色、外縁に濃色線を裝ひ縁毛は白色、暗色紋あり。開張一寸四分内外。

エゾチヤイロヨタウ……………(1016)



端各室の中央に短かき黒縦條あり、各脈の終る縁毛は灰白、尙、前縁、翅底及び後縁に黒斑を裝ふ。後翅は白色、半透明、縁線及び翅端は暗紫色を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは廣く半熱帶地方に分布す。幼蟲は蓮の葉を食す。
分布 沖縄、臺灣、小笠原島、朝鮮、支那、印度。

オホホシミミヨタウ……………(1010)

Prosalta capensis Guen.



前翅は暗褐、半横線、前横線、後横線及び波狀線は淡色、環狀紋及び腎狀紋は淡色線にて縁取らる、外縁に淡色點を横列す。後翅は白色、翅脈及び外縁は暗色、縁毛は白色。開張一寸一分内外。これは臺灣には普通なり。
分布 九州、臺灣、支那、印度。

キタバコガ……………(1011)

Pyralia umbra Hufn.



前翅は黄褐、紋條は黒褐、環狀紋は大、前横線は三折し、中横線は内方に曲り、腎狀紋の内部は黒褐、後横線の外方は赤褐、これに黒褐の波

エゾウスイロヤカ……………(1013)

Kadinogoes lepigone Moeschl.



前翅は暗色、細線の光澤を帯び、前横線及びエツエンシス形 ♂ 後横線は少しく濃色、然れど注意せざれば判然せず、腎狀紋は白點となり、その周囲は少しく黒味を帯び、その外側に黒紋を有するものあり、縁毛の基部に淡色線を貫く。後翅は灰色、外縁は暗色、縁毛は灰白、基部に近く暗色の一線あり。頭胸部は暗色。腹部は淡色。開張一寸一分内外。普通なり。
分布 北海道。

シロテンアカヤカ……………(1014)

Rhyacia brunnea Schiff.



カラフトトニス形 ♂ 前翅は灰褐色、横線は暗色、環状紋及び腎状紋は灰色、此兩紋間は黒褐色、亜外縁線は太く、帯状を呈し、外縁に濃色點を横列す。後翅は暗褐色、翅底淡色、縁毛は淡褐色を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは樺太に稀ならず。幼蟲は雜草を食す。

分布 樺太、ウスリ、アムール、歐洲。

附言 カラフトトニス形の原種と異なる所は主として前翅亜外縁線の細きにある。

灰白、少しく黄色を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは燈火及び糖液に集まる普通の夜蛾なり。幼蟲はハチノジネキリと稱し、亞麻、甘藍、豌豆、葱等を食害す。

分布 北海道、本州、朝鮮、印度、歐洲。

を有すれども餘り判然せず、後横線は太く、暗褐色の中室の外方に灰白紋あり、翅端に近き前縁は稍濃色にして、二三の淡色點を裝ひ、縁毛は一層赤味を帯ぶ。後翅は暗灰色、内半は淡色、翅脈は濃色、縁毛は赤味を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は雜草を食するものゝ如し。

分布 北海道、本州。

シロモンヤガ

Rhyacionia enigma J.

前翅は灰黒、少しく赤紫色を帯ぶ、前縁中央の三角紋は灰白、其附近は黒色、腎状紋は灰白、其外側より淡色の横線を出す、外縁角に近き一紋は黒色、これより淡色の波状線を出し、外縁と相平行す、兩者の中間は暗色。後翅は

後翅は暗色、内半は淡色、縁毛は灰黄。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はオホバコノ如き雜草の葉を食す。

分布 北海道、本州、アムール、歐洲。

此中に淡色の環状紋を抱き、腎状紋は暗色、翅底に近き黒點を具へ、横線は暗色、亜外縁線は淡色、翅端に近き前縁に黒紋を裝ふ、縁毛は淡色。後翅は白色、外縁は暗色、縁毛は淡色。開張一寸五分内外。これは札幌地方に稀なり。

アカフヤガ

Rhyacionia descripta Hren.

前翅は紫褐色、中室にC字形の一黒紋を裝ひ、



オホバコヤガ

Rhyacionia dubis Hb.

前翅は茶褐色、少しく暗色を帯び、中横線、亜外縁線及び外縁線は何れも暗褐色、環状紋及び腎状紋は淡色線にて縁取られ、前横線及び後横線は細くして判然せず、縁毛の基部は淡色。

コウスチャヤガ

Rhyacionia depurea Btl.

前翅は茶褐色、翅底の中部は淡色、数條の横線

らす。

分布 北海道、本州、アムール、印度。

タンボヤガ

Rhyacionia ditrapezium Btk.

前翅は灰褐色、少しく紫色を帯び、各横線、環状紋及び腎状紋の周縁は灰色、翅底の兩紋間及び後横線の外方は黒褐色。後翅は灰黄。體暗灰色、背上海毛は少しく濃色。開張一寸六分内外。これは

横線の外側に黒點列あり、波状線は灰色、翅端に近き前縁に大なる黒斑あり、外縁線は黒色にして、斷續す。縁毛は暗黄。後翅は橙黄色、周圍、横脈紋及び第一室の縦線は黒色、縁毛黄色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來するも少し。

分布 北海道、本州、アムール、亞細亞。

は褐色、周縁は灰黄、前横線の内方及び波状線の外方は淡色、外縁の點列は黒色。後翅は淡灰色、縁毛は紫色を帯ぶ。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

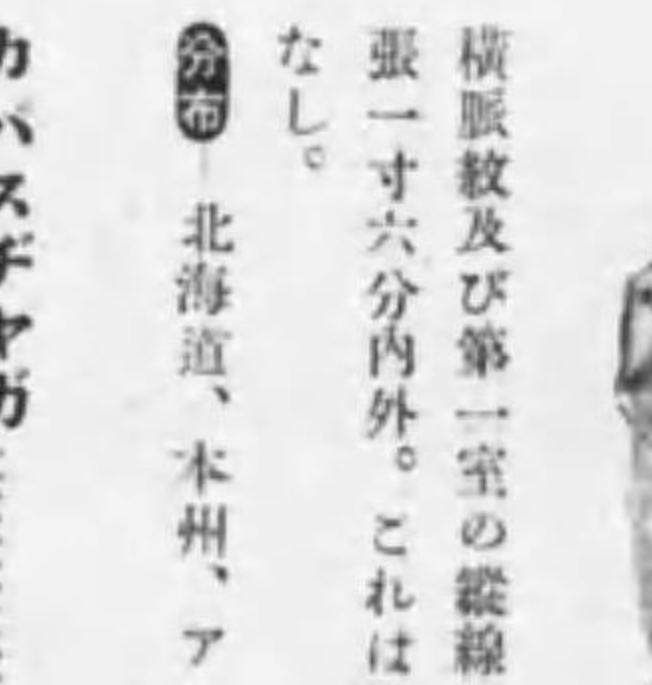
分布 北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞。

ニグロマツクライタ形 早

f. nigromaculata Graen.

本變形にありては前翅の中室に黒色の二大紋あり。

分布 樺太、北海道、本州、支那、アムール。



燈火に飛來する普通種なり。糖液にも集まる。幼蟲はタンボボ、ヒナギク等の葉を食す。

分布 北海道、本州、滿洲、印度、歐洲。

前翅は黄褐色、各横線は灰黄、環状、腎状の兩紋

前翅は暗色、灰色鱗を混じ、後縁及び波状線の内方は稍廣く褐色、横線及び波状線は共に淡色、中横線は暗色、環状紋及び腎状紋は灰色、後者は内部に少しく暗褐色を混ず、前者

キンタミドリヤガ

Rhyacionia efflorescens Btl.

前翅は灰褐色、綠色を帯び、外方の三分の一は暗褐色、各横線は黒色、中室に二黒紋ありて、此紋の兩側は白線にて縁取らる、腎状紋の外側は黒線にて縁取られ、其外方に大なる白斑を裝ひ、後



の下方に黒色紋を具へ、尙、波状紋の内側、第五六室に黒紋を装ふ、外縁線は黒點より成る。後翅は白色、かすかに暗色を帯ぶ、外縁線は暗色、縁毛は淡色。開張一寸三分内外。これは樺太に稀ならず。幼蟲は種々の雜草を食す。

分布 樺太、アムール、西比利亞、歐洲。

フルシヨウヤガ *Rhyacionia furushtonis* Mats. (1035)

Rhyacionia furushtonis Mats.

前翅は暗灰色、翅底の中央に黒色の縦線を具へ、腎状紋は灰白、黒線にて縁取られ、その外側に黒縦線あり、外縁には黒點を横列す、前横線、中横線及び後横線は暗色、縁毛は暗色と淡色の斑をなし、末端



は暗色。後翅は白色、少しく暗色を帯ぶ、翅脈は暗色、外縁に黒點を横列す。開張一寸五分内外。これは樺太及び千島に稀ならず。

分布 樺太、千島。

シロモンアカヤガ *Rhyacionia acuta* (1036)



色點を列ぬ。後翅は暗色、縁毛は淡色。開張一寸五分内外。これは何れの地方にも普通なり、暗んで燈火に飛來す。

分布 樺太、本州。

シロホシキシタヤガ *Rhyacionia lucella* Butler (1038)



リテラータ形 〇

Rhyacionia lucella Butler

前翅は灰褐、横線は淡色、黒線を有す、腎状紋は白色。後翅は暗褐、中央に黄色の廣帯あれども内縁には達せず、縁毛は黄色。開張一寸五分。これは札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

原種と異なる所は、前翅は黒色、外小半は灰白、後翅の黄帯の短かきにあり。これは札幌地方に稀ならず。

Rhyacionia interea Mats.

前翅は赤褐、中室の基部に暗色點あり、環状線は大、圓形、淡色、兩側は暗褐と灰黄線にて縁取らる、腎状紋は大、灰黄、外側は褐色、第四脈の基部に鈎状の一紋あり、鈴状紋は小、暗褐、後横線は一、二、亞外縁線は褐色、外側は灰黄にて細く縁取らる、縦脈は末端にて灰色。後翅は灰褐。開張一寸餘。これは日光にて捕獲せられたるが稀なり。

分布 本州。

イシダヤガ *Rhyacionia ishidaella* Mats. (1034)

前翅は灰色、斑紋は暗色なれども判然せず、環状紋大、卵形、淡色、灰褐線にて縁取られ、鈴状紋は暗色點となる、中横線太く、腎状紋は環状紋に似たり、中央の後縁は少しく暗色を帯ぶ、後横線は暗色。



分布 北海道、本州。

オホマヘジロヤガ *Rhyacionia musiva* Hüb. (1039)

Rhyacionia musiva Hüb.

前翅は灰褐、横線は灰白、黒線にて縁取られ、翅底の中央及び中室は黒色、前縁は外半を除き廣く白色、腎状紋は灰白、暗色線にて縁取らるるも餘り判然せず、後横線波状、亞外縁線の終る前縁に黒紋あり。後翅は暗灰色、外縁は暗色。開張一寸四分内外。札幌地方に少なからず。幼蟲は雜草を食す。

分布 北海道、アムール、西比利亞、歐洲。

アカマヘヤガ *Rhyacionia obscura* Brahm. (1040)

Rhyacionia obscura Brahm.



前翅は暗褐、前縁は灰色若くは

波状、外縁は淡色、翅端に近く三角形の判然せざる暗色紋あり。後翅は前翅より淡色、縁毛は白色。開張一寸三分。これは札幌地方に産するも少なし。

分布 北海道。

カラフトウスグロヤガ *Rhyacionia karufutensis* Mats. (1036)

Rhyacionia karufutensis Mats.

前翅は暗色、少しく緑色を帯ぶ、横線は黒色、波状線は淡色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取られ、縁毛は基部及び中央に淡色線を横走す。後翅は暗色、翅脈は濃色、縁毛は前翅に似たり。開張一寸五分内外。これは樺太に稀ならず。

分布 樺太。

シロオビハヒイロヤガ *Rhyacionia huens* Butler (1037)

Rhyacionia huens Butler

前翅は暗色、黒鱗を密布す、横線、環状紋及び腎状紋は灰白、前縁に黒色紋を装ひ、外縁は灰



赤色を帯び、腎状線は黒色を有す。外縁、環状紋及び腎状紋は灰白色、後者の中點は暗色、外縁の點列は黒色。後翅は灰白、外縁に近き細線は暗色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はサクラサウ、其他の矮生植物を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲、亞米利加。

オホシマホシヤガ *Rhyacionia ocellata* L. (1041)

Rhyacionia ocellata L.

イチノサワリナ形 〇 前翅は暗黒色、灰及び波状線を混す、横線及び波状線は少しく濃色、その内側乃至外側は灰色、環状紋及び腎状紋は灰白、後者の中央は灰色、何れも暗色線にて縁取らる、外縁は淡色にして、黒點を横列す。後翅は暗色、翅脈は少しく濃色、縁



毛は白色。開張二寸内外。これは樺太に普通なり。幼蟲は雜草を食す。

分布 樺太、歐洲。
附言 原種と異なる所は前横線は太く、環状紋の細長なるにあり。

マヘジロヤカ

Rhyacionia plebeia L.

前翅は暗赤褐、前縁は灰白、翅底の縦線は黒色、横線は暗色、波状線は黄色、環状紋及び腎状紋灰色、少しく黄色を帯び、兩紋の兩側は黒



色。後翅は灰白。開張一寸一分内外。これは燈火及び糖液に集來する普通種なり。幼蟲は甜菜高苳、防風等の植物を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、印度、歐洲、亞米利加。

ホソアラバヤカ

Rhyacionia iparceus L.

前翅は淡黄白、少しく軟色を帯び、翅底に黄白

ナカフタモンヤカ

Rhyacionia signata Zeller.

前翅は暗褐、前縁の内半は稍々廣く淡色、横線及び波状線は何れも淡色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる。



後翅は暗色、翅脈は少しく濃色、外縁線は濃色、縁毛は淡色。開張一寸二分五厘内外。これは樺太に産するも多からず。幼蟲は雜草を食す。

分布 樺太、アムール、西比利亞、歐洲。

マヘキヤカ

Rhyacionia strigenda Butler.

前翅は灰黒、少しく紫色を帯び、前縁の約三分の二は少しく赤色を帯べる灰黄色、環状紋及び腎状紋は灰黄、其附近は漆黒、後横線及び波状線の間は淡色。



後翅は灰黄、外縁に向ひ暗色となる。開張一寸

フラゲオマツクライタ形 雌

F. flavomaculata Grues.



紋あれども判然せず、各横線は黒色、環状紋及び腎状紋は淡黄、黒線を有す、後横線と外縁の間は赤褐、其中に白色の波状線及び黒色の縦線あり、翅端及び其内側の一枚は白色。後翅は暗褐、縁毛灰黄。開張一寸六分内外。札幌地方に普通なり。幼蟲はハマハコベ、ノウルシ、ニガヨモギ等を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲。

オホソアラヨタウ

Rhyacionia iparceutrens Zigr.

前翅は淡緑、暗色鱗を混ず、外縁は翅端を除き暗褐、横線は黒色、輪状紋、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取られ、中央に暗色紋を裝ふ、中横線は暗色、波状線は白色、後横線及び波状線との各間室に黒色短線を列ぬ、前縁は外半に數個の白點を裝ひ、前縁角にも白色紋あり、外縁

四分内外。これは燈火及び糖液に集來する普通種なり。その食草は判然せず。

分布 本州、朝鮮、支那、西比利亞。

タカムクヤカ

Rhyacionia takamukui Matr.

前翅は灰色を帯びたる赤褐、斑紋は暗色なるも餘り判然せず、中室の基部に一暗色點あり、環状紋は大、圓形、外圍は褐色、前後縁は開口す、腎状紋は灰黄、外圍は褐色、前横線は中脈下にて



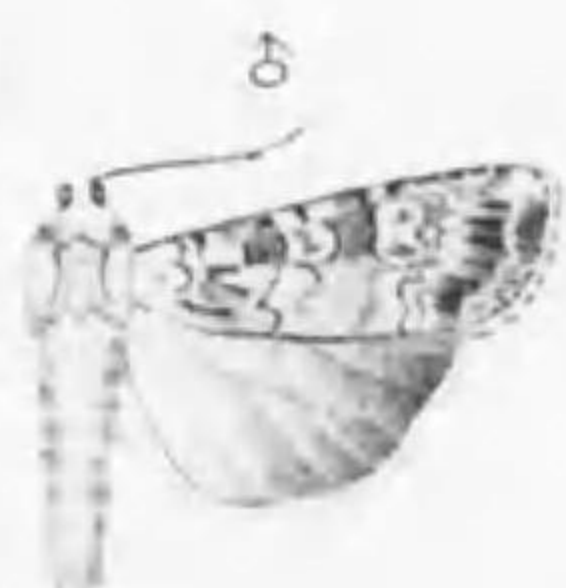
一及となる、亜外縁線は淡色、波状、外方は暗色線にて縁取られ、外角に近く暗色の三角紋あり。後翅は前翅より淡色、外縁は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸四分。これは房州館山にて捕獲せられたるも少なし。

分布 本州。

モンキヤカ

Rhyacionia furta Loeblich.

前翅は紫褐色、翅脈は濃色、半横線及び前横線黒色、環状紋及び腎状紋は淡褐色にて縁取ら



に黒點列を具へ、縁毛は暗色、白紋を列ぬ。後翅は暗色、翅底は淡色、縁毛は白色、基部は暗色。開張一寸六分内外。これは前種と同様に現はるゝも少なき種類なり。

分布 北海道、本州、アムール。

モクメヤカ

Rhyacionia patris L.



前翅は灰褐、黒褐の小點を散在す、前縁は黒褐、腎状、環状兩紋の周縁は赤褐、内部は黒褐、外縁の點列は黒色、前縁角下方の縦線は黒褐。後翅は白色、外縁は少しく黒褐を帯ぶ。頭及び頸毛は黄褐。開張一寸一分内外。これは燈火及び糖液に飛來する普通種なり。幼蟲はハマコベ、ヒルガホ、スカンボ等の葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。



此は、此種紋一團は黒色、輪状紋は淡色、前縁の中央に一濃色紋を裝ふ、中横線は濃色、後横線は黒色、前縁に一濃色紋を具へ、波状線は濃色、此線の内方は黒色を帯ぶ。後翅は暗色、翅脈は濃色、縁毛は淡褐、外半は白色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

オホカブラヤカ

Rhyacionia tokionis Butler.

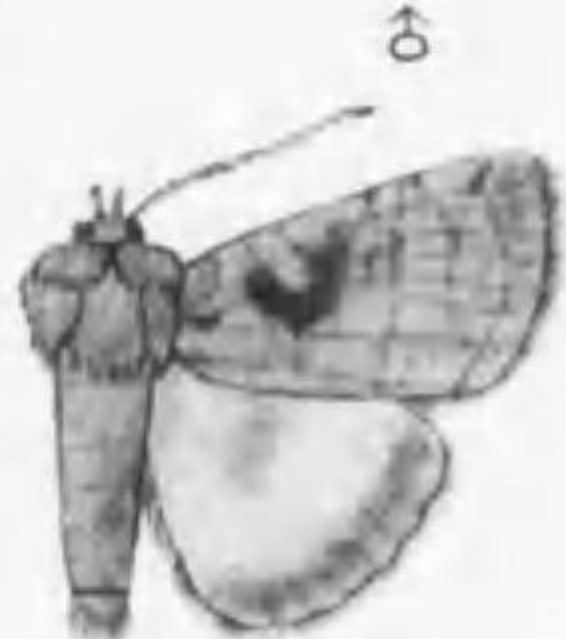
前翅は灰白、少しく赤紫色を帯び、前縁の三分の二は中室まで黒色、横線及び輪状紋は判然せず、斑紋の周縁は黒色、波状線は淡色、此線と外縁との間は黒色、縁毛は黄褐。

後翅は灰黒、外縁は暗色。開張一寸六分内外。これは燈火及び糖液に飛來する普通種なり。幼蟲は十字花科植物の葉を食す。

分布 北海道、本州、九州、満洲。

ハコヘヤカ *Rhyacia triangulum* Hofm. (1051)

前翅は赤褐、横線及び波状線は黒褐、翅底の小紋は漆黒、中室は黒褐、環状紋及び腎状紋は淡色。後翅は淡黄、外縁に近き横帯は暗褐。胸背は赤褐、腹背は黄褐、帯状毛は橙黄色。開張一寸四分内外。これは燈火及び糖液に飛來する普通種なり。幼蟲はハコベ、ダイコンサウの葉を食す。



分布 本州、歐洲。

タマナヤカ *Rhyacia ypsilon* Kott. (1052)

前翅は灰褐少しく赤味を帯ぶ、環状紋及び腎状紋は暗色、周縁は黒色、後者の外側に黒色の線状紋及び剣状紋を具ふ、横線及び波状線と外縁との間は暗色。後翅は白色。體灰褐、頸板の前縁は暗色、黒色の波状帯を具ふ。開張一寸五分



朝鮮、印度、馬來、滿洲、歐洲。

クマモトヤカ *Rhyneleghua kumamotoensis* Mats. (1053)

前翅は赤褐、中脈下の翅底に三角形の黒紋を具へ、前後の兩横線は波状



は前翅と稍々同色。開張一寸餘。これは熊本にて捕獲せるが稀なるが如し。

分布 九州(熊本)。

分布 本州、四國。

マヘウスアカトヒヤカ *Rhyneleghua akatobiyaka* Mats. (1054)

前翅は暗褐、翅底より中室を縦走せる黒線を具へ、横線は黒色、後翅は淡色、翅脈は稍々濃色。後翅は白色、外縁線は暗色。開張一寸六分内外。これは本州にては少なし。



分布 本州、四國。

アカトヒヤカ *Rhyneleghua akatobiyaka* Mats. (1054)

前翅は暗褐、翅底より中室を縦走せる黒線を具へ、横線は黒色、後翅は淡色、翅脈は稍々濃色。後翅は白色、外縁線は暗色。開張一寸六分内外。これは本州にては少なし。



分布 本州、九州、支那。

ナミカタアツバ *Rhyneleghua similis* Leech (1060)

前翅は淡灰褐、翅端より後縁の中央に向ひ暗褐色を斜走し、その側縁は灰白、内側は稍々濃色、中室端及び外縁に近く横列せる小黒点を具へ、外縁は灰白。後翅は灰白、外縁に接して少しく暗色を帯びたる部分あり。開張一寸一分内外。これは餘り多からず。



分布 北海道、本州。

アカナミアツバ *Rhyneleghuafoides junooides* Burt. (1061)

前翅は灰白、少しく銀色を帯び、翅底に於ける楔状紋及び横脈上の五角形紋は暗褐、前者の外縁より後縁に向ひて暗褐の一



分布 本州。

カラフトキシタヤカ *Rhyneleghua chardinyi* Boisai. (1056)

前翅は黄褐色、暗色を帯び、紋線は列然せず、縁毛は淡色。後翅は黄色、外縁に黒色の廣帯を具へ、縁毛は黄色。開張一寸内外、これは樺太に産するもその数多からず。



分布 樺太、アムール、蒙古、西比利亞、歐洲。

ササナミアツバ *Rhyneleghua ablutalis* Wlk. (1057)

體翅は暗灰色。前翅の翅端より翅底に向ひ黄色の帯を斜走し、その外方は褐色、更にその外方に黒色の四帯を具へ、環状紋及び腎状紋は黒色、後



帯を横走し、外方にはく字形の暗褐色を帯び、翅端に近き前縁の四點は暗褐色、翅端より内方に向へる三角紋、外縁及び縁毛等は銀白色。後翅は暗褐色、縁毛は灰白。開張七分内外。これは餘り多からず。

分布—本州、九州、朝鮮、支那。

キスチヨタウ

Zeodopla regalis Butl.

前翅は灰褐色、前縁は暗紫色を、後半は暗色を帯ぶ、中室の下方及び後縁に黒縦線を帯び、翅端より内方に斜走せる暗色帯は後縁に至るに随ひ擴まり、其中に短き黒線列を帯び、後縁線は黒線列より成り、



亞外縁線は白色、縁毛は黒褐色、末端は淡色。後翅は白色、外半及び翅脈は暗色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—北海道、本州。

ハガタキリガ

Scaphoceryx hateris Tr.

ヘウタンヨタウ

Zitelmia speciosa Hrebn.

前翅は暗灰色、横線及び腎状紋は淡色、黒線にて縁取らる、環状紋は灰白、稍、瓢箪形を呈し、その前後に黒紋を具へ、



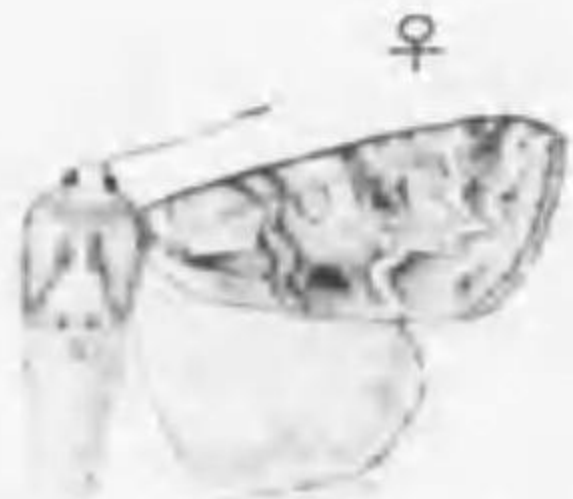
翅底の中央に短黒線あり、栓状紋は黒線にて縁取られ、前縁に四、五個の黒紋を具へ、外縁線は黒色にして斷續す。後翅は淡黄、横脈線は暗色、外縁線黒色にして、斷續す。開張一寸一分内外。これは高山地帯に捕獲せらる。

分布—本州、アムール、西比利亞。

ヘトネヨタウ

Zitelmia laevis Mats.

前翅は暗灰色、斑紋は暗色、半横線は一双、第一脈の上方に楔形の黒紋あり、前横線は波状を呈し、中室は灰白、環状紋は圓形、黒色、腎状紋は暗色、外側に黒條あり、後横線は一双、



雌

體翅は暗褐色。前翅の前横線及び後横線は白色、



兩者は後翅にて相接近し、翅底より中央に至る部分は黄赤、翅底及び中央の小點は白色、翅端に近き前縁より第六脈に至る迄判然せざる一白線を縱走す。後翅の帯は暗色、判然せず。開張一寸四分。この幼蟲は柳の葉を食す。

分布—北海道、本州、歐洲、亞弗利加。

ネジロフトクチャ

(一〇六四)



波状、腎状、中室分にてW字形を呈し、中室は白色、亞外縁線は白色、波状、第四、五室に黒點を具へ、外縁に黒點を列ぬ。後縁は白色、外縁に灰色帯あり。開張一寸三分。これは淺間にて捕獲せられたるが少なし。

分布—本州。

ソトハガタヨタウ

Zitelmia depravata Butl.

前翅は淡褐色、灰色を帯ぶ、横線及び波状線黒色、その内側乃至外側は淡色、横脈線は黒色、周縁淡色、第二乃至第四脈分岐點附近灰白、翅の中央より少しく下方に黒色の部分あり、外縁に黒點を横列す、縁毛は暗灰色。後翅は白色、外半は少しく褐色を帯び、縁毛は白色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも多からず。



分布—本州、朝鮮、支那。

タイワンウスジロヨタウ

Zitelmis formosana Butl.

前翅は黄色、暗色鱗を散在し、少しく紅色を帯

Zitelmis emarginata Guen.

雌、體翅灰色、紋線は暗色乃至黒色。前翅の基部に三紋ありて、稍三角形に排列す、前横線は後縁に於てのみ判然す、中横線は波状、暗色、前縁にて黒紋にて終る、環状紋は黒點となり、腎状紋は黒色、その中點は淡色、後横線は一双、内側のものに暗色、外側ものは黒色、これは外方にて暗色、亞外縁線は波状、前縁にて黒點に終る。後翅に二灰白帯あり。雄にては前翅の中央は一層淡色、兩端は黒味を帯ぶ。開張二寸二分、二寸四分。これは埔里に稀ならず。

分布—臺灣、印度。

イネヨタウ

Zitelmia infrens Wk.

前翅は灰黄、中央に三四個の黒褐紋あり、縁毛は白色。後翅と體は灰白、胸背は少しく黄色を帯ぶ。開張九分内外。此幼蟲は稻その他禾本科植物の體部に蠶入し大害を加ふ。九州、臺灣地方に



は普通なり。

分布—本州、四國、九州、支那、印度。

雌、前翅は白色、環状紋は暗色、腎状紋及び腎状紋は暗黄、後者の下方に黒點を具へ、中脈の末端に短かき黄白線あり。後翅は白色、外縁は廣く暗色。開張一寸一分内外。これは臺灣に産するも、その數多からず。



分布—臺灣、印度、澳洲。

シロミヤクウスイロヨタウ

Zitelmis insularis Butl.

前翅は灰黄、暗色鱗を散在す、中央の一縦線は暗色、中脈及び第四脈は白色、外縁は廣く暗灰色、その下に暗色紋を列ぬ、環状紋及び腎状紋に黒點あり。後翅は白色、外縁は廣く暗灰色、外縁に黒點あり。開張九分五厘。これは臺灣に稀ならず。



分布—臺灣、印度。

タテスチヨタウ

八四七

Sideritis nigritinea Loew.

前翅は灰黄、中央の縦條は太く暗色、これは外縁にて廣がる、環狀紋及び腎狀紋は黄色、縦條中にあり、後縁及び後角は暗色を帯ぶ。後翅は白色、外縁は廣く暗色。開張一寸一分内外。これは本州に稀ならず。



分布 本州、九州、臺灣、印度。

Sideritis paucita Hult.

前翅は黄白、黒鱗を散布す、縦横線及び外縁線は黒點より成る。後翅は暗色、黄白を帯び、外縁に黒點を横列す、縁毛は黄白。開張一寸四分内外。これは本州に産するも多からず。



分布 本州、朝鮮、支那。

Sideritis unipuncta Haw.

前翅は灰黄、中央に一個の小白紋ありて、其周圍は少しく暗色を帯び、環狀紋及び腎狀紋は不明、單に黄紋にて代表せらる、前縁角より暗色の短斜條を出し、その角を稍々二分し、處々に小黒點を散在す。後翅灰色、翅脈黒色。開張一寸三分 一寸五分。この幼蟲は有名なる禾本科植物の夜盜蟲なり。何れの地方にも多し。これは時に大群をなして發生す。



分布 北海道、本州、四國、九州、歐洲、北米。

Sideritis yu Guen.

前翅は淡黄、前縁の二點、中室紋その下方の縦條、横脈外側の楕圓紋、翅端より後縁に斜走する一條、縦條下にある中横線及び後横線は暗褐、外縁に暗色點を列ぬ。後翅



分布 本州、支那。

Speiredonia helioides Hb.

體翅は暗褐、前翅の巴様紋は黒色、其内縁は銀色を帯びたる白色、此紋の内外の横條は黒色。後翅の斑紋は前翅のものより太くして判然せず。



分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、印度、瓜哇。

は暗灰色、脈及び外縁は暗色。開張一寸内外

これは沖縄に産するも少なし。

Simulitha rotalis Ev.

體翅黄褐。前翅三帯は暗色、端直、外縁に近き一帯の外側は灰白線にて縁取らる。後翅は淡灰色、外縁に近く暗色の一帯を具へ、その外側は白色。開張一寸内外。これは何れの地方にも普通なり。



分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、支那、アムール、歐洲。

Simyra splendida Stgr.

前翅は白色、各翅脈の兩側は暗色線にて縁取らる。後翅は暗色。兩翅の縁毛は白色。胸部は白色、少しく暗色鱗を混ず。開張一寸一分内外。これは朝鮮に産するも少なきが如し。



分布 朝鮮、アムール、中央亞細亞。

Speiredonia martha Hult.

體翅は褐色、前翅の巴様紋は餘り判然せず、其内外の一縁は暗褐、其外方の斷續せる線は黒色、外縁に沿へる廣帯は稍々綠色を帯び、



其内側の横線は暗色。頭及び頸毛は暗赤褐。腹面は赤黄。脚は暗色。開張二寸二分内外。これは燈火よりも糖液に集るものの方多し。幼蟲はネムノキの葉を食す。

Speiredonia rectoria J.

雄にては體翅暗色。前翅の中央の廣帯は濃色、前横線及び後横線は黒色、その間室の巴狀紋は黒色、弓狀部は黄褐、波狀線は一双にして、細

Shima extrema Wk.

體翅は白色、前胸背の數紋及び前翅全面の網狀紋は橙黄色、前翅の斑紋は黒色。後翅は光線の工合にて少しく桃色を帯ぶ。前胸背及び翅底鱗の前方は黄色。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。斑紋に變化あり。



分布 北海道、本州、支那、滿洲。

Sophita nitens Hult.

前翅は綠褐又暗紅、前縁は暗色、中央に黒紋を斜走し、その外方に白點を具へ、横線は黒色、外縁に近く黒點列ありて、その内側は黒色、外側は白色。後翅の外縁は橙黄色、前縁は灰色、三暗色帯あり。開張六分内外。これは餘り多からず。





く、上下にて相合す。後翅の基部は黒色、外縁帯は波状をなせども、餘り判然せず。雌

にては淡色、斑紋判然し、巴紋は大なり。體下及び腹部は紅色を帯ぶ。開張一寸八分内外。これは晝間飛翔性なり。幼蟲はネムの葉を食す。

分布 本州、九州、四國、臺灣、支那、印度。

コマルモンシロヤカ

Spilargis lepta Wk.



外縁及びその下方は暗色、外縁に不明の黒點を横列し、前縁の中央より中室の下端迄赤褐色の帯を斜走す。後翅は白色、少しく黄色を帯び、外縁は暗色。開張一寸内外。これは晝間飛翔性なり。燈火に飛來せず。

前翅白色、翅端に近く茶褐色の楕圓紋を具へ、

分布 本州、朝鮮、支那。

マルモンシロヤカ

Spilargis zaphala Mew.



體翅は白色。前翅は少しく銀色を帯び、翅端に近く茶褐色の大圓紋を裝ひ、外縁に接して暗色の波状線を横走す。後翅の外縁は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは札幌地方に稀ならざるも、餘り燈火に飛來せず。幼蟲は不明なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、アムール。

シロナヤカ

Spodoptera mauritia Hobsst.



前翅細長、暗色、腎狀紋の周縁及び環狀紋は灰白前縁に灰白の點紋を列ね、後横線は灰白、黒色の外縁點を連ぬ。後翅は白色、半透明、脈は灰褐色。



線は何れも暗色、縁毛は褐色。白點を横列す。後翅は暗色、少しく褐色を帯ぶ、縁毛は淡色。開張一寸二分内外。これは京都にて捕獲せられたるが

分布 本州(京都)。

スキタニヤカ

Spilargis maculifera Mats.



前翅は灰褐色、横線は暗色、前縁は廣く淡色、中脈に沿ひ天鵝絨様の暗色帯ありて、その上に同色の環狀紋及び腎狀紋を裝ひ、後者の兩側は灰黄色。中横線は一対、亞外縁線は灰黄、外側は暗色線にて縁取られ、第三、四、五

室にて點紋となる、前縁中央に黒點あり。後翅は前翅と同色。開張一寸二分内外。これは京都に産するも餘り多からず。

分布 本州(京都)。

開張一寸内外。幼蟲は白菜その他の蔬菜の葉を食す。臺灣に稀ならず。

分布 臺灣、印度。

シロアミメリンカ

Zenodora contraria Loebh.



前翅は暗灰色、翅底の三分の二の處に白條ありて、其周縁は黒色、翅端の二分の一は灰色、外縁は暗灰色、外縁角の一致は白色。後翅灰色、中央の波狀線は暗色。頭は白色、頭頂紋は黒色。胸背

灰白、前胸背の後縁及び翅底鱗の一致は黒色。腹部は灰色。開張一寸五分内外。これは本州に産するも稀なるが如し。

分布 本州。

シロスチリンカ

Zenodora jankowskii Oberth.



前翅暗色、少しく青色を帯び、中央に白縱條ありて、弓狀を呈し、其前側は黒線

ヨコシマクチハ

Zyga leucodes Butl.



體翅灰褐色、紋條は暗色。前翅の前横線及び後横線の間室は淡色なれども、その中央に暗色帯あり、亞外縁線は波狀、外縁は淡色、亞底線あるも判然せず。後翅に三波

狀線あれども内方のものは判然せず、外縁に暗色紋を列ぬ。開張一寸三分内外。これは何れの地方にも餘り多からず。

分布 樺太、北海道、本州。

ハカタクチハ

Zyga obscurata Butl.



前翅は灰褐色、紋條は黒色、翅底は廣く黒色、その外側に灰褐色帯ありて、紋の間に細き黒帯を裝ふ、中帯は太く、外側の中央に一小齒を出す。横脈紋は楕圓形

ウンモンリンガ

Zenodora munita Loebh.



前翅は灰褐色、少しく紫色を帯び、横線は黒色、前横線内側の下方に灰白の一致あり、中横線は一雙、波狀、中間に灰白線あり、後横線も一雙、第四脈の處にて甚だしく外方に曲る、亞外縁線は波狀、外縁は灰白、環狀紋點は赤

黄、腎狀紋は赤褐色、中點は黒色。後翅は灰褐色、基部は淡色、縁毛は灰白。開張九分。これは本州には少なからず。

分布 本州、朝鮮。

キヤウトモクメヨタウ

Zenodora saxosa Loebh.

前翅は淡灰色、翅脈は少しく暗色、劔狀紋は黒色、外縁は後縁に近く稍長き黒縱線を裝ふ、横

をなし、その下方に細き二帯あり、後横線は波状、第四室の處にて甚だしく外方に折る、亞外縁線は波状、第五室の處にて内方に曲る、外縁線は灰白、その内側は黒線にて縁取られ、外縁は鋸齒状を呈す。後翅に暗色の二帯ありて、前半にて判然す、外縁に近く楔状の暗色紋ありて、その外側に淡色の波状線を裝ひ、外縁は前翅の如く鋸齒状を呈し、その内第三齒最も大。開張一寸四分。これは少なし。

分布 本州、印度。

シラフクチバ

Synna picta Butler.

(一〇九二)



體翅は黒褐。前翅の半横線は淡褐、前横線及び中横線は白色、その中間の白色を呈せるもの、中央に白色の環状紋を有するも

あり、或は全く白紋を交へざるもの等あり。腎状

紋は黒色、内方の底部は黄色、波状線は黒色、その外方は淡色。後翅の二帯は黒色。開張一寸六分内外。何れの地方にも稀ならず。幼蟲はバラの葉を食す。

オホシロテンクチバ

Synna punctosa Wlk.

(一〇九三)



前翅は暗褐、少しく紫色を帯ぶ、翅底線、前横線及び後横線は黒色にして波状、後者は中室外にて彎曲す、腎状紋は白色、翅端に近き前縁及び外縁に淡色

シタキハカタヤガ

Pandana sutajava Wilem.

(一〇九四)



前翅は灰色、少しく緑色を帯び、横線は黒色にして、何れも鋸齒状を呈し、副前縁脈及び中脈の處にて外方に曲折し、環状紋は白色、黒環を具へ、前方は開口す、腎状紋は楕圓形、内方は開口し、その外側に白紋を有する爲めその限界判然せず、前縁の中央は白色、その部分にある後横線は判明す、亞外縁線及び後横線の外側は白線にて縁取られ、前横線の内側及び翅底線の外側は白色。後翅は橙黄色、縁毛に黒紋列あり。開張二寸。これは臺灣に産するも稀なり。

分布 臺灣、支那、印度。

マタラムラサキウハバ

Talassia amethystina Hb.

(一〇九五)

前翅茶褐色、各横線は黒色にして、淡紫紅色の片縁を有す、十状紋の周圍は淡紫紅色、内部

♀



は茶褐色、其下の斑紋は黒色、後横線の附近は淡紫紅色、外縁に近き波状線は淡色。後翅は灰色。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも餘り

多からず。幼蟲は繭形科の植物を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。

ウスムラサキウハバ

Talassia virgo Treit.

(一〇九六)



前翅は淡紫色、銀白の光澤を帯ぶ、環状紋及び腎状紋は黒線を具へ、その内外は白色、この兩紋の間及び環状紋の内方は前縁迄茶褐色、前横線及び後横線は白色、兩者後縁にて相合し、その内側に淡茶褐色の一線を具へ、翅端の一紋及び外縁は茶褐色。後翅は灰白。開張一寸。これは札幌地方に稀ならず。暗んで燈火に飛來す。

分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。

ノコメキリカ

Teioria divergens Butler.

(一〇九七)



體翅は黄褐、少しく暗色を帯ぶ、半横線、前横線及び後横線は暗褐、波状線、外縁線及び環状紋は暗色、環状紋及び腎状紋は暗色線にて縁取らる。後翅は暗褐にして、淡色の後横線は判然せず、縁毛は暗黄色。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來するも多からず。

分布 北海道、本州、ウスリ。

キトガリヨタウ

Teioria edentata Loew.

(一〇九八)



前翅は赤褐、横線及び波状線は暗黄、環状紋及び腎状紋は暗黄線にて縁取らる、前横線の内側、翅の中央及び後横線の外側に稍々廣き濃色帯を裝ふ。後翅は暗褐、翅端及び外縁は淡色。頭胸赤褐。腹部は暗褐、尾端の簇毛は橙黄色。開張一寸内外。これは本州に産するも多からず。

ヒメクビクロセタカ

Toxoptera recta Bremer.

(一〇九九)



前翅は灰白、腎状紋は判然せざれども、その内側に三角形の黒紋を具へ、その下方に二黒點を裝ふ。後翅は淡黄白、胸背は灰白、頭毛は黒褐。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來すれども、その數餘り多からず。

分布 北海道、本州、九州、朝鮮。

シロスチアラヨタウ

Trachusa atriflora

(一一〇〇)



前翅は暗褐若くは黒褐、各横線は黒色、環状紋及び腎状紋は黄色、其下

方に白紋を装ふ、波状線は灰色、其下方及び翅底は黄色、外縁の波状線は黒色。後翅は暗灰色、外縁は暗色、縁毛は灰色。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は藜、ギンギン等を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲。

オホシロテンアヲヨタウ

Trachea lucia Hatt.

前翅は暗褐、紋條はシロテンアヲヨタウに酷似するも、中央の白紋は楕圓形、後翅は暗灰色、外縁は濃色、縁毛は淡黄なるによりて區別せらる。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來するもその數多からず。

分布 北海道、本州。



前翅は暗褐、紋條はシロテンアヲヨタウに酷似するも、中央の白紋は楕圓形、後翅は暗灰色、外縁は濃色、縁毛は淡黄なるによりて區別せらる。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來するもその數多からず。

シロテンアヲヨタウ

Trachea melanopala Koll.

前翅は黒褐若しくは暗褐、各横線は黒色、前二線は灰色縁を有す、翅底、前縁、前縁及び波状線は灰色縁を有す。



は黄緑又は橙黄色、菱形紋は白色、前縁の四紋は灰黄、外縁の波状線は黒色、縁毛は灰黒。後翅は灰白、外縁は暗色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、朝鮮、支那、滿洲、印度。

ウスアヲケンモン

Trachea subarctica Hatt.

前翅は白色、少しく緑色を帯び、外半は少しく褐色を帯ぶ、各横線は黒褐、前横線の内側に褐色あり、環状紋、椋状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、後横線を越えて前縁に褐色紋あり、尚、第一脈下にも黒褐紋あり、波状線は白色、外縁には黒褐點を横列す、縁毛は淡色、暗色斑を有す。後翅は淡赤褐、外半は暗色、中室紋は暗色、後横線は淡色、縁毛は灰白。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも多からず。



前翅は白色、少しく緑色を帯び、外半は少しく褐色を帯ぶ、各横線は黒褐、前横線の内側に褐色あり、環状紋、椋状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、後横線を越えて前縁に褐色紋あり、尚、第一脈下にも黒褐紋あり、波状線は白色、外縁には黒褐點を横列す、縁毛は淡色、暗色斑を有す。後翅は淡赤褐、外半は暗色、中室紋は暗色、後横線は淡色、縁毛は灰白。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも多からず。

分布 北海道、本州。

分布 本州、九州、支那。

ハヒイロキシタヤカ

Triphaena subarctica Wlk.

前翅は灰褐、各横線は暗色、斑紋は黒色。後翅は橙黄色、前縁の基部及び内縁に淡色毛を装ひ、外縁の廣帯及び中央の紋は黒色。體は灰褐、椋状毛は黄色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來するも種なり。

分布 北海道、本州、印度。



前翅は灰褐、各横線は暗色、斑紋は黒色。後翅は橙黄色、前縁の基部及び内縁に淡色毛を装ひ、外縁の廣帯及び中央の紋は黒色。體は灰褐、椋状毛は黄色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來するも種なり。

ナカグロヤカ

Triphaena nuda Loeb.

前縁は暗紫色、中央の廣帯及び外縁に近き廣帯は紫色、横線は何れも濃色、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、前者の下方及び翅



分布 北海道。

ホリシヤキシタヤカ

Triphaena sericea Hatt.

前翅は暗褐色、斑紋は黒色、中室の外方に大なる灰白紋ありて、これは褐色鱗を密布す、其外方に廣き黒帯ありて、白鱗を密布す、外縁に少しく白鱗を混ず。後翅は暗褐、中央に大なる黄色紋を具ふ。兩翅の縁毛は暗褐と淡色の斑をなし、後翅の肛角に近く白色部あり。開張一寸八分内外。これは臺灣に産するも少なし。

分布 臺灣。



分布 臺灣。

アラバハカタヨタウ

Valeria viridimacula Graven.

前翅は暗褐、前縁の大部、翅底近くの大紋、環

は黄緑又は橙黄色、菱形紋は白色、前縁の四紋は灰黄、外縁の波状線は黒色、縁毛は灰黒。後翅は灰白、外縁は暗色。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、朝鮮、支那、滿洲、印度。

ウスアヲケンモン

Trachea subarctica Hatt.

前翅は白色、少しく緑色を帯び、外半は少しく褐色を帯ぶ、各横線は黒褐、前横線の内側に褐色あり、環状紋、椋状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、後横線を越えて前縁に褐色紋あり、尚、第一脈下にも黒褐紋あり、波状線は白色、外縁には黒褐點を横列す、縁毛は淡色、暗色斑を有す。後翅は淡赤褐、外半は暗色、中室紋は暗色、後横線は淡色、縁毛は灰白。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも多からず。

前翅は白色、少しく緑色を帯び、外半は少しく褐色を帯ぶ、各横線は黒褐、前横線の内側に褐色あり、環状紋、椋状紋及び腎状紋は黒線にて縁取らる、後横線を越えて前縁に褐色紋あり、尚、第一脈下にも黒褐紋あり、波状線は白色、外縁には黒褐點を横列す、縁毛は淡色、暗色斑を有す。後翅は淡赤褐、外半は暗色、中室紋は暗色、後横線は淡色、縁毛は灰白。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも多からず。

分布 北海道、本州。

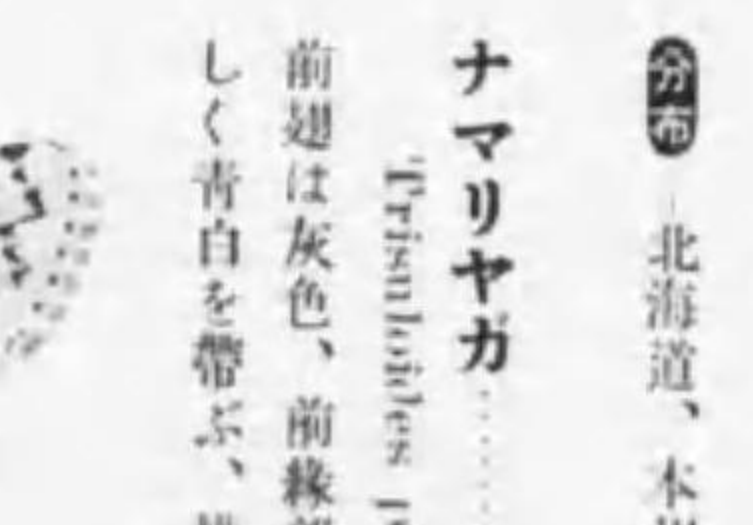
分布 北海道、本州。

ナマリヤカ

Triphaena plumbea Hanay.

前翅は灰色、前縁部は波状線までは稍々廣く少しく青白を帯ぶ、横線は何れも波状にして、黒色、前横線の内側及び後横線の外側に白線を並走す、環状紋及び腎状紋は黒線にて縁取られ、此兩紋間には前縁より發せる黒線にて満たさる、後横線は後縁にて其内側に暗色の波状線を并走す、外縁に黒點を横列し、其内側は白線にて縁取らる、縁毛は暗褐と白色の斑をなす。後翅は暗褐、前縁の中央に淡色斑を具

分布 北海道、本州。



分布 北海道、本州。

シロホキシタヤカ

Triphaenopsis lucilla Hatt.

前翅は暗褐、翅底は少しく淡色、横線及び波状線は淡色、波状線の外側は淡色、環状紋及び腎

分布 北海道、本州、朝鮮。

ウスキシタヤカ

Triphaenopsis cinerascens Hatt.

前翅は暗褐、各横線は黒色、後横線と腎状紋との間は淡き暗黄、其外方は灰白、波状線は暗黄、外縁の波状線は黒色、縁毛は黒褐。後翅は暗黄、廣帯は暗褐、縁毛は暗黄。開張一寸五分内外。これは燈火に飛來する普通種なるが、その食草は不明なり。

分布 北海道、本州、朝鮮。



分布 北海道、本州、朝鮮。

シロホキシタヤカ

Triphaenopsis lucilla Hatt.

前翅は暗褐、翅底は少しく淡色、横線及び波状線は淡色、波状線の外側は淡色、環状紋及び腎



狀紋及び腎狀紋は褐色、前横線は判然せざる白色、其外側及び腎狀紋の一回は黒褐、翅端よりの横帯は黄褐。腹部は稍々黄色。開張一寸四分

内外。これは九月頃現はれ、越年するもの如し。札幌地方に少なからず。

分布 北海道、本州、九州、西比利亞。

キハラモクメヨタウ

Xylina ferrosa Hult.

前翅は淡褐、翅底は灰白、前縁は黒色、環狀紋及び腎狀紋は黒色、横線は暗褐乃至黒色、翅端



アヤモクメヨ

タウ

Xylina ferrosa Hult.

前翅は赤褐、判然せざる木目様の斑紋を具へ、

及び波状線の外方は淡色、外縁黒色にして、波状を呈し、縁毛は赤褐。後翅は暗色、翅底に暗色の長毛あり。開張一寸九分。これは四月頃糖液に集まる種類なれば、捕へ損ふもの多し。幼蟲は梨の葉を食す。

環狀紋及び腎狀紋は暗色、周縁は黒色、後者の外方に黒色の部分あり。後翅は暗灰色、翅底は淡褐、縁毛は淡灰色。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來すること稀なり。幼蟲はクハ、ツキ、ジャガイモ等の葉を食す。

ハネナカアヤモクメヨタウ

Xylina nipponica Hoen.

前翅は暗灰色、少しく褐色を帯ぶ、環狀紋は判然せざれども、腎狀紋は判然し、中央に黒色の部分あり、此紋の前方及び上方は廣く暗褐を帯ぶ、波状線は少しく淡色、他の紋條は判然せず、縁毛は褐色、基部は淡色、中央に黒褐線を横走す。後翅は暗色、縁毛は暗黄。開張一寸七分内外。これは四月頃糖液に集まる種類なるが稀ならず。



分布 本州(京阪地方)。

アビコヨタウ

Xylenaria lutea Hult.

前翅は灰色、斑紋は黒色、中脈の下方に少しくアビコニス形。♀ 斜傾せる一帯あり



は楔狀を呈す、前横線は波狀、黒色、その外側は灰白線にて縁取らる、環狀紋及び腎狀紋は灰白、亞外縁黒色。第六脈上に判然せず、外縁には黒色のスカラツプあり。後翅は白色、後横線の處に黒紋列を具へ、外縁には黒色のスカラツプあり。開張一寸三分内外。これは本州に産するも稀なり。

分布 本州。

ホソナミアツバ

Zanclagnatha tenuis Hult.

體翅は灰褐。前翅に四條の暗褐帯ありて、外方の一帯は白色線を有し、その上に黒色の小點を具ふ、外縁に近く暗褐の小



第六 鱗翅目(蛾亞目)

紋列より成れる横線あり。後翅の紋條は前翅と相連続す。開張八分。これは普通種にして、燈火に飛來す。

分布 本州、九州、朝鮮、支那。

ウスグロアツバ

Zanclagnatha fumosa Hult.

體翅は暗褐。前翅の三帯は暗色、その外方の一帯は灰白の側縁を有す、外縁は黒色、その外方は灰白。後翅に二條の暗色帯ありて、その外方のものは灰白線を有す、外縁は黒色、その外側は灰白。開張一寸一分内外。これは何れの地方にも普通なり。



分布 北海道、本州、九州。

ツノオビアツバ

Zanclagnatha griseola Hult.

前翅は灰褐、翅灰褐、黒褐の三帯を裝ひ、その外方の一帯翅端より後縁に斜走す、中央の一帯はく字形に曲る、外縁は黒褐、中室端に黒褐の一短線あり。後翅は前翅よりも稍々淡色、前縁



は灰白、外縁部の二帯は前翅帯の延長なり。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州、朝鮮。

ナミグルマアツバ

Zanclagnatha lignea Hult.

體翅は淡赤褐。前翅の横線は黒色、後横線の外方は灰白、外縁は暗色、翅端に近き前縁に白線あり、黒紋を裝ふ。後翅の横線は前翅の延長なり。開張九分内外。餘り多からず。



分布 本州、朝鮮、ウスリ。

クロスチアツバ

Zanclagnatha nemoralis E.

前翅は灰褐、基部に近き一帯及び翅端より外縁角に向つて弓曲せる一帯は黒褐、中室端の一短



♂
線並にその外方にある波状線、その外縁の二帯は黒色。後翅は灰白、外縁の横線は黒色。開張八分。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はイチゴの葉を食す。
分布 北海道、本州。

トビスチアツハ
Zanclognatha farsinathus Knuth (一一〇)

アレノイサ形
A. arenosa Hurl. 體翅は淡黄。前翅に暗色の三帯ありて、その中央のものは内方に彎曲す、中室の外端に暗色の短線あり、外縁は暗色。後翅に二條の暗色帯ありて、外方にあるものは太し、外縁は前翅同様。開張九分内外。これは前肢の延長して刷毛状を呈するを以て、他と區別し得べし。燈火に飛來する普通種なり。



分布 北海道、本州、九州、朝鮮、滿洲、歐洲。

一五 虎蛾科 *Arctiidae*

觸角は絲狀にして、太く、往々中央にて少しく膨大す。脛節には二双の距あり。前翅に二個の内縁脈を具へ、第五脈は中室の後角に近く出づ。後翅の第一脈は第七脈と基部にて分支す。蛾は晝間飛翔す。幼蟲は兩側に毛地を具へ、更に長毛を粗生す。本邦學名を有するもの十種あり。何れも大形の種類にして、美麗なり。

ヒメトラガ
Asteropodes nocturna Hurl. (一一一)

前翅は暗褐、環狀紋及び腎狀紋は黒色、前縁より中室端に亘れる斜紋は白色、翅底、後縁、基部の一縱紋並に彎曲せる波狀線は黒色、後者の外方は淡褐、外縁に暗色帯あり、縁毛は黒色、白毛を交ゆ。後翅は黄色、外縁の二帯及び横紋は暗褐。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。



分布 北海道、本州。

ナミトラガ(トラガ)……………(一一三)

Chthonomorpha japonica Matsuda.

體翅は黒色、少しく黒藍色を帯ぶ。前翅に六個の黄紋ありて、翅底に一個、中央に二個、外縁室に三個を具へ、尙、外縁に近く同色の小紋を横列す。後翅は



橙黄色、斑紋は黒色。開張二寸内外。これは晝飛性にして、花上に捕獲し得べし。
分布 北海道、本州。

タイワントラガ……………(一一三)

Episteme dentatrix Wenzl.

翅は天鵝絨様の黒色。前翅底、横脈及び外縁は藍色、六個の白紋ありて、その内、中室に二個、第一、三、四、六室に各一個あり。後翅に橙黄色の三紋ありて、内縁にあるものは半環状を呈す。開張二寸四分内外。これは晝飛性にし

ルリモントラガ
Episteme leatrix Jork. (一一四)



♀
體翅は天鵝絨様の黒色。前翅底に藍色の三紋を具へ、約十三個の白紋を裝ひ、中室、第一、二、三、四、五室に各二個、第六室に一個あり。後翅の前縁、外縁及び後縁は黒色、中央より内縁に亘りて廣く橙黄色、二個の黒紋を具へ、二細線により後縁の黒紋に連絡し、尙、第二、三、

第六 鱗翅 目(蛾亞目)

コモントラガ
Episteme leatrix Jk. (一一五)



♀
五室に白紋あり。開張二寸三四分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。
分布 臺灣、印度。

體翅は天鵝絨様の黒色、藍色の鱗毛を混す。前翅に約十三個の黄白紋ありて、その内、内縁にあるものは白色、斑紋の地位は中室、第一、三、四、五、六室に各二紋、第七室に一紋あり。後翅の中央より内縁に亘りて稍々半環狀の橙黄紋を具へ、それは中室の黒紋にて半ば列られ、第



♀
三及び五室に各一青白紋を裝ふ。開張二寸二分内外。これは臺灣に稀ならず。晝間飛翔す。
分布 臺灣、支那、印度。

エゾトラガ……………(一一六)

Matkoua jezoensis Mats.



♀
前翅は黒色、赤褐黄色、白色、黄色等の鱗毛を混生す。前横線は波狀、縁灰色、後横線は一

双、前横線と同色、亜外縁線は波状、白色、外縁線は赤褐、内側は白線にて、外側は金黄線にて縁取らる、縁毛は白色、黒線を貫き、黒紋を列ぬ、中室の外側に大白紋ありて稍々三角形を呈す、環状紋及び腎状紋は黒色、第二室に白紋あり。後翅は淡黄、外縁(廣く)及び横脈紋は黒色開張一寸三四分。これは四月下旬札幌にて捕獲せるが稀なり。

分布 北海道。

コトラガ *Mimosemia perzinilla* Hnt.

體翅は天竺絨様の黒色、藍色の鱗毛を混ず。前翅に黄白の五紋を具へ、翅端及び後縁角の縁毛は白色。後翅底、前縁、外縁並に中央の二紋は黒色、中央は橙黄色。開張一寸九分内外。これはトラガに類似すれども、形小、後翅の内縁に黒紋を缺くを以て容易に區別し得べし。晝間に飛行する普通種にして、花上に捕獲せらる。

分布 北海道、本州。



アサギトラガ *Ophthalma fuchsella* Moor.

體翅は黒藍色。前翅に黄色毛を混じ、中室に二個、第三、四及び六室に各一個の青白紋を具へ、外縁に近く藍色の二紋列あり、尙、第一室に斷續せる青白の一縦條を裝ふ。後翅底、中室の一紋及び各室の中央にある一紋は青白、縁毛は前後共に黒、白の斑をなす。開張二寸二分内外。これは臺灣に産すれども餘り多からず。

分布 臺灣、支那、印度。



體翅は黒褐色、藍色の鱗毛を混ず。前翅に黄白の五紋を具へ、翅端及び後縁角の縁毛は白色。後翅底、前縁、外縁並に中央の二紋は黒色、中央は橙黄色。開張一寸九分内外。これはトラガに類似すれども、形小、後翅の内縁に黒紋を缺くを以て容易に區別し得べし。晝間に飛行する普通種にして、花上に捕獲せらる。

分布 北海道、本州。

Zalissa andava Loew.

ベニモントラガに類似すれども、その異なる所は、前翅は大形、灰黄線にて囲まれたる中部は灰黄の小點を密布し、その脈は灰黄、環状紋及び腎状紋の周囲は灰黄、内部は暗色、翅端及び後縁に赤紋を缺き、中室の下方より二黒帯を横走し、外縁及び後縁の附近に灰白並に赤褐の紋條を裝ふ。後翅は黄色、外縁の廣帯は黒色、内縁角の近邊に一橙黄紋あり。開張一寸五六分。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 本州、九州、朝鮮、支那。



ベニモントラガ *Zalissa venusta* Loew.

前翅は黒褐、環状紋及び腎状紋は黒色、後者の外方に平行せる淡色の二帯あり、翅底より



一六 尺蛾科 (Trometidae)

尺蛾科の蛾は第二腹上にて相合し、兩線にて圍まれたる部分は白色、其前縁には黒褐の小點を密布し、翅端の内方及び後縁にある小紋は赤色、前者の下方に灰白を帯びたる一紋あり。後翅は黄色、前縁角の附近、内側の一紋及び横脈紋は黒褐。開張一寸三分内外。これは九州に稀ならず。燈火に飛來す。

分布 本州、四國、九州、朝鮮。

二双の翅は大きく、體脚共に細く、觸角には絲狀鞭狀、羽狀あり。前翅の内縁脈は一個、基部にて分支す、第五脈は中室の前角に近く出で、第七脈は第八脈より分支して出づ。後翅に胞刺を缺くものあり。幼蟲は五双の脚を具へ、腹脚前三双を缺く。普通體毛を有せず。本邦學名を有するもの五百餘種あり。幼蟲は植物の葉を食ひ、農林業に有害なり。

スグリシロエダシヤク *Abraxas grossulariata* H.

コンスプルカータ形。♀ 翅は黄白、五列の黒紋列ありて、第一列紋と翅底の黒紋間は黄色、第三及び第四列は相接近し、その間室は黄色。後翅にも前翅同様の黒紋ありて、中央に近き二紋列は相接近し、その間室は黄色ならず。開張一寸二分内外。この幼蟲はスグリの葉を食す。何れの地方にも普通なり。



ユウマダラエダシヤク *Abraxas miranda* Hnt.

體は黄色、黒紋を散在す。翅は白色、暗色紋を横列し、前後の兩翅に相連續するを以て、二重のn字形を現はす、前翅底は黒色、これに黄紋を混じ、少しく鉛色毛を裝ふ。尙、前後兩翅の後縁角に近く同様の大紋あり。開張一寸一寸二分。この幼蟲はトリトマラズの葉を食す。本邦何れの地方にも普通なり。晝飛行性なれども、多く夕刻縁翔す。

分布 北海道、本州、四國、九州。



カラフトマダラエダシヤク *Abraxas sachalinensis* Mats.

翅は白色。黒紋を散在す。前翅底、前横線の三紋、中横線の四紋、後横線の五紋(中央には三



小紋あり、亜外縁線の六紋、外縁線の約八紋は黒色。後翅紋は内縁にてのみ判然し、外縁に大紋列あり。體は黄色、黒紋を列ぬ。開張一寸二分。これは樺太大泊にて捕獲せるが稀なり。
〔分布〕 樺太。

ウラナミヒメシヤク

Agathia corivalaria Kretsch.



體翅灰白、紋條は暗色。前翅の前横線及び中横線は細く、波狀、後横線は太く、亜外縁線は一雙にして細く、何れも波狀、外縁に暗色點を列ぬ。後翅も前翅と同様なれども、前横線及び中横線を缺く、横脈點は何れも判然せり。開張七分。この幼蟲はリュウウキソウの葉を食す。札幌地方に稀ならず。
〔分布〕 北海道、本州、朝鮮、歐洲。

フタナミトビヒメシヤク

Agathia at-gamulata Butler.



體翅は鮮明なる黄線。前後翅には暗褐色を帯び、外縁にあるものは帯狀を呈し、その内側にては黄色。開張一寸内外。これは臺灣に産すれども餘り多からず。
〔分布〕 臺灣、支那、印度。

ホリシヤチツモンアラシヤク

Agathia polshana Mats.



體翅黄色。前翅前縁の基半部、外半部のW字形帯（但し中帯の外側淡色にして、少しく藍色を帯ぶ）は紫褐色。後翅の中央に近く紫褐色の三帯ありて、何れも中央にて相接近し、前縁角は廣く紫褐色、その外縁は淡色なり。開張一寸三分。これは臺灣海口にて捕獲せるも少なし。
〔分布〕 臺灣。

シロオビフユシヤク

第六 鱗翅目(蛾亞目)



體翅灰黄。前翅の紋條は暗褐、前横線は判然せず、横脈點は判然せず、横線二本にして、相平行し、亜外縁線は波狀にして、暗色の縦脈によつて外縁に三紋を現はし、外縁は暗色。後翅の中帯は二本にして、前翅の延長、後横線は判然せず。開張八分。これは本州には普通なり。
〔分布〕 北海道、本州、朝鮮。

マタアラシヤク

Agathia ureola Mats.



雌雄、翅は黄線。前翅の前縁外縁のV字形帯、後翅の内縁より後縁に渡る大なるV字形帯は紫褐色、但し前縁帯及び後翅後縁角上の紋は淡色なり。頭、前胸及び稜狀部は緑色。體は紫褐色。開張一寸二分。これは埔里地方にて捕獲せるが多からず。
〔分布〕 臺灣(埔里)。

マタラアラシヤク

Agathia ureola Mats.

ホソウスハフユシヤク

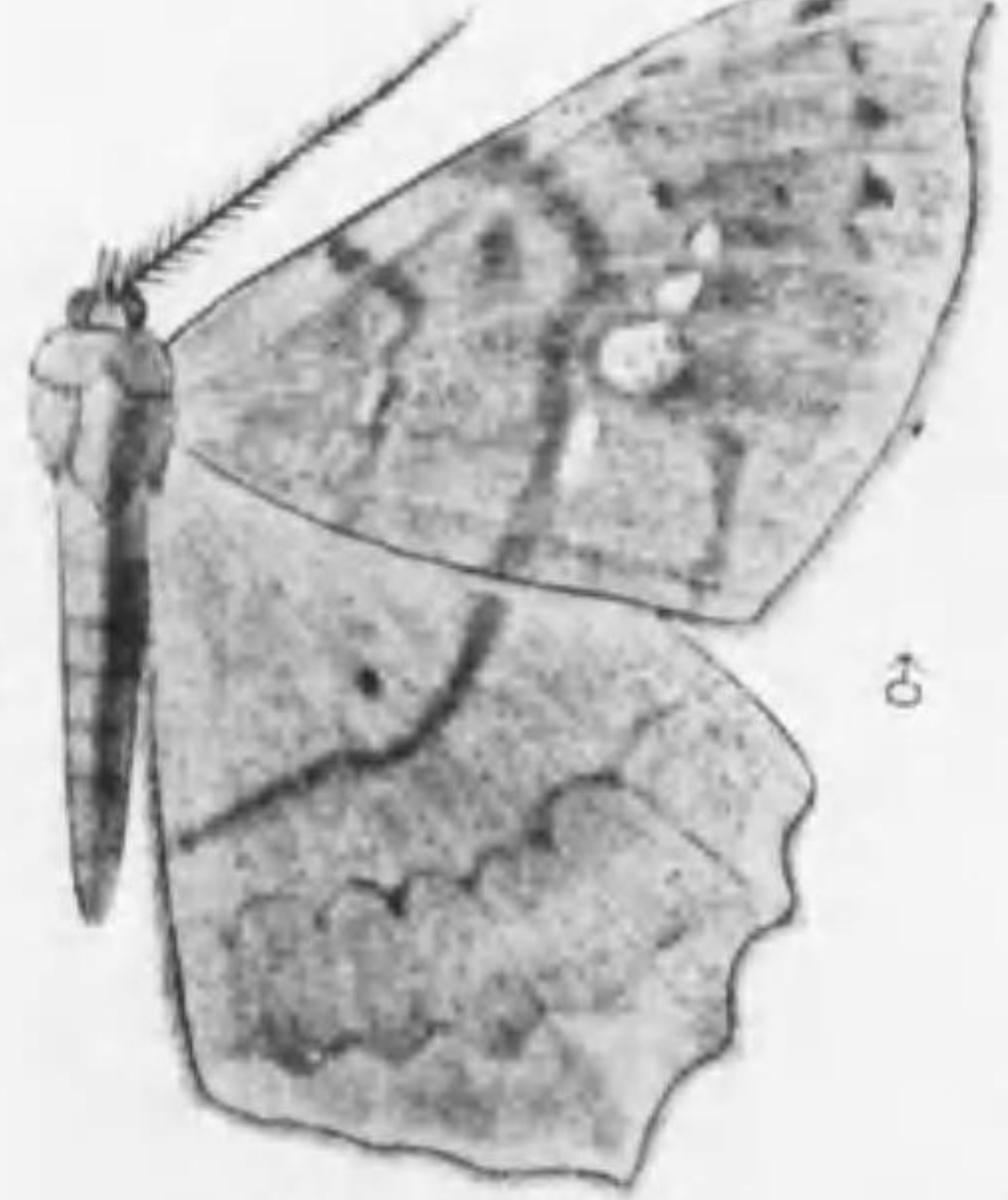
Agathia tenuis Butler.



雄、ウスバフユシヤクに似れども、體翅少しく褐色を帯び、前翅には三條の暗色帯を具へ、後横線の外縁は灰白なり、後翅は灰白。開張八分内外。雌は翅を缺く。これは楡に寄生するもの如し。前種と同様に十一月、二月頃現はるものにして、注意せざれば捕獲し損ふものなり。
〔分布〕 北海道、本州。

オホツハメエタシヤク

Agathia nemoralis Christ.



雄、體翅灰色。前翅の前縁紋、横脈紋、外横線及び翅端の一紋は暗色。後翅は一層淡色、横脈點は暗色。雌は翅を缺く。開張八分内外。これは十二月頃に現はるが、前種同様に捕へ損ふものなり。幼蟲は薔薇科植物に寄生す。
〔分布〕 北海道、本州。

ウスバフユシヤク

Agathia nemoralis Christ.



雄、體翅灰色。前翅の前縁紋、横脈紋、外横線及び翅端の一紋は暗色。後翅は一層淡色、横脈點は暗色。雌は翅を缺く。開張八分内外。これは十二月頃に現はるが、前種同様に捕へ損ふものなり。幼蟲は薔薇科植物に寄生す。
〔分布〕 北海道、本州。

體翅白色。兩翅に三帯ありて、波狀、何れも黄色を呈し、横脈點は暗色、全面に少しく暗色鱗を散在す。開張八分。これは何れの地方にても燈火に飛來する普通種なり。
〔分布〕 北海道、本州、朝鮮、支那。

チツモンアラシヤク

Agathia crassina Butler.

ヤギネシメシヤク

Agathia japonensis Warr.



體翅は暗灰色、前翅に灰白の二帯を具へ、波狀をなす。後翅は淡色、外縁に近く灰白の一帯あり。開張一寸内外。雌は翅を缺き、少しく褐色を帯ぶ。これはニレに寄生す。十一月、二月頃に現はるるを以て注意せざれば捕へ損ふことあり。
〔分布〕 北海道、本州、歐洲。



♀

Amblyselia angeronaria (Thun.)

雌、體翅暗褐色、紋條は暗色。前翅に三帯ありて、内方にあるものは弓状、外側にあるものは稍々端直、その内側に四白紋ありて、一列をなす、外縁に波状をなせる一帯ありて、餘り判然せず、前縁は灰色、數個の斑紋あり、全面に暗色點を散在す、前翅の横脈上は廣く暗色なれども、後翅にては一點となる。雌にては體翅橙黄色。後翅は淡黄褐色、斑紋は雄と異ならず。開張二寸五分—二寸八分。これは埔里地方に普通なり。



Anatis plagiata L.

♀ 前翅は灰色、横線は暗褐色、中横線は二本、その間室は灰黄、その間室は灰黄、亞外縁線は二本、その前縁に終る所に赤褐色あり、縁毛には黒斑を列ぬ。後翅は灰色、中央に細き暗色の二線を具へ、縁毛には暗色斑あり。開張一寸四分内外。これは何れの地方にも普通なり。高山地帯にも産す。幼蟲はオトギリサウの葉を食す。
分布 北海道、本州、朝鮮、支那、印度、歐洲、北米。



Ftasstictogaria (Thun.)

♂ 前翅は褐色、前縁及び

Angerona auxuria Wlk. (二四七)



♀

體翅黄色。前翅前縁の斑紋及び外縁は暗褐色、中央の二斜條は褐色、外方のものは點線より成り中央紋は濃色。後翅の二帯は褐色、その前縁に終る處に暗褐色、中央には褐色紋を散在す。開張一寸六分内外。これは餘り多からず。
分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

Angerona grandinaria Motsch. (二四八)

體翅黄褐色。前翅に暗色の三帯ありて、中帯最も



♂

太く、横脈紋は暗褐色、外側帯波状、内側帯は中室の處にて曲折し、外縁及び中央に暗色鱗を散在す。後翅に二帯ありて、内方のものは太く、暗色鱗を散在す。開張二寸。これは本州に稀ならず。

分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那。

Gomphidius nigripennis Batt. (二四九)



♀

體翅黄色。前翅の多數小紋は褐色、約五十個あり。後翅に同様の紋二十五個あり。開張一寸二分—一寸八分。これは餘り多からず。
分布 北海道、本州。

Angerona primaria L. (二五〇)



♂

雄、體翅橙黄色。前後翅共に暗褐色の短線を群走し、殊に外縁にて多し、横脈は暗褐色、縁毛には暗褐色を列ぬ、雌にては黄色、灰色の大紋を有するものあり。開張一寸四分—一寸八分。これは李の害虫なり。札幌地方に普通なり。
分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。



♀

アトヘリアアロシヤク……………(二五一)
Atriphina muscosa Batt.
體翅は黄緑。前

翅の三帯及び外縁の斑紋は暗褐色、中帯及び外縁の太き帯は暗色。開張一寸二分内外。これは何れの地方にも少なし。蛾は燈火に飛來す。
分布 樺太、北海道、本州、四國、九州。

Atriphina abnormularia Leech. (二五二)



♂

前翅は縁褐色。前翅の紋條は黒色、前横線は中脈の處にて外方に曲り、中横線は前縁に近く二分し、後横線は前縁下にてく字形を呈し、亞外縁線は黄白色、その外側は黒線にて縁取られ、後縁角及び翅端に近き一紋は白色、縁毛は黄色、これに黒紋を列ぬ。後翅は灰白、暗色鱗を散在し、後横線は一雙、暗色、波状、外方のものは第三脈以上にて點紋となる、外縁線は暗色、縁毛は黄白、脈の末端に黒毛あり。開張一寸六分。これは四月頃札幌地方に普通なり。
分布 北海道、本州。

ハシゴエタシヤク

Arctianna flavaria Jacob.

前翅中室の二紋、横脈上の二紋、その外方の三紋、後縁の中央に近き一紋、各外室に併列する梯子状の紋列、亜外縁線並に外縁の紋列は黒色、脈は淡色。後翅は前翅より



♀

も少しく淡色、中室紋、中帯、亜外縁線(紋列)及び外縁は暗色。開張一寸五分。臺灣にては少し。分布—臺灣、支那。

キヘリシロエタシヤク

Arctianna flavovirginaria Bremer.



♀

前翅白色、斑紋は黒色、前翅底、外縁、縁毛は黄色、外縁及び亜外縁線は黒色にして、断續せり。體は黄色、翅底鱗に黒紋を具へ、腹背には暗色紋を列ぬ。開張一寸六分。これは朝鮮に

産するも少し。分布—朝鮮、支那。

ヘウモンエタシヤク

Arctianna japonaria Chu.

前翅の四紋列は黒色、その外側にあ



♀

脈紋は稍々圓形。開張一寸六分—一寸七分。これは北海道に産せざるも本州には普通なり。分布—本州、四國、九州、支那。

キシタエタシヤク

Arctianna mandarina L.

前翅は白色、約六條の黒紋列ありて、各三列づゝ、相近接し、翅底は黄色、その外側に三黒紋を具へ、横脈紋は圓形、その下方に横脈紋あり。

クロクモエタシヤク

Arctianna tertia Hüb.

前翅灰白、少しく緑色を帯び、紋線黒色、黒鱗を散在す、前横線太く、其中央に白色の波状線あり、前縁の中央に



♀

太く、中央にて切斷し、その中央に灰白の波状線を具へ、翅端に白條ありて前角を二分し、後縁前にて終る。後翅暗灰色、中室點及び横脈點は暗色。開張一寸四分。札幌地方には少し。分布—北海道、本州。

キンスチエタシヤク

Aspilates formosaria Evans.

前翅は橙黄色、前縁及び外縁は灰白、翅端より後縁の中央に向へる斜條は銀白色、その兩側は褐色、褐色の小點を散在す。後翅は灰白、一帯は暗色、小褐點を散在す。開張一寸三四



♂

フラテルナ形 ♂ *F. fraterna* Hübl.



後翅は橙黄色、二條の黒紋列を具へ、中室紋の下方に三小黒紋あり、翅端は暗色。體は橙黄色。開張一寸三分—一寸五分。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はコケモ

の葉を食す。分布—樺太、北海道、本州、九州、朝鮮、滿洲、歐洲。

ネグロキシタエタシヤク

Arctianna postlava Wilem.

前翅の紋列は黒色、この紋と紋と



♂

分布—北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

フタスチキンエタシヤク

Aspilates mandarina Grun.

前翅の前縁翅端より翅底に縱走する弓状帶並に外縁の一帯は暗色。後翅の三分の一の處にある一帯は暗色。開張一寸三分内外。これは北海道に産せず。



♂

分布—本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

キアミメナミシヤク

Asthenia janthinaria Moore.

體翅黄褐、波状線は暗色、前横線は前縁下に於て、後横線は第四脈の處にて外折す、中室點は黒色。後翅の紋線は前翅の延長なり。これは餘り多からず。



♂

方の紋列並にその外側の二紋は黒色、亜外縁線は黄白、翅端より斜走する短線と相合す、外縁に黒紋を列ね、縁毛は黄色、黒紋列あり。後翅灰黄、中室點、亜外縁線及び外縁の紋列は暗色。開張一寸五分。これは本州道分地方に稀ならず。分布—本州、臺灣。



♂

フライヤエタシヤク

Arctianna pyrenaria Jacob.

前翅は淡緑褐、翅底、太き前横線(兩側は灰黄)、後横線の處にある長方形の一斜帶(中脈下にて判然す)は暗色、前縁の一點は黒色、その外方にある一短線は暗色、その外

分布 本州、アムール、ヒマラヤ、印度。

キエダシヤク

Arixa osaduria Wlk.

體翅黄色、紋條は暗褐。前翅の横脈上に二點あり、斜條は少しく外方に曲り、翅端に近く判然せざる暗色紋あり、外縁は少しく赤味を帯び、縁毛は暗色紋を列ぬ。後翅の中帯は前翅の延長、縁毛は前翅のものと同然。開張一寸二分。これは本州にては少なし。



分布 本州、朝鮮、支那。

フタホシシロエダシヤク

Kajia bimaculata P.

體翅は白色。前翅前縁の二紋は黒色、これより判然せざる黄色の波状線を後翅に送る、外縁は細く黄褐、縁毛は銀白色。後翅の前縁に黒紋を有せざれども、他は前翅に似たり。開張一寸内外。これは燈火には飛來せず。

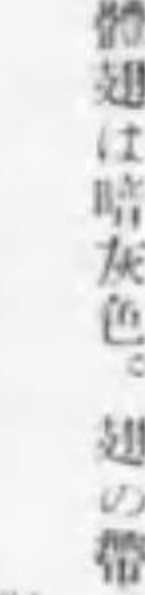


分布 臺灣、支那。

キフタエダシヤク

Kajia simplicior Butl.

體翅は暗灰色。翅の帯は黄色、全面に暗色點を散布す。前翅の前横線は少しく彎曲し、後横線は端直にして、少しく斜走し、この兩線の間室は濃色、横脈點は小なり。後翅の横線は前翅の延長なり。開張一寸。これは本州にては少なし。



分布 本州。

イチモンジクロシヤク

Kajia thula Kapr.

これはシロオビクロシヤクに類似すれども、その異なる所は、前翅の白帯は細く、後翅に白帯

飛來する普通種なり。幼蟲はサクラ、サンザシ等の葉を食す。

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

ウスオビシロエダシヤク

Kajia distans Warr.

體翅白色。前翅中央に暗色の判然せざる一帯ありて、少しく外方に曲り、四脈下にて波状を呈す、脈は少しく暗色を帯ぶ。後翅の中帯は中央にて少しく彎曲す、脈は少しく暗色。顔と下唇鬚は黄色。開張一寸二分。これは本州に産するも少なし。

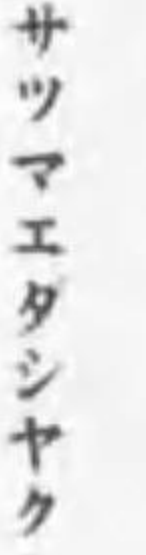


分布 本州、支那、印度。

サツマエダシヤク

Kajia platycosta Wlk.

體翅は白色、暗色鱗を散在す。前翅の横脈は暗色の鱗より成れども、餘り判然せず。下唇鬚は赤褐、前頭も時に赤褐なることあり。開張一寸内外。これは本州に産するも少なきが如し。

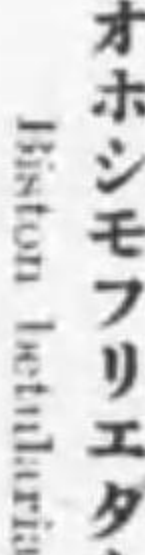


分布 本州、ヒマラヤ、印度。

ミツオビシロエダシヤク

Kajia platycosta Wlk.

體翅は灰白。前翅の中線、亞外縁線及び外縁線



分布 本州、朝鮮、西比利亞。

オホシモフリエダシヤク

Biston leuclaria L.

體翅は灰白、暗色の小紋を散在す。前翅の紋條は黑色。雌にては時に大形なるものあり。開張一寸五分—二寸三分。幼蟲はリンゴ、ニレ、カバ、ヤナギ、ブナ、クヌギ、エノキ等の葉を食す。札幌地方にては燈火に飛來する普通種なり。雌は少なし。



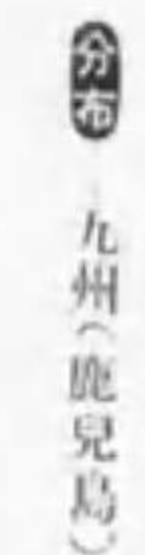
體翅黄白、黒鱗を散在す。前頭は赤褐、前翅の前縁は黄色、中室點は暗色、斜帶は黄褐、前縁に達せず、縁毛は暗色。後翅の斜條は前翅の延長。開張一寸二分。これは九州に産するも少なし。

分布 九州(鹿兒島)、印度。

ウスフタスチシロエダシヤク

Kajia foedata Warr.

體翅は白色、暗色鱗を散在す。前翅の横脈は暗色の鱗より成れども、餘り判然せず。下唇鬚は赤褐、前頭も時に赤褐なることあり。開張一寸内外。これは本州に産するも少なきが如し。

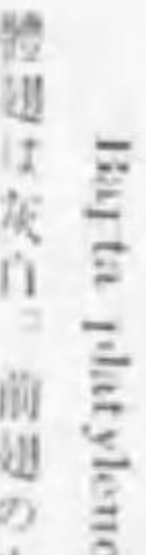


分布 本州、ヒマラヤ、印度。

エソシモフリエダシヤク

Biston rotundata Warr.

體翅灰白、少しく黄色を帯ぶ。前翅は黑色の二波状帯を具へ、内帯の内側は廣く黄褐、外帯の外側は後縁及び前縁に於て黄褐、前縁の中央に一黒紋を裝ふ。後翅の外縁に近く黑色の一波状帯あり。開張二寸二分—二寸五分。これは札幌地方には少なからず。幼蟲はニレの葉を食するもの如し。



分布 北海道、本州、朝鮮、アムール。

ホソバオホエダシヤク

Biston cognataria Guen.

體翅暗色。前翅に黑色の二波状線ありて、第三線と第二線とは第一脈の處にて接觸し、第五脈の處にてく字形に屈折す、翅端は灰白、全面に黒褐の小紋を散在す。後翅の中央に黑色の二波



分布 北海道、本州、朝鮮、アムール。



トビモンオホエダシヤク……………(二七五)
Histon rolandiana Paul.
雌、體翅暗色。前翅に三個の黒波條ありて、第

狀線ありて、中室の處にてく字形に屈折す。開張二寸二分—二寸五分。これは札幌地方には稀ならず。然れども雌は稀なり。暗んで燈火に飛來す。
分布—北海道、本州、印度、北米。



クロツエダシヤク……………(二七四)
Histon marginata Shiraki
雌翅灰白、暗色鱗を散在



タケウチエダシヤク……………(二七六)
Histon takemitsuji Mats.

雌、體翅紫褐色。翅の帶條は黒色。前翅前縁の基部は白色、これに褐色點を散在す、前横線は

の處にて内方に曲り、第一脈の處にて内折す、亞外縁は白色、波狀、前縁にて太し、前縁は灰
し、第一脈の處にて波狀を呈す、後横線は第五室の處にて外方に曲り第二、三室

色、これに褐色點を散在す。後翅底縁は前翅前横線の延長にして、波狀、後横線は第四室の處にて外曲す、亞外縁線は白色、波狀、第三室にて内方に、第四室にて外方に曲る、兩翅とも中横線の痕跡を有す。開張二寸七分。これは四月其面にて竹内吉藏氏の捕獲せる珍種なり。
分布—本州(其面)。

クスエダシヤク……………(二七三)
Haemita aciciliaria Kozaki.

雌は灰褐。翅白色。前翅底及び末端の大部は灰色、黒鱗を散在し、腎狀紋は判然す、前後の兩横線は黒色、波狀を呈す。後翅の中室にも腎狀紋を具へ、翅端の半ば灰褐。開張一寸六分。この幼蟲は樟の葉を食す。臺灣には普通なり。
分布—臺灣、印度。



ヨツメエダシヤク……………(二七八)
Haemita albostigmata Krenn. et Grey

雌翅灰白。前翅に暗色の四帶あれども、何れも



ナカウスエダシヤク……………(二七九)
Boarmia angulifera Paul.

雌、翅端は暗色。後翅の横脈上に暗色の大紋ありて、その中に十字形の灰白紋を具へ、その外方に波狀の二暗色帯ありて、前縁にて判然す。開張二寸—二寸三分。稀ならず。
分布—本州、支那、ウスリ。



ウツバキエダシヤクに酷似すれども、前翅前

テウセンウスグロエダシヤク……………(二八〇)
Haemita apicistria Leach.

雌翅灰色、少しく褐色を帯ぶ。前翅に前横線、中横線、後横線及び亞外縁線ありて何れも暗色、横脈點は黒色、後横線は中室外にて曲る、亞外縁線は少しく彎曲し、その外側は淡色。後翅に前横線、後横線及び亞外縁線ありて、外方の二者は波狀を呈し、横脈點は暗色。開張一寸二分—一寸四分。これは朝鮮に産するも少なし。
分布—朝鮮、支那。



ウスグロミスチエダシヤク……………(二八一)
Boarmia albicincta Oberth.



♀
體翅は暗色。前翅の横線は黒色。何れも波状を呈し、後横線は一雙、内方のものは太し、外縁の三分の一は黄褐、判然せず。

暗色の細線を紋状に横走す。後翅は前翅の延長、外縁線は何れも波状。開張一寸六分。これは餘り多からず。

分布—本州、支那。

ネグロエタシヤク……………(二八二)

Kaornia fuscescens Loew



♂
體翅灰褐、紋條は黒色。前翅の基半部は暗色、翅底、前横線及び中横線を具へ、中横線は高き波状を呈し、その外側は淡色、後横線は波状をなし、前縁にて太く、亞外縁線は一雙にして、外縁線は波状を呈し、横脈紋は判然し、外縁線は高き波状。開張一寸五分。

これは餘り多からず。

分布—北海道、本州。

テウセンキエタシヤク……………(二八三)

Kaornia fulvifera Hübner



♂
體翅黄色、少しく橙色を帯ぶ。翅の紋は褐色。前翅に前横線及び後横線の二帯ありて、前縁下にて外曲し、亞外縁線は判然せず。後翅帯は前翅の延長、淡色、後横線は第四脈の處にて角度をなして屈折す。開張一寸三分。これは朝鮮に産するも少し。

分布—朝鮮、アムール。

ナミカタエタシヤク……………(二八四)

Kaornia chiron Batt.



♂
體翅灰褐。紋條は暗色。前翅の横線は何れも波状を呈し、

し、餘り判然せず、亞外縁線の外縁は前縁にて灰白。後翅の波状帯は三條あれども、餘り判然せず。開張一寸三分内外。餘り多からず。

分布—本州、九州、支那。

ルリモンエタシヤク……………(二八五)

Kaornia caerulea Schiff.



♀
體翅は灰褐、紋條は暗色。前翅の前横線は一雙にして、内方にあるものは太く、弓状をなす、中横線は前縁に於てのみ判然し、後横線は波状、弓状を呈し、その外側は黄褐、亞外縁線は一雙、その間室は灰白、翅端に一灰白紋あり。後翅に三波状線及び多数の判然せざる横線を装ふ。外縁線は何れも波状。腹部の基部に黒帯あり。開張一寸内外。これは餘り多からず。幼蟲はカバ、ヤナギの葉を食す。

分布—北海道、本州、支那、歐洲。

シナトビスチエタシヤク……………(二八六)

Kaornia consociaria Hb.



♂
體翅灰白、紋條は暗色。前翅の前横線は太く黒色、中横線は前縁にて判然し、下方にて細く、色にして、波状を呈す。後翅にも四帯ありて、内方の二帯は黒色、第二帯は波状を呈し、第三、四帯は褐色、判然せず、外縁線は黒色にして、波状を呈す。開張一寸四分。これは燈火に飛來するも餘り多からず。

分布—北海道、本州、朝鮮、ウスリ。

ドロトビスチエタシヤク……………(二八七)

Kaornia eripusaria Hb.



♀
體翅は灰白、少しく黄褐を帯び、紋條は黒色。前翅に四條の横線ありて、河れも斷續し、後横線及び亞外縁線は波状をなす、尚、前横線と後横線及び後横線と亞外縁線との中間に各一個の黒紋を装ふ。後翅に五條の波状帯ありて、第一、第三帯は内縁にて判然し、外縁線は點線より成る。開張一寸一分内外。幼蟲はヤナギ、カバ等の葉を食す。

分布—本州、朝鮮、アムール、歐洲、印度、阿

♀
目つ判然せず、後横線は波状、その外方は前半にて暗灰色、その中央に一灰白紋あり、亞外縁線は暗色、外側は暗色線にて縁取られ、外縁に黒點を列ぬ。後翅は灰白、横線は暗色、外縁に黒色の波状紋あり。開張一寸三分。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲はシナの葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、滿洲、アムール、ウスリ、歐洲。

テウセンウスイロエタシヤク……………(二八七)

Kaornia coracaria Loew



♂
體翅灰白、少しく赤味を帯ぶ、紋條は黒色、前翅の前縁に二紋を具ふ、後横線は波状、その外側に太き一帯ありて、第五脈以下にて判然す、その外側は淡色、これより外側

は暗色、亞外縁線は淡色、外縁に黒紋あり。後翅の横脈紋は判然し、後横線は第五脈の處に

一折れ、これより外方は暗灰色、亞外縁線は暗色、外縁に黒紋を列ぬ。開張一寸七分。これは朝鮮に産するも稀なり。

分布—朝鮮、アムール。

マヘテンエタシヤク……………(二八八)

Kaornia costipunctaria Loew



♂
體翅は暗灰色、紋條は暗色、前横線は二本、波状を呈し、その外側は中横線迄灰黄白、中横線は波状、後横線と後縁にて相近接し、一大紋を形成す、中横線の外側に大紋ありて、亞外縁線の處迄擴がる、外縁には黒紋を列ぬ。後翅に三帯ありて、何れも波状を呈し、外縁には黒色のスカラツアを連ぬ。開張一寸一分。本州に産するも、その數少し。

分布—本州。

フトオビエタシヤク……………(二八九)

Kaornia crassestrigata Christ.

體翅は灰褐。前翅に暗色の四帯ありて、何れも波状を呈し、中央の三帯間及び外帯の外側は黄

弗利加。

ナカシロオヒエダシヤク (二九二)

Boarmia albifolia Hult.

體翅は淡黄褐色、斑紋は黒色、前翅底三分の一の處に暗色の五帯あり、前横線はく字形に折れ、中横線は端直にして太く、後横線は顕齒狀、これは後縁に達せずして中横線と相合す、亞外縁線は後方に至るに從ひ太く、波狀を呈し、外縁線は點線となる、横脈紋は列然し、その周圍は廣く淡黄。後翅底に近き一帯は短太、横脈紋に達せず、外半に數條の點線を連ぬ。これは本州の高山地帯に稀ならず。



分布 本州。

アトフトオヒエダシヤク (二九三)

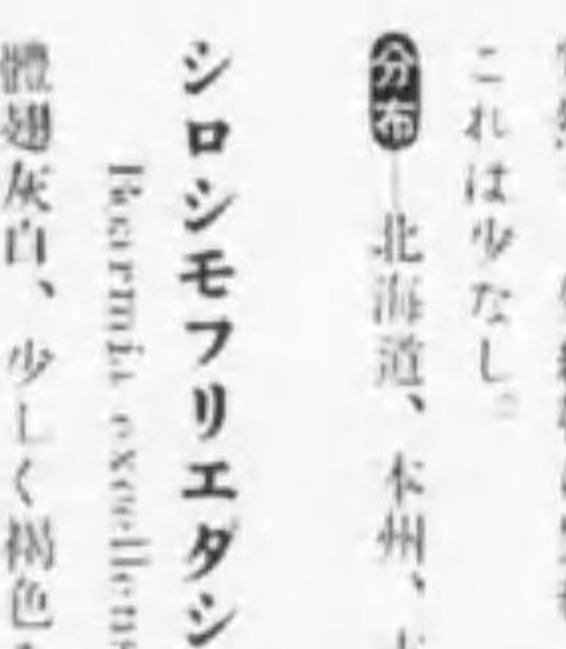
Boarmia displicens Hult.

體翅灰黄、底紋は黒色。前翅の前横線、中横線、後横線及び一帯の亞外縁線は波狀、亞外縁線は

シロシモフリエダシヤク (二九五)

Boarmia exolettus Hult.

體翅灰白、少しく褐色を帯び、斑紋は黒色。前翅の前横線及び中横線は點線となり、後者は前縁にて大紋となる、後横線も點線となり、中央の一紋最も大、その外側に一黒線あり、亞外縁線は一帯にして、波狀、外縁線は點線より成る。後翅に三帯ありて、第二三帯は、双より成り、何れも波狀、外縁線は點線となる。開張一寸三分。これは何れの地方にも稀ならず。



分布 北海道、本州、支那。

クロオホモンエダシヤク (二九五)

Boarmia fumosaria Leach

體翅暗色。前翅底前縁の半部は廣く淡黄

分布 北海道、本州、ウズリ。

キシマエダシヤク (二九四)

Boarmia flaviviraria Leach

體翅灰色。前翅に三條の黄色帯ありて、何れもく字形に屈折し、その兩側は黒線にて堺せられ、外縁線は黒色にして、波狀、中央に大なる暗色の楔狀紋あり。後翅に二條の暗色帯を具へ、尙列然せる暗色の小斑を散在す。開張一寸八分。これは燈火に飛來するが餘り多からず。



分布 北海道、本州。

ナカトビシロエダシヤク (二九九)

Boarmia inornataria Leach

體翅灰白。前翅の前横線(後縁に色列然す)、中横線及び後横線は黒色、但し後横線は顕齒狀を呈し、その外側は淡黄褐色、亞外縁線は白色、外縁線は黒色にして、點線と

分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

フタヤマエダシヤク (二九六)

Boarmia erisae Hult.

體翅暗灰色、紋條は黒色。前翅の外縁線は二回屈折し、後横線は中央の外方にてく字形に曲る。後翅の第一及び第四帯は列然せず、後縁線は何れも波狀をなす。開張一寸二分。これは燈火に飛來する普通種なり。



分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

アヲオホエダシヤク (二九七)

Boarmia herichthys Guen.

雌、體翅は淡緑、翅の斑紋は黒褐色、前翅の中央に腎狀の一大紋を具へ、外縁にて三條の點線を稍々相平行せしむ、後翅の中央に一白紋ありて、その周圍は黒色、外縁に二條の點線あり。

トギレエダシヤク (二九八)

Boarmia interupta Wilm.

體翅暗色、紋條は黒色。前翅の前横線は一帯、外方のものはく字形を呈し、その外側の一回は灰白、中横線は中脈以上にて暗色、以下にて黒色、後横線は一帯、斜走し、その外側の縦脈は暗色、外縁線は灰白、その兩側は淡色、外縁に黒紋を列ね、縁毛にも黒紋列あり。開張一寸二



分布 臺灣、印度。

ヨツメコエダシヤク (二九九)

Boarmia irrorataria Bremer, et Grey

體翅灰白、小黒紋を散在す。前翅に四條の暗色帯ありて、第一帯は波狀を呈し、その内側に更



分布 北海道、本州、支那、アムール。



藍色を帯ぶ。後翅に四黒帯ありて、第一帯は中室紋と相接し大なり、第二帯は鋸齒状、その外側は淡色、第三帯は太く、その外側は白色、外縁に黒點列あり。開張一寸六分内外。これは札幌地方に普通なり。
分布 北海道、本州、朝鮮、アムール。
附言 雄の脚は赤者、頭角を縁状にせるも元

来は楕圓状なり。

カイハエタシヤク *Boarmia hahletensis* Mats. (1101)



翅は灰色、黄色及び白色鱗を散在す、中央には太き黒色帯ありて、これは前縁にて三突起を出し、外側は白色の波状をなせる。後横線にて界せらる、第三室と四室に黒紋あり、亜外縁線は白色、波状、外縁線は黒色、細く、縁毛は灰色。後翅の基部は黒色、白色の中横線にて分界せられ、亜外縁線は白色、縁毛は前翅に似たり。開張一寸四分。これは樺太海馬島に發見せられたり。稀ならざるが如し。
分布 樺太。

シロテンエタシヤク *Boarmia luteo-haera* Butl. (1102)



翅は灰色、紋は黒色。前翅の前横線、中横線及び後横線は黒色、後者は鋸齒状を呈し、その外縁は淡色、波状、その中央は黄色。開張一寸一分内外。これは少なし。
分布 本州。

ウスハキエタシヤク *Boarmia obliquaria* Motsch. (1103)



翅は灰色。前翅の横線は黒色、前横線は一双にして、その中間は灰白、中横線は中央にて切斷せられ、後縁にて相近接す、後横線は波状、中横線との間室は白色、亜外縁線は白色、その内側に暗色の二波状線を具へ、翅端は淡色、外縁線は波状をなす。後



外側は淡色、横脈紋は楕圓形、中央は灰白、亜外縁線は白色、波状、その内側は暗色線にて縁取らる。第四、五室に跨りて大なる一白紋を具へ、これは亜外縁線の白線と相連なる。後翅は前翅と同様なれども少しく淡色、翅底に斑紋を缺く。開張一寸四分。これは札幌地方に普通なり。
分布 北海道、本州、ウヰリ。

ナミカタエタシヤク *Boarmia huffera* Butl. (1104)



翅は灰色、前翅に四黒帯ありて、これより前横線、中横線、後縁及び亜外縁線を後方に送り、何れも波状を呈し、外方の二線の外側は黄色線にて縁取

ソトシロオヒエタシヤク *Boarmia ornataria* Saesh. (1105)



翅は灰色、前翅に暗色の四帯ありて、前横線サカリネンシス形。中横線は後方に合して太き一帯となり、後横線は一双、その間室は灰白、亜外縁線は白色、中央にて判然し、その内側は黒線にて縁取らる、中央部(中横線と後横線との間室)は灰白。後翅に暗色の三帯を具へ、外縁線は黒色、波状をなす。開張一寸四分。稀ならず。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞。

シロシタオヒエタシヤク *Boarmia piceata* Butl. (1106)

翅は暗灰色、紋は暗色。前翅の前横線は一双、外方のものは中央にて切れ、中横線は横脈

カラフトエタシヤク *Boarmia maculata* Zler. (1107)



翅は暗灰色。前翅に暗色の四帯ありて、前横線サカリネンシス形。中横線は後方に合して太き一帯となり、後横線は一双、その間室は灰白、亜外縁線は白色、中央にて判然し、その内側は黒線にて縁取らる、中央部(中横線と後横線との間室)は灰白。後翅に暗色の三帯を具へ、外縁線は黒色、波状をなす。開張一寸四分。稀ならず。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞。

イツスチエダシヤク *Boarmia niesta* Butl. (1108)

翅は暗灰色、紋は暗色。前翅の前横線は一双、外方のものは中央にて切れ、中横線は横脈

紋外にてく字状に折れ、後縁にて判然せず、その外側の一圓は淡色、後横線の内側に前縁に接してく字形の

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。

翅は灰白、翅底、小横脈帯に暗色の斑紋を呈し、後二者は波状を呈し、中横脈上に一黒點を裝ふ。腹部の基部に一黒帯あり。開張一寸内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布 北海道、本州。



雄、體翅褐色。前翅中央に廣き白帯を具へ、他の紋條は黒褐色、後横線及び亜外縁線の外側は黄線にて縁取らる。後翅斑紋は前翅に似れども、外縁一対の波状線は黄色、判然せり。雌にては灰白、紋條は暗色、亜外縁線は白色。開張一寸六分内外。これは稀ならず。
分布 北海道、本州。

フライヤエタシヤク *Baornia pyretaria* Isechi (1109)



體翅淡黄褐色、斑紋は黒色。前翅の前縁に三紋を具へ、後横線太く、第五脈の處にて屈折し、外縁に二大紋を裝ひ、基部に近く後縁にも大紋を有するものあり。後翅に三黒帯ありて、中帯は細く、點線となり、外帯は太し。開張一寸三分内外。これは本州に稀なる

も樺太には少なからず。
分布 樺太、北海道、本州。

アトテンエタシヤク *Baornia punctulalis* Zook (1110)



體翅暗灰色、紋條は黒色。前翅に四帯ありて、中央の二帯は波状を呈し、後縁に近く相近接し、亜外縁線は中央にて判然し、その外側は黄色線にて縁取られ外縁線は點線となる。後翅の中央は淡色、横脈紋は長楕圓形、三帯ありて、何れも波状を呈し、外縁線は點線となる。開張一寸六分内外。幼蟲はカシバ、カバ等の葉を食す。稀ならず。
分布 北海道、本州、朝鮮、支那、ウズリ、歐洲。

ハンノトビスチエタシヤク *Baornia punctulata* Zehlf. (1111)



外縁線は左黄、外縁線は黒色、波状をなし、前縁には黒紋を列ぬ。後翅の中帯は黒色、基半部は灰黄、黒點を散在す。開張一寸六分。これは九州地方に稀ならず。
分布 本州、四國、九州。

ハミスチエタシヤク *Baornia poliovaria* Schiff. (1115)



體翅灰白。前翅に四黒帯ありて、第一帯は弓狀、第三帯は細く、波狀、その外側に暗色紋を裝ひ、第四帯の外側に白紋を具へ、全面に暗色の短線を密布し、各室の末端に黒紋あり。後翅



イダノビリス形 *B. maculalis* Hult. 翅に四帯ありて、何れも波狀を呈し、斷續せるものあり、外横線と亜外縁線は中央にて相接し、外縁線は波狀を呈し、縁毛には黒點を連ぬ。後翅にも前翅同様の黒帯を有すれども、餘り判然せず。開張一寸内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はハンノキ、カバ等の葉を食す。
分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

フトスチエタシヤク *Baornia repulsaria* Wl. (1112)



體翅暗色、紋條は黒色。前翅の前横線は中室の處にて彎曲し、その曲れる内側に灰白紋あり、中横線は一対、前半にて判然せず、後横線は波狀、外側は淡色線にて縁取らる。亜外縁線は波狀、前半にて判然せず。後翅の基半部は灰白、暗色の三帯あるも判然せず、後横線は波狀、これ



に三黒帯あり。開張一寸八分。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はカシハの葉を食す。
分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。
アルゲータ形 *B. arguta* Hult.



原種と異なる所は、前翅後半にある三紋及び後縁の三帯は太くして顯著なり。
分布 本州、アムール州。
ヨモギエタシヤク (1116)



らる。後翅の横線は暗色、中横線は鋸齒狀を呈し、その外側線は淡褐色。開張一寸三分。これは稀ならず。幼蟲は松の害虫なり。
分布 北海道、本州、歐洲。

クロクモエタシヤク *Baornia rimosus* Hult. (1114)

體翅淡褐色。前翅の前横線及び後横線は黒色、亞

マツオホエタシヤク *Baornia rufocincta* Chapuis (1113)

を境として外縁は暗色、亜外縁線は判然し、第四及び第二脈の處にて紋狀に肥大し、その外側は黄線にて縁取らる。開張一寸四分。これは本州にては少なし。
分布 本州、臺灣、支那。

Boarmia selenaria Hb.

クレータケア形 雌 體翅灰白、少しく黄褐色を帯び、斑紋は黒



褐。前翅の前縁線及び後横線は波状、前者はその内側、後者はその外側にて淡紫褐色を帯び、横脈紋は楕圓形、前縁の一紋と相

連なる、亞外縁線は不明、第五、六室の黒點にて代表せらる、外縁線は點線となる。開張一寸四分。これは本州に稀ならず。幼蟲はヨモギの葉を食す。

分布—本州、朝鮮、支那、アムール、歐洲、亞弗利加。

ノコオビエダシヤク……………(一一三六)

Boarmia serrulinea Leach

雌、體翅灰白、紋條黑色。前翅の基部及び後横線外側は廣く灰黄、前横線は中室にて切れ、後縁にて判然せず、中横線は前縁にて一致にて代表せられ、後縁にて稍々判然せず、後横線は波状

♀



前縁にて紋狀となる、亞外縁線は灰白、内側は暗色線にて縁取らる、外側に太きスカラツプを列ぬ。後翅

は前翅と同様、紋條は判然せず。開張二寸一分。これは朝鮮に産すれども少なし。

分布—朝鮮、アムール。

フレクキエダシヤク……………(一一三八)

Boarmia simpliciora Leach



體翅灰色、紋條は暗色。前翅の横線は波狀を呈し、何れも前縁の三分の一の處にてく字形に屈折す、横脈紋は圓く、後横線の後半は點線となる。後翅に暗色の四帶ありて、亞外縁線の外側は前後翅共に灰白。開張一寸二分内外。これは本州にては多からず。

分布—本州、支那。

シタクモエダシヤク……………(一一三九)

Boarmia sorbata Hbtl.



體翅灰黄褐、斑紋は黑色。前翅の前縁に四紋ありて、第一紋よりは不明なる細き前横線を後方に送り、第三紋より斷續せる後横線を込れども餘り判然せず、亞外縁線は一雙にして、波狀、その間室は黄白。後翅は暗色、中央に灰白の太き一帯を具へ、横脈紋黑色にして、判然せず。開張一寸内外。これは北海道に普通なり。

分布—北海道、本州。

ウスムラサキエダシヤク……………(一一四〇)

Boarmia stipitaria Oberth.



體翅灰白、紋條は黑色。前翅は赤味を帯び、横線は波狀、前横線は一雙、外方のものは前縁にて判然せず、後横線は一雙、稍々相平行し、亞外縁線は斷續せ

り、外縁線は數列より成る。後翅紋は前翅の延長、但し前横線を缺く。開張一寸五分。これは餘り多からず。

分布—本州、朝鮮、アムール。

リンゴツノエダシヤク……………(一一四一)

Boarmia tentinosaria Bremer

體翅灰白、小黒點を散在す。前翅に二黒條を横走し、翅底に近きものはその内方に二褐紋を裝ひ、外方の一線は後縁にて太く、第五、六脈の處にて弓狀に曲り、その外側には太き褐色帶を裝ふ。後翅の中帯は黑色。開張一寸七分—二寸三分。これは札幌地方に普通なる種類にして、

♀



燈火に飛來す。幼蟲は苹樹の害蟲なり。

分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲。

ソトシロモンエダシヤク……………(一一四二)

Boarmia venustaria Leach



體は暗色。翅は白色、紋條は暗色。前翅の底線及び前横線は太く、その兩側は黑色線にて縁取られ、その外側に三黒紋を列ぬ、横脈紋は楕圓形、後横線は波狀、第二及び第四脈の處にて切れ、その外側に二紋を具へ、一は前縁に

キリバナホソナミシヤク……………(一一四三)

Boarmia artemidora Oberth.



體翅暗灰色。前翅の前横線は暗色にして、その中に黄色の波狀線を併走す、前縁は灰白、中央紋及びその直下の中室點は暗色、後横線は細き黄色、波狀を呈す、亞外縁線は細く黄色、翅端に二暗色紋あり。後翅は小形にして細く、灰黄、暗色の三波狀線あり。開張九分内外。これは廣く東洋に分布す。

分布—樺太、北海道、本州、臺灣、ウスリ、印度。

ヘリグロエダシヤク……………(一一四四)

Bopalus vestalis Stgr.

翅は白色。前翅の前縁、外縁(長く)、横脈紋、縁毛の紋列、後縁(点紋より成る)は黒色。後翅の前縁、外縁の紋列、横脈紋は黒色、翅底及び後横脈は暗灰色。開張一寸五分。これは函館地方にて捕獲せられたるが稀なり。



分布 北海道、アムール。

ウスキエタシヤク.....(二三五)

Buzara perulari Warr.



色、外縁に暗色点を散在す。縁毛は前後翅共に暗黄。開張一寸内外。これは本州にては少なし。



分布 本州、朝鮮。

ホシホシシロエタシヤク.....(二三九)

Calera janetata Warr.

體翅白色。前翅の前横線の處にある三紋及び後横線の處にある紋列(弓状をなす)は黄色、横脈点及び外縁に近き紋列は黒色、横脈点紋及び外縁に近き紋列は黒色、中帯(紋列)は黄色。腹部は少しく黄色を帯ぶ。これは信州追分に稀ならず。



分布 本州(追分)。

ミスチコナフエタシヤク.....(二三〇)

Calera schaefferi Brown.

體翅白色。前翅の三帯は灰黄、前縁及び後縁の縁毛は少しく黄を帯び、全面に小黑点を散在す。後翅の二帯は灰黄、縁毛は何れも白色、但

體翅白色、少しく黄色を帯ぶ、前翅に二黒帯ありて、内方のものは弓状をなし、外方にあるものは第五脈の處にてく字形に屈折し、その外方及び横脈上に小黑点を散在す。後翅にも前翅同様の二線ありて、内縁の中央及び横脈紋は黒色。開張二寸七分。これは臺灣に少からず。

分布 臺灣。

オホエタシヤク.....(二三六)

Buzara superus Butler.

雄は灰色。前翅基部の大紋は褐色、その外側の弓状帯は黒色、横脈紋は灰白、後横線は暗色、



上前翅の後縁角にあるものは少しく黄色を帯ぶ。開張九分内外。幼蟲はヤナギの葉を食す。普通なり。



分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲。

オホマヘキトヒエタシヤク.....(二三二)

Calerodes costalis Wk.

雌、前翅は紫褐色、前縁は黄色、中央にて三角形を呈し、下方に延び、これより赤黄線を後縁に送る、前横線は暗褐、斜傾す。後翅は前翅同様に紫褐色、肛角の廣き一圓は赤黄、中横線は少しく濃色なるも、判然せず。兩翅全面に濃色の小紋を散在し、少しく鉛色を帯びたる部分あり、縁毛は濃色。前頭は黄色。體は紫褐色。開張一寸三分。これは臺灣には少なし。



分布 臺灣、印度。

一、前縁及び後縁にて黒色、前縁に褐色の大紋を具へ、その外側は灰白。後翅の二帯は暗色、波状、外縁帯は波状、灰白。雌にては翅端及び外縁に近く褐色の前縁紋を缺く。開張一寸七分。三寸。これは札幌地方に稀ならず。

分布 北海道、本州、九州、支那、ウズリ。

アトクロキエタシヤク.....(二三七)

Calera reisehlahuta Oberth.

體翅黄色。前翅の横帯は暗褐、第一帯は深く彎曲し、第二帯は前縁に達せず、後横線は第五脈の處にて外方に曲り、後縁角の一圓は廣く暗色、横脈上の短線は暗褐。後翅の横帯は暗褐、内方の二帯は短かく、外縁の三分の一は暗色。開張一寸。これは本州に産するも少なし。



分布 本州、ウズリ。

コシロスチエタシヤク.....(二三八)

Calera purus Butler.

體翅灰白、少しく黄色を帯び、横線は暗色。前翅の横脈紋は黒色。翅底及び外縁に暗色点を散在す。後翅に暗黄の二線ありて、横脈点は黒

マヘキトヒエタシヤク
Calerodes formosa Butler.
體翅紫褐色。前翅の前縁に波状の太き黄色條を具へ、翅端にも黄紋あり、翅の中央は赤褐を帯び、これに濃色の短線を散在し、尙、翅端にも同様の短線あり。後翅の中帯並に翅底に近き一圓は赤褐。開張八分五厘。これはイヌツゲの害虫なり。



分布 本州、九州。

ナミカタシロエタシヤク.....(二三三)

Calodryps compositata Thun.

ジュンクチリニネアータ形 翅は白色。前翅は三條づゝ、相近接ありて、中央の六帯は三條づゝ、相平行す、外縁にある三帯は短く、外縁にて黒色縁毛は白色、その末端の暗色なるものあり。後翅の中央に二斜帯ありて、その内方のも



のは横脈上にて膨大す、三分の二の處に不正の黒帯ありて、内縁角は廣く橙黄色、これに三黒紋を列ね、翅端は廣く黒高。後翅の斑紋も暗色、内縁角は黄色。開張一寸三四分。少なし。

分布 本州、九州。

ウスベニナミシヤク

Caloclype exultata Christ.

體は赤褐。前翅は淡灰黄、少しく赤味を帯び、多数の赤褐波状帯を具へ、中央に黒色の太き二帯ありて、これは後縁にて相合し、中央に赤褐紋を有す、外縁に近く前縁に二暗色紋ありて、その外側に二黄紋を裝ひ、

♀



外縁に赤褐の一帯あり。後翅は前翅と稍々同色なるも、赤味を缺き、外半は暗褐、黄色の二帯ありて、外縁は深き鋸齒狀に列らる。開張一寸二分内外。これは美麗なる波尺なるが稀なり。

分布 本州、ウスリ。

オホホシシヤク

Centronoxa moulanaria Leach.

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

タイワンハガタアヲシヤク

Chlorodanthera elaphocenta Moore.

體翅白色。前翅の前横線は濃色、その内側は白線にて縁取られ、横脈紋は黒色、後横線は一双にして白色、その内側は何れも濃色、前縁は橙黄色。後翅にも前翅と同様の紋條あれども、前横線を缺き、表面は暗灰色。開張一寸四分内外。これは埔里地方に産するも少なし。

分布 臺灣(埔里)。



オホハカタアヲシヤク

Chlorodanthera taiwana Wilem.

體翅白色。前翅に二條の濃色帯ありて、何れも波狀を呈し、外縁に近く白點を連ね、その内側に綠色の判然せざる紋列を裝ふ、中室紋は黒色、大なり。後翅の黒紋は一層大、外半には前翅同様の紋條を裝ふ。裏面は橙黄色、横脈紋及び後横線は黒色。開張一寸八分。これは臺灣埔里にて捕獲せるが少なし。

第六 鱗翅目(蛾亞目)

體翅白色。前翅の横脈點、外縁脈の中央點、第一脈及び後縁の三點並に外縁の點列は黒色。後翅にも同様の黒點を列

分布 臺灣、支那。

ホシスチラエタシヤク

Carige diphysaria Wk.

翅は灰白、黒褐の小點を密布す。前翅の二帯は黄色、その兩側に黒紋列あり、横脈點は黒色、外縁脈の黄色なるもの多し。後翅の一帯は黄色、その内側は黒色、外側に三黒紋あり。開張九分五厘。これは本州に稀ならず。

分布 本州、支那、滿洲、印度。



♀



分布 臺灣(埔里)。

リンゴアヲナミシヤク

Chlorolystra reuanghata L.

體翅灰色、少しく綠色を帯ぶ。前翅に波狀をなせる約十條の黒線ありて、後横線及び前横線は判然す、横脈紋は黒色、大、外縁に近く赤味を帯びたる灰色帯あり。後翅の横脈點は黒色、數條の暗色帯ありて、其内、中横線及び外縁の灰白線は判然す。開張六分内外。これは稀ならず。幼蟲はリンゴ、ナシの葉を食す。

分布 北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。



アトホシエタシヤク

Cephalis advenaria Hb.

前翅は灰白、前縁の基部、中央の二帯及び外縁紋は黄褐、外帯の外方に更に小斑より成れる太き一帯あり、横脈は暗褐、全面に黄褐の小點を散在す。後翅は中央に褐色の屈折せる二帯を具へ、横脈點は黒褐。開張一寸内外。これは燈火に飛來するも多からず。幼蟲はハンニチバナの葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。



ヒメアミメエタシヤク

Chasmodon elatralis J.

前翅は白色、前縁、外縁及び後縁に暗褐の小點を散在す、四帯は暗褐、第四帯は第三脈の處にて第三帯と相接す、翅脈暗褐なるを以て網目狀の斑紋を有するが如し。後翅も稍々同様の斑紋を有す。開張九分内外。これはゲンゲ、ウマゴヤシ等の葉を食す。

♀



イチコナミシヤク

Chasmodon albiflata J.

翅は白色。前翅底は廣く暗褐、その中に不明なる暗色の横線あり、横脈紋は黒色、翅端に近き一紋は黒色、その中に灰白線ありて、これより後縁の末端に一黒帯を送る、外縁及び縁毛は黒色。後翅の外縁は廣く黒色、第三室にて途切れ、これに二黒紋を裝ふ。開張一寸一寸一分。幼蟲は苜蓿の葉を食す。燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。



モンキキナミシヤク

Cidaria amelia Butler.

前翅黄み、前縁は半部暗色、これに黄魚點を列ね、中央に暗色の太き一帯ありて、其外側は波狀をなす、後横線は赤褐にして太く、その外側は廣く灰黄、その中に褐色の一帯あり、外縁は廣く赤褐。後翅は灰白、外縁



に近く暗色の二帯あれども餘り判然せず。體は暗灰色。腹部は灰白。開張一寸内外。この斑紋には變化なし。これは本州に産するも餘り多からず。

分布 本州。

ホソキンオビナミシヤク……………(二四四)

Chloria angusta Moore.

體翅暗色、紋條は黄白。前横線は黒色、外側は黄白線にて縁取らる、中横線は太く、内側は波



♀

状、外側は黒線にて縁取らる、これは後横線の内側にある黒線と相合してV字形をなす、後横線は黄白、前縁に近くY字形に二分し、其外側に大なる黒紋あり、縦脈は黄白、外縁の下半部にて太し。後翅は灰白、暗色の三帯ありて、内方ものはく字形に曲る。開張一寸二分。これは臺灣に産するも少なし。

分布 臺灣、印度。

トビモンシロシヤク……………(二四五)

Chloria bicolorata Hb.

體翅は白色、前翅は少しく黄みを帯び、翅底は暗色。後翅は暗色、中帯は灰白。開張一寸。これは樺太に稀ならず。幼蟲はカシハ、カベ等の葉を食す。

分布 樺太、北海道、アムール、歐洲。

トビスチコナミシヤク……………(二四九)

Chloria designata Hufn.

前翅は白色、紋條は黒色、中央にく字形の太き黒褐帯ありて、その中に判然せざる二、三の黒線を横走し、その外側に灰白帯を具へ、その中に更に灰色の一細線を平行せしむ、翅底の三分の一は褐色、これに淡色の四線を横



♂

走し、その中央に近く黒褐の波状線あり、外縁は廣く暗色。後翅は灰色、帯は淡色。開張六分五厘。この幼蟲は十字花科植物に寄生する普通種なり。

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

ハシバミナミシヤク……………(二五〇)

Chloria furcata Thunb.

前翅は鶯色、紋條は暗色、約七個の斜條あり



♂

褐、これに黒褐紋を裝ひ、前縁の中央にある弧形紋は暗褐、これに灰白の二線を横走す、横脈紋は黒色、翅端下に黒紋を裝ひ、その内方は白色。後翅の横脈紋は黒色、帯は暗色。開張九分内外。幼蟲は李の害蟲なり。

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

セキナミシヤク……………(二四六)

Chloria angustata H. M.

體翅暗褐。前翅の前横線及び亜外縁線は黄白、中横線及び後横線は黒色なれども判然せず、外縁は廣く黄白、前縁の末端に近く暗色紋ありて、これは判然せざる暗色線となりて後縁に達す、翅



♀

端に近き外縁に暗色の三角紋あり。後翅は灰白、少しく赤味を帯び、外方に暗色の二帯ありて、何れもその外側は黄線にて縁取られ、外縁は暗色。開張九分。これは何れの地方にも普通なり。この幼蟲はツリフネサウの葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州、四國、歐洲。

て、前横線最も太く、中央にて外折す、中横線及び後横線は前半にて判然し、亜外縁の上方にて後横線と相癒合す、縁毛には暗色紋を列ぬ



♀

後翅は暗色。開張一寸一分。これは樺太に稀ならず。幼蟲はヤナギ、ハシバミの葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州、アムール、歐洲、北米。

クサビナミシヤク……………(二五二)

Chloria strataria Leech

前翅は灰色、前翅に菱形の二黒紋を具へ、前翅の内側に灰褐の一帯ありて、兩側は暗色線にて縁取らる、後横線は一双、外方のものはスカラツプより成る、その外側に鶯褐の一帯ありて、其外縁は波状



♂

を呈し、亜外縁線は灰白、外縁線は黒色、縁毛に暗色紋を列ぬ。後翅の横脈紋及び外縁線は暗色。開張一寸四分。これは九月乃至十一月に現

リンゴナミシヤク……………(二四七)

Chloria consanguinea Butler

前翅は灰黄、三條の黒帯ありて、第三帯は甚だ廣く、外側にて凸凹多し、第二帯は前縁にて判然すれども、中央及び後縁にて刺まり、判然せざることあり、尙、この外、約六條の細線ありて、何れも波状を呈す。後翅は灰色、二



♀

波状帯あり。開張一寸一分内外。この幼蟲は苹果の害蟲なり。札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

キンオビナミシヤク……………(二四八)

Chloria corymbata Thunb.

體翅は縁褐。前翅はグラニターリス形。♀の横線は暗色、前横線と中横線の間室は灰黄の波状帯となり、横脈紋は判然す、後横線と亜外縁線との間室も灰黄、内側は白線にて縁取らる、亜外縁線は波状、外側は細き白線にて



♀

はるゝものなるが少なし。

分布 本州、九州。

オホシロオビクロナミシヤク……………(二五三)

Chloria haetata L.

體翅黒色。前翅後横線のく字帯は白色、第三室の處に矢の根様の白紋を有するものあり、翅底に二三條の白紋列あれども判然せず、外縁に近く各脈上に白點を散在す、縁毛は黒色と白色との斑をなす。後翅のく字形帯も白色。開張九分一寸。この幼蟲は樺に寄生す。餘り多からず。



♀

分布 北海道、本州、滿洲。

ピロウドナミシヤク……………(二五三)

Chloria maetata Feld.



♂

前翅は黒褐、紋條



は黄白、翅底線は斜走し、その外方はW字形を呈し、これは一対の横帯に適合す、亜外縁線は内方に二長枝を出し、外方にては四齒を出す、縁毛は黄白。後翅は灰色、外縁の帯は灰白、外方は暗色線にて縁取らる。開張一寸三分内外。これは札幌地方には少なし。
分布 北海道、本州、九州、朝鮮、支那、印度。

ナカオビナミシヤク

Citharia mediohnetta Prout

前翅は淡褐、紋條は暗色、前横線は三本ありて、何れも第二脈の基部にて少しく外折す、これと後横線との間室は黄白、後横線は縫線の處にて内折し、翅端より一短線を斜走し、外縁に黒點を列ぬ。後翅は黄白。開張一寸二分。これは本州に産するも



稀なり。

分布 本州。

ハコヘナミシヤク

Citharia picta Hb.

體翅暗灰色。前翅底に二帯ありて、少しく波状を呈し、中央部の三分の一は暗色、これに一対の前横線及び後横線あり、後者よりも判然せず、後者の外側は廣く灰白、中央に二齒、後縁に近く一齒を灰白部に向つて出す、前縁の末端に近く三黒紋ありて、外側紋の中央に灰白の亜外縁線あり。後翅の外半に灰白の二波状線を具へ、縁毛は灰白、これに暗色紋を列ぬ。開張一寸内外。これは餘り多からず。幼蟲はルリハコベを食す。
分布 本州、朝鮮、支那、歐洲。



マルモンシロナミシヤク

Citharia pleoida Butler

翅は白色。前翅の紋條は黒色、翅底は黄色、その外側に約八個の黒褐紋ありて、三列をなし、その外方の前縁に二横紋を具へ、中央に弓状帯

エウアナセンス形 *E. evanescens* Butler



ありて、中室下には二環状紋を裝ひ、外縁は細く黒色、縁毛は黄色と黒色の斑。後翅の斑紋は前翅のものに似たり。開張一寸一分内外。これは札幌地方に普通なり。
分布 北海道、本州、九州。

テツセンナミシヤク

Citharia proehlata Schitt.

前翅は灰白、翅底は灰白、翅底に二波状線あり、中央の三角紋及び外縁(中央に白色の大紋あり)は暗色、亜外縁線は白色、點紋より成る、中央の三角紋より後縁に暗色の三波状線を送る。後翅は灰白、波状



帯は暗色。開張一寸四分。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はテツセンの葉を食す。
分布 樺太、北海道、本州、沖縄、歐洲。

ヨスチナミシヤク

Citharia quadrifasciata Olerok

體翅褐色。前翅底は灰色、三白帯あり、中央にイダノピリス形。太き暗色帯ありて、*E. ignobilis* Butler。その中に五條の黒條を具へ、中央部は淡色、中室點は黒色にして、判然す、其外側は白線にて縁取られ、中央部は少しく突出す、外縁の四分の一は褐色、これに暗色の三波状線ありて、最も外側にある線の外側は白線にて縁取らる、外縁に黒點を列ぬ。後翅は灰色、これに四白線ありて、中央の二線は細し。開張九分内外。これは北國に普通なり。幼蟲はスツカンゴの葉を食す。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。



ヤハツナミシヤク

Citharia sagittata F.

第六 鱗翅目(蝶亞目)



前翅暗色、斑紋は暗褐、翅底の一紋は後縁に達せず、その外側の上半は白線にて縁取らる、中央部は前半にて稍々四角形を呈し、中央は外側にて角状に突出し、後半は細く、その中央にて溢れ、その外側は白線にて縁取られ、更に外側に白帯ありて、これは外縁の中央に開口し、その中に細き暗色の一線あり、外縁には黒紋を列ぬ。後翅は暗灰色、中帯は灰白。開張一寸内外。幼蟲はカラマツサウの葉を食す。燈火に飛來するも、多からず。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

オホハガタナミシヤク

Citharia silvatica Schitt.

體翅暗色。前翅の紋條は白帯及び黒色、翅底線は弓状、その内側は黒線にて縁取られ、前横線の中央突出し、後横線より来る二線に相合す、後横線は太く、その外側に黒紋を列ね、これは細線にて縁取らる、亜外縁線は中央に



アトロクロナミシヤク

Citharia sudanata Schitt.

前翅は褐色、翅底は暗色、外側は黄線にて縁取られ、これに平行して同色の二帯をその外側に裝ふ、中央部は廣く赤褐、外側は黒色、波状を呈し、黄線にて縁取られ、中室紋は黒色、亜外縁線は黄色、波状、その内側に黒帯あり、外縁は細く黄色。後翅は灰色、暗色の三帯ありて、第三帯の兩側は廣く黄色、外縁線も黄色にして、縁毛には暗色紋を列ぬ。開張一寸内外。これは北國に普通なる種類にして、幼蟲はキメタサウ、ヤエムグラの葉を食す。
分布 樺太、北海道、本州、アムール、ウズリ、歐洲、印度。



フタシロスチナミシヤク (二六六)

Citharia supergressa Butl.

翅は暗色、帯は白色。前翅底、中央及び外縁の暗色部に灰白若くは白色の波状線を横走し、横脈は黒色。後翅底は灰色、三條の灰白帯あれども判然せず。開張九分内外。これは札幌地方に普通なり。



分布 北海道、本州。

サンカクナミシヤク (二六五)

Citharia triangulifera Moor.

前翅褐色、翅底に暗色の細き波状線あれども判然せず、中央にV字形の灰黄紋ありて、兩邊は一対より成り、外縁の外側に同色の波状線を装ひ、外縁に三角形の暗褐色ありて、その内側は灰黄線にて縁取らる。後翅は暗灰色、前縁及び三波状帯は灰黄。これは本州にては少なし。



分布 本州、臺灣、印度。

ウチジロナミシヤク (二六四)

Citharia truncata Hüb.

前翅灰白、紋線は暗色、翅底は灰色、四横線ありて、何れも弓状を呈し、中央紋は判然せず、後横線は前半にて太く、中央にてく字に屈折し、それ以下は細き波状をなして後縁に達す、外側は廣く黄色、更にその外側は赤褐色、尚、その外側に鋸齒状の白線あり、外縁は廣く暗色、縁毛は黄褐色。後翅は灰白、外縁に近く一灰色帯あり。開張一寸内外。これは北國に普通なり。幼蟲は柳の葉を食す。



分布 樺太、北海道、本州、歐洲。附言 翅色には變化多し。

ツマジロナミシヤク (二六五)

Citharia unguifera Haw.

前翅底の大半は黒褐色、その中に約七條の黒褐色線ありて、中央には灰白の細き波状線を装ひ、外縁の前半は白色、前縁及び外



分布 本州、朝鮮、支那、西比利亞。

シラナミナミシヤク (二六六)

Citharia unduliferaria Motsch.

翅は暗灰色。翅の波状帯は白色。前翅に約八條の波状線ありて、横脈は白色、楕圓形外縁線は細く暗色。後翅には四波状帯あり。開張一寸一分。これは本州に産するも多からず。



分布 本州、朝鮮、支那、西比利亞。

キオビハガタナミシヤク (二六七)

Citharia variata Zolner.

前翅は暗灰色、紋線は暗色。前横線は波状、白

縁にて縁取らる、中央に楕圓の太き暗色帯ありて、外側は波状を呈し、太き黄線にて縁取られ、内側は中央にてく字形に割られ、横脈上に一短線あり、亞外縁は黄色、波状を呈す。後翅は灰色、外縁は少しく暗色を帯び、後横線及び中室暗色。開張九分内外。これは北日本に普通なり。幼蟲はトドマツ、エゾマツの葉を食す。



分布 樺太、北海道、本州、支那、西比利亞、歐洲。

ツマキシロエダシヤク (二六八)

Citharia whiteleyi Butl.

翅は黄白、紋線は黒色。前翅の前縁に六紋ありて、中央の三個は長く、その内、二個は相近接し、前縁の黒色紋と相接せず、外縁は橙黄色、第一、二、三室に各一紋を具へ、第一脈の處に楕圓紋あり。後翅の中央紋は判然せず、内縁角



第六 鱗翅目(蛾亞目)

及び外縁橙黄色。開張一寸一分。これは表飛性にして、普通なり。分布 北海道、本州、朝鮮。

リングキエダシヤク (二六九)

Colotois arnoliharia Oshiro.

翅は黄褐色。前翅の二帯及び横脈は暗色、翅端に近く二白点を具へ、外縁は波状を呈し、第四脈の處にて最も高し。後翅に一帯を具へ、縁毛は何れも濃色。



開張一寸七分内外。これは札幌地方に産するも秋季若くは早春現はるゝを以て捕獲し損ふことあり。幼蟲は草樹の葉を食す。分布 樺太、北海道、本州、アムール。

クロモンアラシヤク (二七〇)

Comolibaena nigromentularis Loew.



分布 本州、滿洲。

ハスオビエダシヤク (二七一)

Comptosia simplex Butl.

翅は暗灰色。前翅の翅端より後縁の中央に向ひ斜めに赤黄紋あり、脈は灰白。後翅の翅端及び後角に紫褐色あり、脈は灰白、中室暗色、前翅のものより大なり。これは何れの地方にも多からず。分布 北海道、本州、朝鮮、臺灣。

體翅橙黄色。前翅の横脈は白色、後横線より下方外側に赤黄紋あり、脈は灰白。後翅の翅端及び後角に紫褐色あり、脈は灰白、中室暗色、前翅のものより大なり。これは何れの地方にも多からず。



然せざる暗色線を送り、これは各脈上にて暗褐色を具へ、尙、中脈、横脈及び第一脈にも同様の暗褐色を装ふ。後翅は灰白、斑紋は前翅同様なれども餘り判然せず。開張一寸四分五分。これは多からず。分布 本州、滿洲。

ヒメウコンエダシヤク (二七二)

Corymbia arnearia Wk.

體翅橙黄色、紋線は褐色。前翅の前縁基部は

褐色、前横線及び後横線は前縁の二紋によりて代表せられ、これは細線となりて後縁に達するも、判然せず、後縁の中央に暗色紋を具へ、その上方に一點あり、亜外縁線は波状、断續し、前後の兩端は太く、翅端は少しく褐色を帯ぶ。雄に限り前翅底に透明の一紋あり。開張八分一寸一分。これは九州に産するも少なし。



分布 九州、朝鮮、支那、印度。

ヘリグロキエダシヤク

Corymbes dactylea Wk.

體翅は灰黄、前翅の前縁、前横線(細く判然せず)、中横線(太し)、その外側前縁の一紋、後角紋并に外縁は紫褐色。後翅の中横線(後縁に細し)、横線(細し)及び外縁は紫褐色。開張七分内外。これは臺灣に稀ならず。



分布 本州、朝鮮、臺灣、印度。

ウコンエダシヤク

Corymbes speculata Moore.

翅は灰白、紋は暗色、翅底は暗色、大なる眼状紋ありて、中央は灰色、その外側に一対の黒き弧状線を具へ、その間室は黄色、後横線は太く、一対にして、その間室は黄色、これは第四室及び第六脈の處にて切斷せらる。後翅の後横線も前翅のものに似て黄色線を有す。體は黄色黒紋あり。開張二寸三分内外。これは本州に少なからず。



ウメエダシヤク

Cystidia conagaria Guen.

トンボエダシヤクに酷似すれども、その異なる所は、前翅暗色、五斑紋は白色、後翅は黒色、

體翅黄色。前翅前縁の三紋は灰色、尙、暗色點を散在し、第一室に四五個の褐色紋を具へ、その内、後縁にあるものは中央灰白、翅端に近き一紋は褐色、その下方の暗褐色は外縁に接す、横脈紋は褐色。後翅に暗褐色の斑を散在し、横脈紋は褐色。開張九分一寸。これは中國地方に稀ならず。



分布 本州、九州、支那、印度。

コヨツメアヲシヤク

Cosmoptera sutiflora Bremer.

體翅緑色。前後の横脈點は黒色、縁毛は赤褐。開張七分。これは燈火に飛來する普通種なり。



分布 北海道、本州、支那、臺灣、アムール、ウスリ。

カホグロヒメシヤク

Gramphidra emolata Guen.

白色の翅を有し、外縁の五大紋は黒色、翅底の白紋中に黒紋を装ふ。後胸背は黄色。開張一寸六分一寸。これはウメ、リンゴ等の害虫なり。北海道に産せざるも中國には普通なり。



分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那、滿洲。

トンボエダシヤク

Cystidia strationis Guen.

翅は白色、紋は黒色。前翅に約六紋列ありて、各二列づゝ、相近接す、翅底は黄色、その外側に三紋を具へ、横脈紋は圓形、その下方紋は楔状を呈す。後翅の中央及び外縁に黒帯あり。體は橙黄色、腹背に暗色紋を



體翅は灰黄、暗色鱗を散在す。前頭は黒色。前翅の横線暗色、前縁に達せず、前横線は細く、後横線は太く、亜外縁線は三本ありて、波状を呈す。後翅帯は前翅の延長。横脈點は兩翅とも黒色、小なり。開張九分。これは廣く分布するも、小形なる爲め捕へ損ふことあり。



分布 本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

ツマキウスグロエダシヤク

Crypsioneta incertaria Jaech.

體翅灰黄、少しく暗色を帯ぶ。前翅前横線(中央にて彎曲す)、横脈點、翅端の楕圓紋(その内部は黄色)及びその下方の一圓は暗色、後角に近く黄色の一短線ありて、その兩側は暗色。後翅の外半及び翅端は淡色、横脈點は黒色。開張一寸二分。これは本州に稀ならず。



分布 本州、九州、支那。

キオヒゴマダラエダシヤク

Dinidica kishirayama Mats.

雌、體翅は鶯色。前翅の前縁に黒點を散在す、翅底線、前横線及び後横線は暗色、前横線は波状を呈し、その内側は淡色、後横線は鋸齒状、一対、間室は灰白、外縁は第一、二室并に第六、七室にて太く、判然せり、亜外縁線は灰白、波状、外縁に黒點を列ぬ。後翅の後横線は前翅の延長、亜外縁線は點紋となり、その外側は濃色、横脈紋は前翅のものより判然せず、外縁紋は小なり。裏面の紋は黒色。開張一寸四分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。



分布 臺灣。

キシタアヤシヤク (一三八三)

Dinidia polyphanta Wk.

タイワナ形 ♀ 翅翅灰黄、紋條は暗
々、同色鱗を散在
す。前翅の前縁に
は暗色紋多く、前
横線は前半にて判
然し、彎曲す、横
脈紋は前縁紋に合
して短線を形成す



後横線はく字形を呈し、後縁の三分の二に開口
す、外縁の縦脈は黒色、亜外縁線は灰白、波
状、前縁にて太く、判然す、外縁線は細く黒
色。後翅は橙黄色、外縁は黒色、初めの三
室は淡色、之れに黒鱗を散在す。開張一寸三分
内外。これは埔里に少なからず
分布 臺灣、印度。

タイワンウスア
ヤシヤク (一三八三)

♂



*Dinidia
subrossa
Warr.*
前翅は淡褐、小短線

及び紋條は暗褐、前縁の三分の二の處より外縁
の中央に向ひ一斜線を送り、各室の中央に縦線
ありて、第二、四、五、六室にあるものは判然
す。後翅は灰黄、外縁は廣く黄褐色、光線の工
合により少しく紅色を帯ぶ。開張一寸三分。こ
れは臺灣に稀ならず。
分布 臺灣、印度。

アカオヒアヤシヤク (一三八四)

Dinidia subdepinus Wk.

♀ オオルモシコラ形
L. formosicola Mats.



翅翅橙黄色、紋條
は紅褐色、少し
く桃色を帯ぶ。
前翅底縁、前横
線及び後横線は
判然すれども、
前横線は前縁に
達せず、後横線
は兩端にて判然
せず、第一、二、三室并に第五、六室の處にて
濃色、横脈紋は黒色、外縁に黒點を列ぬ。後翅の
後横線は太く、外縁は濃色、縁紋列及び横脈紋
は前翅に似たり。開張一寸六分。これは埔里に
は少なからず。

ウスアヲシヤク (一三八五)

Dinidia virescens Burt.

♂ 翅翅を褐、暗褐の紋條を具へ、光線の工合にて
少しく綠色を帯ぶ。前翅の前横線は波状を呈
し、前縁にて一
枝
を出す、横脈紋は
弦月形、後横線は
第四室の處にて高
き山形を呈し、第
五、六、七の各室
に黒色の一縦紋を



裝ふ。後翅は灰色、横脈紋、後横線及び外縁の
三分の一は暗色、裏面の黒紋及び黒帯は判然
す。體長六分、開張一寸五分。これは九州地方
に普通なり。
分布 本州、四國、九州。

クロフシロエダシヤク (一三八六)

Dilojorates elegans Burt.

♂ 翅翅は橙黄色、黒紋を有す。翅は白色、斑紋は黒
色。前翅に暗色紋列ありて、翅底にあるものは
列をなさざるも、外方の四紋列は判然せり。後

寸四分。これは本州に稀なるも少なし
分布 本州、アムール。

オホシモフリエダシヤク (一八九〇)

Elphos multirecti Burt.

♂ 雄、シモフリエダシヤクに酷似すれどもその異
なる所は、形大、一層黄色を帯び、横線の内側



は白線にて縁取られず、後横線は後縁に近く三
紋となり、その外縁は細く白色、後翅の裏面は
白色、亜外縁線は太く黒色、第三室にて切斷せ
らる、雌にては一層白色の部分多く、後翅外縁
の刻りは一層深し。開張三寸二分内外。これは
臺灣に稀ならず。

ミシモンエダシヤク (一三八八)

Eliphetia eodharma Ill.

♀ ニボニカ形
L. nipponica Mats.



翅翅は白色、少し
く黄色を帯ぶ。前
翅の横脈紋は腎状形にして
褐色、後横線は黄色、外縁
紋は褐色、後縁に判然せざ
る褐色點を散在す。後翅に
斑紋を缺き、内縁に褐色點
を散在す。開張七分—八
分。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は柳の葉
を食す。
分布 北海道、本州、歐洲。

キイロツマクロエダシヤク (一三八九)

Eliphetia nuptaria Brev.



♂ 翅翅黄色、紋條は暗褐。前翅の前横線及び後横
線は波状、横脈線
は短かく、兩側線
は少しく長し、翅
端下の外縁に弦月
形の一紋あり。後
翅の後横線は前翅

♂



翅の横脈點は
黒色、内縁及
び外縁に暗色
紋列ありて、
内方にあるも
のは短かし。
開張一寸六
分。これは本州には普通なり。
分布 北海道、本州、九州、臺灣、支那。

キモンハヒロナミシヤク (一三九七)

Discoloxia homeri Curt.

♂ 翅翅灰色。前翅の中央は廣く白色、暗色の短線
を斜走す、後横線は暗色、第三脈の處にてく字
形に屈折し、その直上の
外側は廣く赤褐、亜外縁
線は褐色、其内側は白線
にて縁取られ、外縁線は
黒色の點線より成る。後
翅に三條の暗色波状線ありて、外縁線は前翅と
同様黒點より成る。開張九分内外。これは燈火
に飛來する普通種なり。幼蟲はニレの葉を食
す。
分布 北海道、本州、アムール、歐洲。



分布—臺灣。

シモフリエダシヤク(アミメエダシヤク)...

Eliphus insuetata Butler.

體翅は暗灰色。前翅は黒色、黄褐色、縁褐色、白色等の諸色ありて、中央に稍々相平行せる白色の二波状帯を具へ、兩帯の中央は縁褐色、外縁の三



分の一の處に黒紋を散在し、その中央に灰白の波状帯を具へ、第三室に二白紋を裝ひ、翅底の三分の一の處に約六暗色帯あり。後翅にも前翅と同様の斑紋あれども、白色部多く、外縁は深く波状に刻らる。これは九州には普通なり。暗んで燈火に飛來す。

分布—本州、九州。

ツマキリエダシヤク...

Endropiodes inbetimaria Bremer.

體翅灰黄。前翅の小斑は黒褐色、斜條は褐色、その外側は黄褐色、横脈紋は黒褐色、く字形の後横線は褐色、その外側の一線は暗色、その内側及び外縁に黄褐色の部分あり、尙、第二、三室紋



は黒褐色。後翅の弓状帯は褐色、前翅の後横線の延長、その外側に細き弓状線あり。開張一寸二分。これは杉及び松の害虫なり。時に群生することあり。

分布—北海道、本州、滿洲。

ノコメエダシヤク...

Ennomos aluharia F.



體翅は黄褐色。前翅の二帯及び全面の小斑

♀



は暗褐色、雄にては横脈紋は暗褐色、外縁凹陥部の縁毛は白色。後翅の一帯及び小斑は暗褐色、何れも前翅のものより判然せず。開張一寸三分—一寸六分。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はハンノキの害虫なり。

分布—北海道、本州、歐洲。

キリハエダシヤク...

Ennomos autumnaria Wern.



前種に酷似すれども、其異なる所は、淡黄褐色にして、少しく大きく、前翅に二帯を缺き、暗褐色を散在し、翅端に近き前縁に暗褐色の短横線を裝ひ、外縁の凹陥部は浅く、凹陥部の縁毛は地色、後翅の中央紋は暗褐色、外縁

(二九六)

の半部に暗色の小斑を散在す。開張一寸六分—一寸八分。これも札幌地方に普通なり。幼蟲はシナ、ヤナギ、カバの葉を食す。

分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。

サラサエダシヤク...

Ephoria arenosa Butler.

體翅暗黄。前翅の二帯は暗色、外方にあるものは第三脈の處にて分枝を出す、翅端は暗褐色、そ



♂

♀

の三四紋は黄白、第六室紋は白色、翅底及び中央に小褐色を散在す。後翅の二帯は暗褐色、翅端は暗褐色、全面に暗褐色を散在す。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—北海道、本州。

ニツクワウキエダシヤク...

Eptone magnaria Wilem.

雌、體翅灰黄。前翅の二帯及び外縁の紋列は褐色、

第六 鱗翅目(蛾亞目)

色、横脈紋は暗褐色、翅底及び前縁に暗褐色を散在す。後翅の中横線(弓状をなす)及び外縁線は褐色、



兩線の間に暗色点を散在す。開張一寸二分。これは十月頃日光にて捕獲せられたるが、稀なるが如し。

分布—本州(日光)。

ソトムラサキエダシヤク...

Eptone vespertaria F.

體翅橙黄色。前翅外縁三分の一の處にある斜帯は紫褐色、全面に紫褐色の短線を散在す、翅底に



♂

近き同色の一帯は判然せず、横脈上に紫褐色の眼状紋あり。後翅の斑紋は前翅に似れども、横脈紋は眼状をなさず。開張八分九分。これは燈火に飛來すれども餘り多からず。幼蟲はヤナギ、カバ、トチの葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

シロフフユシヤク(シロフフユエダシヤク)...

Erannis leucophaea Zehnt.

翅は灰白。前翅の二帯は暗褐色、内方にあるものは中脈下にてく字形に屈折し、外方にあるものは第五及び第二脈下に屈折し、これより外方の一面は灰色、第三及び第四室に暗褐色帯を具へ、中室紋暗褐色



♂

にして判然せず。雌の翅は退化す。開張一寸二分。この幼蟲はカシハの葉を食す。十一月頃現はる。

分布—北海道、本州、ウズリ、歐洲。

シロモンオホエダシヤク...

Erannorhpa compositata Guen.

體翅は白色。腹部は橙黄色。前翅の斑紋は暗褐色、外縁の弓状帯に黄色部を交ゆ、その中の斑紋は黒色、後縁に近く黄色の一大紋ありて、その中に黒色の二紋列を具へ、何れも半月形を呈す。開張二寸—二寸四分。これは臺灣に産するも少なし。

分布—臺灣、印度。



♂ アミメオホエダシヤク *Epileptomorpha consors* Hbtl. (1100)

翅は灰色、暗色の小横線を密布す。前翅の前縁及び後縁に黄色の半圓紋ありて、これは中央に



♂ アミメオホエダシヤク *Epileptomorpha consors* Hbtl. (1100)

後翅の小短線は少なく、これに反して後翅の小短線は多く、尾状突起は少しく長し。開張一寸四分一分五分。これは札幌地方に稀ならず。

分布 北海道(札幌)。

シロツバメエダシヤク *Euceternapteryx maculicaudata* Matsch. (1104)

翅は白色。前翅の二灰色帯は後縁にて少しく相



♀ シロツバメエダシヤク *Euceternapteryx maculicaudata* Matsch. (1104)

近接す、横脈及び外縁に近き小短線は灰色、縁毛は黄褐色。後翅の弓状帯及び外縁の小短線は灰色、第三、四室の末端に黒紋を具へ、第五室のものには赤色紋あり。開張一寸五分。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はイヌガヤ及びトドマツの葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲。

オビベニホシシヤク *Eumula fossata* Grun. (1105)

第六 鱗翅目(蛾亞目)

を出し、その末端は黄褐色、その外側に齒状の黄色線ありて、その末端は後縁角に出づ、第三室に黄色の縦線ありて、その終る處の縁毛は黄色。後翅の前縁三分の二、中央の弓状帯、その外側の廣帯及び第三室の縦線は黄色、第一乃至四室の三角紋は黒褐色。開張一寸三分内外。これは札幌地方に稀ならず。燈火に飛來するを以てその捕獲容易なり。

分布 北海道、本州、九州、朝鮮、滿洲。

ヨツメアヲシヤク *Euceternapteryx maculicaudata* Matsch. (1101)

體翅淡緑、少しく黄色を帯ぶ。前翅の横脈紋は



♀ ヨツメアヲシヤク *Euceternapteryx maculicaudata* Matsch. (1101)

白色、その中點は黄褐色、その内方に黄褐色の小紋を具へ、前横線は灰白、これは中室に終り、後横線は白色、波状。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布 北海道、本州、滿洲。

ベニホシシヤク *Eumula fossata* Grun. (1106)

體翅濃き橙黄色、前翅の前縁及び三

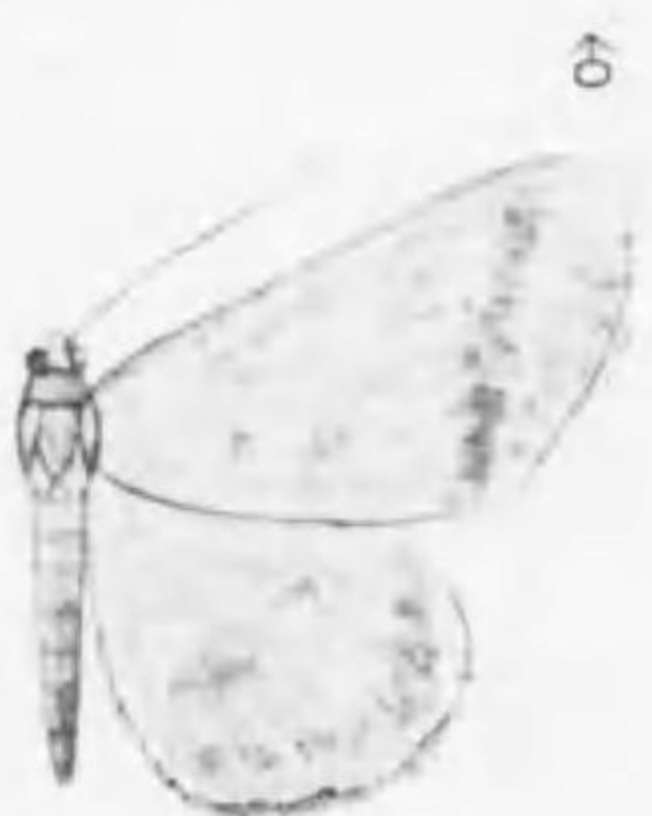


♂ ベニホシシヤク *Eumula fossata* Grun. (1106)

帯は紫褐色、第一帯は弓状、第三帯は判然せず、赤褐色の小紋を散在す。後翅に唯だ一帯あり。開張一寸六分。これは臺灣に稀ならず。

分布 臺灣、支那、印度。

ベニホシシヤク *Eumula fossata* Grun. (1106)



♀ ベニホシシヤク *Eumula fossata* Grun. (1106)

體翅美麗の赤褐色。前翅底、第一室及び第四室の中央に橙黄色を具へ、翅端及び後縁角の一部も橙黄色、前

ホリシヤツバメエダシヤク *Euceternapteryx horishana* Mats. (1103)

體翅白色、少しく黄色を帯び、光線の工合にて赤色を帯ぶ。前翅の二帯は灰色、内方のものはその内側にて、外方のものはその外側にて濃色、後縁にて少しく相接近し、翅の小短線灰色。後翅の一帯は前翅と同様、外縁の大紋及びその周囲の小短線は灰色。開張一寸六分。これは埔里に普通なり。

♀ ホリシヤツバメエダシヤク *Euceternapteryx horishana* Mats. (1103)



♀ ホリシヤツバメエダシヤク *Euceternapteryx horishana* Mats. (1103)

分布 臺灣(埔里)。

コウスキツバメエダシヤク *Euceternapteryx jousensis* Mats. (1102)

これはシロツバメエダシヤクに類似すれども、その異なる所は體翅少しく黄色を帯び、前翅外



♂ コウスキツバメエダシヤク *Euceternapteryx jousensis* Mats. (1102)

縁は暗褐色、黒色の細線を密布し、三條の紫色を帯びたる濃色帯あり。後翅にも同様の二帯ありて、翅底及び第四室の一部は橙黄色、縁毛は紫褐色。開張一寸七分内外。これは臺灣に稀ならず。

分布 臺灣、支那、印度。

ハガタナミシヤク *Eustroma melancholica* Hbtl. (1107)

體翅暗褐色。前翅にウエヌラータ形。灰黄の二帯あり



♀ ハガタナミシヤク *Eustroma melancholica* Hbtl. (1107)

て、第一帯はく字形を呈し、第二帯の中央に平行せる暗色の一線ありて、第三脈の處にて内方に突出す、その外方の各室に三角形に近き黒紋を具へ、その周囲は灰黄、翅端直下の外縁に黒褐色の大紋あり。後翅は灰色、灰白の二帯あり。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州、滿洲。

アミメナミシヤク *Eustroma reticulata* Schiff. (1108)



雌は灰色、胸部に黒色部あり。前翅は黒色、紋は黄色、約八條の横線及び三條の縦線あるを以て網目状をなす。後翅に灰色と白色の二波状線ありて、時々中央に位す。開張六分五厘内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はツリフネサウを食す。
分布—樺太、北海道、本州。

エグリエダシヤク *Pascelina chromataria* Wk. (一三〇九)

雄、暗褐色、黄色及び紫色を帯び、翅帯は暗色。前翅前縁は灰色、前横線は前縁下にて外折し、横脈紋黄色、後横線は斜走し、亜外縁線は紫灰色、前縁下にて外折し、後縁角に灰白線あり。後翅に暗色の二帯あり。前翅の後縁に近き後縁及び後翅端は少しく刻らる。開張一寸三分。これは臺灣に産するも多からず。
分布—臺灣、印度。



雌は黄色、約八條の横線及び三條の縦線あるを以て網目状をなす。後翅に灰色と白色の二波状線ありて、時々中央に位す。開張六分五厘内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はツリフネサウを食す。
分布—樺太、北海道、本州。

モンエグリエダシヤク *Pascelina plagata* Wk. (一三〇)

雌は黄色、約八條の横線及び三條の縦線あるを以て網目状をなす。後翅に灰色と白色の二波状線ありて、時々中央に位す。開張六分五厘内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はツリフネサウを食す。
分布—樺太、北海道、本州。



雌は黄色、約八條の横線及び三條の縦線あるを以て網目状をなす。後翅に灰色と白色の二波状線ありて、時々中央に位す。開張六分五厘内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はツリフネサウを食す。
分布—樺太、北海道、本州。

キマダラオホナミシヤク *Ganarctes axeni* Brem. (一三一一)

翅は橙黄色。前翅前縁の基部及び中央は暗色、四暗色帯ありて、第一帯及び第二帯はく字形に曲り、第三帯は斜走し、第四帯は暗黄、波状、外縁は廣く暗色。翅端は黄色と暗色と相半す、横脈紋及び翅の半楕圓形紋は橙黄色、縁毛は暗色。後翅橙黄色、三帯及び横脈點は黒色、縁毛は暗色。後翅橙黄色、三帯及び横脈點は黒色、縁毛は暗色。後翅橙黄色、三帯及び横脈點は黒色、縁毛は暗色。後翅橙黄色、三帯及び横脈點は黒色、縁毛は暗色。

ヘニトカリエダシヤク *Ganarctes argillareus* Butl. (一三一一)

體翅黄褐色。前翅横線は紅色、その内線は淡き桃色、外縁の三分の一は暗色、縁毛及び外縁(細く)は紅色。後翅の中横線は前翅後横線の延長、外部は廣く暗色、外縁は桃色、縁毛は紅色。開張一寸一分。これは信州の高山地帯に捕獲せらるゝも少なし。
分布—本州、支那。



キハラエダシヤク *Ganarctes speyerhars* Moorr. (一三二四)

體翅橙黄色。前翅の二帯、短線及び横脈紋は褐色。後翅にも前翅同様の二帯を裝ふ。全面に短線を散在す。開張一寸一分五厘内外。これは餘り多からず。
分布—北海道、本州、支那、印度。



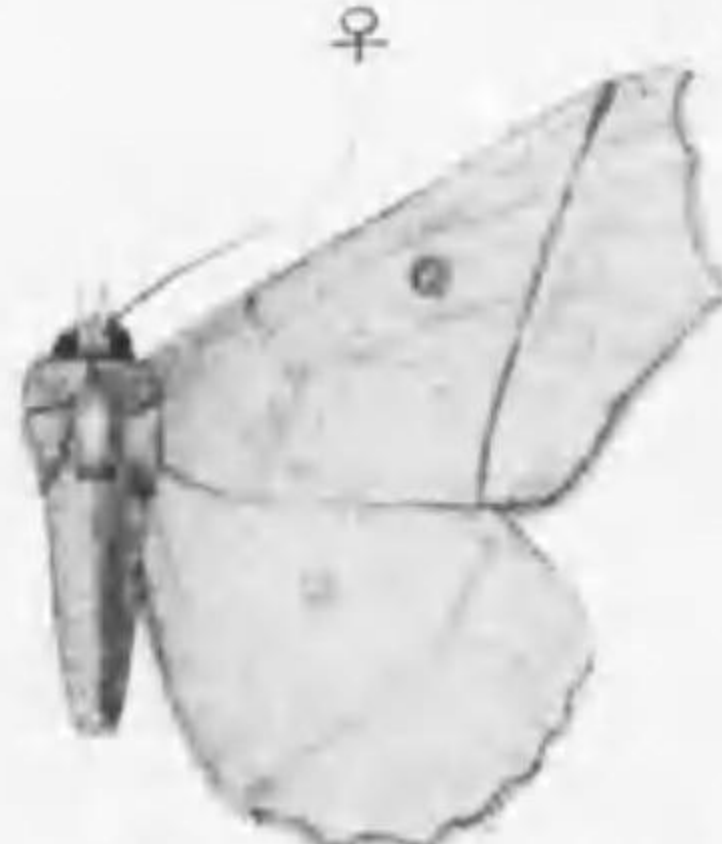
コクロクモエダシヤク *Chnophlos formosana* Mats. (一三二五)

體翅黄白。前翅及び中央の波状帯は暗色、全面に黄褐色の小白点を散在し、三分の一の處にあるもの及び外縁にあるのは横帯となり、外縁に黒紋を列ぬ。後翅は前翅と略同様の斑紋を裝ふ。開張一寸一分。これは臺灣に稀ならず。
分布—臺灣。



エグリツマエダシヤク *Gonodontis arida* Butl. (一三二六)

體翅灰黄。前翅の二帯及び横脈紋は暗色、外帯の外側は黄白。後翅の二帯及び眼状紋は暗色。開張一寸五六分。これは臺灣に稀ならず。
分布—臺灣。



マグニフィカ形 雌 *P. magnifica* Prout. (一三二七)

雌は黄色。開張一寸八分。これは北國には普通なり。
分布—北海道、本州、滿洲。



シロモントカリエダシヤク *Ganarctes mirandus* Butl. (一三二八)

體翅暗褐色、紋線は白色。前翅の底部に近き一紋は長楕圓形、中央紋は三角形、後横線の處に紋列ありて、後縁の最大、外縁の中央に一小紋あり。後翅に二帯ありて、縦脈により遮断せらる、暗色の外縁の中央に一紋を具へ、翅底は淡色。開張一寸二分。これは高山系の尺蠖にして、稀ならず。
分布—北海道、本州。



キイロノコバエダシヤク *Gonodontis aurata* Prout (一三二七)

雌は黄色。開張一寸八分。これは北國には普通なり。
分布—北海道、本州、滿洲。



ウスグロノコバエダシヤク *Gonodontis lidentata* Clerck (一三二八)

雌、體翅灰褐色。前翅の前横線及び後横線は波状





にして、太く、横脈紋は同じ、雌にては第六脈の處及び中室中央に暗色紋を装ふ。後翅後横線は一対にして、その間室は細く淡色、横脈紋は判然せず、雌にては帯は一本にして、餘り判然せず。開張一寸四分内外。これは樺太及び北海道に普通なり。幼蟲はブナ、カシハその他種々の喬木の葉を食す。

クロクモエダシヤク (二三九)

Triophos fumosa Warr.



雌、體翅は灰黄、前翅前縁の基部は鉛色、暗色の紋條ありて、三分の一及び三分の二の處に判然せざる一帯ありて、外方にあるものは波状をなして太く、外縁には二紋列を具へ、前縁は暗色、濃色の小斑を散在し、尙、中央及び後縁にも小斑を散在す。後翅に暗色の

小紋を散在し、前翅同様に中央に黄白帯あり。開張一寸四分。これは燈火に飛來する普通種なり。

ハカタチヒナミシヤク (二三〇)

Hastina eponthochea Moor.

體翅暗褐、紫色を帯ぶ。前翅に青色鱗を具へ、殊に翅底及び外縁部に多し、前横線及び後横線は暗色、青色の細線あり、後者は第二及び第四脈の間にて外曲す。これは臺灣に産すれども多からず。

ヒゲマダラエダシヤク (二三三)

Hemipha amphipala Quenst.



體翅淡綠、前縁は灰黄、灰白の二帯を具へ、内方にあるものは波状を呈し、外方にあるものは弓状、縁毛は灰白。後翅に灰白の一帯あり。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少し。幼蟲はボタンヅルの葉を食す。

ウスクモエダシヤク (二三三)

Hemipha subhyalina Wl.



體翅褐色。前翅底及び中央は灰白、前横線は黒色、波状、其内側は褐色、横脈紋は黒色、後横線は前縁に近くく字形を呈し、その外側に暗色紋を列ね、外側に暗色紋を列ね、外縁には黒点を列ぬ。後翅には三黒帯ありて、外方の二帯は判然す、外縁に近く白紋を具へ、その外側は鋸齒状を呈し、外縁には黒点を列ぬ。開張一寸四分内外。稀ならず。

ヒメシロオビアシヤク (二三四)

Hemistola chrysoptera Esp.

第六 鱗翅目(蛾亞目)



體翅淡綠、前縁は灰黄、灰白の二帯を具へ、内方にあるものは波状を呈し、外方にあるものは弓状、縁毛は灰白。後翅に灰白の一帯あり。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少し。幼蟲はボタンヅルの葉を食す。

リンゴアヲシヤク (二三五)

Hemithoa mati Mats.



體翅綠色。前翅の前縁は黄色、二條の細き綠白帯ありて、何れも波状を呈し、その後横線は前半にて犬牙状をなし、後半にて少しく内方に彎曲す、縁毛は長く、淡綠なり。後翅の中帯は綠白、波状、第三脈の處にて外方に彎曲す。開張八分内外。これは青森地方にありては華樹の害蟲なり。

本州(青森)。

體翅黄褐、小黒紋を散在す。前翅に四黒帯ありて、何れも波状、内方の二帯は相近接し、その間室は暗色、中央の二帯は第三脈下にて相近接すれども、その上方は廣く隔離す、その外方及び横脈紋は暗色、第七脈の處にてく字形に曲る。後翅に暗色の四帯ありて、何れも波状、前縁に達せず。開張一寸七分。これは早春燈火に飛來するも多からず。

クハエダシヤク (二三二)

Hemipha arthnoata Butl.



體翅暗灰色。前翅に二條の黒波状線を裝ひ、その一は内縁の中央より後縁の方向に斜走し、犬牙状に屈折して前縁に出で、一は翅底の内縁より起り中室の中央にて鋭角をなして前縁に出でして終る。翅の中央に暗褐色の太き線條を具へ、全面に黒褐色の小短線を散

モモアヲシヤク (二三二)

Hemithoa susuki Mats.



翅は綠色、前翅の前横線は白色、第一室にてく字形に外曲す、後横線は犬牙状、縁毛は灰黄、脈端少しく褐色を具へ、中室に微小なる黄白の環紋を裝ふ、後翅の中央には白色の波状帯あり。體は白色。頭は淡褐。開張一寸内外。この幼蟲は桃の害蟲なり。

アカネエダシヤク (二三三)

Heteroloela pluenichthentata Kohl.



灰黄。下唇鬚は赤褐。前翅の基部少しく紫色を帯び、前横線は桃色、横脈紋及び亜外縁線は桃色、後者の中に後縁角に近く暗色紋を裝ふ。後翅の横脈紋及び後横線は桃色。開張一寸。これは本州に産するも多からず。

本州、臺灣、印度。

ネグロキエダシヤク……………(一三六)

Heterolochea rosearia Leech

前翅黄色、翅底(廣く)、中央の二紋、後横線(これは後縁の圓錐形紋に合す)、亜外縁線(短かし)、外縁並に翅端に近き前翅紋は褐色、縁毛は黄褐。後翅は黄色、翅端、中央の二紋及び後横線は褐色、外縁は廣く黄褐。開張九分内外。これは臺灣に産するも少なし。
分布—臺灣、支那。



トカリキエダシヤク……………(一三〇)

Heterolochea tornidaga Prout

前翅は黄色、横帯、横脈點、後角及び外縁は紫褐。後翅は灰黄、外半は紫褐色、中帯及び外縁は濃色、横脈點は黒色、内半に黒點を散在す。開張九分内外。これは臺灣に産するも少なし。
分布—臺灣、支那。



ヘニスチエダシヤク……………(一三九)

Heterolochea stultia Batt.

體翅黄色、少しく綠色を帯ぶ、前横線及び横脈紋は暗褐、後角に近く黄褐紋を具へ、亜外縁線は細く、波状を呈し、暗色、外縁は褐色、縁毛は淡黄褐。後翅は黄色、中帯は褐色、切斷し、内縁にて判然す、外縁は黄褐。開張一寸内外。これは本州に稀ならず。
分布—本州。



ウスクモナミシヤク……………(一三一)

Heterophleps fusca Batt.

體翅淡灰黄、斑紋は黒色。前翅の前縁に二紋ありて、中央紋より後縁に向ひ細き一線を中央に斜走し、外縁紋は小なり。後翅に斑紋を缺く。開張九分内外。これは信州地方の高原地に稀ならず。
分布—本州、朝鮮、支那、ウスリ。



コシロチアラシヤク……………(一三三)

Hipparehus alcockmanni (Straus)

翅は淡緑、前翅に二白帯ありて、外方のものは約三分の二の處に位して斜走し、内方のものは三分の一の處にありて稍々弓状を呈す。後翅に一白帯ありて、中央に位す。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するも少なし。



コシロオヒアラシヤク……………(一三三)

Hipparehus glaucaria Mén.

體翅淡緑。前翅の前縁は灰白、中央に近く灰白の一斜帯ありて、その終止する所の前縁に黄褐の一紋あり。
分布—北海道、本州、滿洲。



オホシロオヒアラシヤク……………(一三六)

Hipparehus papilionaria L.

の外線に齒状突起を缺き、脈は白色ならず、前翅の前横線は少しく外方に曲り、後横線は太く、少しく斜傾し、横脈紋の白色なるにあり。開張一寸七分内外。これは札幌地方に稀ならず。
分布—北海道、本州、四國、朝鮮、滿洲、アムール。



クロスチアラシヤク……………(一三八)

Hipparehus valida Feld.

翅は黄緑。前翅に二帯ありて、内方のものは黄白、外方のものは白色、その内側は黒帯にて縁取られ、横脈上に一黒紋あり。後翅に一白帯ありて、その内側に暗色帯あり。開張一寸八分。これは燈火に飛來するも多からず。



マンシユウアラシヤク……………(一三五)

Hipparehus mandarin-naria Leech

これはシロスチアラシヤクに酷似するも、その異なる所は、翅



〔分布〕本州、朝鮮、アムール。

ホシヒメシロオビアラシヤク……………(三三九)

Hyparodus yallata Butl.

體翅は黄緑色。前翅の二帯及び横脈紋は淡黄褐、外側帯は外縁にて、内帯の内縁は灰白線にて縁取らる、前縁は灰



白、黒點を散在す、外縁は暗色、縁毛は白色。後翅の中帯は前翅、後横線の延長、外縁は細く暗色、縁毛は白色、尾状突起の二紋は黒色。體は灰黄。頭は白色。開張一寸二分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。

〔分布〕本州、四國、九州、臺灣、印度。

ヒメシロオビアラシヤク……………(三四〇)

Hyparodus yornaria Hb.

體翅緑色。前翅及び縁毛は黄色、前横線は白色、第一室の處にてく字形を呈し、後横線は白色、弓状、第一室の處にて少しく波状を呈す。後翅中帯は白



Hesperia mulhollandi Swinh.

體翅灰色、紋線は黒色、中央にV字形の大紋を具へ、其内側に灰白の一縦條あり。後翅は灰白、波状線は暗灰色、縁毛に黒紋を列ぬ。開張一寸三分内外。これは臺灣に産すれども少なし。



〔分布〕臺灣、スウリ、印度。

イツホシエダシヤク……………(三四五)

Itane wairia L.

體翅灰白、斑紋は黒色、光線の工合により少しく紅色を帯ぶ。前翅に四紋を具へ、更に横脈上に一紋を裝ひ、中横線あれども餘り判然せず。後翅には暗色點を密布し、後横線は稍々判然す。開張九分一寸。これは七月上旬札幌地方に稀ならず。



〔分布〕樺太、北海道、本州、ウスリ、西比利亞、アルタイ。

色。觸角及び頭頂は灰白。頭は黄褐。開張八分内外。これは餘り多からず。幼蟲はアツセンの葉を食す。

ナカクロヒメナミシヤク……………(三四二)

Horisme ytalhata Schiff.

前翅は灰白、數多の暗色波状帯ありて、中央は廣く黒色、前縁に暗色點を列ぬ、外縁の上方に黒色部あり。後翅にも暗色の波状帯多く、内縁は黒色を呈す。開張一寸一分。これは本州に産するも稀なり。幼蟲はボタンツルの葉を食す。



〔分布〕本州、歐洲。

スチカギハエダシヤク……………(三四三)

Hypostira inflexaria Wk.

體翅灰黄。翅の紋線は暗色、前翅より外縁の上部に一條を縦走し、これは基部にて太し、前横線は細



〔分布〕本州、歐洲。

スカシエダシヤク……………(三四四)

Kyananda semiobvata Moor.

體は灰褐、頭毛は褐色。翅は透明、紋線は暗色、脈、前縁外方の三分の一等は灰褐、黒鱗を散在す。前翅に前横線及び中横線を具へ、後者は一



双、横脈紋は淡色、透明紋の境界は黒色。後翅の内方は灰褐、前横線の痕跡を有す、兩翅共亞外縁線上に透明紋を列ぬ。開張一寸六分内外。これは本州に産するも稀なり。

〔分布〕本州、沖繩、臺灣、印度。

アラナミシヤク……………(三四七)

Leptostigma tenaxia Christ.

體翅暗緑色。前翅に四條の白帯ありて、何れも波状を呈し、その内、第三帯は判然す。後翅底及び前縁は白色、二條の白帯ありて、一は中央、他は外縁に位す。開張九



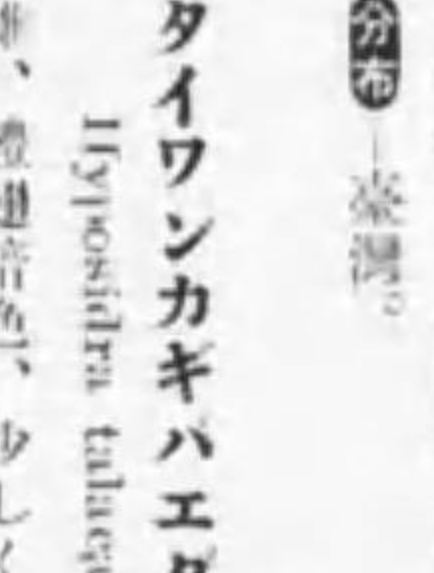
〔分布〕本州、歐洲。

く、中横線は端直にして細く、後横線は波状、前縁下にて外曲す、亞外縁線は一、波状、その間室は白色、下方にて判然せず、後翅の前横線、中横線、後横線及び亞外縁線は前翅の延長、暗色點を散在し、殊に中横線の間にあるものは紋状をなす、亞外縁線は點紋となり、中央にて判然す、横脈紋も判然せり。開張一寸三分。

タイワンカギハエダシヤク……………(三四三)

Hypostira taiwan Wk.

體翅暗色、少しく營色を帯ぶ。翅に中横線及び後横線あれども、餘り判然せず、後者は波状を呈す、前翅の翅端に近く雄にては暗色紋を具へ、これより不明の亞外縁線を後方に送る、雌にては前翅に一層深き切目を有す。開張一寸三分一寸五分。この幼蟲は柑橘の葉を食す。臺灣に稀ならず。

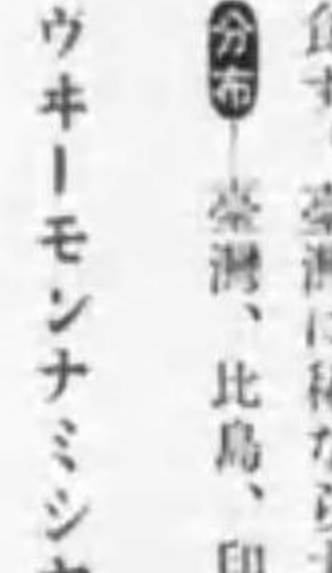


〔分布〕臺灣、比島、印度。

ウキーモンナミシヤク……………(三四四)

Ukiemonna Wk.

體翅暗色、少しく營色を帯ぶ。翅に中横線及び後横線あれども、餘り判然せず、後者は波状を呈す、前翅の翅端に近く雄にては暗色紋を具へ、これより不明の亞外縁線を後方に送る、雌にては前翅に一層深き切目を有す。開張一寸三分一寸五分。この幼蟲は柑橘の葉を食す。臺灣に稀ならず。

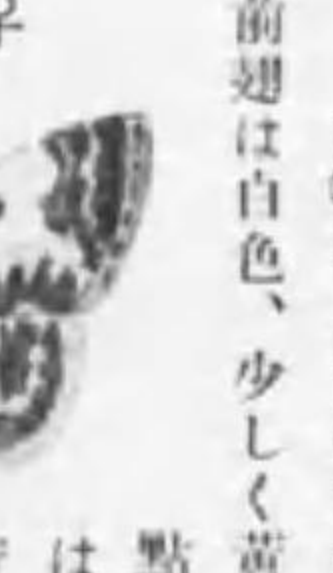


〔分布〕北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、印度。

キフサヒメエダシヤク……………(三四八)

Aglaia elitaria Loew

前翅は白色、少しく黄色を帯び、翅底、横脈點、翅端(廣く)及び後角紋は黒色、翅端紋の中央には黄色の細き波状線あり、縁毛は黄色。後翅も前翅と同様、斑紋は黒色、縁毛は黄色、亞外縁線は内縁角に達す。體は暗黄、紋線は黒色。開張九分。これは本州に産するも少なし。



〔分布〕本州(追分)。

シダエダシヤク……………(三四九)

Lithina chloroseta Zool.

體翅灰黄。前翅の



〔分布〕本州(追分)。

三帯は暗色、中外二帯の外側は白色、横脈は黒色。後翅は灰白、中央にある一帯は暗色。開張一寸三分内外。これはシダの葉を食す。

分布 北海道、九州、満洲、歐洲。

シロオビヒメエタシヤク

Lomaspilus marthae Tr.

オビス形 〇 翅は白色、少しく黄色を帯ぶ。前翅底の一紋、中央及び外縁は黒色。後翅の中央にある二紋及び外縁は黒色、縁毛は何れも黒色。開張八分 九分。これは何れの地方にも普通なり。



分布 北海道、本州、満洲。

ヤマトエタシヤク

Lamiorapha delictaria Moor.



雌翅灰褐。前翅の基底線、前横線、後横線及び外縁線は黄色、前横線は波状、後横線は少しく内方に曲り、翅端に近く黄白紋ありて、その中央は暗色。後翅に

キカシラオホナミシヤク

Lygris agnus Butler



翅は白色、斑紋は暗色。前翅に八帯ありて、第五帯の中 尖に楕圓形の環紋を装ひ、第六及び第七帯は第五脈の處にて合し、第三、四、八帯は紋列より成り、第五室に斑紋を缺き、外縁の脈上に暗色紋を具へ、縁毛は暗色、前縁の基半部は黄色。後翅に紋列の三帯ありて、内方のはU字形をなし、外方の二帯は弓状に曲る。開張二寸。これは北國に普通なり。晝飛行なるも、燈火に飛來す。

分布 北海道、本州。

ヨコシマナミシヤク

Lygris convergenata Brem.

體翅黄白。前翅の約十二帯は黄褐。後翅は白色、内縁の四帯は黄褐、内縁は黒褐。開張一寸

第六 鱗翅 目(蝶亞目)

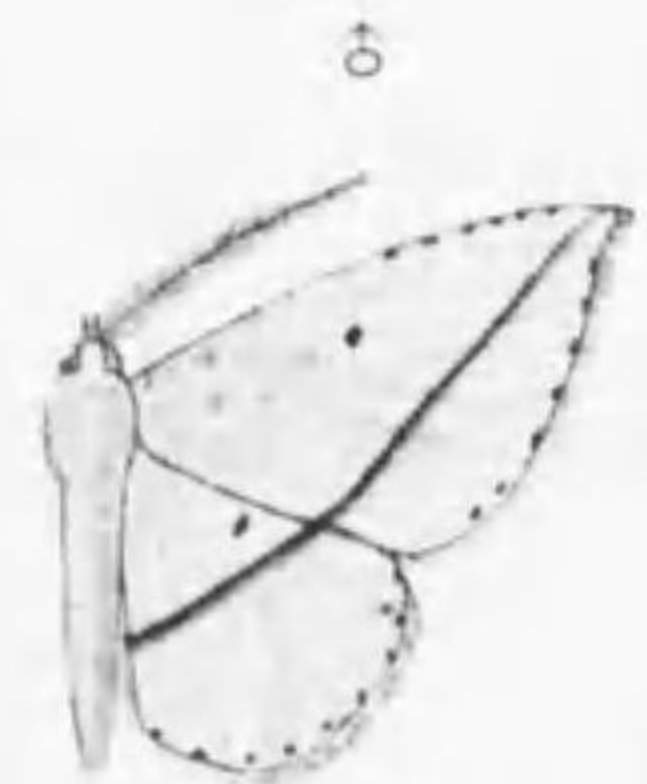
二條の黄帯ありて、その内側は何れも暗色。開張一寸二分。これは本州に産するも稀なり。

分布 本州、印度。

オビトカリエタシヤク

Loxaspilates formosana Mats.

體翅は白色、少しく灰色を帯ぶ。兩翅の紋線は暗褐。前翅は黒褐、胸背は少しく暗色を帯ぶ。腹側の紋列は黒色。開張一寸五分内外。これは臺灣に産するが稀なるが如し。



分布 臺灣。

ハスオビトカリエタシヤク

Loxaspilates obliquaria Moor.

雌翅灰黄。下唇盤の外側は暗色。腹部には暗魚鱗を散在す。前翅端は尖り、翅端より後縁の中央に向へる斜線は暗色、その外側に判然せざる暗褐の二帯ありて、外方のは少しく波状を

三四分、これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州、満洲。

ウストビモンナミシヤク

Lygris ledereri Brem.



體翅は灰白。前翅三分の一及び中央の大紋は黄褐、その境界線は白色、翅底の一帯及び中央の二帯は灰白、翅端に褐色の弧形紋を具へ、其内側は白色。後翅の二帯は暗色にして、内縁紋は暗褐。開張一寸三分。これは北國に普通なり。

分布 北海道、本州、満洲。

ドロキナミシヤク

Lygris poenulata Clerck



翅色には變化多し、然れども前翅の中帯は常に

分布 北海道、本州、満洲。

アリサーナ形

Lixisphaera Mats.

早す、第二脈の基部及び第一脈の中央に一黒點あり、外縁線に黒紋を列ぬ。後翅は灰白、粗状の光澤を帯び、中



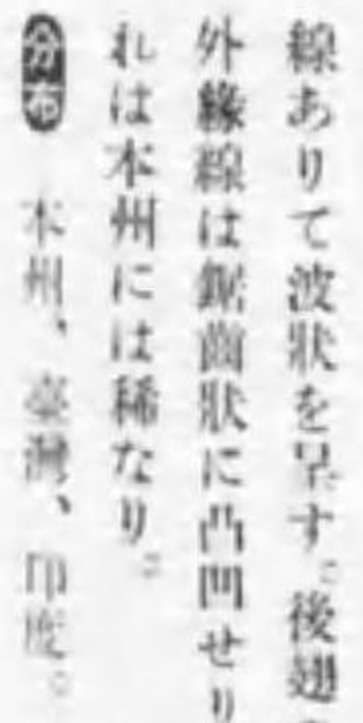
帯は暗色、その外側に二帯あれども、判然せず、横脈點は兩翅とも暗色。開張一寸二分内外。これは阿里山に稀ならず。

分布 臺灣、ヒマラヤ、印度。

アトノコバエタシヤク

Lixisphaera confingaria Wlk.

體、黄褐乃至紫褐色、黒鱗を散在す。頭赤褐。兩翅の横脈紋は暗色、中央少しく淡色、中横線及び外縁(廣く)は暗色、その内側に細き黒褐の後横線を具へ、暗色帯中に灰白の亞外縁線ありて波状を呈す。後翅の横帯は前翅の延長、外縁線は鋸齒状に凸凹せり。開張一寸三分。これは本州には稀なり。



分布 本州、臺灣、印度。

一定し、一羽に一羽、中央に一帯を呈す。前翅は暗灰色、紋線は黄色、前縁角に三角形の大紋ありて、その内に暗色波状の亞外縁線を横走し、縁毛に暗色紋を列ぬ。後翅灰黄、中央に四五條の暗色波状帯あるも、前半にて判然せず。開張一寸二分。これは樺太及び北海道に稀ならず。幼蟲はドロ、ヤナギ、コケモモの葉を食す。

分布 樺太、北海道、西比利亞、カムチャツカ、歐洲。

キマダラナミシヤク

Lygris testacea Tr.

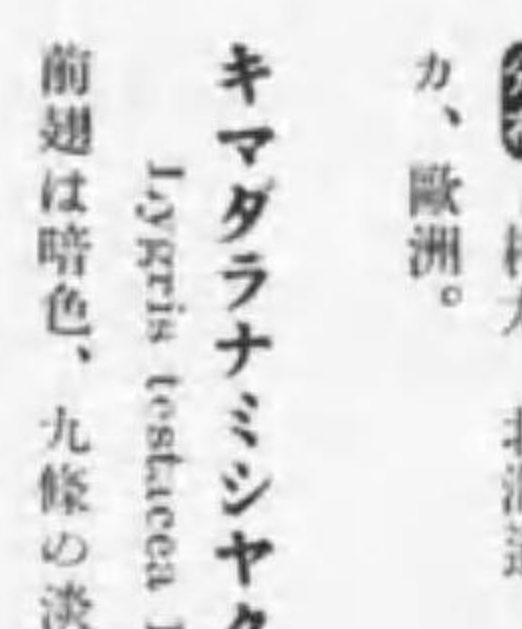


前翅は暗色、九條の淡黄帯ありて、横脈の内方にある二帯は太く、後縁角は廣く淡黄色、これに太き灰黄の二帯ありて、波状を呈し、縦脈も淡黄なるを以て網目状の斑紋を現はす。後翅は灰白、三條の判然せざる暗色帯ありて、何れも外縁の外半に位し、外縁

分布 北海道、本州、満洲。

キマダラナミシヤク

Lygris testacea Tr.



斑紋を現はす。後翅は灰白、三條の判然せざる暗色帯ありて、何れも外縁の外半に位し、外縁

分布 北海道、本州、満洲。

キマダラナミシヤク

Lygris testacea Tr.

斑紋を現はす。後翅は灰白、三條の判然せざる暗色帯ありて、何れも外縁の外半に位し、外縁

には黒紋を列ぬ。開張一寸一分。これも北國に普通なる種類にして、燈火に飛來す。

分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

フタテシヤク *Mecynotarsus fuscicornis* (二六〇)

Mecynotarsus fuscicornis Wlk.

體翅灰白、褐色點を密布す。前翅に褐色の三帯ありて、内方のものは中室にて甚だしく彎曲し、その外側のものは端直、三分の二の處にある線は第七脈の處にてく字形に曲る。翅端白色、縁毛灰黄。後翅の帯は褐色、前翅同様に褐色點を密布す。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來するも多からず。

分布 北海道、本州、支那。

ナガヲエダシヤク *Mecynotarsus elongatus* (二六一)

Mecynotarsus elongatus Loew

雌、體翅灰白、前横線及び中横線は暗色、後横線は黒色、第五脈以下にて判然し、灰白の脈にて遮斷せられ、外縁は圓錐形をなして廣く暗色、外縁線は細く、黒色。後翅の外半は暗灰色、



中帯は濃色、外縁は細く黒色。開張一寸五分。これは臺灣にては稀なり。



體翅灰白、前翅の横線は暗色、後横線の中央は黒色、その外側は黄白色にて縁取られ、更にその外側に三黒紋を列ぬ、外縁は細く暗色。後翅の横線は暗褐色、中横線はく字形を呈し、その外側は淡色にて縁取らる。後横線も亦く字形を呈し、淡色。開張一寸三分。これは本州に稀ならず。

シロオヒヲエダシヤク *Mecynotarsus leucostictus* (二六二)

Mecynotarsus leucostictus Wlk.

體翅灰色。下唇鬚、觸角及び腹部(背部を除き)橙黄色。前翅の中央に白帯ありて、これは前縁に連せず、其外側は黒線にて縁取られ、これは前縁下にて外方に曲る、その外方の前縁に暗色紋ありて、その内に橙黄色を具へ、縁毛は白色、末端に近く暗色。後翅の白帯は前翅の延長、その外側に黒紋あり。開張一寸三分。これは臺灣に産するも少なし。

分布 臺灣、支那、印度。

ウスキヲエダシヤク *Mecynotarsus tenuis* (二六三)

Mecynotarsus tenuis Wlk.



體翅灰黄。前翅の三帯は暗色、前縁の斑紋及び外縁の弦月紋は黒褐色、暗色點を密布す。後翅の二帯は暗色、各室の末端及び横脈紋は黒褐色。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州、九州。

クロモンヲエダシヤク *Mecynotarsus nigricornis* (二六四)

Mecynotarsus nigricornis Butler



體翅灰白。前翅前縁の四紋は暗褐色、その脈上に當る處には黒褐色點を裝ひ、前縁の第三紋より出づる弓狀帯は灰白、その外側少しく灰色を帯び、中室外の二紋は黒褐色。後翅の三帯は灰色、外方の二帯間は濃色、その外側は何れも白色。開張一寸二分内外。これは九州にては多からず。

分布 九州、臺灣、印度。

オホウスキエダシヤク *Mecynotarsus orthocornis* (二六六)

Mecynotarsus orthocornis Loew

體翅灰褐。翅の紋條は黒褐色。前翅の前横線は一、二、前縁下にて外折し、中横線は後半にて判然と、後横線は後縁にて太く、波狀を呈し、其外側は淡色にて縁取られ、亞外縁線淡色、其内側は廣く黒色、第四室の處にて内方に太き一帯を出す。後翅に三帯ありて、中帯は鋸齒狀、後帯は第四脈の處にて外折し、外側は淡色にて縁取らる。外縁線は兩翅共に黒色のスカラツプ



紋を列ぬ。開張二寸四分内外。これは埔里地方に稀ならず。

分布 臺灣、支那。

ランタイエダシヤク *Mecynotarsus eructaria* (二六七)

Mecynotarsus eructaria Guen.

雌、體翅は褐色、暗色の小短線を密布す、前翅の前縁に二、三の暗褐色を具へ、第六及び第七室の外縁に近く脈に沿ひ暗褐色を裝ひ、第三室の外縁に一白紋を有し、横脈上の一紋は黒色、前中後の三横線は後縁にて判然し、外縁の點線は黒色、後翅に黒色の三波狀線ありて、中央にあるものは稍々鋸齒狀をなす。雌にては少しく淡色、短線は一層判然し、後翅の外縁は太し。



開張二寸七分—三寸二分。これは埔里、阿里山、ランタイ山地方に産するもその數少なし。

分布 臺灣、印度。

ニツクワウエダシヤク *Mecynotarsus nikonis* (二六八)

Mecynotarsus nikonis Butler



體翅は灰黄色に黒紋及び白紋を混じり、波狀をなす。前翅の前縁には三黒紋あり

て、中央のものは最も大、前横線、中横線及び後横線の處にて帯状をなし、亞外縁線は白色、波状、その内側は廣く暗色。後翅の帯條は前翅の延長なれども、少しくその形を異にし、前縁に黒紋を缺く。開張一寸七分。これは日光にて捕獲せらるるも稀なり。

分布 本州(日光)。

チャエダシヤク

Megaliston plumosaria Leech

翅は灰色、黒褐の小紋を散在す。前翅の中央に灰白の横帯を裝ひ、



その兩側に黒褐の波状線を具へ、尙、外縁に沿ひ灰白の廣帯を横走す。後翅中央に黒褐の一波狀帯を具へ、外縁に近く灰白の一波狀線あり。

開張一分内外。これは茶の害蟲なり。蛾は十一月頃現はる。近畿地方にては時に大發生することあり。
分布 本州。

オホシロエダシヤク

Melipotis curia Butler

翅は白色、斑紋は暗色。前翅底は黄色、これに四紋を連



ね、その外方に二紋列を具へ、中室紋は圓形にして、判然す、中帯は二

紋列より成り、外縁は廣く暗色、これは第三室にて途切れ、これに暗色紋あり。後翅に暗色の三帯を具へ、何れも相斷續し、外縁は白色、各室に黒紋あり。開張二寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。
分布 北海道、本州。

ミカヅキアヤシヤク

Metatholopia arenosa Leech

翅は灰褐、少しく紫色及び藍色を帯ぶ。前翅の中室紋は新月形を呈し、横脈紋は楕圓形、鶯橋を帯び、前横脈は弓状に曲り、後横脈は波状、

ホソバナミシヤク

Merodula lella Butler

翅は灰白。前翅の横脈は黒色、その直上の前縁に黄褐紋を裝ひ、尙、同様紋を翅底、後縁角及び外縁にも有す、但し



外縁の内方にある斑紋は暗色を帯ぶ。後翅の中央及び外縁には暗色の横紋を裝ふ。開張八分一寸一分。これは燈火に飛來するも餘り多からず。

分布 北海道、本州。

キオヒエダシヤク

Milionia zozana Moore



第六 鱗翅目(蛾亞目)



暗紫色を帯び、前半にて外方に、後半にて内方に曲り、その外側は淡色。後翅の後横線は白

シロスチアラエダシヤク

Melrocampa lularia Wk.



翅は淡靛、前翅前縁の基部は灰黄、殘部は灰白。兩翅の紋條は灰白。前頭は灰黄色。觸角の基部は銀白色。脚及び體下は白色。開張一寸五分内外。これは臺灣にては多からず。

分布 臺灣、印度。



横線は翅端より出でて、後縁三分の二の處に終る、亞外縁線は波状を呈す。後翅に四横線ありて、外方の二線は弓状をなす。頭及び腹部は黄褐。開張一寸二分。これは本州に産するも稀なり。
分布 本州、印度。

ミツボシシロエダシヤク

Myrleta trjuncataria Leech



翅は白色。腹部、前後翅の縁毛及び後翅の肛角は黄色、紋條は黒色。前翅に三斜帯ありて、外方のものは前縁下にて内曲す、外縁線は黒色。後翅の肛角に近く三黒紋ありて、第一室にあるものは弓状をなす、外縁線は前翅の如し。開張一寸四分。これは臺灣に産するも少なし。
分布 本州、臺灣、支那。



分布 本州(日光、信州)。

キスチシロエダシヤク

Myrleta sericea Butler

翅は白色、横線は黄褐、前横線は横脈の下方に

ミスチシロエダシヤク *Myrica nubo Olerth.* (一三七八)

體翅白色、灰色帯ありて、何れも白脈にて遮斷せられ、紋列となる。後翅紋は前翅紋の延長なるが、前横線を缺く、兩翅とも外縁線は黒色、波状をなす。開張一寸三分。これは札幌地方にては普通種なり。



分布 樺太、北海道、本州、ウスリ。

ホシシヤク *Naxa serfaria Motsch.* (一三七九)

體翅は絹様の白色。前後翅の斑紋は黒色、外縁にある二紋列は弓状をなし、相平行す、横脈紋は圓形、後縁にあるものは大なり。後翅の外縁に近き紋列は彎曲す。開張一寸三分内外。



分布 本州、支那、滿洲、歐洲。

これはミヅキ、イボタの葉を食す。札幌地方にては有名な害虫にして、ミヅキはこれが爲め往々裸となる。

分布 北海道、本州、アムール、支那。

ウスグロホシエダシヤク *Noxidia punctata Btl.* (一三八〇)

前翅は灰白、斑紋は黒色、四紋列ありて、横脈上に二紋、外縁に一紋列あり。後翅に紋列を缺き、横脈紋は小、その外側に暗色の細き一線あるも、不明、外縁に黒點列あり。開張一寸内外。これは臺灣に産するも少し。



分布 臺灣、支那、印度。

ウチムラサキヒメシヤク *Xinodes splendens Btl.* (一三八一)

翅は黄色。前翅の後縁(廣く)は暗色、黒短線を横走す、後横線は一対にして、黒色、その間室は暗色。その内外側に橙黄色の部分あり、横脈點は暗色、外縁には二黒



分布 臺灣、支那。

トカリキベリエダシヤク *Olethia gigantearia Loeb.* (一三八五)

雄、前翅の前縁及び外縁は橙黄色、紋條は暗色、中央の三角部(翅底より後横線の處迄)は白色。後翅の三分の二は白色、外縁及び前縁は橙黄色、その内側帯は暗色、白色部の斑紋は暗色にして、判然せり、裏面紋は一層濃色。開張二寸一分。これは埔里地方に少なからず。



分布 臺灣。

ホリシヤキベリエダシヤク *Olethia horishiana Mats.* (一三八六)

雄、前翅の前縁及び外縁は橙黄色、紋條は暗色、中央の三角部(翅底より後横線の處迄)は白色。後翅の三分の二は白色、外縁及び前縁は橙黄色、その内側帯は暗色、白色部の斑紋は暗色にして、判然せり、裏面紋は一層濃色。開張二寸一分。これは埔里地方に少なからず。



九一五

點を列ぬ。後翅の三分の二は暗色、少しく紫色を帯ぶ、不明なる黒條を並走し、亞外縁線は橙黄色、外縁の上方に細き黒線あり。開張六分。これは本州に稀ならず。

分布 本州、朝鮮、支那。

クロオビシロシヤク *Nothopteryx usata Okada.* (一三八三)

體翅は灰白。前翅の横線は黒色、翅底線及び中横線は細く、著しく波状を呈し、中横線は太く、中央にて外方に突出し、その突角に近く一黒點を具へ、外側は淡褐色にて縁取られ、外縁には黒點の一列あり。後翅には斑紋を缺く。開張一寸内外。これは信州の高山地帯に産すれども稀なり。幼蟲は柵の葉を食するものの如し。



分布 本州、アムール、西比利亞。

フチクロトケエダシヤク *Nyctodes letnarus Ezzel.* (一三八四)

體翅暗色。前翅の前縁並に中央の太き縦條は黄色、中脈は暗色、その下方は灰色、第一、二、三、



雄、前翅橙黄色、紋條は暗色、後翅の三分の二は黒色、これに黄紋なし、外縁も暗色、これに黄色紋を散在す。横脈紋、その前縁の二紋及びその下方の二紋は大にして判然す。後翅は白色、斑紋は暗色、横脈紋は小、内縁に小紋を散在し、中央紋列は大にして、判然す、外縁帯は暗色、これに橙黄色紋を散在す。開張一寸六分。これは臺灣にて平山修次郎氏の捕獲せるものなるが少なきが如し。

シロジマエダシヤク *Olethia laugudata Wlk.* (一三八七)

翅は白色。前翅の翅底、その外方の弓状帯、中央の二波状帯並びに外縁の斷續せる二帯は暗色、但し中央にあるものは短かく、中室の下方に達す、横脈紋



九一五

雌、前翅の第五室に黄紋を具へ、第一室にあるもの大、横脈點は黒色。後翅黄白、中央の一帯、周縁及び脈は暗色。開張一寸一分。これは本州にては多からず。



分布 本州、支那、滿洲、歐洲。

キゴマフエダシヤク *Olethia conspurcata Loeb.* (一三八四)

體翅橙黄色、暗色紋を散在す。翅の中央部は白色、其中の紋は判然し、大なり。兩翅とも外縁



に黒紋を列ぬ。後翅の脈は黄色。開張一寸四分

は黒色、縁毛は少しく白毛を混ず。後翅の内縁に短かき暗色帯を具へ、外縁には前翅同様の二帯を具へ、横脈紋暗色。開張一寸二分、一寸三分。これは札幌地方に普通なるも、甚飛性にして、燈火に飛來せず。

分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲。

キベリゴマフエダシヤク……………(二三八)

Choritha tigrata Guen.

體翅黄色、斑紋は黒褐、翅底及び外縁に小紋を散在す、中央は白色、其斑紋は大。雄にては白色の部分少なし、縁毛は黒色、後縁角に黄縁毛あり。後翅にも前翅と同様の斑紋を具へ、白色、外縁の四分の一は黄色、雄にては翅底の三



♂

本州に産するも稀なり。
分布 本州、歐洲。

シロフアラシヤク……………(二九〇)

Ochrocineta albida Wk.

翅は淡緑、白色の紋條を裝ふ。前翅の前横線は細く前縁に達せず、外縁には二波狀帯ありて太く、外方のものは外縁に接す、後縁角に大なる灰白紋あり。後翅の外縁は廣く灰白、中央に褐色の雲狀紋を縱走す。開張一寸内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は行李柳の害虫なり。
分布 北海道、本州、アムール。



♂

マユミエダシヤク……………(二八九)

Ochrocineta austriaca F. W.

體翅灰黄。前翅の前横線は細くして判然せず、後横線は暗色、斜傾し、中室外にて少しく外曲す、縁毛は褐色。後翅の中帯は前翅の延長、第四脈の處にて尾狀に突出し、その内方に淡色紋あり。開張一寸。これは



♀

フタクロテンナミシヤク……………(二九二)

Ortholita nigripuncta Hult.

體翅暗色。前翅外縁の三分の一は灰色、横線は黄色、翅底線及び前横線は細く、波狀、後者の外側は黒線にて縁取らる、後横線は黄色にして、細く、外縁の灰色部に接するを以て餘り判然せず、亞外縁線の中央に開口す、翅端に二黒點を具へ、外縁線は細く黒色。後翅は暗色なれども、前翅よりも淡色、中帯は濃色。開張一寸二分内外。これは東洋に廣く分布するも、その數多からず。
分布 北海道、本州、支那、アムール、印度。



♀

シロフシロナミシヤク……………(二九四)

Otoplecta frigidula Hult.

翅は灰白、暗色の四帯ありて、三帯は弓狀をなして翅底に位し、横脈紋は圓形にして、黒色、その外側にある一帯は一雙より成り、第四脈の處にてく字形に屈折す、外縁は廣く黒色。後翅は灰色、弓狀帯は灰白、中室點は黒色。開張七分



♀

五州、これは何れの地方にも稀ならず。
分布 北海道、本州。

コガタツバメエダシヤク……………(二九五)

Ourapteryx creta Jaech.

體翅灰白。前翅の横線は暗黄、横脈紋は長く、斜走し、後横線は端直、縁毛は少しく黄色を帯ぶ。後翅に暗黄の二帯ありて、少しく曲り、後方にあるものは太く、何れも兩縁に達せず、第四室の黒點は判然するも、第三室のものは判然せず。開張一寸一分。これは本州に産するも少なし。
分布 本州。



♂

タイワンシロツバメエダシヤク……………(二九六)

Ourapteryx formosensis Mats.

雌、體翅白色。前翅に酷似するも、前翅二



♀

翅の横脈紋は黒褐、中央の小室線は灰黄、その上に褐紋ありて相合して瓢箪形を現す、斜條は黄褐、その終る前縁には二黒點あり、尙、翅端にも一黒點を裝ふ、前縁の基部に黒點あり、前横線、後横線あれども判然せず。後翅の中帯は暗色。前頭、下唇鬚は暗色。開張一寸二分。これは埔里には稀ならず。
分布 臺灣。

アサガホエダシヤク……………(二九三)

Oranolia elata Guen.

體翅淡赤褐、暗色鱗を散在す、頸毛は暗色。前翅の前横線及び後横線は前縁下にて外折し、中室の外方及び下方に透明紋を裝ひ、翅端近き前縁に赤褐紋を具へ、亞外縁線は餘り判然せず。後翅の横脈紋は暗色、その中點は透明、中横線及び後横線は判然せず、外縁は暗色。開張一寸二分内外。臺灣に稀ならず。この幼蟲は旋花科植物の葉を食す。
分布 臺灣、印度、澳洲。



♀

帯の距離は狭く、後縁にて著しく相近接し、前縁の小短線は黒色、外縁に小短線少なし。後翅の二帯は灰色、外縁に近く小短線は相集合して横紋となる。開張一寸七分。これは埔里地方に稀ならず。

分布 臺灣。

ヒロオビツハメエダシヤク……………(二三七)

Onupheryx lata Mats.

雌、前種に酷似すれども、その異なる所は、前翅の二帯は太く、その距離は狭く、内方にあるものは前縁にて棍棒状に膨大し、外方にあるものは前縁に達せず、その下端は少しく内方に曲る。後翅の弓状帯は前縁にて太く、外縁の短線は少数なれども太し。開張一寸六分。これは札幌地方に稀ならず。

分布 北海道(定山溪)。

ウスキツハメエダシヤク……………(二三六)

Onupheryx sahinuaria L. ヘルシカ形 雌 體翅白色、少しく黄色を帯ぶ、シロツハメエダシヤクに酷似すれども、前翅の二帯は前縁に達せず、二帯間に小短線を散在し、外縁は端直なり。後翅の尾状突起は長く、基部の黒紋は小、その赤紋は判然せず。開張一寸九分。二寸。これは餘り多からず。

雌



分布 北海道、本州、滿洲、歐洲。

ハラアカツハメエダシヤク……………(二三九)

Onupheryx sinhuaria Moore.

雌、體翅白色、腹部は灰黄。前翅に暗黄帯及び短線ありて、前横線は傾斜し、後横線は少しく弓状

雌



をなして内方に曲る。後翅に二帯ありて、外方には小短線を横走す、尾状突起の内方に二黒紋あり、縁毛は兩翅とも黄褐。顔及び下唇鬚は黄褐。開張一寸七分内外。これは臺灣に産すも少なし。

分布 臺灣、支那。

ウスアヲツハメエダシヤク……………(二三〇)

Onupheryx virescens Mats.

雌、體翅白色、少しく綠色を帯ぶ。前翅端は突起、二帯は灰色、内方ものは少しく内方に曲り、翅底、中央及び外縁の小短線は灰色。後翅の二帯は前翅のものより細く、その兩端は更に細く、縁毛は赤色、尾状突起は長く、その基部に二黒紋を具へ、第四室にあるものは紅色點を有す。開張一寸六分。これは臺灣に稀ならず。

分布 臺灣。

雌



アトシロトカリエダシヤク……………(二四二)

Pachyglia dolosa Hirtl.

前翅暗色、帯は黒色、前横線は内側にて、後横線及び亜外縁線は外側にて白線を裝ふ。後翅は白色、横脈紋は黒色、肛角に暗色紋あり。雄の觸角は大にして、羽状を呈す。

雌にては翅細く、觸角は絲狀。これは四月頃燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州。

ナカグロトカリエダシヤク……………(二四三)

Pachyglia medialis Mats.

前翅は灰白、翅底の三分の一及び外縁の三分の一は暗色、黒鱗を密布す、中央の三分の一は暗色。體は灰色、白毛を混す。腹部は鼠色、第二節は胸部と同色。開張一寸三分内外。これは頗る稀なるが如し。

第六 鱗翅目(蛾亞目)

本州

タイワンオホアヤシヤク……………(二四三)

Pachyglia taiwana Whitt.

雌、體翅は淡黄褐。前翅底線、前横線、横脈紋及び後横線は黒色、但し横脈紋は弓状を呈し、後横線は前半にて前縁にて直角をなす。後翅の後横線及び横脈紋は黒色。開張二寸。これは埔里地方に稀ならず。

分布 臺灣(埔里)。

雌



シロテンアラシヤク……………(二四四)

Paranaxates polygrapharia Wlk.

雌、體翅黄褐色。頭及び前胸は黄緑。前翅

雌



分布 臺灣(埔里)。

ハスオビウスアカエダシヤク……………(二四五)

Parephane kreia Hirtl.

雌、體翅は淡黄褐、前横線はく字形、暗色、横脈點は黒色、翅端より後縁の中央に斜走せる一帯は褐色、その外側の一帯は紫色を帯び、暗色點を散在す、尙翅底及び中室にも暗色點を散在し、翅底にあるものは帯状をなす。後翅は前翅と稍々同様、中帯は前翅の延長、その外側は淡色線にて縁取らる。開張一寸四分。これは本州に産するも少なし。

分布 本州。

雌



ホソゴマダラエダシヤク……………(二四六)

Pteronia belluaris Guen.



翅は灰白、斑紋は黒色。前翅に六條の後翅に四條の黒紋列あり、横脈紋は兩翅共黒色。胸腹に黒紋を装

ふ。開張二寸一分内外。これは臺灣には稀ならず。
分布—臺灣、印度。

タイワンコマダラエダシヤク……………(一四〇七)

Pteronia formosana Mats.



(Calhom-arginata Warr.)
體翅は灰白。前翅の五條の紋列は黒色、外縁の二列紋は

♀



底の二紋及び中央紋も黒色、中室の外方及び第四紋列の外方にある廣帯は白色。後翅にも前翅同様の黒紋列あれど

も、第一紋列及び翅底の二點を缺く。開張一寸五分—一寸七分。これは臺灣には稀ならず。
分布—臺灣、支那、印度。

ウスアラシヤク……………(一四〇九)

Paralageta elvissa Butl.



體翅淡黄。前翅に暗色の二帯ありて、後横線は少しく斜走す。後翅には暗色の中帯あり。開張一寸二分。これは札幌地方にては燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、西比利亞。

オビコマダラエダシヤク……………(一四一〇)

Pteronia fumidaria Leach



體翅淡き灰褐、黒紋を散在す。前翅に六條の紋列ありて、亞外縁線の内側に白帯あり。後翅にも同様の紋列あれども、翅底紋を缺く、白帯は少しく太く、少しく灰色

を帯ぶ。開張一寸六分。これは臺灣に産するも多からず。
分布—臺灣、支那。

オホコマダラエダシヤク……………(一四一一)

Pteronia sordida Guen.



體は黄色、斑紋は黒色。翅は灰白、少しく黄色を帯び、斑紋は暗色、横脈紋は火、横脈は灰白。前翅外縁の上方は廣く暗色。開張二寸三

分—五寸六分。これは中國地方に産するも、多からず。幼蟲はカキの葉を食し蛇狀を呈す。
分布—本州、臺灣、支那、印度。

イチモンジエダシヤク……………(一四一二)

Phalaena

springaria L.



體翅黄褐。前翅の前縁は廣く、その中央に翅端に近くく字形の斑紋は灰白、少し

第六 鱗翅目(蛾亞目)

く褐色を帯ぶ、第七脈の中より後縁の中より向へる二條は黒褐、その外側にあるものは第三脈より後縁に至る迄灰白、而してこの兩線は何れも後翅に連続す、前縁外方の三分の一は灰色、翅面に散在する小斑は褐色。後翅二帯の内、外側にあるものは灰白、中央にて少しく褐色を帯び、これに三、四個の褐紋を列ぬ。開張一寸五分内外。これはハシドイの害蟲なり。札幌地方に稀ならず。
分布—北海道。

トビスチャエナミシヤク……………(一四一四)

Philereme transverata Hufn.



體翅は暗色。前翅の横線は黄色、翅底線一雙にして、稍々半圓形、前横線は弓状、後半にて一雙となる、中横線は横脈外にてく字に屈折す、後横線は三條よりなり、前縁に近くく字形に屈折し、亞外縁線は最も太く少しく波狀をなし、外縁は少しく鋸齒狀に刻らる。後翅は灰黄、約七條の暗色帯ありて、亞外縁線最も太く、外縁は鋸齒狀に刻らる。開張一寸二分内外。これは信州地方に稀ならず。
分布—本州、歐洲。

ナカクサヒナミシヤク……………(一四一五)

Philereme umbraria Leach

前翅は灰黄、前縁に黒紋を列ね、中央には太き暗色帯ありて、これは細くなりて翅端に終る、

九二一



その外側は波状を呈し、その帯の中に黒色の波状線を并走す、亜外縁線及び外縁は暗色、縁毛は黄色。後翅は灰色、六條の灰黄帯ありて、何れも暗色の縦脈によりて遮断せられ、中横線及び外縁線は暗色、何れも波状を呈す。開張一寸四分。これは本州に産するも少なし。
分布 本州(岐阜)。

ヘニモンナミシヤク……………(一四六)

Photocostia nihonensis Wk.



體翅灰褐、横線は黒色。前翅の前横線は後縁にて太く、その内部は濃色、この線の外側の前縁に灰白の大紋ありて、その部分にある横線は暗色、後半にあるものは判然せず、後横線は一双にして、波状、亜外縁線は少しく波状を呈し、前縁にて外縁線に合す。後翅は暗色、前縁の外側に大なる橙黄

色の大紋を具へ、外縁には黄色の二波状帯を裝ふ。開張二寸六分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども多からず。
分布 臺灣、支那、印度。

オホシロアヤシヤク……………(一四七)

Phigalia alba Swinh.



體翅灰色。前翅に黒色の二波状線ありて、外方のものは各脈上に小枝を出す、尚、外縁に近く灰白の一波状線を具へ、外縁に黒紋を連ね、横脈上は黒色。後翅に一黒帯ありて、その外方に一白帯あること前翅に異ならず。開張一寸八分内外。これは本州には稀ならず。
分布 本州、朝鮮、支那、印度。

コアヤシヤク……………(一四八)

Phigalia (Terana) pseudohesperaria Guen.

分、これは臺灣に産す。本博士の採集に際してのなり。
分布 臺灣。

ナカキエダシヤク……………(一四三)

Phagotis dolabraria T.



體翅灰黄、前翅に暗褐の短線を密布し、前横線の前縁及び後横線の後縁にて紋状を呈し、尙、亜外縁線の前半にて帯状をなす。後翅の肛角に近き一圓に數個の暗色帯ありて、第五脈に達せず。頭、頸毛及び尾端は暗褐。開張一寸二分。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はカシハ、カバ、ヤナギの葉を食す。
分布 樺太、北海道、ウスリ、アムール、歐洲。

ウスオビヒメエダシヤク……………(一四三)

Pogonitis euhulata Clunt.



翅は黄色。前翅底及び後縁は廣く黒色(短線より成



體翅灰色、暗色の小點を散在す。前翅に暗色の二波状帯ありて、外方のものは鋸齒状を呈し、横脈線は暗色、亜外縁線は灰白、外縁線は黒色。後翅の中帯は鋸齒状、亜外縁線は前翅と稍々同然。開張一寸三分一寸四分。これは本州に産するも少なし。
分布 本州、支那、印度。

タイワンアヤシヤク……………(一四九)

Phigalia taiwanensis Guen.



體翅白色、暗色鱗を散在し、黄色を帯ぶ。前翅に一黒帯あり。前翅の前横線は高き波状を呈し、横脈は暗色、後横線は黒色、

る、ウツギを食し、第九脈の中帯に於ては、横脈線は黒色、その外側に黄白條あり、外縁は細く暗色、縁毛は黄白。後翅の内縁、前縁の基半部及び横脈線は黒色、外縁は前縁と同様。開張九分。これは本州に産するも少なし。
分布 本州、朝鮮、ウスリ。

クロフオホシロシヤク……………(一四三)

Pogonogygia conspiciendaria Loebel



翅は白色。前翅の斑紋は暗色、翅底の二紋及び外縁は廣く黒色、第三室の處にて細し。後翅底紋、その外方の一紋、横脈上の一紋、内縁の三角紋

フタツメシロヒメシヤク……………(一四四)

Pogonitis conspiciendaria Loebel

Problepsis dolabrata Guen.

翅は白色。前翅の中央に大なる暗黄紋ありて、横脈紋は白色、その中に小黑紋ありて、稍々口

♂ 雌



字形を呈し、尙、筋色の鱗毛を散在す、後縁に接して同様の小紋あれども、これに黒紋を有せず、外縁に暗色紋の二列あり。後翅に前翅同様の暗黄紋ありて、その中に黒紋を具へ、筋色鱗毛多く、外縁紋は前翅に似たり。開張一寸四分五分。これは燈火に飛來するも少なし。

分布 本州、九州、支那、印度。

フタツメオホシロヒメシヤク……………(二四三五)

Proleptodes superans Hult.

翅は白色。前翅の中央に大形の暗黄紋ありて、横脈紋は白色、その中に黒紋ありて、稍々口字形を呈し、尙筋色の鱗毛を散在し、後縁に接して少し小形なる同様の紋あれどもこれには黒紋



を有せず、外縁に暗色の二紋列あり。後翅の中央に前翅同様に暗黄紋ありて、その中に黒紋を具へ、筋色の鱗毛は前翅のものよりも多し。開張一寸五分。これは燈火に飛來すれどもその數少なし。

分布 本州、九州、支那、印度。

シロモンクロエタシヤク……………(二四三六)

Prodesmema lela Hult.



ある小紋は黄色、その下方の二帯は黒色、第二、三室紋は白色。後翅内縁の四、五紋は黄白、縁毛に白色部あり。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、本州。

ハナモンエタシヤク……………(二四三七)

Pseudoniza cruentaria Moor.

タマホーニス形。♂ 雌 翅黄褐色、少しく緑色を帯ぶ。前翅の紋は灰褐色、灰褐色の小短線を散在す、横脈紋は判然し、前縁の基部三分の一は赤黄、後横脈は後縁にて次第に太く、その前縁の内側に二白紋ありて、下方のものは小、周囲は褐色、上方のものはその中に小黒点を散在す。後翅の中帯は大なる横脈紋に終る。開張一寸四分。これは新高タマホに捕獲せられたり。



分布 臺灣、印度。

テウセンウスクロエタシヤク……………(二四三八)

Pseudosyntera corearia Leach



翅暗黄褐色、少しく緑色を帯び、紋は暗色。前翅の横脈は太く、後横脈は第五脈の處にてく字形を呈し、その外方は淡

色、尙外縁は暗色、波状、翅端に達せず。後翅の中帯は太く、尙外縁は細く、第五脈の處にて太し、外縁線は細く、暗色。開張九分。これは朝鮮に産するも少なし。

分布 朝鮮、臺灣、ウズリ、支那。

ソトホシキエタシヤク……………(二四二九)

Pseudopyralis invenustaria Leach

雌、翅は黄色。前翅の外半に暗色の短線を散在し、外縁線は細く、黒色。後翅の外半にも暗色の短線あれども、少ない、縁毛は淡色。開張一寸。これは朝鮮に産するも少なし。

分布 朝鮮(元山)。

キンモンエタシヤク……………(二四三〇)

Psychotrophia melanargia Hult.



翅は黒褐色。前翅の斑紋及び條帯は橙黄色。後翅は橙黄色、翅底の一斜

第六 鱗翅目(蛾亞目)



筋及び外縁は黒褐色、内縁角に近き後縁の横脈は橙黄色。第五、六室の縁毛は白色。開張一寸四分内外。これは日光の如き高山地帯に稀ならず。

分布 本州。

クサビエタシヤク……………(二四三一)

Psyrta matsumurai Hult.

雌、翅は灰色、少しく緑色を帯び、斑紋は黒色。前翅の前横線の處に三紋、後横線の處に五紋、亞外縁線の處に四紋ありて、第一室にあるもの大、何れも多少楔状を呈す、横脈紋も黒色、外縁に黒点を列ぬ。後翅に暗色点を散在し、中央にて二帯をなせども判然せず。雄にては雌よりも暗色を帯ぶ。開張一寸四分内外。これは阿里山に少なからず。

分布 臺灣。

ベニヒメシヤク……………(二四三二)

Psychopoda muricata Hult.



前翅の前縁、外縁帯及び中帯は紫紅色、他は橙黄色。後翅は紫紅色、外縁帯は濃色、中央紋、外縁及び縁毛は橙黄色。開張六分。これは燈火に飛來するも、小形なるが爲め、注意せざれば捕獲困難なり。

九二五

分布 北海道、本州、臺灣、朝鮮、支那、ウズリ、アムール、歐洲。

キコマタラヒメシヤク……………(一四四)

Pygmatophora stahingeri Ohmura.

體翅橙黄色、斑紋は黒色。前翅に五紋列あり

て、中央にある紋列は最大、横脈紋は大き

り。後翅に三紋列あり

て、二紋は前翅のもの

よりは小形、横脈紋は

前翅のものに異ならず。開張一寸二分内外。こ

れは日本アルプス地帯に産するも稀なり。

分布 本州、朝鮮、アムール。

フタスチヲエダシヤク……………(一四五)

Rhynehelopta cervinaria Moar.

體翅灰褐色、前翅の横線及び横脈點は黒色、外縁

の翅端に近き三角紋は暗

色なるも判然せず、尚、

暗色の點紋を散在す。後

翅の中帯は前翅の延長な

り、脈及び外縁線は暗

色、縁毛は灰白。開張一寸二分。これは本州に

産するも少なし。

分布 本州。

シロミヤクヲエダシヤク……………(一四六)

Rhynehelopta clariverna Warr.

體翅は灰褐色。前翅の中央は淡色、前横線は灰

白、弓状を呈し、そ

の兩側に暗色點を散

在す、後横線は白

色、兩側は暗色、横

脈點は黒色、縦脈は

灰白。後翅の中帯は

前翅の延長、その内側は暗色線にて縁取らる、

外縁線は太く暗色、波状を呈す。開張一寸四

分。これは本州に産するも少なし。

マヘキオビエダシヤク……………(一四七)

Rhynehelopta davidgei Inhl.

體翅は灰色、紫色を帯

ぶ、前翅の前横線は暗

色、横脈點は暗色、横脈

線は前半にて黒點より

成り、後半は灰白にし

て、その兩側は黒線にて縁取らる、外縁線は

暗色、縁毛は白色、前縁に暗色點を列ね、翅底

に判然せる暗色帯あり。後翅は前翅と稍々同

然、中帯は前翅の延長、灰白にして、兩側は黒

線にて縁取らる。頭は黄色。開張一寸内外。こ

れは本州に産するも少なし。

分布 本州。

モンオビヲエダシヤク……………(一四八)

Rhynehelopta parochlora Jaech.

これは前種に酷似するも、前翅後横線の全部黒

點列より成るを以て容易

に區別し得べし。横脈點

は判然せず、翅端に暗色

點を散在す。開張一寸一

分。これは九州に産するも少なし。

ミスチトガ

リシヤク……………(一四九)

Zarchooides

aquilina-

aria Wlk.

雌、體翅淡き灰褐色、少しく暗色を帯ぶ、前翅の

前縁、前横線、後横線及び縁毛は紅褐色、後横線は

暗褐色、その内側は淡色線にて縁取らる、後翅帯は

前翅の延長。雌にては灰白、銀光を放つ、斜條

は暗褐色、亜外縁線は淡褐色、その内側は淡色。開

張一寸七八分。これは埔里に少なからず。

分布 臺灣、印度。

ハスオビトガリシヤク……………(一五〇)

Sarcinodes delictaria Wlk.

雌、體翅灰褐色、少しく赤味を帯ぶ。前翅の横脈

點は黒色、全面

に暗色鱗を散在

す、前横線及び

中横線は判然せ

ず、但し後者は

弓状を呈す、斜

條は暗色、その

内側は灰白、亜外縁線は判然せず、外縁部の上

方に淡色の部分あり、縁毛は何れも紅褐色。開張

一寸六分。これは埔里に稀ならず。

分布 臺灣、印度。

ムラサキトガリシヤク……………(一五二)

淡き桃色、褐色及び暗色鱗を散在す。前翅に前

横線及び後

横線の痕跡

あるも判然

せず、翅端

に近き前縁

より一対の

褐色線が斜

走し、その

間室は灰

色、亜外縁線は灰白、波状、その外側の各脈上

に白點あり。後翅の紋條は前翅の延長。開張二

寸二分。これは臺灣に産するも多からず。

分布 臺灣、印度。

ハスオビキエダシヤク……………(一五三)

Sarcinodes aurantiocaria Breun.

體翅橙黄色、翅に暗色の小紋を散在し、帯は鉛

色、横脈紋は黒色。前翅

の前横線は斜走し、後横

線は稍々外縁に平行し、

亜外縁線は灰黄。後翅の

後横線は前翅の延長、亞

は本州に産するも少なし。

分布 本州、臺灣、アムール、支那。

キンエダシヤク……………(一五四)

Sarcinodes melibaria Guen.

紅褐色若くは橙黄色、紋條は褐色。觸角、頭毛及

び前翅の前縁は暗色、前翅

の前横線は暗色、これに銀

色線を有す。兩翅共後横線

は暗色、これに灰色線を有

す、外縁及び横脈に銀色線あり。これは本州に

産するも少なし。

分布 本州、臺灣、西比利亞、印度。

ツマキウスグロエダシヤク……………(一五四)

Zelonomia anomala Inhl.

體翅灰褐色、紋條は暗色。前翅の前横線は太く、

その内側は淡色、

後横線は第五脈の

處にてく字形に折

れ、その外側は黄

色、但し第五脈以

下において暗黄

を帯ぶ、横脈點は暗色、その周囲の一間に多数の横線ありて、その外方にあるものは稍々網状をなす、外縁線は廣く黄色、その中央に暗色線あり、縁毛に黄紋を列ぬ。後翅の横脈紋、内縁(外側にて太し)及び翅端に近き一紋は暗色、後横脈は黄色、第四脈の處にて深く彎曲す、外縁及び縁毛に黒點を列ぬ。開張一寸四分。これは何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

ヤマガタウスグロエダシヤク……………(一四四)

Zenonia sinosa Wilm.

前種に酷似するも、淡色、前横線は一層彎曲し、後横線は第四脈の處にて彎曲し、第二脈の處にて内方に彎曲す。後翅の中帯は暗色、第四脈の處にて外方に曲折し、翅底の半部に暗色帯多し。開張一寸四分。これは本州に稀ならず。

分布 北海道、本州、臺灣。

ウスムラサキエダシヤク……………(一四六)

Zenonia adustaria Loew

體翅灰黄褐。前翅の横線は暗色、前横線は弓状、中横線は前縁にて太く、後縁にて細まり、外方に彎曲す、亞外縁線は太く、第三脈の處にて終る、縁毛に白紋を列ぬ。後翅の基半部は暗色、その境は淡色、中央に暗色の判然せざる太き一帯ありて、其外側は灰黄、縁毛に白紋を列ぬること前翅に異ならず。開張一寸四分。これは札幌地方に産するも少ない。

分布 北海道(札幌)。

ホソムラサキエダシヤク……………(一四七)

Zenonia latihirata Loew

體翅は灰黄褐、少しく紫色を帯ぶ。前翅の横脈は暗色、前横線は弓状、中横線は波状、斜走し、後縁の三分の二の處に終る、後横線は前縁にて太く、後縁に至るに漸く細し、外縁に

は暗色點を散在す。後翅の中帯は太く、その外縁は波状を呈す、中央は少しく暗色、中室の外方に紫色を帯びたる部分あり、外縁は暗色、波状をなす。開張一寸二分。これは札幌地方に産するも多からず。

分布 北海道(札幌)。

ムラサキエダシヤク……………(一四八)

Zenonia tetraluaria Hofm.

體翅黄褐。前翅の弦月紋は白色、三帯は褐色、中央にあるものは太く、その外側にあるものは細し、翅端の半月紋及び脈間に散在せる小斑は褐色。後翅の斑紋は前翅のそれに似たれども、内側の廣帯及び翅端の半月紋を缺く。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。この幼蟲は華樹の葉を食す。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那、歐洲。

附言 エステゲア形の原種と異なる所は、形小にして、前翅端は角張らず、淡色にして、後翅裏面の一層橙黄色を帯ぶるにあり。これは春性にして、原種は夏性なり。

マヘグロツマキリエダシヤク……………(一四九)

Selenioptera evanescens Swinh.

體翅灰色、少しく褐色を帯ぶ。前翅の前縁は暗色(短線の平行より成る)、灰黄の二紋を具へ、全面に判然せざる暗色點を散在す、外縁は暗色。後翅の内縁に二紋あれども、これは暗色鱗より成り、判然せず、脈は暗色。開張一寸二分。これは八、九月頃本州に産するも少なし。

分布 本州。

ウンモンオホシロヒメシヤク……………(一五〇)

Somatina indicataria Wlk.

體翅白色。前翅の横脈紋はく字形を呈して黒色、その内側は灰黄、外側に暗色帯を具へ、その下方は黄色を帯び、第七脈の處にて彎曲す、外縁に暗色の二列ありて、内縁は黒色、縁毛は

灰白、暗色を帯びたる部分あり。後翅の横脈紋は判然し、その内方の暗色帯は餘り判然せず、外縁には暗色の三紋あり。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來するも、多からず。

分布 北海道、本州、九州、朝鮮、支那、滿洲。

ツマトビシロエダシヤク……………(一五一)

Stolopera debilis Butl.

體翅黄色。前翅前縁の中央にある二紋は暗色、後縁の中央に平行せる二條は褐色、尚、翅端の直下にある外縁紋は褐色。後翅の中央にある一帯は褐色、翅面のは小斑褐色なれども餘り判然せず。

開張一寸二分内外。これは札幌地方にては燈火に飛來する普通種なるが、その數多からず。

分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、支那。

ツマキリウスエダシヤク……………(一五二)

Stolopera grisealis Butl.

體翅は灰黄、紋條は暗色。前翅の前横線は弓状にして、中央にて遮斷す、後横線は細く波状にして、これより外縁は暗灰色を呈し、翅端に近き外縁には稍々三角形の暗色紋を裝ふ。後翅の中帯は暗色にして、太く、

これより外方の一間は暗灰色、横脈點は黒色なり。雄にてはその紋條餘り判然せず。開張一寸一分二分。これは本州には少なしと雖も朝鮮及び臺灣には少なからず。然れどその幼蟲に就ては何等知る所なし。

分布 本州、臺灣。

コキゴマダラヒメシヤク……………(一五三)

Stammodes danilovi Esch.

體翅橙黄色、斑紋は黒色、前翅の前縁に三紋ありて、翅底にあるものは細長、第四室の基部に圓形の一紋を具へ、亞外縁

線は後角に出で、外縁線は紋列より成る。後翅には約四列の黒紋列ありて、外縁にあるものは太く、往々相癒合す。開張一寸内外。これは信州の高山地帯に稀ならず。

分布—本州、支那、西比利亞。

ヒメアミメエダシヤク……………(一四五四)

Stegaria subrossellata Wk.

前翅は黄色、赤褐鱗を散在す、前横線、中横線、後横線及び亜外縁線は赤褐、波状、中横線は稍々端直、外縁線は黒色、黒点を列ね、後角は暗色。後翅の前横線は端直、後横線は波状、亜外縁線は波状なるも、餘り判然せず。開張九分。これは臺灣に産するも少なし。

♀



分布—臺灣、印度。

ハグルマエダシヤク……………(一四五五)

Synegia

hadussa Btl.



體翅淡黄褐。前翅前縁

の大半は鉛色を帯び、暗色の短線多く、黄褐點を散在し、二帯は暗色。後翅横脈上の一點は黒褐。他の紋は前翅の延長なり。開張一寸内外。

分布—北海道、本州、支那。

タイワンカギバアラシヤク……………(一四五六)

Tanaorhinus viridiluteus Wk.

體翅緑色、腹部は灰黄。前翅の外縁及び末端は少しく褐色、横脈上の二點は黒色、中央に灰色の大紋を具へ、これは後縁に向つて細まる。後翅の中央に白色の一波状線を裝ひ、更にその外側に前縁に接して白色の短線を有す。開張一寸六分—二寸二分。これは埔里地方に稀ならず。

♂



分布—臺灣、支那、印度。

カギバアラシヤク……………(一四五七)

♀



體翅は黄緑。前後翅の翅底、中帯及

Tanaorhinus confuciana Wk.
體翅黄緑。前翅に淡黄褐の波状帯ありて、雌にては中帯の外側に同色の大紋を列ね、外縁に近

♀



く更に一波状帯を裝ふ。開張一寸六分—二寸一分。これは中國地方に稀ならず。幼蟲はクマギ、ナラ、カシハ等の葉を食す。

分布—本州、四國、九州。

ヒメカギバアラシヤク……………(一四五八)

Tanaorhinus vittatus Moor.

が外縁に近き一帯は灰白、開張一寸四分内外。これは埔里地方に稀ならず。

分布—本州、臺灣、支那、印度。

ナカウスグロナシヤク……………(一四九九)

Tetronometa junoetinarum Levent.

體翅灰褐。前翅の中央に太き暗色帯ありて、その兩側は前横線及び後横線にて縁取られ、中央には波状の中横線を具へ、亜外縁線及び翅底線は細く、外縁線にスカラ紋を列ね、その内側に灰白線あり。後翅の帯は細く、外縁に白紋列ありて、その内側に暗色線を具へ、外縁は前翅と同様、中帯は波状にして、判然し、その外側の脈上に黒点を列ぬ。開張一寸七分。これは本州及び臺灣に産するも少なし。

♂



分布—本州、臺灣、支那。

アカエダシヤク……………(一四六〇)

Tephrina semilutea Levt.

第六鱗翅目(蛾亞目)

これには種々の色あり。原種は黄褐、横帯は暗色、前者は弓状を呈し、底線あれども判然せず、横脈點は暗色。後翅の帯は細く、後横線は中央にて外折す。開張一寸二分内外。これは餘り多からず。晝間飛行す。

分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、西比利亞。

♂



暗色、後横線は細く、黒色、後半にて點紋となる、亜外縁線は黄灰色、後角にて判然し、外縁線は黒色。後翅の後横線は稍々肛角紋に達す、

ツマキアヤシヤク……………(一四六一)

Terypa leucochlamys Pont.

體翅白色。前翅底、前縁、外縁等に暗色の短線を横走し、これに黄色部を混ぜず、翅底に近く一帯を斜走す、横脈紋は

♂



暗色、後横線は細く、黒色、後半にて點紋となる、亜外縁線は黄灰色、後角にて判然し、外縁線は黒色。後翅の後横線は稍々肛角紋に達す、

肛角紋は黄色、その外側及び兩側に暗色紋あり、外縁に黒点を列ね、その周囲は黄色。兩翅とも縁毛に黒紋を列ぬ。開張一寸八分内外。

分布—朝鮮、支那。

ホリシヤアヤシヤク……………(一四六二)

Terypa sublella Prout.

體翅は灰白、斑紋は紫褐色、前翅の前横線、横脈紋及び外縁紋は黒色。後翅の横脈及び外縁の點紋列は黒色、第二室の末端に近く褐色紋ありて、中横線は白色、波状を呈す。開張一寸七分。これは埔里地方に少なからず。

♂



分布—臺灣。

オホアヤシヤク……………(一四六三)

Terypa superans Btl.

體翅は灰白、前翅の前縁に黒色の小短線を具へ、横脈は黒色、その外方にある波状線は第三

脈の處迄黒色、以下後縁に至る迄白色、その外方に更に一白帯を具へ、外縁に黒紋を列ぬ。後



♀

近く短線を有せざる黄色の一帯を具へ、後横線は波状を呈し、第二、三、五及び第六室の外縁に近き所に各一白紋を有す。雌にては淡色、斑紋は小形。開張一寸五分—二寸。これは埔里に稀ならず。
分布—臺灣。

クスアラシヤク……………(一四六五)
Thalassodes oshima Burt.

體翅は綠色、少しく暗色を帯ぶ。前翅は黄色、前横線及び後横線は細く



♂

白色。後翅の中帯は白色、第三脈の處にて屈折す。兩翅の全面に淡色の小短線を密布す。前頭及び下唇鬚は赤褐、頭頂は白色。開張一寸二分内外。これは臺灣にてクスの害蟲なり。
分布—臺灣。

テウセンハガタアラシヤク……………(一四六六)
Thalera (Poecilochlora) laevararia Grues.

雄、體翅黄綠。前翅の横脈點は暗色、後横線は灰白、その内側は濃色線にて縁取られ、波状を呈す。



♂

呈し、後縁の開口する所にて弓状をなして外曲す。後翅の横脈點は前翅と同然なれども、少しく大なり、後横線は前翅の延長。外縁は兩翅とも紫褐色、縁毛は紫褐と灰白の斑をなす。開張一寸。これは日光地方に産するも少なし。
分布—本州。

キマダラツバメエダシヤク……………(一四六七)
Thimopteryx erocoptera Kohl.

體翅橙黄色。前翅は黄褐の小短線を密布し、前縁は灰色、これに暗色紋を散在す、平行せる暗



♂

褐の二線あり、横脈紋は黒褐、外縁に近く内縁

角より第四脈に暗褐の一輪を認る。後翅は黄褐、小斑は褐色、外縁及び後縁は橙黄色、尾狀突起に黒褐紋を裝ふ。開張二寸—二寸三分。これは餘り稀ならず。燈火に飛來す。
分布—北海道、本州、九州、臺灣、支那。印度。



♂

體翅黄色、紋は黒色、少しく紫色を帯ぶ。前翅底に

タイワンアヤシヤク……………(一四六八)
Thimopteryx delictans Burt.

これはキマダラツバメエダシヤクに酷似すれども、前翅の

體翅暗黄。翅に灰色の小紋を散在す。前翅後縁の中央より前縁角に向つて赤褐の一條を斜走し、後翅の中央にある同色帯と相連続す。開張八分五厘—一寸一分。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はスカンボの葉を食す。
分布—北海道、本州、四國、九州、支那、滿洲、歐洲。



♂

タイワンベニスチヒメシヤク……………(一四七〇)
Thimandra extremaria Wk.

これは前種に酷似すれども、その異なる所は、翅に紅色少なく、前翅の外縁は膨起せず、前横線及び横脈上の暗色點を缺如するにあり。前種より少しく小形なり。開張一寸内外。これは臺灣に産するもその數多からず。
分布—臺灣、支那。



♀

シロオヒクロシヤク……………(一四七一)

體翅黒色。前翅の中央にある長靴形の大紋は白色。後翅の紡錘狀紋は白色、縁紋は前後何れも白色。開張九分—一寸内外。これは晝間飛翔し、燈火に飛來せず。叢間に普通なり。
分布—樺太、北海道、本州、朝鮮。



♀

シロフシロオヒクロシヤク……………(一四七二)
Trichopteryx kidermanni Brem.

似すれども、前翅底に近く字形の二白帯を裝ひ、中帯は後縁にて分支し、外側は少しく波状を呈し、縁毛は白色。後翅の白帯は稍々棍棒状を呈し、中央及び内縁角の縁毛は黒色。開張九分—一寸。これは前種同様に叢間に普通なり。
分布—樺太、北海道、本州、支那、西比利亞。



♀

ウスグロオホナミシヤク……………(一四七三)

Eriphosa abditata L.

前翅は灰褐、暗色の太き三帯ありて、一は翅底に、一は中央に、他はその外方に位す、この他、細き暗色帯あれども餘り判然せず、脈は暗色。後翅は灰色、外縁線は暗色、暗色の細き波状線多しと雖も判然せず。前後兩翅とも外縁は深く鋸齒状に列らる。開張一寸二分内外。これは廣く東洋に分布す。幼蟲はクロウメモドキの葉を食す。



分布 北海道、本州、支那、西比利亞、歐洲。

ヒメツバメエダシヤク……………(一四七四)

Tristropus subimnertaria Leach

體翅白色。前翅の紋條は暗灰色、亞外縁線は短線の集合より成る、縁毛は灰黄。後翅の二帯はく字形に折れ、第三及び第四室に各一黒點を裝ひ、縁毛は灰黄。開張一寸三分。これは



本州に産するも少なし。

分布 本州、朝鮮。

トラツバメエダシヤク……………(一四七五)

Tristropus viceris Juhl.

體翅白色。前翅の三帯は暗色、前縁の基部は細く暗色、外縁は灰黄、横脈紋は暗色。後翅の弓状帯は暗色、外縁に黒紋を列ね、尾状突起の一回は黄色。開張一寸内外。これは樺太及び北海道に普通なり。



分布 樺太、北海道、本州、滿洲。

カクモンアラシヤク……………(一四七六)

Tryalodes divisa Wk.

體翅灰色、少しく紫色を帯ぶ。前頭は黒色、頭頂は白色。前翅の横帯は灰白、前縁は赤褐、斑紋は綠色、後横線は暗色、後縁角の紅色紋に終る。後翅の斑紋も綠色、中横線は白色、肛角の紅色線に終る、外縁部は紫色を帯び、縁



色の外方に赤色部あり。兩翅とも外縁は細く黒色。開張一寸二分。これは埔里に産するも少なし。

分布 臺灣、瓜哇、印度。

ツマジロアラシヤク……………(一四七七)

Chromemis parvula Wk.

體は白色。頭毛は綠色。翅は鮮綠。前翅帯は白色、前横線は弓状、後横線は波状、その下方の外側に赤褐紋あり、亞外縁線は前半にて太く、後半にて細く、波状をなし赤褐紋中に入る。後翅の後横線は深く彎曲し、その外方に赤褐紋を具へ、翅端、肛角及び亞外縁線は白色。開張一寸。これは臺灣に産するも多からず。



分布 臺灣、印度、澳洲。

ニトベエダシヤク……………(一四七八)

Wilemanha nitolei Nitole



體翅暗褐、光線の工合より紫色を帯ぶ。前翅

の中央は灰白、その兩縁は一層淡色、これに暗色の小紋を散在し、横脈紋は暗褐。後翅は灰白外縁の三分の一は暗灰色、横脈紋は暗色、開張一寸四分。これは東北地方に少なからず。幼蟲は草樹の葉を食す。

分布 本州(青森)。

ヒロオビエダシヤク……………(一四七九)

Xandrames agitata Burt.

體翅灰黄、暗色紋を密布す。前翅横脈の外方に廣き灰黄の一帯ありて、その中央に暗色の長紋を裝ひ、第三室の處にて細まり、爰に暗色の大紋を具へ、内方に一黒帯あれども餘り判然せず、これは第四脈の處にてく字形に屈折す、縁



毛は灰黄と黒色の斑をなす。後翅に三黒帯ありて、前翅と同様小暗色紋を密布す。雄にては暗色の小斑更に一層多く、中室外に一灰黄紋を裝ふ。開張一寸九分 二寸二分。燈火に飛來す。

分布 本州、支那。

タイワンヒロオビエダシヤク……………(一四八〇)

Xandrames latiferaria Wk.

體翅褐色、觸角赤色。前翅に黒色の短線及び鱗毛を密布す、前横線は黒色、前半にて判然す、横脈紋は弦月形、中横線は黒色、中脈下にて細まる、その外側は白色、後横線は第四脈迄判然し、第四、五室に黒條を縱走し、第一室の外方に白紋あり。後翅暗色、外縁に白帯あり、黒色の小短線と密布す。開張二寸八分内外。これは



オホトビエダシヤク……………(一四八一)

臺灣に産するも少なし。

分布 臺灣、支那、印度。



Xanthopan majuscularis Leech

體翅淡黃褐。前翅の前縁に四黒紋ありて、何れも判然せざる細線を後縁に送る、第三紋は弓状に曲る、後縁に二黒紋ありて、内方ものは稍々中央に、外方ものは後縁角に接近す、中央及び前角に近く大なる暗色紋を裝ひ、全面に暗褐點を散在し、外縁線は黒色、波状。後翅に暗色の二波状線ありて、外縁にも同様の波状線を具へ、暗色點を散在すること前翅に異ならず。開張二寸六分。これは少なし。

分布—本州。

ヒロオヒオエダシヤク……………(四八二)

♀



Xanthopan sericea Butler

體翅暗色。前翅に濃色の短線を散在し、横脈外の一帯は廣く白色、その中に暗色の小短線を散在し、翅端に近く黒色の二帯を具へ、横脈線は黒褐。後翅に判然せざる暗色の三帯ありて、その外縁は白色、これに暗色の小短線を許布す。開張二寸三分—二寸五分。これは燈火に飛來するも餘り多からず。

分布—北海道、本州、九州、支那、印度。

トガリエダシヤク……………(四八三)

Xylosia subasperata Feld.

體翅は灰黄。前翅の四帯は暗色、第二帯と第三帯との間室は濃色、全面に小褐點を散在す、横脈線は暗色。後翅の三帯及び横脈線は黒褐、第六脈は尾状に延長す。開張一寸二分内外。これは餘り多からず。

分布—本州、朝鮮。

ヲカモトトゲエダシヤク……………(四八四)



Zanuaera excavata Dyar

これは次ぎのクハトゲエダシヤクに酷似すれども其異なる所は、前翅は廣く、暗色の三帯を具へ、第三帯の外側は白色線にて界せられ、横脈線は橙黄色、後翅に二帯ありて、外縁に暗色の小斑を散在するにあり。これは四月燈火に飛來するも少なし。この幼蟲は桑に寄生す。

分布—北海道、本州。

クハトゲエダシヤク……………(四八五)

Zanuaera juglansaria Grues.

體翅暗灰色。前翅三條の暗色帯を具へ、中帯は中脈の處にて屈曲し、その外側は細く白色、尙翅端及び翅底にも灰白の部分あり。後翅は小、白色、中帯は暗褐、外縁の二分の一は暗色、褐紋を散在す。開張一寸四分内外。この幼蟲は桑、胡桃に寄生す。



一七

尾蛾科

Epicopelidae

ミスチキリハエダシヤク……………(四八六)

Zanolidia testacea Butler

體翅黃褐。前翅の三帯は暗色、横脈線弦月形にして、白色、その外方の前縁にある大紋は黄色、その下方は暗色、翅端は黄色、その下方の一帯は暗色、外縁の上方に半月形の暗褐紋を裝ひ、全面の小點は暗褐。後翅の前縁は廣く黒褐、中央の二帯は黒褐。開張一寸四五分。これは燈火に飛來する普通種なり。

♀



分布—北海道、本州、支那、印度。

シロモンツマキリエダシヤク……………(四八七)

Zethenia albonotaria Bremer

體翅灰色、少しく褐色を帯ぶ。前翅の中帯は暗色、その外側に一層太き一帯ありて、その中央に黒褐の眼状紋を具へ、その中點は白色、全面の小斑は褐色。後翅の一帯は黒色、外方の各脈

第六鱗翅目(蛾亞目)

♀



支那、滿洲。

ミスチツマキリエダシヤク……………(四八八)

Zethenia rufescens Motsch.

體翅灰色。前翅の三帯は暗色、第二及び第三帯の中間に同様の一帯を具へ、その帯の脈に當る部分に褐色紋を裝ふ。後翅は灰白、二帯は暗色、外側ものは鋸齒状を呈す、小斑は暗色。開張一寸三分—一寸四分。これも杉及び松の害蟲なり。燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、滿洲。



アゲハモドキ……………(四八九)

Epicopeia hanesii Holl.

體翅は黒色。前翅は暗灰色、前縁及び脈は黒色。後翅底の大半は暗灰色、翅端並に尾狀突起觸角は羽狀。後翅の抱刺は退化して小さく、前翅に一個の内縁脈を具へ、その基部にて分支す、後翅は鳳蝶の如く延長す。幼蟲は細毛を密生す。本領土に學名を有するもの三種あり。農林業に關係なし。



分内外。これは一見鳳蝶に似たる蛾にして、高く空中を飛翔するの傾きあり。幼蟲はヤマコウバシの葉を食す。

分布—北海道、本州、朝鮮、臺灣、支那。
シニカリア形 σ *T. sinicaria* Iwedi.



原種と異なる所は後翅前角に紅色紋を缺くにあり。
分布—朝鮮。
附言—從來

シニカリア形は日本本土に産する様記載せられたるも誤なり。

ヲナガアゲハモドキ……………(一四九〇)

Ectopeta longiranda Mats.

雄、體翅黒色。前翅は淡色、後翅の斑紋は紅色。前翅脈は黒色、何れも中央にて太し。後翅に二紋列ありて、内方のもに五紋、外方のもに三紋ありて、第二室の外側にあるもの及び第四室の内側にあるものは弦月形を呈す、尾狀突起は長し。下唇鬚、翅底鱗の基紋、腹部兩側の後



縁等は紅色。開張二寸九分。これは朝鮮に産するも少なし。
分布—朝鮮。

テウセンアゲハモドキ……………(一四九二)

Ectopeta muenia Moor.

前翅は暗色、脈は黒色。雄にては後翅に二列の紅色紋を具へ、雌にては紅色紋は淡色にして、稀々黄色を帯ぶ。體は黒色。胸節環は紅色。開張三寸三四分。これは朝鮮に産するが少なし。
分布—朝鮮、支那。



一八 燕蛾科 Tenthredino

口吻を具ふ。觸角は糸狀。兩翅の第五脈は第六脈に近く出づ。前翅に一内縁脈ありて、基部にて分支す。後翅に抱刺を缺き、第七脈と第八脈は分離す。後肢に距を装ふ。幼蟲は裸體にして、十六脚を具へ、肉狀突起を装ひ、頭は小なり。この蛾の後翅に小なる尾狀突起を有するものあるを以てこの名あり、尤もこの突起を缺くものあり。本邦學名を有するもの六種あり。

ギンツハメカ……………(一四九三)

Aeropterus fimbria Guen.

體翅は白色。前翅の外縁角に黄褐紋を装ひ、後縁より翅端に向へる斜條は暗褐、前縁の下方は灰色、外縁の細條は暗色。後翅の横條は暗色。腹部は灰色、各節の後縁は淡色。開張一寸一分内外。これは札幌地方に普通なり。燈火に飛來するもの稀にして、晝飛行なり。



分布—北海道、本州、九州、支那、滿洲、印度。

タイワンギンツハメカ……………(一四九三)

Aeropterus striataria Clark

體翅は白色。頭は黒色、前翅殊に前縁の半部には灰色點を散在し、條帶は灰色、翅端に近き前縁の紋列及び外縁部は暗色。後翅の條帶は灰色。開張一寸四分内外。これは臺灣の高原地帯に稀ならず。
分布—臺灣、支那、印度。



ハスオビツハメカ……………(一四九四)

Anzocides horishana Mats.

體翅淡黄褐。翅の紋條は暗褐、全面に褐色の點紋を密布す。前翅の前縁は翅端に至るに従ひ暗褐色を増し、極縁は黒色と増し、極縁は黒色と



灰黄の斑をなす、斜條の末端は暗褐色に開口す

るを以て何れか、前縁部は淡色を呈し、中部の處にて外折す、亞外縁線は波狀、細く、その外側に後縁に接して暗色の一短線あり。後翅に前横線を缺き、後横線は犬牙狀を呈す。兩翅とも横脈點を具へ、外縁線及び縁毛は暗褐。開張一寸一分。これは埔里にて捕獲せるが稀なるが如し。
分布—臺灣。

シモフリツハメカ……………(一四九五)

Mironia aculeata Guen.

體翅白色、少しく灰色を帯ぶ。翅に多數の細き暗色線ありて、これは前翅にては三條、後翅にては二條の帶となりあれども、その限界は判然せず。後翅第三室の末端に小なる黒紋を具へ、これより短線を尾端に終る、尚、第一、二、四室にも一黒點あり、外縁線は黒色。開張一寸四分。これは五月大嶽科にて捕獲せるが稀なり。
分布—臺灣、支那、印度。

